

ブラックスピーチの22

全400口 | 1口出資額105,000円(税込) | 総額4,200万円(税込)

1 EAST SIDE

生産牧場 社台ファーム 育成牧場 社台ファーム(予定)



栄光の源流は「二刀流」の伝説、G1に参戦した母の夢を叶える

現時点における馬体の特徴と適性

未勝利戦を勝ち上がった直後に臨んだオークストライアル・スイートピーSにおける勝ちっぷりの良さ、加えて、皮膚の薄い上品な馬体もあって、ディーブインパクト産駒である母には、現役時代から好感を抱いていました。父にエピファネイアを迎えて誕生した、この牡駒は、その第2仔となるが、まず目に付くのが、首差しから尻までの綺麗でメリハリも効いたライン。腹目もシャープで、母によく似た、全身を薄手の皮膚が覆っている気品あるルックスは、超名血種牡馬であるエピファネイアの長所も、バランス良く受け継いでいる印象を受けています。繋ぎがしなやかで、程好い長さがある四肢には、変な癖がないだけに、育成過程を経て、バネのある、スムーズな走行フォームを会得するはず。現状の健康体を維持しながら順調に進化していけば、母を凌駕する、かなり高いレベルにまで駆け上がる可能性も高いでしょう。仕上がりは早く、2歳の夏競馬から使えそうだが、ひょっとすると、ファミリーから登場した、芝、ダート、距離の長短、国内外を問わずにG1を計6勝したアグネスデジタルのような、固定観念に捉われない、オールマイティな強さを誇る名馬へと大化けするかもしれません。

国枝栄調教師コメント

エピファネイア産駒の牡馬を管理させてもらえるということは、悲願である日本ダービーを勝ちなさいという激励にも聞こえます。本馬の歩きには躍動感があり、パワーを秘めていそうなトモが力強く、四肢のバランスの良さが際立ちます。背中のラインもきれいで、将来的にはもっと伸びやかな馬体になりそうです。品のいい顔にも惹かれます。配合的にもクラシックディスタンスでこそ真価が発揮できるはずですから、堂々と自信を持って3歳の頂点を狙っていきましょう。長いキャリアの中で様々な経験を積ませていただきました。その意味では調教師生活の集大成の時期が来ていますから、本馬とともにまだ見ぬ夢の景色の場所へ向かいたいと思います。会員の皆様と最高の瞬間を分かち合えることを想像し、本馬の資質を信じていきます。

クリスエス	Roberto	
*シンボリクリスエス	Kris S.	Sharp Queen
Symboli Kris S		
黒鹿 1999	ティーケイ	Gold Meridian
エピファネイア	Tee Kay	Tri Argo
Epiphaneia		
鹿 2010	スペシャルウィーク	*サンデーサイレンス
シーザリオ	Special Week	キャンペンガール
Cesario		
青 2002	*キロフプリミエール	Sadler's Wells
	Kirov Premiere	Querida
牡		
鹿毛		
2022.4.16生		
ディーブインパクト	*サンデーサイレンス	Halo
Deep Impact	Sunday Silence	Wishing Well
鹿 2002	*ウインドインハーヘア	Alzao
ブラックスピーチ	Wind In Her Hair	Burghclere
Black's Beach		
鹿 2014	キングマンボ	Mr.Prospector
*ビジュアルショック	Kingmambo	Miesque
Visual Shock		
鹿 2007	*リーチフォーザムーン	Pulpit
	Reach for the Moon	Chancey Squaw

サンデーサイレンス:M3×S4 Hail to Reason:S5×M5



管理予定調教師

国枝栄調教師(美浦)

◆1955年4月14日生 ◆1990年開業(34年目) ◆JRA通算1031勝 ◆JRA重賞62勝 ※成績は2023年4月16日現在

【主な管理馬】

- アーモンドアイ:牝馬三冠、ジャパンC(G1)2回 ●アババネ:牝馬三冠、ヴィクトリアマイル(G1)
- ブラックホーク:安田記念(G1)、スプリンターズS(G1) ●マイネルキッツ:天皇賞・春(G1) ●マツリダゴッホ:有馬記念(G1)
- アカイトリノムスメ:秋華賞(G1) ●ピンクカメオ:NHKマイルC(G1) ●ダノンブラチナ:朝日杯FS(G1)
- サークルオブライフ:阪神JF(G1) ●サトノフラッグ:弥生賞ディーブインパクト記念(G2)



ファミリー(母系)

母の父 **ディーブインパクト**は早来産、年度代表馬(2回)、12勝、三冠、ジャパンC-G1。総合・2歳チャンピオンサイアー。主な産駒:コントレイル(三冠、ジャパンC-G1)、ジェンティルドンナ(ジャパンC-G1 2回)。**【BMS:主な産駒】**プロウアウト(ファーストレイディS-G1)、キセキ(菊花賞-G1)、ジェラルディーナ(エリザベス女王杯-G1)、ドルチェモア(朝日杯フューチュリティS-G1)

母 **ブラックスピーチ**(14 ディーブインパクト) 3勝、スイートピーS-L(芝1800m)、三木特別(芝1800m)。産駒 レッドマーレ(21 牡 鹿 モーリス)未出走

祖母 ***ビジュアルショック**(07 Kingmambo)米国産、わが国で入着。産駒 レッドピナス(牝 ディーブインパクト)石川公2勝、中央1勝 レッドカルディア(牝 ディーブインパクト)1勝 シンゼンイズモ(牡 エピファネイア)1勝、**◎** レッドゼノビア(牝 オルフェーヴル)北海道公1勝、高知公3勝、佐賀公1勝、**◎**

曾祖母 ***リーチフォーザムーン** Reach for the Moon(00 Pulpit)米国産、愛1勝、英入着、フリーズマイル-G1 3着。産駒 **プリンス デ コンデ** Prince de Conde:仏2勝、シェーズ賞-G3 4着

四代母 **チャンシー スクウォー** Chancey Squaw(91 Chief's Crown)北米1勝。産駒

***アグネスデジタル**:最優秀古牡馬、中央・南関東・東海・岩手**◎**11勝、天皇賞(秋)-JPN1、安田記念-JPN1、マイルチャンピオンシップ-JPN1、フェブラリーS-JPN1、マイルチャンピオンシップ南部杯-JPN1、全日本3歳優駿-JPN2、ユニコーンS-JPN3、日本テレビ盃-JPN3、同-JPN2 4着、名古屋優駿-JPN3、武蔵野S-JPN3 2着、ニュージーランドT 2歳S-JPN2 3着、京都金杯-JPN3 3着、香港1勝、香港C-G1、香港クイーン エリザベス二世C-G1 2着。種牡馬

***ジャリスコライト**: 3勝、京成杯-JPN3、いちょうS-L、白富士S-L 2着、朝日杯フューチュリティS-JPN1 3着、大阪城S-L 3着

***シェルゲーム**: 3勝、巴賞-L、葉牡丹賞、毎日杯-JPN3 2着、青葉賞-JPN2 3着、駒草賞-OP 3着。種牡馬

五代母 **アリキャン** Allicance(80 Alleged) 仏1勝、フロール賞-G3 2着。**ロイヤル キングダム** Royal Kingdom(ロイヤル ロッジS-G2)の母

配合診断

三冠牝馬と似た配合パターンに信頼感、中長距離特性も早期から活躍が望める

母ブラックスピーチは3歳春にスイートピーSを勝ちました。3代母リーチフォーザムーンはアグネスデジタル、シェルゲーム、ジャリスコライトを兄弟に持つ良血で、自身も現役時代にイギリスでフィリーズマイル(G1・芝8F)3着と活躍しました。ちなみに同牝系のエピファネイア産駒にはシンザン記念6着馬シンゼンイズモがいます。「エピファネイア×ディーブインパクト」で2代母の父がKingmamboですから、菊花賞とホープフルSで2着と健闘したオーソクレースとよく似た配合構成です。生じるクロスはサンデーサイレンス4×3と、4分の3同血のSadler's Wells⇔Nureyev 4×5ですから、配合パターンは牝馬三冠馬デアリングタクトともよく似ています。菊花賞をも狙えるしなやかな中長距離血統ですが、オーソクレースのように早期から素質を垣間見せることでしょう。

レッドセシリアの22

全400口 | 1口出資額100,000円(税込) | 総額4,000万円(税込)

生産牧場 下河辺牧場 育成牧場 下河辺牧場(予定)



G1に手をかけた母の反撃、長打力のある父が大舞台で躍らせる

現時点における馬体の特徴と適性

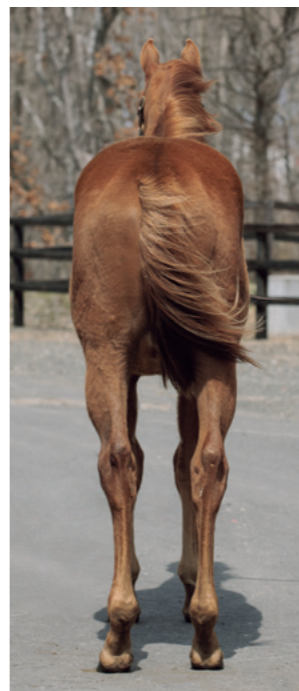
2歳10月の新馬戦を勝ち上がった直後に臨んだG1阪神JFで、爆発的な末脚を駆使してクビ、クビ差の3着に飛び込んできたことを皮切りに、5歳時には準OPユートピアSに勝ち、重賞ターコイズSで小差の4着した、クラブ所属馬として走った母が送り込んできた、ハイスベックな第6仔。ここまで、繁殖牝馬としての実績には、ややもどかしい感もあった母ですが、本馬が示す、骨格の良さと柔軟で質の高い筋肉が原動力となる身のこなしには、走る馬の雰囲気色が濃く漂っています。直線的に伸びる、精悍さを感じる首、短く、背筋が強い背中、伸びがあり、肋張りも良好な胴、張りがある、丸くて綺麗なトモは、重心の低い、スムーズな走りを可能にするための重要な役割を担うもの。胸部をはじめ、今後の成長が待たれる箇所もありますが、現時点において、肉体と精神状態のバランスが、とても上手に取れている点も、有力なセールポイントといえるでしょう。脚元も丈夫で、着実にデビューへの準備を進めていけるタイプ。万全の準備を整えて、2歳夏から初秋にかけてのデビュー戦を迎えると見えています。芝中距離適性の高さも活かし、クラシック戦線での躍動を望みたいところですが。

奥村武調教師コメント

全姉ルージュリリカルが442キロ(4月末現在)で均整のとれた好馬体をしていました。本馬も負けず劣らずの存在感で、全体のバランスの良さが際立ち、父エピファネイアらしい立派なトモのつくりを期待を抱かずにはられません。姉は青鹿毛、弟は栗毛と見た目の雰囲気は違いますが、牡馬なので姉よりひと回り大きく成長してくれば、マイルから中距離へと幅広い舞台でのチャンスが広がるでしょう。「馬を大事に」することを念頭に置きながら、その中でしっかりと仕上げ、常に勝負になる状態で使いたいというのが厩舎の考えです。そしてどんな馬でも、古馬になって心身が完成の域に近づき良くなっていくと思っています。本馬の特性をとらえて理想的な成長曲線が描けるように持っていく、大きな舞台で活躍させたいと思います。

クリスエス	Roberto	
*シンボリクリスエス	Kris S.	Sharp Queen
Symboli Kris S		
黒鹿 1999	ティーケイ	Gold Meridian
エピファネイア	Tee Kay	Tri Argo
Epiphaneia		
鹿 2010	スペシャルウィーク	*サンデーサイレンス
シーザリオ	Special Week	キャンペンガール
Cesario		
青 2002	*キロフプリミエール	Sadler's Wells
	Kirov Premiere	Querida
牡		
栗毛		
2022.4.1生		
ハーツクライ	*サンデーサイレンス	Halo
Heart's Cry	Sunday Silence	Wishing Well
鹿 2001	アイリッシュダンス	*トニービン
レッドセシリア	Irish Dance	*ビューバーダンス
Red Cecilia		
黒鹿 2010	セルカーク	Sharpen Up
*サセッティ	Selkirk	Annie Edge
Sasetti		
栗 2003	マイポッターズ	Irish River
	My Potters	My Bupers

サンデーサイレンス:M3×S4 My Bupers:M4×M5 Hail to Reason:S5×M5



管理予定調教師

奥村武調教師(美浦)

◆1976年7月10日生 ◆2014年開業(10年目) ◆JRA通算179勝 ◆JRA重賞4勝 ※成績は2023年4月16日現在

【主な管理馬】

- ノースブリッジ:AJCC(G2)、エプソムC(G3) ●クールキャット:フローラS(G2) ●ライジングリーズン:フェアリーS(G3)
- テンクウ:ジュニアC、新潟2歳S(G3)3着 ●スズカコテキタイ:千葉S ●ヴィズサクセス:モルガナイトS
- ホウオウビスケッツ:スプリングS(G2)2着 ●イブキ:新潟2歳S(G3)3着 ●キミワクイーン:春雷S(L)2着
- タイセイサムソン:コールドムーンS2着



ファミリー(母系)

母の父 ハーツクライは千歳産、最優秀古牡馬、中央・UAE5勝、ドバイシーマクラシック-G1。主な産駒:リスグラシュー(有馬記念-G1)。【BMS:主な産駒】エプフォーリア(皐月賞-G1, 有馬記念-G1), タガロア(MRCブルーダイヤモンドS-G1), ケイデンスコール(マイラーズC-G2), インダストリア(ダービー卿チャレンジT-G3), トロワゼトワル(京成杯オータムH-G3 2回)

母 レッドセシリア(10 ハーツクライ)5勝、ユートピアS(芝1600m), HTB杯(芝1800m), テレビ山梨杯(芝1600m), 阪神ジュベナイルフィリーズ-G1 3着, ターコイズS-L 4着。産駒
メイショウボルボ(17 牡 黒鹿 *カジノドライヴ)入着, 南関東(G)2勝, ⑩ルージュアズライト(20 牝 青鹿 リオンディーズ)入着, ⑩ルージュリリカル(21 牝 青鹿 エピファネイア)未出走

祖母 *サセッティ Sasetti(03 Selkirk)愛国産, 英5戦。産駒
レッドセインツ(牡 ディープインパクト)3勝, 北辰特別, はなみずき賞, 新潟2歳S-G3 3着
レッドライジェル(騎 ディープインパクト)4勝, 立冬特別, 山吹賞, 障1勝
レッドカイザー(騎 ゼンノロブロイ)3勝, 小倉城特別, 英彦山特別
レッドクレオス(牡 ハーツクライ)3勝, ⑩
レッドルチア(牝 ディープインパクト)2勝

曾祖母 **マイポッターズ** My Potters(87 Irish River)愛1勝, McDonagh Boland S-L 3着。産駒
ウイノナ Winona:愛2勝, 愛オークス-G1, 愛パークS-G3 2着, 愛1000ギニー-G1 4着, 英入着, コロネーションS-G1 3着
カーライル ベイ Carlisle Bay:愛1勝, キラヴーランS-G3 3着
カヌアン Canouan:愛入着, Salsabil S-L 2着
アザラウアク Azarouak:愛1勝, 北米1勝, Walnut Creek S 2着
オリノコ Orinoco:愛1戦。産駒

ケリニ Kelinni:英3勝, 豪8勝, ATCコリン スティールンH-G3, VRCレクサスS-G3, ATC JRA Plate-L, 愛1勝

四代母 マイビューバーズ My Bupers(67 Bupers)北米入着。**マイジュリエット** My Juliet(ヴォスバークH-G2)の母, *ステラマドリッド Stella Madrid(スピナウェイS-G1), **ティスジュリエット** Tis Juliet(シュヴィーH-G1)の祖母, **ハーツクライ**(有馬記念-JPN1)の曾祖母

配合診断

母としての高い資質を発揮する機会到来、クラシックロードで夢広がる配合

母レッドセシリアは阪神JF3着馬。2代母サセッティはレッドセインツ、レッドライジェル、レッドカイザー、レッドクレオスなどコンスタントに上級馬を送り出しました。ハーツクライやミッキーアイルと同じくMy Bupersにさかのぼるファミリーです。母はそのMy Bupersのクロスを4×3で持つので、繁殖牝馬としても高いポテンシャルを秘めています。「エピファネイア×ハーツクライ」は年度代表馬エプフォーリアと同じで、2代母がSharpen Up系のマイラーであるのも同じ。「エピファネイア×ハーツクライ」はスタミナや底力に富む一方、中長距離血統としての緩さも伝わりやすい配合。その点で、2代母に頑強なマイラーの血を入れて締めるのは有効です。サンデーサイレンス4×3はデアリングタクトやサークルオブライフと同じ。クラシックロードで夢が広がる血統です。



3歳春を謳歌できる配合に自信、仏G1馬の母の資質が女王へと導く

現時点における馬体の特徴と適性

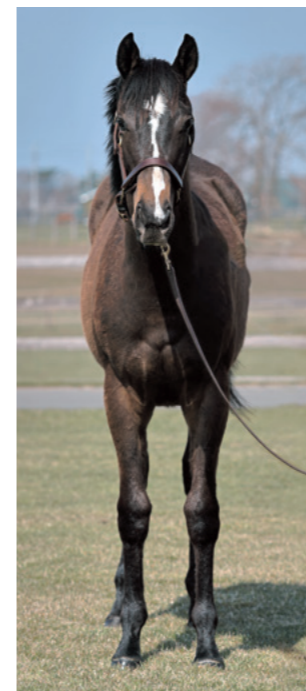
ドーヴィル競馬場の芝2000mコースで争われるG1ジャンロマネ賞に勝利した母の第3仔。父に、本馬の世代が最終年度産駒となる、数多くのカテゴリー別チャンピオンを送り出しているドゥラメンテを迎えたこともあり、底知れぬ可能性を秘めた、希望の星が誕生しました。高く、力強さを感じさせる首、厚み、深みがあり、胸筋も発達している胸前、強靱な背筋が付いた、腰にかけてのラインも美しい短めの背中、張り、艶が良く、容積も大きいトモ、肋張りの良さが際立つ、深みのある胴と、必見に値するパーツが多い上に、全体のサイズ感が程よく、極めてバランスが良いことも、特筆すべきセールスポイントとなっています。脚向きの良好な前肢、飛節の靱帯が鋼のように強靱な後肢と、脚元が丈夫なこと、さらに前向きで素直な気性から、何の問題もなく、スムーズに育成過程を歩んでいけるはず。仕上がりは早く、2歳夏には、十分に実力を発揮できる状態で、デビュー戦を迎えられると見ています。父は、コース、距離を問わずにビッグレースを制する産駒を出す万能型サイアーですが、本馬もオールマイティで高い能力を発揮できそうなタイプ。国内だけでなく、海外でも素晴らしい結果を残す雰囲気も漂わせています。

大竹正博調教師コメント

ドゥラメンテ産駒らしい伸びやかな胴をしていて、背腰を上手く使い歩けていました。全体のフットワークも合格点、このまま順調に成長してくれば、兼ね備えた素質の高さを発揮してくれるでしょう。活躍しているドゥラメンテ産駒の牝馬は芝のマイルを得意としています、本馬もその仲間に入ることが目標です。大竹厩舎では1頭1頭に対してしっかりとしつけをしながら、先入観を持たず色々なチャレンジを試みつつ普段の稽古を進めています。本馬もこの後の成長過程を見守りながら、どんな特徴や適性を持っているのか吟味していきます。3歳春の大舞台は、かつてルージュバックで悔しい思いもしています。もう一度、タイトルが狙えるチャンスを本馬でつかみ取り、会員の皆様と喜びを分かちあえる瞬間を迎えたいと思います。

ドゥラメンテ	キングマンボ	Mr.Prospector
Duramente	Kingmambo	Miesque
鹿 2012	King Kamehameha	*ラストタイクーン
鹿 2001	*マンファス	Manfath
鹿 2000	Admirer	Pilot Bird
鹿 2000	*サンデーサイレンス	Halo
鹿 2000	アドマイヤグロヴ	Sunday Silence
鹿 2000	Admire Groove	Wishing Well
鹿 2000	エアグルーヴ	*トニービン
鹿 2000	Air Groove	ダイナカール
鹿 2007	スマートストライク	Mr.Prospector
鹿 2007	Zanzibari	Smart Strike
鹿 2007	Zanzibari	Classy'n Smart
鹿 2007	ジンジベリン	Zieten
鹿 2007	Zinziberine	Amenixa
鹿 2008	カルドゥネヴェ	Kaldoun
鹿 2008	Terra Alta	Kaldounevees
鹿 2008	黒鹿	Safarao
鹿 2008	トウジュールジュスト	Always Fair
鹿 2008	Toujours Juste	Soloist

Mr. Prospector: S4×M4 Danzig: M5×M5



管理予定調教師

大竹正博調教師(美浦)

◆1969年12月30日生 ◆2009年開業(15年目) ◆JRA通算323勝 ◆JRA重賞17勝 ※成績は2023年4月16日現在

【主な管理馬】

- プラストワンピース:有馬記念(G1)、AJCC(G2)
- ルージュバック:毎日王冠(G2)、オークス(G1)2着
- フレンチカクタス:フリーズレビュー(G2)
- ザダル:京都金杯(G3)、エプソムC(G3)
- ソーヴァリアント:チャレンジC(G3)2回
- ジェベルムーサ:エルムS(G3)
- グレーターロンドン:中京記念(G3)
- デアレガーロ:京都牝馬S(G3)
- ホウオウピースフル:フローラS(G2)2着
- ピースワンパラダイ:京都金杯(G3)2着



ファミリー(母系)

母の父 **ザンジバリ** Zanzibari は米国産、仏2勝、カプール賞-G3。主な産駒: *ノンザ(ジャン ロマネ賞-G1, Prix de la Pepiniere-L)、バガデュール(香)ジョイフルトリニティ(ボルト マヨ賞-G3, セレブレイション C-G3)、クールドピエール(セーネワーズ賞-G3, アペイユド ロンシャン賞-G1 3着)、サンキュー バイバイ(Prix Casimir Delamarre-L, オマール賞-G3 3着)

母 ***ノンザ** Nonza (14 Zanzibari) 仏国産、仏5勝、ジャン ロマネ賞-G1(芝2000m)、Prix de la Pepiniere-L(芝2100m)。産駒 カップコルス(20 牝 鹿 ロードカナロア)入着、◎モデルニスモ(21 牝 黒鹿 ハーツクライ)未出走

祖母 テラ アルタ Terra Alta (08 Kaldouneves) 仏2戦。産駒 テラ ディナ Terra Dina (牝 Doctor Dino) 仏2勝 テオレム Theoreme(駟 Doctor Dino) 仏1勝 ゴールド マウンテン Gold Mountain(駟 Doctor Dino) 仏1勝

曾祖母 トウジュール ジュスト Toujours Juste (91 Always Fair) 仏1勝。産駒 **テール アテル** Terre a Terre: 仏6勝、オペラ賞-G1, Coupe du Fonds Europeen de l'Elevage-L, Prix Coronation-L, Prix d'Automne-L, シュマンド フェール デュ ノール賞-G3 3着, Prix Ceres-L 3着, アンドレ バボワ賞-G3 4着, UAE 1勝, ドバイ デューティ フリー-G1, 香港入着, 香港 C-G1 3着。産駒

テラ インコグニタ Terra Incognita: 仏3勝, Prix Luthier-L 2着, クレオパトル賞-G3 3着, Prix du Ranelagh-L 3着

カシュゲ Kachgai: 仏12勝, Prix Pelleas-L, モートリー賞-G3 2着, Prix de Bonneval-L 2着, クインシー賞-G3 3着, ギョームドルナーノ賞-G2 4着, UAE 1勝

ラ ヴィヴ パランス La Vive Parence: 不出走。産駒

ラ パランス La Parence: 仏4勝, Prix Madame Jean Couturie-L

ソロイスト Soloist (86 Alleged) 不出走。産駒

スウィート スポット Sweet Spot: 仏2勝

五代母 **ソロ ハイナ** Solo Haina (76 Solo Landing) 北米13勝, Criterium S, Delray S, Office Queen S, オーキッド H-G2 3着。産駒

ポリッシュト プラス Polished Brass: 北米6勝, サンフォード S-G3, Battlefield S-L 2着, OBS Championship S 3着。種牡馬

配合診断

二冠牝馬スターズオンアースを想起、早逝した父の最終世代からの最高傑作へ

母ノンザはジャンロマネ賞(仏G1・芝2000m)の勝ち馬。2代母Terra Altaの全姉にオペラ賞(仏G1・芝2000m)を勝ったTerre a Terreがいます。父ドゥラメンテはタイトルホルダー、スターズオンアース、リパティアアイランドと立て続けに名馬を送り出し、ディープインパクトやキングカメハメハ亡き後のわが国でエース格の種牡馬に上り詰めました。それだけに9歳の若さで早世したのは惜まれます。母方にSmart Strikeの血を引く同産駒は6頭出走し、二冠牝馬スターズオンアースをはじめ4頭が勝ち馬となり、本馬と同じ牝馬に限ると出走2頭がいずれも勝ち上がっています。フランス血脈特有の斬れ味を母から受け、芝マイル〜中距離向きで差し脚を伸ばしてくるイメージです。ドゥラメンテ産駒らしく3歳春にガンと力をつけ、クラシックロードに乗ってくるでしょう。

フィオドラの22

全400口 | 1口出資額95,000円(税込) | 総額3,800万円(税込) セレクトセール2022購買馬

生産牧場 社台ファーム 育成牧場 社台ファーム(予定)



独オークスを制した母が魅了、様々な舞台での成功を確信する

現時点における馬体の特徴と適性

マンハッタンカフェ、エイシンフラッシュ、ブエナビスタ、シュネルマイスターなど、ドイツ母系をルーツに持つ日本の名馬は数多いが、G1独オークスを制した、この仔の母も、繁殖牝馬として大仕事を成し遂げるだけの潜在能力を秘めていることは、間違いないでしょう。この牡駒に関しては、もう少し尻全体に肉が付いて欲しいところだが、胸筋の発達した、深い胸前、背腰のラインの綺麗さ、胴伸びの良さなど、褒められる点を多数保持していることも確かです。また、前肢の出のスムーズさ、飛節の伸びの素晴らしさが生み出す脚捌きの良さも、高い資質を感じさせるポイント。今後、運動を重ねながら、飼育をしっかり喰っていけば、トモの力強さも増していくと見えています。母系に加え、父も芝、ダートともに強豪を送り出すキズナであることから、この仔もパワーを要する芝、もしくは脚拔きの良いダートの中距離戦で実力を発揮することになりそうだが、成長過程で、いい意味での予期せぬ変わり身を見せる可能性も十分。2歳夏からガンガン動くタイプではないものの、3歳以降の豊かな成長力を糧に、この馬ならではのユニークな蹄跡を刻んでいくことを楽しみにしています。

大竹正博調教師コメント

母フィオドラは比較的小柄な産駒をターフに送り勝利を飾っていますが、現役馬の全兄リメンバーメモリーは460キロでデビューし、体重を増加させながら2勝を挙げています。やはりその位の馬格の方が期待値は高いように思います。その点、本馬に関しては、がっしりした馬体が印象に残り骨量もありそうで、理想的なサイズ感に成長してくれるのではないのでしょうか。動きは重苦しさがなく脚取りも軽快、成功している配合の後押しもあり、全兄以上の活躍を期待しています。父キズナはスプリンターからステイヤーまで多様な重賞馬を誕生させています。それだけに姉にはとらわれず、本馬の良いところを引き出し、柔軟な見方で適性を探り、1つでも多く勝てるような舞台を用意していきたいと思っています。

	*サンデーサイレンス	Halo
ディーブインパクト	Sunday Silence	Wishing Well
Deep Impact		
鹿 2002	*ウインドインハーヘア	Alzao
キズナ	Wind In Her Hair	Burghclere
Kizuna		
青鹿 2010	ストームキャット	Storm Bird
*キャットクイル	Storm Cat	Terlingua
Catequil		
鹿 1990	パシフィックプリンセス	Damascus
	Pacific Princess	Fiji
	ダッシングブレイド	Elegant Air
ロードオブイングランド	Dashing Blade	Sharp Castan
Lord of England		
栗 2003	ロヴェリア	Los Santos
*フィオドラ	Loveria	Liranga
Feodora		
栗 2011	グレイントン	Green Dancer
フォーエヴァーナイス	Greinton	Crystal Queen
Forever Nice		
栗 1994	フォックスフォーゴールド	Glint of Gold
	Fox for Gold	Little Bittern



管理予定調教師

大竹正博調教師(美浦)

◆1969年12月30日生 ◆2009年開業(15年目) ◆JRA通算323勝 ◆JRA重賞17勝 ※成績は2023年4月16日現在

【主な管理馬】

- プラストワンピース:有馬記念(G1)、AJCC(G2)
- ルージュバック:毎日王冠(G2)、オークス(G1)2着
- フレンチカクタス:フリーズレビュー(G2)
- ザダル:京都金杯(G3)、エプソムC(G3)
- ソーヴァリアント:チャレンジC(G3)2回
- ジェバルムーサ:エルムS(G3)
- グレーターロンドン:中京記念(G3)
- デアレガーロ:京都牝馬S(G3)
- ホウオウピースフル:フローラS(G2)2着
- ピースワンパラディ:京都金杯(G3)2着



ファミリー(母系)

母の父 **ロード オブ イングランド** Lord of England は独産、伊独4勝、ダルマイヤー大賞典-G1。主な産駒:イスファハーン(独ダービー-G1)、パルマス(独オークス-G1)。【BMS:主な産駒】クリスタル クリフス(ナッソー-S-G2)、シーベイ(ウィンターファヴォリテン賞-G3)、レイディキラー(ジルベルネ プフェールト-G3)、パディシャフ(ラ フォルス賞-G3 2着)

母 ***フィオドラ** Feodora (11 Lord of England) 独産、独1勝、独オークス-G1(芝2200m)、ウィンターケーニギン賞-G3 2着、Winterkonigin-Trial-L 2着、バイエルン大賞典-G1 4着、仏入着、コリダ賞-G2 4着。産駒

リメンバーメモリー(17牝 鹿 キズナ) 2勝、栗島特別(芝1800m)、㊟アレンシュタイン(18牝 鹿 ディーブインパクト)入着、佐賀公1勝、㊟ウエストファリア(19牝 黒鹿 ディーブインパクト) 1勝、㊟フェステスバント(20牝 鹿 キズナ) 1勝、㊟

祖母 **フォーエヴァー ナイス** Forever Nice (94 Greinton) 独5勝。産駒 **フォーザ ミリオンキッス** Forthe Millionkiss (牡 Dashing Blade) 独2勝、ハノーファー貯蓄銀行賞-G2、ヘッセン マイレ-G3 2着、オイロパマイレ-G2 3着、ヴィルトシャフト大賞典-G3 3着、仏5勝、Grand Prix Anjou Bretagne-L、Prix du Ranelagh-L。種牡馬

フォーエヴァー フリー Forever Free (驢 Platini) 独5勝、Preis von Schlenderhan-L、ドイッチャー ヘロルト賞-G3 4着、愛障1勝

フォーエヴァー ビューティ Forever Beauty (牝 Dashing Blade) 独1勝、Grosser Preis von Engel and Volkers Commercial-L 2着、フランツギンター フォン ゲルトナー記念-G3 4着

フォーエヴァー ナディーネ Forever Nadine (牝 Kornado) 独1勝、Mulheimer EBF Ladies Cup-L 3着

前祖母 **フォックス フォー ゴールド** Fox for Gold (89 Glint of Gold) 独1勝。産駒

フリートヘルモ Friedhelmo: 独2勝、Fruhjahrszuchtpreis der Dreijahren-L、英1勝、英障4勝

四代母 **リトルビターン** Little Bittern (82 Riva Ridge) 英入着。産駒 **マイプリティラヴ** My Pretty Love: 伊1勝

五代母 **スプレイ** Spray (69 Forti) 北米7勝、Tri-State H

配合診断

欧州の重厚さが特筆される母系、底力と成長力で芝2400mの頂点へ

リメンバーメモリー(現2勝クラス)やフェステスバント(現1勝クラス)の全弟で、ハノーファー貯蓄銀行賞(独G2・芝1600m)を勝ったForthe Millionkissの甥にあたります。母フィオドラは独オークス(G1・芝2200m)の勝ち馬。母の父Lord of Englandはバイエリシエスツフトレネン(独G1・芝2000m)を、2代母の父GreintonはハリウッドゴールドC(米G1・ダ10F)を勝ち、3代母の父Glint of Goldはヨーロッパで芝2400m以上の大レースを勝ちまくりました。母方には代々スタミナ豊富な種牡馬が配されており、母はMill Reef(欧州2400m路線で無敵を誇る)を5×4で持ちます。欧州血脈の重厚さが前面に出た配合で、底力と成長力に富み、直線の長いコースを大きなストライドでしっかり差してくるイメージの中距離馬。成長力も十分です。

ウイングレットの22

全400口 | 1口出資額75,000円(税込) | 総額3,000万円(税込)

生産牧場 社台ファーム 育成牧場 社台ファーム(予定)



重賞馬の母は産駒も勝利を量産、名種牡馬の道を歩む父にG1制覇を託す

現時点における馬体の特徴と適性

4歳春のG3中山牝馬Sでタイトル獲得に成功したほか、3歳時のG1秋華賞で3着、4、6歳時のG3京都牝馬Sで2着、そしてラストランとなる6歳時の中山牝馬Sでも2着と、4シーズンにわたり牝馬重賞戦線を大いに沸かせた母と、初年度産駒から年度代表馬イクイノックス、2年目産駒から皐月賞馬ソールオリエンズと、相次いで大物を送り出した父とのマッチングから登場した、重厚感と柔軟性を併せ持つ好馬体の持ち主。キ甲から直線的に伸びた力強い首、肩の傾斜角度が良く、胸部の深みもある、胸筋の発達が著しい胸前、形状が良好で、容量も大きいトモは、パワフルさの源。一方、伸びやかで深みもある胴、可動域の大きい飛節は、父の一流産駒たちに共通する、鋭い切れ味を予見させるものとなっています。脚向き、蹄形の良さが物語る脚元の丈夫さ、人の指示を素直に受け入れる気性の素直さ、穏やかさから、順調に育成過程を進んでいけるはず。また、物怖じせず、常に悠然としている点は、母父に入る、1990年代に日仏でG1を計5勝した歴史的名馬タイキシャトルを彷彿とさせるところがあります。3歳春の大願成就を目指し、2歳秋のデビュー戦への準備を整えていきたいところです。

斎藤誠調教師コメント

全体から伝わる雰囲気が良く、これといって気になるポイントもありません。歩きもメリハリがついていて、素軽く動いています。将来性のある素材ということは間違いありません。フットワークを見る限りは、芝でも、ダートでも、大丈夫そうなので選択肢が広がります。血統的なイメージならマイルから中距離、タフな馬場も踏ん張れるタイプではないでしょうか。いずれにしても今後の成長をしっかりと見極めて、本馬の個性を磨いていきます。母ウイングレットは重賞ホースで、繁殖牝馬としても実績は十分。そして父キタサンブラックは初年度産駒から素晴らしい活躍馬を送っていますから、会員の皆様の期待も大きいでしょう。東京サラブレッドクラブにお声がけ頂いたからには、しっかり期待に応えられるよう頑張っていきたいと思っています。

ブラックタイド	*サンデーサイレンス	Halo
Black Tide	Sunday Silence	Wishing Well
黒鹿 2001	*ウインドインハーヘア	Alzao
キタサンブラック	Wind In Her Hair	Burghclere
Kitasan Black		
鹿 2012	サクラバクシンオー	サクラユタカオー
シュガーハート	Sakura Bakushin O	サクラハコロモ
Sugar Heart		
鹿 2005	オトメゴコロ	*ジャックアンジェルーチ
	Otome Gokoro	*ティズリー
	デヴィルズバッグ	Halo
*タイキシャトル	Devil's Bag	Ballade
Taiki Shuttle		
栗 1994	*ウェルシュマフィン	Caerleon
ウイングレット	Welsh Muffin	Muffitys
Winglet		
鹿 2001	*サンデーサイレンス	Halo
エアウイングス	Sunday Silence	Wishing Well
Air Wings		
青鹿 1994	*シークレットシェアラー	Secretariat
	Secret Sharer	Nijana

サンデーサイレンス:S3×M3 Halo:S4×M4×M4 Lyphard:S5×S5 Nijinsky:M5×M5



管理予定調教師

斎藤誠調教師(美浦)

◆1971年4月7日生 ◆2006年開業(18年目) ◆JRA通算453勝 ◆JRA重賞10勝 ※成績は2023年4月16日現在

【主な管理馬】

- スーヴェレコルト:オークス(G1) ●ゴスホークケン:朝日杯FS(G1) ●シャドウディーヴァ:府中牝馬S(G2)
- エスメラルディーナ:関東オークス(JPN2) ●サンツェッペリン:京成杯(G3)、皐月賞(G1)2着
- マドラスチェック:TCK女王盃(JPN3)、JBCレディスクラシック(JPN1)2着2回 ●フルデプスリーダー:エルムS(G3)
- トーキングドラム:阪急杯(G3) ●フランクジェリコ:京成杯AH(G3) ●クリスマス:函館2歳S(G3)



ファミリー(母系)

母の父 *タイキシャトルは米国産、年度代表馬、中央・仏11勝、ジャック ル マロワ賞-G1、安田記念-JPN1。主な産駒:メイショウボーラー(フェブラリー S -JPN1)、ウインクビューガー(NHKマイルC-JPN1)。【BMS:主な産駒】ワンアンドオンリー(ダービー-G1)、レースミノル(桜花賞-G1)、ストレイトガール(スプリンターズ S-G1、ヴィクトリアマイル-G1 2回)

母 **ウイングレット**(01 *タイキシャトル) 4勝、中山牝馬 S-JPN3(芝1800m)、同-G3 2着、ターコイズ S-L(芝1800m)、同 2着、同 3着、スイートピー S-L(芝1800m)、京都牝馬 S-G3 2着、同-JPN3 2着、新潟 2歳 S-JPN3 2着、秋華賞-JPN1 3着、府中牝馬 S-JPN3 4着。産駒 ティルトウイング(08 牝 鹿 *シンボリクリスエス)入着、兵庫公 2勝 ウイングドウィール(09 牝 鹿 *シンボリクリスエス) 5勝、佐渡 S(芝2000m)、冬至特別(芝1800m)、カーネーション C(芝1800m)。産駒 ビートザウイングス(騙スクリーンヒーロー) 2勝、㊟ タブレットピーシー(11 騙 芦 *チチカステナゴ) 4勝、いわき特別(芝1800m) ウイングチップ(12 騙 黒鹿 *シンボリクリスエス) 4勝、外房特別(芝1600m)、福島テレビオープン-OP 3着、セントライト記念-G2 4着 ガルトマーン(14 牝 鹿 *キングズベスト)入着、佐賀公 3勝 ルールザウイングス(19 牝 鹿 ルーラーシップ)入着、兵庫公 1勝、㊟

祖母 **エアウイングス**(94 *サンデーサイレンス) 3勝、阪神牝馬特別-JPN2、スイートピー S-OP。産駒 **エオリアンハープ**(牝 キングカメハメハ) 5勝、天の川 S、信濃川特別、中山牝馬 S-G3 3着、ターコイズ S-L 3着、紫苑 S-L 3着。産駒 シェパードボーイ(牡 *ノヴェリスト) 3勝、㊟ エクスプロイト(牡 *コマンドーインチーフ) 5勝、両国特別 キングストーン(牡 キングカメハメハ) 4勝、稲荷特別、若戸大橋特別 クリッピングエリア(牝 *シンボリクリスエス) 1勝、新潟 2歳 S-G3 5着 ソアリングピラス(牝 *エルコンドルパサー) 1勝。産駒 ナムラバンザイ(牡 *ヨハネスブルグ) 1勝、もみじ S-OP 3着、中京 2歳 S-OP 3着、南関東公 1勝、高知公 2勝、岩手公 6勝、㊟ オクシペタルム(牝 *シンボリクリスエス) 1勝。産駒 グランツァアテム(牡 *マクフィ) 3勝、㊟

配合診断

初年度から驚愕の破壊力を産駒に伝えた父、好相性が見込まれる配合に広がる夢舞台

父キタサンブラックは、初年度産駒から年度代表馬イクイノックス、2年目に皐月賞馬ソールオリエンズを出しました。いま最も注目を集める新鋭種牡馬です。母ウイングレットは中山牝馬S(G3)を勝ち、秋華賞(G1)でも3着となった活躍馬。繁殖牝馬としてウイングチップ(セントライト記念4着)、ウイングドウィール(オープン)、タブレットピーシー(3勝クラス)を出しています。母はHalo 3×3で、自身はその息子サンデーサイレンス3×3。キタサンブラック産駒はHalo-サンデーサイレンスのラインを母方に入れた配合が成功しています。「サンデー3×3」は、少ないサンプルからラヴェル(アルテミスS)、ヒップホップソウル(フラワーC2着)、ヴェルテンベルク(京都2歳S3着)などが出ており、好ましい配合パターンといえます。芝向きの中距離タイプでしょう。

レッドヴァールの22

全400口 | 1口出資額60,000円(税込) | 総額2,400万円(税込)

生産牧場 奥山ファーム 育成牧場 ファンタストクラブ(予定)



欧米に枝葉を広げる良質な牝系、父の爆発力が夢を後押しする

現時点における馬体の特徴と適性

クラブ所属馬として走り、芝1600~2200m戦で計3勝をマークした母が、日豪でG1勝ち産駒を送り出すなど、種牡馬としても日の出の勢いにある父とのマッチングから誕生させた、昂揚感を覚えさせる要素を数多く保持する初仔。4月生まれであり、現時点ではコンパクトな馬体となっていますが、「全身バネの塊」といった表現がピッタリとくる、高い資質の持ち主であることを確信させる、非凡な身のこなしを見せています。短く、強靱な背筋が光る背中、張りがあり、力強さを感じさせるトモは、柔軟性に富んだ、素晴らしい動きを生み出すための強力なエンジン。また、深みのある胸前、肋張りが良好な胴も、馬体のバランスの良さに直結する、重要な役割を担っています。脚向きが綺麗で、諸関節の造りも良好な前肢、飛節の可動域が大きい後肢と、脚元が丈夫なことから、育成過程においても順調なステップを踏んでいけるはず。2歳夏には、しっかりと仕上がった状態で、デビュー戦を迎えると見えています。母は、やや力の要る芝コースに向くパワフルな先行力を武器としましたが、母父の血も色濃く伝わった本馬は、鋭い切れ味を駆使して、芝マイル戦線で大きな輝きを放つことでしょう。

鹿戸雄一調教師コメント

母レッドヴァールは鹿戸厩舎で頑張ってくれたクラブ所属馬です。デビュー後の大怪我も克服しつつ、中京、新潟、東京の芝で勝ち、通算3勝を挙げてくれました。馬格もありパワーも備えていましたが、晩年は府中の直線で33秒台の上がりを経験したように、ディープインパクト産駒らしい瞬発力も子供に遺伝させて欲しいという願いもあります。父にモーリスを迎えた初仔は、いい意味でどっしりとした馬体が印象に残り、配合のバランスの良さが雰囲気に出ていて、芝もダートもこなせる逞しさを感じています。思えば母は師匠である藤澤和雄元調教師の「1勝より一生」を体現したような存在。その物語の続きは母が参戦できなかった3歳春の晴れの舞台、何とかそこで本馬を活躍させたいという思いにあふれています。

スクリーンヒーロー	*グラスワンダー	Silver Hawk
Screen Hero	Grass Wonder	Ameriflora
栗 2004	ランニングヒロイン	*サンデーサイレンス
モーリス	Running Heroine	ダイナクトレス
Maurice		
鹿 2011	*カーネギー	Sadler's Wells
メジロフランシス	Carnegie	Detroit
Mejiro Frances		
鹿 2001	メジロモントレー	*モガミ
	Mejiro Monterey	メジロクインシー
メス		
黒鹿毛		
2022.4.19生		
ディープインパクト	*サンデーサイレンス	Halo
Deep Impact	Sunday Silence	Wishing Well
鹿 2002	*ウインドインハーヘア	Alzao
レッドヴァール	Wind In Her Hair	Burghclere
Red Var		
鹿 2015	ディストレイドビューマー	*フォーティナイナー
	*レッドヴァージン	Distorted Humor
Red Virgin		Danzig's Beauty
鹿 2009	ラファーマ	Giant's Causeway
	Lafirma	La Affirmed

サンデーサイレンス:M3×S4 Danzig:S5×M5 Lyphard:S5×M5



管理予定調教師

鹿戸雄一調教師(美浦)

◆1962年5月23日生 ◆2008年開業(16年目) ◆JRA通算403勝 ◆JRA重賞13勝 ※成績は2023年4月16日現在

【主な管理馬】

- エフフォーリア:有馬記念(G1)、天皇賞・秋(G1)
- スクリーンヒーロー:ジャパンC(G1)
- ウインカーネリアン:東京新聞杯(G3)
- スマートオリオン:オーシャンS(G3)
- ピツシュ:紫苑S(G3)、オークス(G1)3着
- フォーエバーモア:クイーンC(G3)
- ベストアクター:阪急杯(G3)
- エフティマイア:桜花賞(G1)2着、オークス(G1)2着
- スピードリッパー:フィリーズレビュー(G2)2着
- レッドセシリア:阪神JF(G1)3着



ファミリー(母系)

母の父 **ディープインパクト**は早来産、年度代表馬(2回)、12勝、三冠、ジャパンC-G1。総合・2歳チャンピオンサイアー。主な産駒:コントレイル(三冠、ジャパンC-G1)、ジェンティルドンナ(ジャパンC-G1 2回)。**【BMS:主な産駒】**プロウアウト(ファースト レイディS-G1)、キセキ(菊花賞-G1)、ジェラルディーナ(エリザベス女王杯-G1)、ドルチェモア(朝日杯フューチャリティS-G1)

母 **レッドヴァール**(15 ディープインパクト)3勝。本馬が初仔
 祖母 ***レッドヴァージン**(09 Distorted Humor)米国産、わが国で1勝。産駒で勝馬は1頭

曾祖母 **ラファーマ Lafirma**(05 Giant's Causeway)不出走。産駒マイネフュー ココ My Nephew Koko:北米2勝

四代母 **ラアファームド La Affirmed**(83 Affirmed)北米1勝。産駒

テラフランチェスカ Della Francesca:愛・北米4勝、ベルモントBCH-G2、ガリニユールS-G3、愛2000ギニー-G1 3着、英入着、クレイヴェンS-G3 2着、サマーヴィル タタソールS-G3 2着。種牡馬

カレス Caress:北米13勝、アシーニアH-G3、ポーカールH-G3、ボウゲイH-G3、同2着、ノーブル ダムゼルH-G3 2着。**スカイメサ Sky Mesa**(ホープフルS-G1)、**ゴールドデンヴェルヴェット Golden Velvet**(セイビンH-G3)の母、**マックスフィールド Maxfield**(クラークS-G1)、**ルカラン Lucullan**(ニッカポッカーS-G2)、**イノヴァティブ アイディア Innovative Idea**(グルーピードールS-G3)、**アルキメデス**(朝日チャレンジC-G3)の祖母

バーンスタイン Bernstein:愛英4勝、レイルウェイS-G3、コンコルドS-G3。重チャンピオンサイアー

カントリーキャット Country Cat:北米9勝、ガーデニアH-G3、Valley View Breeders' Cup S-L、Edgewood S-L、エイコーンS-G1 2着

ユニファイ Unify:北米1勝、ニジャナS-G3 2着、Sands Point H-L 2着
エメアス Emmaus:不出走。**ワイスマンズフェリー Wiseman's Ferry**(ウエストヴァージニアダービー-G3)の母

アファームザゴールド Affirm the Gold:北米入着。**ミスターストーム Mister Storm**(オトニョ賞-G2)の祖母

カプシキ Kapsiki:北米1戦。**モースタッシュ Mo Stash**(トランシルヴァニアS-G3)の祖母

配合診断

父は母父ディープとの配合で破壊力発揮、現役馬の成功例からも楽しみ尽きない初仔

母レッドヴァールは現役時代に芝1600~2200mで3勝。牝祖La Affirmedの子孫にはSky Mesa、Maxfield、Matareyaといった北米G1勝ち馬がいます。父モーリスはジャックドル(大阪杯)やピクシーナイト(スプリンターズS)を出していますが、ディープインパクト肌との配合はとくに素晴らしく、このパターンの勝ち馬率はロードカナロア、ルーラーシップ、ハービンジャー、エピファネイアなどを凌いでいるほどです。本馬のようにDanzigのクロスを併せ持つ場合、ジェラルディーナ(エリザベス女王杯)、ルークズネスト(ファルコンS)と2頭の重賞勝ち馬が出ているほか、アバンチュリエ(現3勝)、ドナウエレン(現2勝)と、出走7頭中4頭が勝ち馬となっています。モーリス産駒としても最も成功している配合パターンといえます。芝向きの中距離タイプでしょう。

レッドエルザの22

全400口 | 1口出資額95,000円(税込) | 総額3,800万円(税込)

生産牧場 レイクヴィラファーム 育成牧場 ノーザンファーム(予定)



兄姉が逃した重賞の夢を奪取、父の代表産駒へ自信しかない

現時点における馬体の特徴と適性

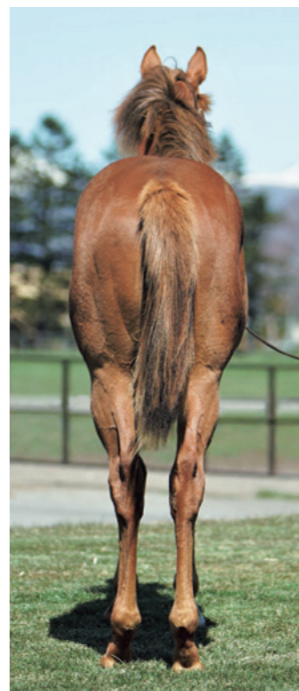
3勝クラス比叡Sなどデビューから7戦目で4勝をマークし、G2日経新春杯で2着したレッドレオン、同じく3勝クラス甲斐路Sを含む4勝をあげ、3歳春にはアネモネS2着から桜花賞にも駒を進めたレッドアステルらを送り出し、繁殖牝馬としての確かな実績を積み上げている母が、2024年デビュー組が初年度産駒となるフレッシュな父とマッチングされて登場した本馬は、兄姉たちとは一味違う、伸びやかさと野性味を兼ね備えた、未知の魅力に溢れる若駒となりました。高く、長く、太さもある首、肩の傾斜角度が良く、胸筋が発達した、深みのある胸前、雄大な馬格に相応しい大きさを持つトモ、伸びが素晴らしい胴を上手に連動させて生み出す身のこなしは、荒削りながらも迫力満点。また、何ら問題を感じない前肢、十分な飛節の伸びを備えている後肢と、脚元が丈夫な点も、有力なセールスポイントといえるでしょう。気性には、まだ幼さも残しますが、育成過程を経て、精神面の成長も遂げれば、力感溢れる走行フォームから繰り出される、レベルの高い走りが見られるはず。仕上がりは早く、2歳夏のデビューも十分に可能。芝、ダートを問わず、マイル戦線が本領を発揮する舞台です。

木村哲也調教師コメント

すごく歩きがいい第一印象。四肢の運び、踏み込みが良く、全身を使って大きく動いていて窮屈なところがありません。馬体は父に似ている感じで教科書通りのいい馬。血統からも芝の中距離で能力が発揮できると思います。順調に成長してくれば、2歳から父の戦績をたどるような活躍も夢ではありません。そこは馬体の完成度を見ながら、素質をいかに伸ばしていけるか、慌てずにデビューへの計画を練っていきたいと思います。近年は注目度の高い馬を管理させて頂くことも増え、広く競馬ファンの皆様の期待に応えたいという責任感も持っています。本馬も含め、これだけの素材をお預かりするからには、東京サラブレッドクラブでも大きな舞台へと向かい、会員の皆様と勝利をともに喜びたいという思いにかられています。

キングカメハメハ	Kingmambo
ロードカナロア	King Kamehameha *マンファス
Lord Kanaloa	
鹿 2008	レディブラッサム Storm Cat
サートウルナーリア	Lady Blossom *サラトガデュー
Saturnalia	
黒鹿 2016	スペシャルウィーク *サンデーサイレンス
シーザリオ	Special Week キャンペンガール
Cesario	
青 2002	*キロフプレミアール Sadler's Wells
	Kirov Premiere Querida
牡	
栗毛	
2022.3.8生	
	ミスタープロスペクター Raise a Native
スマートストライク	Mr.Prospector Gold Digger
Smart Strike	
鹿 1992	クラッシュンスマート Smarten
*レッドエルザ	Classy'n Smart No Class
Red Elsa	
栗 2010	シアトリカル Nureyev
ベルヴァ	Theatrical *ツリーオブノレッジ
Belva	
鹿 1998	コミッティド Hagley
	Committed Minstinguette

Mr. Prospector:M3×S5 Northern Dancer:S5×M5



管理予定調教師

木村哲也調教師(美浦)

◆1972年11月16日生 ◆2011年開業(13年目) ◆JRA通算335勝 ◆JRA重賞20勝 ※成績は2023年4月16日現在

【主な管理馬】

- イクイノックス:ドバイSC(G1)、有馬記念(G1) ●ジオグリフ:皐月賞(G1) ●ステルヴィオ:マイルCS(G1)
- オーソリティ:アルゼンチン共和国杯(G2)2回 ●アルビアーノ:スワンS(G2) ●ファイナルジュ:フェアリーS(G3)、秋華賞(G1)2着
- プリモシーン:東京新聞杯(G3) ●ゼーヴィント:ラジオNIKKEI賞(G3) ●ダーリントンホール:共同通信杯(G3)
- プレサージュ:フトクイーンC(G3)



ファミリー(母系)

母の父 **スマート ストライク** Smart Strikeは加国産、北米6勝、フィリップH.アイズリンH-G1。北米チャンピオンサイアー。主な産駒:カーリン(B Cクラシック-G1)。(BMS:主な産駒)メイン ザット バード(ケンタッキー ダービー-G1)、リッチ ストライク(ケンタッキー ダービー-G1)、スターズオンアース(オークス-G1、桜花賞-G1)、ストロングリターン(安田記念-G1)

母 *レッドエルザ(10 Smart Strike)米国産、わが国で入着。産駒 **レッドレオン**(15 牝 青鹿 ディープインパクト)4勝、比叡S(芝2200m)、熊野特別(芝2200m)、栄特別(芝2000m)、日経新春杯-G2 2着、きさらぎ賞-G3 4着 **レッドアステル**(16 牝 鹿 ディープインパクト)4勝、甲斐路S(芝2000m)、山中湖特別(芝1800m)、ルズツ特別(芝1800m)、アネモネS-L 2着 ルージュアルル(19 牝 栗 ハーツクライ)1勝、[Ⓞ] ルージュリオンズ(20 牝 栗 ベルーサ)1戦、[Ⓞ] ルージュアリエル(21 牝 栗 レイデオロ)未出走

祖母 ベルヴァ Belva(98 Theatrical)不出走。産駒 **イングリッシュ チャンネル** English Channel(牡 Smart Strike)米芝牝馬チャンピオン、北米13勝、B Cターフ-G1、同3着、ユナイテッドネイションズS-G1(2回)、ジョー ハーシュ ターフ クラシック招待S-G1(2回)、同2着、ウッドフォード リザーヴ ターフ クラシックS-G1、ヴァージニア ダービー-G3、Colonial Turf Cup S-L、Woodlawn S-L、Canadian Turf H-L、ソード ダンサー招待S-G1 2着。種牡馬 **セッジフィールド** Sedgefield(牡 Smart Strike)北米2勝、レーンズ エンドS-G2 2着、トロピカル パーク ダービー-G3 2着。種牡馬 **ルーラ Lura**(牝 Street Cry)英1戦。産駒 **ルシーダ** Lucida(牝 Shamardal)愛1勝、モイグレア スタッドS-G1 2着、英1勝、ロックフェルS-G2、英1000ギニー-G1 2着 **ウィキッド チャーム** Wicked Charm(牝 Ghostzapper)北米1勝。産駒 **ボビース ウィキッドワン** Bobby's Wicked One(牡 Speightstown)北米6勝、カマンウェルズS-G3、Thanksgiving Classic S **ウィキッド ファスト** Wicked Fast(騙 Tourist)北米2勝、H. Allen Jerkens H 2着、W. L. マクナイトS-G3 3着

配合診断

クラシック路線で結果を出せる本格血統、キングカメハメハ系の父を迎え深める自信

母レッドエルザはEnglish Channel(BCターフなど芝G1を6勝)の半妹。繁殖牝馬としてレッドレオン(日経新春杯2着)、レッドアステル(オープン)を産みました。コートアウト(ストロングリターン、レッドオーヴァルの母)やストライクルート(エアポス、カイザーミノルの母)がそうであるように、Smart Strike牝馬は総じて繁殖牝馬として優秀です。父サートウルナーリアはロードカナロアの代表産駒で、エピファネイアやリオンディーズの弟。種牡馬として成功する下地は十分すぎるほどです。そして、Smart Strikeを父に持つ繁殖牝馬はキングカメハメハ系種牡馬と相性がよく、スターズオンアースやカイザーミノルが出ています。本馬はまさにこのパターン。「Nureyev≒Sadler's Wells」の3/4同血クロス4・6×4で、クラシック路線での大爆発が期待できる本格血統です。

レッドストーリーアの22

全400口 | 1口出資額60,000円(税込) | 総額2,400万円(税込)

生産牧場 奥山ファーム 育成牧場 吉澤ステーブル・BTC(予定)



大舞台を沸かせてきた一族、良血の逸材が栄華を繋げる

現時点における馬体の特徴と適性

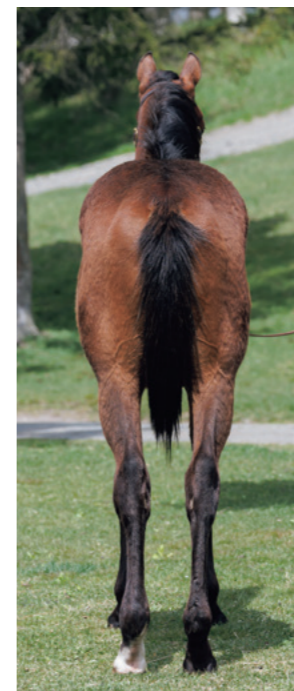
ディーブインパクトを父に持つクラブ所属馬としてデビューし、コンパクトな馬体ながら、やや力の要る馬場コンディションとなった芝2000m戦で二つの勝ち鞍をマークした母が送り込んできた、明日への希望に満ちあふれた好素材。父に500キロ前後でレースに臨んでいた、G1戦2勝馬サートウルナーリアを迎えたことも功を奏し、初仔らしい華奢な印象は皆無で、長さ、太さともに十分な首、幅があり、胸筋がよく発達した胸前、丸みを帯びた、形状も綺麗なトモ、厚み、深みがある胴は、逞しさや丈夫さを象徴するパーツとなっています。加えて、筋肉や靭帯の柔軟性が生み出す、伸びやかな身のこなしも、競走馬としての強力な武器となり得る、文句なしのストロングポイントといえるでしょう。脚向きのよい前肢、伸びのある飛節を備えた後肢と、脚元にも問題はありますが、伸びしろが大きなタイプだけに、早い時期から仕上げ切るよりも、潜在能力を引き出しながら、じっくりと育て上げた方が、より大きな勲章を得られるイメージがあります。距離、コースに関する適応力も高いだけに、芝、ダートを股にかけた、マイル～中距離戦線における、息の長い活躍を展開してくれるはずです。

田中博康調教師コメント

母レッドストーリーアはコンパクトな馬体のディーブインパクト産駒ながら22戦を消化、そして芝2000mで2勝を挙げているように、現役時のタフさを産駒に伝えてくれるのではないのでしょうか。初仔ですが、立派な馬格を誇ったサートウルナーリアが父に選ばれたことから、サイズの心配はなさそうで、距離は融通が利くと思います。歩様も含め動きには柔らかさがあり好感が持て、父譲りの瞬発力をレースで発揮してくれるはずです。父はもとより、近親の成功馬は2歳時から3歳春に能力全開のタイプも多く、それに倣えばクラシックロードを突き進むことになります。ただそこで燃え尽きてしまっは意味がありませんので、焦らずしっかりと成長の進度を見極め、古馬になっても活躍できる環境を整えていきたいと思っています。

キングカメハメハ	Kingmambo
ロードカナロア	King Kamehameha *マンファス
Lord Kanaloa	
鹿 2008	レディブラッサム Storm Cat
サートウルナーリア	Lady Blossom *サラトガデビュー
Saturnalia	
黒鹿 2016	スペシャルウィーク *サンデーサイレンス
シーザリオ	Special Week キャンベンガール
Cesario	
青 2002	*キロフプリミエール Sadler's Wells
	Kirov Premiere Querida
牡	
鹿毛	
2022.3.7生	
	*サンデーサイレンス Halo
ディーブインパクト	Sunday Silence Wishing Well
Deep Impact	
鹿 2002	*ウインドインハーヘア Alzao
レッドストーリーア	Wind In Her Hair Burghclere
Red Storia	
鹿 2014	マルジュ *ラストタイクーン
*アルレシヤ	Marju Flame of Tara
Alrescha	
黒鹿 2006	*レーヴディマン Highest Honor
	Reve d'Iman Numidie

サンデーサイレンス:M3×S4 ラストタイクーン:M4×S5



管理予定調教師

田中博康調教師(美浦)

◆1985年12月5日生 ◆2018年開業(6年目) ◆JRA通算126勝 ◆JRA重賞2勝 ※成績は2023年4月16日現在

【主な管理馬】

- レモンポップ:フェブラリーS(G1) ●バジオウ:プリンシパルS(L) ●コスモカレントウ:ケフェウスS ●ベジャール:毎日杯(G3)2着
- ローシャムパーク:セントライト記念(G2)3着 ●ボレンティア:フェアリーS(G3)3着 ●セイルオンセイラー:鳳雛S(L)3着
- ウィルソンテソーロ:招福S ●ニュートンテソーロ:銀蹄S ●モンブランテソーロ:五稜郭S



ファミリー(母系)

母の父 **ディーブインパクト**は早来産、年度代表馬(2回)、12勝、三冠、ジャパンC-G1。総合・2歳チャンピオンサイアー。主な産駒:コントレイル(三冠、ジャパンC-G1)、ジェンティルドンナ(ジャパンC-G1 2回)。【BMS:主な産駒】プロウアウト(ファーストレイディS-G1)、キセキ(菊花賞-G1)、ジェラルディーナ(エリザベス女王杯-G1)、ドルチェモア(朝日杯フューチャリティS-G1)

母 **レッドストーリーア**(14 ディーブインパクト) 2勝。本馬が初仔
 祖母 ***アルレシヤ Alrescha**(06 Marju)愛国産、仏入着。産駒
 レッドクーゲル(牡 ハーツクライ) 2勝
 キラメキビジョン(牡 ペルーサ)石川公4勝、兼六園ジュニアC 2着
 レッドブリエ(牝 ディーブインパクト)東海公3勝
 曾祖母 ***レーヴディマン Reve d'Iman**(01 Highest Honor) 仏国産、仏1勝。産駒
ベスラー Bethrah:愛3勝、愛1000ギニー-G1、愛1000ギニートライアルS-G3
 エールデュレーヴ:3勝、四国新聞杯
 四代母 **ニユミディ Numidie**(88 *バイアモン) 仏2勝、Prix de la Cochere-L、Prix de Thiberville-L 3着。産駒
***レーヴドスキー Reve d'Oscar**:仏1勝、サンタリ賞-G1、ヴェルメイユ賞-G1 2着、伊入着、ジョッキークラブ大賞典-G1 2着。産駒
レーヴディソール:最優秀2歳牝馬、4勝、阪神ジュベナイルフィリーズ-G1、デイリー杯2歳S-G2、チューリップ賞-G3
レーヴミストラル:4勝、日経新春杯-G2、青葉賞-G2、アザレア賞、アルゼンチン共和国杯-G2 3着。種牡馬
アプレザンレーヴ:3勝、青葉賞-JPN2、毎日杯-G3 3着
レーヴデトワール:3勝、紫苑S-L、白菊賞、桜花賞-G1 5着
レーヴダムール:1勝、阪神ジュベナイルフィリーズ-JPN1 2着
レーヴドリアン:2勝、福寿草特別、きさらぎ賞-G3 2着
レーヴアティン:2勝、青葉賞-G2 3着
ナイアガラ:5勝、すみれS-OP、比叡S、美作特別、端午S-OP 3着
ニユミデ Numidie:仏4勝、オカール賞-G2、英障5勝
サー エリック Sir Eric:仏5勝、Grand Prix Inter-Regional des 3 Ans-L、Derby du Languedoc-L 2着

配合診断

近親の牡馬は府中で名を馳せた実績、芝の中距離で抜群の瞬発力を発揮へ

母レッドストーリーアは芝2000mで2勝。3代母レーヴディマンは名繁殖牝馬レーヴドスキー(レーヴディソール、レーヴミストラル、アプレザンレーヴなどの母)の全妹にあたり、自身もBethrah(愛1000ギニー)を産んでポテンシャルの高さを示しました。「ディーブインパクト×Marju×Highest Honor」ですから、重厚なスタミナとしなやかな斬れに富む血統です。父サートウルナーリアはロードカナロアの代表産駒で、名繁殖牝馬シーザリオの息子。つまり、エピファネイアやリオンディーズの弟です。レッドストーリーアとの組み合わせはサンデーサイレンス4×3、ラストタイクーン5×4が生じ、芝中距離向きの斬れ味に富む配合です。この牝系の牡は青葉賞に出ると必ず勝ち負けしており、本馬もしなやかにストライドを伸ばして東京の直線を走破する姿が容易に想像できます。

プレシャライジングの22

全400口 | 1口出資額65,000円(税込) | 総額2,600万円(税込)

生産牧場 ノーザンファーム 育成牧場 ノーザンファーム(予定)



気鋭の父の魅力を引き出す好機、北米の頂点を知る母系が反撃する

現時点における馬体の特徴と適性

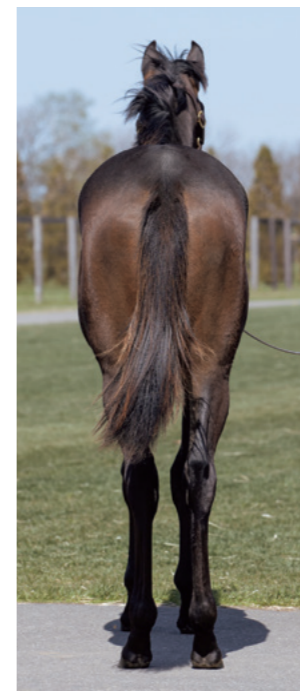
半姉にサンタアニタオークス、サンタマルガリータHなど米G1を3勝したバランス、ブリーダーズCクラシック、ブリーダーズCレイディーズクラシック、レイディーズシークレットS3回などG1タイトル13個を含む、デビュー戦以来の19連勝を記録し、2010年米年度代表馬、3年連続となる米古牝馬チャンピオンに選出された歴史的名牝ゼニヤッタを持つ、超名血馬である母が登場させた、体幹の強さを誇る、バランスが取れた好馬体の持ち主。力強い首差し、深く、牝駒らしからぬ逞しさを保持している胸前、腰にかけて美しいラインを描く背中、形状良く、容積も巨大なトモ、やや伸びやかさには欠けるものの、深みがあり、肋張りも素晴らしい胴は、米のダート競馬で頂点を極めたファミリーの血を、色濃く反映したパーツといえるでしょう。脚向きの綺麗な前肢、力感あふれる飛節を持つ後肢と脚元が丈夫で、気性も前向きなことから、極めて順調に育成過程における課題をクリアしていくはず。2歳夏には、十分に仕上がった状態で、競走馬としての第一歩を踏み出せると見えています。芝G1を2勝した父サートゥルナーリアの底力も活かせれば、世界レベルで活躍する、ダートマイラーが誕生するかもしれません。

宮田敬介調教師コメント

バランスが整った馬体は筋肉の柔軟性があり、背腰もしっかり使えています。ストライドが大きくゆったりと歩けていて、距離も対応できそうなイメージが広がります。父サートゥルナーリアの良い部分が少なからず出ているのかもしれませんが。母はレース実績こそありませんが、米年度代表馬ゼニヤッタの半妹、良血の真価を本馬に伝えて欲しいと思っています。血統的にも堂々と牝馬クラシックを目指していける逸材、厩舎の代表馬となれるよう、牧場とも密にコミュニケーションを図り成長を促していきます。昨年は連良く34勝を積み上げられましたが、その数字に甘んじず越えていけるように、1戦毎レースを使う大切さを噛みしめ、個性が違う馬たちの長所をどう活かしてあげられるか、真摯に考え抜いていきたいと思っています。

キングカメハメハ	Kingmambo
ロードカナロア	King Kamehameha
Lord Kanaloa	*マンファス
鹿 2008	Storm Cat
サートゥルナーリア	Lady Blossom
Saturnalia	*サラトガデュー
黒鹿 2016	*サンデーサイレンス
シーザリオ	Special Week
Cesario	キャンベンガール
青 2002	*キロフプレミア
*プレシャライジング	Sadler's Wells
Pressurizing	Kirov Premiere
黒鹿 2010	Querida
ヴェルティジヌー	Kingmambo
Vertigineux	Mr.Prospector
黒鹿 1995	Miesque
フォーザフラッグ	Sadler's Wells
For the Flag	Sequoyah
	Brigid
	Roberto
	Sharp Queen
	Forli
	In the Offing

Kingmambo:M3×S4 Sadler's Wells:S4×M4



管理予定調教師

宮田敬介調教師(美浦)

◆1980年10月8日生 ◆2020年開業(4年目) ◆JRA通算67勝 ◆JRA重賞2勝 ※成績は2023年4月16日現在

【主な管理馬】

- ダンシングプリンス:JBCスプリント(JPN1)
- インダストリア:ダービー脚CT(G3)
- フォラブリュエー:紅梅S(L)
- グレートマジシャン:毎日杯(G3)2着
- サトノウィザード:富士S(G2)2着
- ドゥラドレー:毎日杯(G3)3着、菊花賞(G1)4着
- エピファニー:ノベンバーS
- ノワールドゥジェ:ハケ岳特別
- スペシャルドラマ:秩父特別
- デイスモーメント:舞浜特別



ファミリー(母系)

母の父 **ヘンリーザナビゲーター** Henrythenavigator は米国産、愛英6勝、英2000ギニー-G1、愛2000ギニー-G1。主な産駒:スティルマン(フィニクスS-G1)、ペドロザグレイト(フィニクスS-G1)、ジョージヴァンクウヴァー(BCジュヴェナイルターフ-G1)。**【BMS:主な産駒】**オシベンコ(ATCホバートヴィルS-G2)、ホウオウカトリス(フェアリーS-G3)2着

母 *プレシャライジング Pressurizing(10 Henrythenavigator)米国産、不出走。産駒
 ダーモット Dermot(16牝 Kitten's Joy)北米1勝
 *プレシャスガール(17牝 黒鹿 Speightstown)1勝
 ジャクソンルーツ(20牝 黒鹿 キズナ)2戦、⑨

祖母 **ヴェルティジヌー** Vertigineux(95 Kris S.)北米2勝。産駒
ゼニヤッタ Zenyatta(牝 Street Cry)米年度代表馬、米古牝馬チャンピオン(3回)、北米19勝、BCクラシック-G1、同2着、BCレイディーズクラシック-G1、アップルブラッサムH-G1(2回)、ヴァニティH-G1(3回)、クレメントL・ハーシュS-G1(2回)、同-G2、レイディーズシークレットS-G1(3回)、サンタマルガリータ招待H-G1、ミレイディH-G2(2回)、エルエンシノS-G2

バランス Balance(牝 *サンダーガール)北米6勝、サンタアニタオークス-G1、サンタマルガリータ招待H-G1、ラスウィルヘネスS-G1、ラカナダS-G2、Sharp Cat S-L、ハリウッドスターレットS-G1 2着

ホエアスベイリー Where's Bailey(牝 Aljabr)北米5勝、Remington Park Oaks。**シースノットヒア** She's Not Here(牝 Street Cry:イェローリボンH-G2 2回)の母。**トークオブザネイション** Talk of the Nation(牡 Quality Road:Columbia S)の祖母

エブルイサントEblouissante(牝 Bernardini)北米2勝。**コンフィデンスゲーム** Confidence Game(牡 Candy Ride:レベルS-G2)の母
トレジャートレイル Treasure Trail(牝 Pulpit)北米4戦。**ロングアイランドサウンド** Long Island Sound(牡 War Front:ダイヤモンドS-G3、セクレタリアトS-G1 2着)の母

ハーレイローズ Harley Rose(牝 Henrythenavigator)不出走。**ベルオブザノース** Belle of the North(牝 Street Boss:Safely Kept S-L)の母

配合診断

種馬族の父系の活力に絶対の信頼感、類似配合の成功例に代表産駒への自信

母プレシャライジングは牝馬ながら米年度代表馬に輝いたZenyatta、米G1を3勝したBalanceの半妹。Zenyattaはデビュー戦から19連勝のあと、引退レースのブリーダーズCクラシック(米G1・ダ10F)で牝馬相手にアタマ差2着と敗れたのが唯一の敗戦で、通算20戦19勝、米G1を13勝しました。アメリカ競馬史上有数の女傑といえるでしょう。父サートゥルナーリア(皐月賞、ホープフルS)は名牝シーザリオの息子で、兄エピファネアとリオンディーズが種牝馬として成功しているだけに大きな期待が掛かります。母の父Henrythenavigatorはエルコンドルパサーと配合構成がよく似ています。母方にエルコンドルパサーを持つエピファネア産駒にオーソクレス(菊花賞2着、ホープフルS2着)があり、本馬の配合はそれとよく似ています。底力あふれる芝中距離タイプ。

ダンシングラグズの22

全400口 | 1口出資額150,000円(税込) | 総額6,000万円(税込)

生産牧場 ノーザンファーム 育成牧場 ノーザンファーム(予定)



北米屈指の強靱なる曾祖母、圧倒的な能力で世代を切り裂く

現時点における馬体の特徴と適性

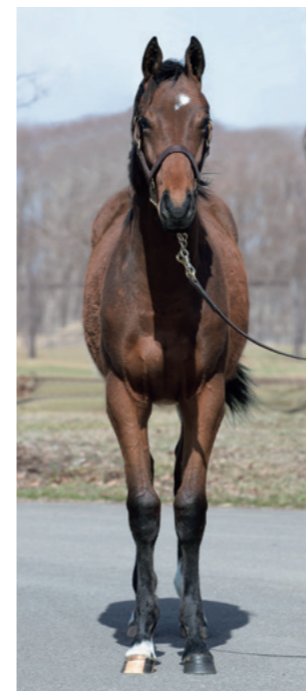
母は、キーンランド競馬場を舞台とする2歳牝馬G1アルシバイアディーズSの勝ち馬。仕上がり早いスピード馬であるのは間違いないだろうが、父にダービー、4歳時の天皇賞・秋を制したレイデオロが入ったことで、この仔は単なる早熟型にはならないでしょう。現時点の身体付きを見ると、体幹の強さを活かしながら、バランスよく、順調に成長している印象。首差しは、長さ、太さともに手頃でパワフル、肩の傾斜角度が良い、胸筋も十分についた深い胸前、尻も1歳馬としてはボリューム満点で、背から腰にかけてのラインが程好い曲線を描いていることから、背中を上手に使える、力強い身のこなしを披露しています。前腕の筋肉量が豊富で、相当なダッシュ力の持ち主であることも確か。硬さも見られることから、「芝での瞬発力勝負というよりも、スピードとパワーで押し切るダート戦で大きく伸びてくるのでは」という見立てもしています。骨量豊かな後肢からは頑健さがうかがえ、タフに数多くのレースを使えそうな点も魅力。仕上げには手こずらず、早い時期から始動可能と見えています。スプリント、マイル戦で本領を発揮しそうではあるが、意外と距離が延びて良いタイプかもしれません。

手塚貴久調教師コメント

半姉ルージュシュエットの評価も高いと聞いています。ただ本馬は父がレイデオロに替わり、また牡馬なので少し違うタイプかもしれませんが。見た目にも迫力があり、バネがありそうな馬体をしています。ここからさらに成長した姿を脳裏に浮かべると、中距離で存在感を発揮してくれるイメージがあふれます。昨今の競馬は、レースを使い競馬を経験させて教えていくよりも、デビュー時からしっかりと結果にこだわって仕上げ、初戦から勝利を意識できるように馬をつくっていきます。そのためにも、オーナーや牧場との連携を大事に、細部にわたり意見交換をして調教に活かし、目標を設定しています。本馬の素質を考えれば、堂々とクラシックを目指していける逸材候補、これまでの大舞台での経験が活かせると思いますので期待しててください。

レイデオロ	キングマンボ	Mr.Pro prospector
Rey de Oro	キングカメハメハ	Kingmambo
鹿 2014	King Kamehameha	Miesque
ラドラーダ	鹿 2001	* マンファス
La Dorada		* ラストタイケン
青鹿 2006		Manfath
		Pilot Bird
		Kris S.
		* シンボリクリスエス
		Symboli Kris S
		Tee Kay
		Seeking the Gold
		* レディブロード
		Lady Blond
		* ウインドインハーヘア
		Dixieland Band
		Dixie Union
		She's Tops
		Gone West
		Tempo
		Storm Bird
		Storm Cat
		Terlingua
		Key to the Mint
		Jewel Princess
		Jewell Ridge

Mr. Prospector: S4×S5×M5 Northern Dancer: M5×M5



管理予定調教師

手塚貴久調教師(美浦)

◆1964年9月20日生 ◆1999年開業(25年目) ◆JRA通算624勝 ◆JRA重賞36勝 ※成績は2023年4月16日現在

【主な管理馬】

- フィエールマン:天皇賞・春(G1)2回、菊花賞(G1)
- ソールオリエンズ:皐月賞(G1)
- ユーバーレーベン:オークス(G1)
- アユサン:桜花賞(G1)
- ウインマリリン:香港ヴァーズ(G1)
- シュネルマイスター:NHKマイルC(G1)
- アジアエクスプレス:朝日杯FS(G1)
- アルフレード:朝日杯FS(G1)
- アイムユアーズ:フィリーズレビュー(G2)
- ハートレー:ホープフルS(G2)



ファミリー(母系)

母の父 ユニオン ラグズ Union Rags は米国産、北米5勝、ベルモント S-G1。主な産駒:エクスプレストレイン(サンタ アニタ H-G1)、パラダイス ウッズ(サンタ アニタ オークス-G1)、ユニオン ストライク(デル マー デビュータント S-G1)、フリー ドロップ ビリー(ブリーダーズ フューチャリティ-G1)。【BMS:主な産駒】アウェイク アト ミッドナイト(ラ プレア S-G1 2着)

母 ***ダンシングラグズ** Dancing Rags (14 Union Rags) 米国産、北米2勝、アルシバイアディーズ S-G1 (D8.5F)。産駒 ビジリー Bijjlee (20 牝 War Front) UAE入着 ルージュシュエット (21 牝 栗 Curlin) 未出走

祖母 **ホームコート** Home Court (01 Storm Cat) 北米2勝、アイオワ オークス-G3 3着。産駒

クードグラス Coup de Grace (牡 Tapit) 北米5勝、アムステルダム S-G2、ベイ ショア S-G3、Oh Say S、キングズ ビショップ S-G1 3着。種牡馬

クルティザンナ Courtizanna (牝 Tiznow) 不出走。産駒 **ティスマッチョ ガール** Tiz a Macho Girl (牝 Mucho Macho Man) 北米5勝、Washington Oaks

*カラズマッチポイント Kara's Match Point (牝 Curlin) 北米1勝。産駒 サンライズラポール (牡 Constitution) 4勝、テレビ静岡賞、吾妻小富士 S-OP 2着、バレンタイン S-OP 3着、**アスクオンディープ** (騾 ディープインパクト) 1勝、**エンペラーワケア** (牡 ロードカナロア) 1勝、**エンクロージャー** Enclosure (騾 Unbridled's Song) 北米5勝

曾祖母 **ジュエル プリンセス** Jewel Princess (92 Key to the Mint) 米古牝馬チャンピオン、北米13勝、B Cディスタフ-G1、サンタ マルガリータ招待 H-G1、ヴァニティ招待 H-G1、サンタ マリア H-G1、ルイヴィル B C H-G2、ラカナダ S-G2、エル エンシノ S-G2、サン クレメンテ H-G3、リンダ ヴィスタ B C H-G3、San Jose Breeders' Cup H-L、アップル ブラッサム H-G1 2着、ミレイディ B C H-G1 2着、ホーソーン H-G2 2着。産駒 **ワン ナイス キャット** One Nice Cat: 北米4勝、Polynesian S。種牡馬 **ファイン ジュエル** Fine Jewel: 不出走。**エル カバリーヨ** El Caballo (E. R. ブラッドリー-大佐 H-G3) の母

配合診断

父はダート界の大物輩出にも高い可能性、北米の底力が溢れる母との好相性を予感

3代母Jewel Princessは米古牝馬チャンピオン。母ダンシングラグズはアルシバイアディーズS(米G1・ダ8.5F)の勝ち馬で、繁殖牝馬としても成功しそうな血脈構成や配合パターンを備えているので注目です。母の半姉カラズマッチポイントはサンライズラポール(現オープン)の母ですが、キングカメハメハ系のロードカナロアとの間に、10馬身差でダート未勝利戦を圧勝したエンペラーワケアを産んでいます。キングカメハメハ系種牡馬はオールラウンドであることが多く、ロードカナロアもドゥラメンテも芝だけでなくダートの大物を輩出しています。本馬の父レイデオロは帝王賞馬ゴルトブリッツの甥でもあり、ダートの強豪も出せる種牡馬と見るべきでしょう。ダンシングラグズとの配合もオーソドックスで無理がなく、ダート中距離重賞を狙えるバックボーンは十分です。

レッドファンタジアの22

全400口 | 1口出資額175,000円(税込) | 総額7,000万円(税込)

生産牧場 ノーザンファーム 育成牧場 ノーザンファーム(予定)



遂に解かれるG1優勝の命題、父子3代ダービー制覇に夢を馳せる

現時点における馬体の特徴と適性

いずれもデイリー杯2歳Sを制したレッドベルジュール、レッドベルオーブという2頭のG2ウイナーをはじめ、ともにG3重賞で3着したレッドベルローズ、レッドベルアーム、3勝クラス飛鳥Sを勝ち上がったレッドベルディエスと、多数の成績優秀産駒を輩出した、名繁殖牝馬の誉高い母が、やや晩成傾向もあるレイデオロとの配合で、どんな仔を出すのか、個人的にも大いに注目していた一頭。そのマッチングが見事にハマったこともあり、良い意味で予想を裏切る、柔軟性と伸びやかさに富んだ、素晴らしい歩きを見せる期待馬が誕生しました。パネの良さがセールスポイントとなる、適度な長さの繋ぎは、まさに理想的な沈み具合。間違いなく、芝の王道路線を歩める素材といえるでしょう。もちろん、柔らかさとは表裏一体の緩さもあるだけに、まだまだ成長途上であることは当然だが、気になるところが皆無で、順調に仕上がる可能性も、極めて高いと見ています。軽さだけでなく、パワーもあり、馬の個体としてのレベルは、相当なものを有しているだけに、2歳重賞戦線を皮切りに、クラシック戦線、そして古馬重賞戦線と、芝中長距離のトップランナーとして、突き進んでいくことでしょう。

木村哲也調教師コメント

前後のバランスが素晴らしく、パワーが全身に連動していくような馬体をしています。父にレイデオロを迎えたことで、がっしりした感じを想像していましたが、馬体重以上にスラッと見せていて、前脚の伸びや歩様の柔らかさから、水準以上のスピードを秘めている印象が変わりました。兄妹の活躍からも素質の高さは絶対的なものがあります。あとは燃えやすい気性を秘めている点、そこに注意していきます。厩舎で意思統一を図っていることは、普段の馬房での様子、食欲、馬房から出して馬場に向かうまでの精神状態など、馬にいかにか気分よく走ってもらうかを考えることです。本馬を管理させて頂く機会を得て、そのことをより強く念頭に置き、個性を大事にしながら、能力を引き出せるよう厩舎一丸で接していこうと思います。

レイデオロ	キングマンボ	Mr.Pro prospector
Rey de Oro	Kingmambo	Miesque
鹿 2001	King Kamehameha	*ラストタイクーン
レイデオロ	*マンファス	*ラストタイクーン
Rey de Oro	Manfath	Pilot Bird
鹿 2014	*シンボリクリスエス	Kris S.
ラドラーダ	Symboli Kris S	Tee Kay
La Dorada		
青鹿 2006	*レディブロード	Seeking the Gold
レイデオロ	Lady Blond	*ウインドインハーヘア
レイデオロ	アンブライドルド	Fappiano
Red Fantasia	Unbridled	Gana Facil
黒鹿 2010	Unbridled's Song	
*レッドファンタジア	芦 1993	トロリーソング
Red Fantasia	Trolley Song	Lucky Spell
黒鹿 2010	ストームキャット	Storm Bird
キャットチャット	Storm Cat	Terlingua
Cat Chat		
鹿 1998	フォンチャッター	Phone Trick
レイデオロ	Phone Chatter	Passing My Way

Mr. Prospector:54×55×M5



管理予定調教師

木村哲也調教師(美浦)

◆1972年11月16日生 ◆2011年開業(13年目) ◆JRA通算335勝 ◆JRA重賞20勝 ※成績は2023年4月16日現在

【主な管理馬】

- イクイノックス:ドバイSC(G1)、有馬記念(G1)
- ジオグラフィ:皐月賞(G1)
- ステルヴィオ:マイルCS(G1)
- オーソリティ:アルゼンチン共和国杯(G2)2回
- アルビアーノ:スワンS(G2)
- ファイナルジュ:フェアリーS(G3)、秋華賞(G1)2着
- プリモシーン:東京新聞杯(G3)
- ゼーヴィント:ラジオNIKKEI賞(G3)
- ダーリントンホール:共同通信杯(G3)
- プレサージュ:フトクイーンC(G3)



ファミリー(母系)

母の父 **アンブライドルズ ソング** Unbridled's Song は米国産、北米5勝、B C ジュヴェナイル-G1。北米2歳チャンピオンサイアー。北米B M S チャンピオン。主な産駒:アロゲイト(B Cクラシック-G1)。【B M S:主な産駒】ツリスト(B Cマイル-G1)、コントレイル(三冠、ジャパンC-G1)、スワーヴリチャード(ジャパンC-G1)、トーホウジャッカル(菊花賞-G1)、ジャックドール(大阪杯-G1)

母 *レッドファンタジア(10 Unbridled's Song)米国産、わが国で入着。産駒

レッドベルローズ(15牝 青鹿 ディープインパクト)3勝、ミモザ賞(芝2000m)、フェアリーS-G3 3着

レッドベルディエス(16牝 鹿 ディープインパクト)4勝、飛鳥S(芝1800m)、鷹巣山特別(芝1600m)、織姫賞(芝1800m)、紫苑S-G3 4着、クイーンC-G3 5着

レッドベルジュール(17牝 鹿 ディープインパクト)2勝、デイリー杯2歳S-G2(芝1600m)。種牡馬

レッドベルオーブ(18牝 青鹿 ディープインパクト)3勝、デイリー杯2歳S-G2(芝1600m、2歳レコード)、小倉日経オープン-OP(芝1800m)、2歳未勝利(中京・芝1600m、2歳レコード)、朝日杯フューチャリティS-G1 3着、**◎**

レッドベルアーム(19牝 鹿 ハーツクライ)1勝、シンザン記念-G3 3着、東京スポーツ杯2歳S-G2 5着、**◎**

ルージュールメール(20牝 青鹿 エビファネイア)未出走

祖母 **キャット チャット** Cat Chat(98 Storm Cat)北米3勝、ナッソー カウンティS-G2。産駒

***インランジュリー** In Lingerie(牝 *エンバイアメーカー)北米4勝、スピンスターS-G1、ブラックアイド スーザンS-G2、バーボネット オークス-G3、アラバマS-G1 2着、C C A オークス-G1 3着。**モズメイメイ**(牝 リアルインパクト:チューリップ賞-G2)の祖母

バーモアヒスレス Purmorehissless(牝 Smart Strike)北米2戦。**ジョイ オブ ペインティング** Joy of Painting(牝 Munnings:ヒアカムズザブライドS-G3 2着)の母

セクト Sekmet(牝 *エンバイアメーカー)北米入着。**サーヴェイランス** Surveillance(騾 Constitution:Duncan F. Kenner S-L)の祖母

配合診断

名繁殖牝馬としての新たな挑戦に魅力、真骨頂である母の父の威力を発揮

母レッドファンタジアは稀代の名繁殖牝馬。これまでにデビューを果たした5頭の産駒はすべて勝ち上がり、レッドベルジュール(デイリー杯2歳S)とレッドベルオーブ(デイリー杯2歳S)が重賞を勝ったほか、レッドベルローズ(フェアリーS3着)、レッドベルディエス(クイーンC5着)、レッドベルアーム(シンザン記念3着)は重賞で入着しています。母の父Unbridled's Songはブルードメアサイアーとして優秀で、コントレイル、スワーヴリチャード、ジャックドールの母の父。Unbridled's Songは時計勝負に強く、切れ味も伝えます。本馬はサンデーサイレンスを持たない血統構成ですが、サンデー的な長所をUnbridled's Songから補完しています。父レイデオロは中距離向きで成長力も期待できますが、母はスピードと仕上がりの早さを伝えるので、2歳戦から頭角を現すでしょう。

レッドベルローズの22

全400口 | 1口出資額100,000円(税込) | 総額4,000万円(税込)

生産牧場 社台ファーム 育成牧場 社台ファーム(予定)



伝説の母となる第一章、G1の舞台へ華麗なる快進撃が始まる

現時点における馬体の特徴と適性

名繁殖牝馬レッドファンタジアの娘で、3歳春に1番人気で出走した500万下ミモザ賞の勝ちっぷりが光った母の初仔。レッドファンタジアの22同様、ダービー、天皇賞・秋と芝中長距離のビッグレースウイナーであるレイデオロを父に選択したことは、結果的には大成功だったと考えています。薄手の皮膚と首差しから背中にかけてのシャープなラインは、そのまま母から譲り受けた長所。鋭敏でありながら、細くもなく、馬体重以上の重厚感を出している点は、高く評価できるポイントです。また、ガツリと力強い腰には窮屈さがなく、レイデオロ～キングカメハメハと遡る父系特有の硬さとは、一線を画すものといえるでしょう。非凡なバネを活かせる、しなやかな繋ぎは、両親の良さを受け継いでいて、レッドベルオーブら活躍を示した叔父たちに負けない、高いレベルの好馬体を誇っているのは、間違いありません。健康体であることに加え、前肢の捌きのしなやかさ、マックスレベルの飛節の可動域から脚元の心配も要らないだけに、このまま順調に仕上がっていくはず。最初のターゲットは芝の王道路線だが、先々はマイルから中長距離まで幅広くこなす、個性派の一流馬となりそうです。

鹿戸雄一調教師コメント

母レッドベルローズは血統の凄さはもちろん、レースでのパフォーマンスも素晴らしい素質に満ちていました。抜群の瞬発力は管理してきた馬の中でもトップクラス、重賞タイトルを獲らせてあげられなかったことが悔やまれます。そしてレイデオロを迎えた初仔を管理させて頂けるのは本当に光栄なこと、母の無念を必ず晴らしたいと思います。産まれた時から見ていますが、全体のバランスが良く、ここまでも理想的な成長曲線を描けており、今は期待しかありません。厩舎の方針としては、使う時はしっかり使って、体調が落ち気味だと思えば無理をさせない勇気を持ち、馬ファーストの考えを徹底しています。本馬は高い資質にあふれ、クラシックの王道を歩める存在。しっかりと丁寧に厩舎の粋を結集し、能力を引き出したいと思います。

レイデオロ	キングマンボ	Mr.Prospector
Rey de Oro	Kingmambo	Miesque
鹿 2014	King Kamehameha	
	* マンファス	* ラストタイクーン
	Manfath	Pilot Bird
	* シンボリクリスエス	Kris S.
ラドラーダ	Symboli Kris S	Tee Kay
La Dorada		
青鹿 2006	* レディブロード	Seeking the Gold
	Lady Blond	* ウインドインハーヘア
	* サンデーサイレンス	Halo
ディープインパクト	Sunday Silence	Wishing Well
Deep Impact		
鹿 2002	* ウインドインハーヘア	Alzao
	Wind In Her Hair	Burghclere
レッドベルローズ		
Red Belle Rose		
青鹿 2015	アンブライドルズソング	Unbridled
	* レッドファンタジア	Unbridled's Song
	Red Fantasia	Trolley Song
黒鹿 2010	キャットチャット	Storm Cat
	Cat Chat	Phone Chatter

ウインドインハーヘア:M3×S4 Mr. Prospector:S4×S5



管理予定調教師

鹿戸雄一調教師(美浦)

◆1962年5月23日生 ◆2008年開業(16年目) ◆JRA通算403勝 ◆JRA重賞13勝 ※成績は2023年4月16日現在

【主な管理馬】

- エフフォーリア:有馬記念(G1)、天皇賞・秋(G1)
- スクリーンヒーロー:ジャパンC(G1)
- ウインカーネリアン:東京新聞杯(G3)
- スマートオリオン:オーシャンS(G3)
- ピツシュ:紫苑S(G3)、オークス(G1)3着
- フォーエバーモア:クイーンC(G3)
- ベストアクター:阪急杯(G3)
- エフティマイア:桜花賞(G1)2着、オークス(G1)2着
- スピードリッパー:フィリーズレビュー(G2)2着
- レッドセシリア:阪神JF(G1)3着



ファミリー(母系)

母の父 ディープインパクトは早来産、年度代表馬(2回)、12勝、三冠、ジャパンC-G1。総合・2歳チャンピオンサイアー。主な産駒:コントレイル(三冠、ジャパンC-G1)、ジェンティルドンナ(ジャパンC-G1 2回)。【BMS:主な産駒】プロウアウト(ファーストレイディS-G1)、キセキ(菊花賞-G1)、ジェラルディーナ(エリザベス女王杯-G1)、ドルチェモア(朝日杯フューチャリティS-G1)

母 レッドベルローズ(15 ディープインパクト) 3勝、ミモザ賞(芝2000m)、フェアリーS-G3 3着。本馬が初仔

祖母 *レッドファンタジア(10 Unbridled's Song) 米国産、わが国で入着。産駒

レッドベルオーブ(牡 ディープインパクト) 3勝、デイリー杯2歳S-G2、小倉日経オープン-OP、朝日杯フューチャリティS-G1 3着、◎

レッドベルジュール(牡 ディープインパクト) 2勝、デイリー杯2歳S-G2。種牡馬

レッドベルアーム(牡 ハーツクライ) 1勝、シンザン記念-G3 3着、東京スポーツ杯2歳S-G2 5着、◎

レッドベルディエス(牝 ディープインパクト) 4勝、飛鳥S、鷹巣山特別、織姫賞、紫苑S-G3 4着、クイーンC-G3 5着

曾祖母 キャットチャット Cat Chat(98 Storm Cat) 北米3勝、ナッソーカウンティS-G2。産駒

*インランジェリー In Lingerie:北米4勝、スピンスターS-G1、ブラックアイドスーザンS-G2、バーボネットオークス-G3、アラバマS-G1 2着、CCAオークス-G1 3着。産駒

タイセイメガロス:2勝、恵山特別、東海(2)2勝、◎

インラグジュアリー:不出走。産駒

モズメイメイ:3勝、チューリップ賞-G2、こぶし賞、◎

バーモアヒスレス Purrmorehissless:北米2戦。産駒

ジョイオブペインティング Joy of Painting:北米1勝、ヒアカムズザプライドS-G3 2着、Lady Canterbury S 3着

セクスト Sekmet:北米入着。産駒

マジョレル Majorelle:不出走。産駒

サーヴェイランス Surveillance:北米6勝、Duncan F. Kenner S-L、Thanksgiving Classic S

配合診断

母の血は三冠馬コントレイルと同じ構成、名牝のクロスの威力を存分に楽しめる配合

母レッドベルローズ(フェアリーS3着)はレッドベルジュールやレッドベルオーブ(いずれもデイリー杯2歳Sの勝ち馬)の全姉にあたる良血。3代母Cat ChatはナッソーカウンティS(米G2・ダ7F)勝ち馬で、ひ孫にモズメイメイ(チューリップ賞)がいます。母は「ディープインパクト×Unbridled's Song×Storm Cat」というコントレイルと同じ黄金配合形ですから、繁殖牝馬としても魅力大。父レイデオロはディープインパクトと同じ牝系の出であることが種牡馬としてのセールスポイントの一つで、ディープ肌との配合では注目のウインドインハーヘア4×3が生じます。この牝馬クロスはしなやかさや底力を伝える一方で、やや非力な体質も伝えがちです。その点、レッドベルローズはディープ産駒でも馬格に恵まれていたので、この名牝クロスに期待できるでしょう。

ハッピーグラスの22

全400口 | 1口出資額75,000円(税込) | 総額3,000万円(税込)

生産牧場 下河辺牧場 育成牧場 下河辺牧場(予定)



豪快な「二刀流」を直観させる配合、舞台を選ばず頂点に挑みたい

現時点における馬体の特徴と適性

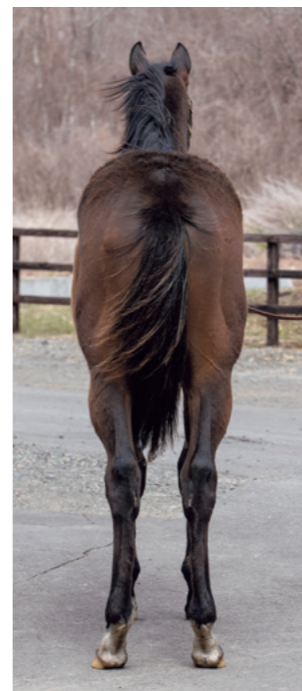
3歳春は忘れな草賞2着、フローラS4着を経て、オークスに参戦、古馬となってからは、函館ダート1700mコースを舞台とする1000万下駒場特別で勝ち鞍をマークするなど、芝、ダートの双方で健闘を示した母と、ターフクラシックS、マンハッタンS、アーリントンミリオンS、ブリーダーズCターフと芝G1を勝ちまくる、2019年米年度代表馬に選ばれた父との配合から誕生した本馬は、柔軟性に優れた身のこなしと、独特の野性味を併せ持つ、極めて魅力的な若駒となりました。高く、力強い首、強靱な背筋が付いた、腰にかけてのラインも綺麗な、短めの背中、伸びがあり、胸部の発達が尋常でない胴は、1歳馬らしからぬダイナミックなアクションを巻き起こすための強力なエンジンとして、見事なまでに機能しています。脚向き、蹄形の良好な前肢、造りが素晴らしく、可動域の広い飛節と、脚元も丈夫なだけに、極めて順調な成長曲線を描いていくはず。伯父パワーストラグルは交流ダート重賞の勝ち馬、一族から登場したビッグウルフはジャパンダートダービー馬と、砂との所縁が深いファミリーですが、本馬には早い時期からの芝中距離戦線における活躍を、大いに期待して構わないでしょう。

加藤征弘調教師コメント

馬体のつくりも良く、中身がしっかりと詰まっている印象。重さはなく歩きも俊敏で、柔らかさがあり、これからの成長が楽しみな存在です。母ハッピーグラスの半兄パワーストラグルを管理、交流重賞を勝ってくれた馬でした。その甥っ子を管理させてもらえるのは非常に嬉しい機会です。牝系はダートの実績が目立ちますが、母はオークスに出走したほどの馬。既成概念にはとらわれず、本馬の個性を伸ばしていくつもりです。父ブリックスアンドモルタルがどのようなタイプを出してくるのか、今夏からデビューする初年度産駒の動向も注視しておきます。各馬に担当者はいますが、午後のチェック時に全員で状態を把握、細かなミスも見逃さないように、チームで情報を共有しているのが厩舎の特徴。本馬の活躍に期待していただきます。

	ストームキヤット	Storm Bird
ジャイアンツコースウェイ	Storm Cat	Terlingua
Giant's Causeway		
栗 1997	マリアーズストーム	Rahy
*ブリックスアンドモルタル	Mariah's Storm	*イメンス
Bricks and Mortar		
黒鹿 2014	オーシャンクレスト	Storm Bird
ビヨンドザウェイヴズ	Ocean Crest	S.S.Aroma
Beyond the Waves		
黒鹿 1997	エクセレント	Exceller
	Excedent	Broadway Lullaby
	*サンデーサイレンス	Halo
ディーブインパクト	Sunday Silence	Wishing Well
Deep Impact		
鹿 2002	*ウインドインハーヘア	Alzao
ハッピーグラス	Wind In Her Hair	Burghclere
Happy Glass		
鹿 2008	*アフリート	Mr.Prospector
ビッグハッピー	Afleet	Polite Lady
Big Happy		
鹿 1997	モルゲンロート	マルゼンスキー
	Morgen Rote	サンライトリバー

Storm Bird: S4×S4



管理予定調教師

加藤征弘調教師(美浦)

◆1965年9月14日生 ◆2002年開業(22年目) ◆JRA通算630勝 ◆JRA重賞13勝 ※成績は2023年4月16日現在

【主な管理馬】

- シャドウゲイト:シンガポール国際C(星G1) ●ノンコノユメ:フェブラリーS(G1) ●グレンツェント:東海S(G2)
- フィフスベトル:京成杯AH(G3) ●ピットファイター:武蔵野S(G3) ●グラティアス:京成杯(G3)
- トーセンブライト:兵庫ゴールドT(G3)2回 ●パワーストラグル:白山大賞典(G3) ●デュードヴァン:青竜S、ユニコーンS(G3)2着
- カタマチボタン:桜花賞(G1)3着



ファミリー(母系)

母の父 ディーブインパクトは早来産、年度代表馬(2回)、12勝、三冠、ジャパンC-G1。総合・2歳チャンピオンサイアー。主な産駒:コントレイル(三冠、ジャパンC-G1)、ジェンティルドンナ(ジャパンC-G1 2回)。【BMS:主な産駒】プロウアウト(ファーストレイディS-G1)、キセキ(菊花賞-G1)、ジェラルディーナ(エリザベス女王杯-G1)、ドルチェモア(朝日杯フューチャリティS-G1)

母 ハッピーグラス(08 ディーブインパクト) 4勝、駒場特別(D1700m)、あずさ賞(芝1600m)、忘れな草賞-OP 2着、フローラS-G2 4着。産駒スクープショット(16 牡 鹿 *ワークフォース)岩手公5勝、サルディフレイバー(18 駒 鹿 *ヘニーヒューズ)南関東公1勝

祖母 ビッグハッピー(97 *アフリート) 5勝。産駒**パワーストラグル**(牡 *シンボリクリスエス) 5勝、ながつきS、渡島特別、ラジオ日本賞-OP 2着、大沼S-OP 2着、みやこS-G3 5着、石川◎1勝、白山大賞典-JPN3、同5着、岩手◎入着、マーキュリーC-JPN3 3着、南関東公入着、勝島王冠4着、報知オールスターC 5着、タンクティーエー(牡 ブラックタイド) 1勝、石川公6勝、サラブレッド大賞典、金沢スプリングC 3着、MRO金賞4着、岩手公入着、ダービーグランプリ2着

シリオンハッピー(牝 アグネスタキオン)入着。産駒、ゴールデンヒーラー(牝 *タートルボウル)岩手公9勝、ひまわり賞、青藍賞、やまびこ賞、あやめ賞、プリンセスC、知床賞、一條記念みちのく大賞典2着、不來方賞2着、ダイヤモンドC 2着、マイルチャンピオンシップ南部杯-JPN1 5着、◎

ヤサシイキモチ(牝 ビッグサンデー) 2勝。産駒、セシエルノユウヒ(駒 *クロフネ) 1勝、◎、サマーハピネス(牝 アグネスタキオン) 1勝、兵庫◎1勝

曾祖母 モルゲンロート(87 マルゼンスキー)入着。産駒**ビッグエリザベス**: 2勝、チューリップ賞-JPN3 3着

ビッグモンロー: 4勝、カーネーションC-OP、天王寺特別、あんず賞、スイートビーS-OP 3着、チューリップ賞-JPN3 4着。産駒

ビッグウルフ: 中央・兵庫・東海・南関東◎7勝、ジャパンダートダービー-JPN1、兵庫チャンピオンシップ-JPN3、名古屋優駿-JPN3、伏竜S-OP、岩手◎入着、ダービーグランプリ-JPN1 2着

配合診断

父のインブリードを最大限に活かせる配合、2歳戦から動けるイメージでブレイク必至

父ブリックスアンドモルタルは、アメリカの芝路線で圧倒的な強さを誇り、米年度代表馬に輝きました。アメリカで種付けを経験することなく社台スタリオンステーションで種牡馬入りした、という点はサンデーサイレンスと同じです。Northern Dancer系のStorm Bird 3×3、といういかついインブリードを持っているので、母方にはNorthern Dancerが薄めの、体質的に柔らかさを伝える血を入れたいところです。母の父ディーブインパクトはその条件に当てはまる最良の血でしょう。また、父はMr.Prospectorを持っていないので、この血を含んだ母がベターですが、2代母の父アフリートはMr.Prospectorの息子なので、この点でも評価できます。母ハッピーグラスはフローラS4着馬。父はやや晩成傾向がありそうですが、本馬は2歳戦から動けるタイプでしょう。芝中距離向きです。

レッドアトウの22

全400口 | 1口出資額65,000円(税込) | 総額2,600万円(税込)

生産牧場 社台ファーム 育成牧場 社台ファーム(予定)



砂界の栄光を刻む牝系の真価、母が夢みた重賞タイトルへ挑む

現時点における馬体の特徴と適性

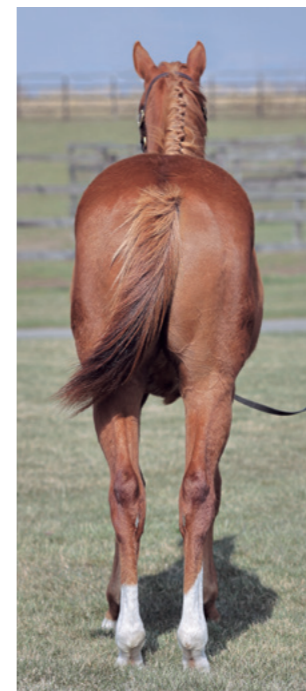
父ダイワメジャーの産駒には、スプリンター、マイラー、中距離型のそれぞれが存在しているが、体型から、得意とする距離がハッキリと見分けが付き、かなり正直な種牡馬といえるでしょう。形状の良いトモ、胸筋が発達していて、深みも十分な胸前を筆頭に、馬体全体にボリュームがあり、胴体に遊びがないこの仔は、明らかにスプリンタータイプ。筋骨隆々でありながら、背から尻にかけてのラインには、しっかりとしたメリハリが付き、身のこなしがスムーズで伸びやかな点も、将来を楽しみにさせる要因となっています。基礎体力の高さに加え、四肢の骨量が十分にあり、爪にも不安がないことから、仕上げに手間はかからないと考えています。父ダイワメジャー譲りなのか、性格はキツ目でも、この気性が実戦にいったときの勝負根性へと繋がっていくはず。飛節の可動域が大きいだけに、芝のスピード競馬にも十分対応出来ると見るが、カジノドライブの娘で、ダート1800m戦で争われる準OP特別東大寺Sに勝ち、G3エルムSでも4着した母、交流ダート重賞2勝のレディバラードらを出している母系の特性を活かすためにも、ダートで大仕事を成し遂げて欲しいという願望を強く抱いています。

栗田徹調教師コメント

キズナ産駒で黒鹿毛の半姉も順調でいい状態と聞きましたが、こちらは“ザ・ダイワメジャー”という感じがストレートに伝わる馬体。骨太で筋肉のつき具合も良く、水準以上のスピードとパワーがしっかりと備わっているはず。母レッドアトウは種牡馬の良い部分を産駒に反映させるのが上手なのか、本馬は父の特色が色濃く出ています。母系はダートでの躍進が目立ちますが、血統や馬体だけを見て固定観念を持たずに、これから本馬の特徴をしっかりと把握しながら、能力が発揮できる場所をみつけていきます。厩舎の指針として、預かった馬が引退する際に素晴らしい馬生だったと、携わった人のすべてが納得できるようにしたいと考えています。そのためにも、長い競走馬生活を送れるように、まずは1つ勝つ大切さを求めていきます。

	ヘイロー	Hail to Reason
*サンデーサイレンス	Halo	Cosmah
Sunday Silence		
青鹿 1986	ウィッシングウェル	Understanding
ダイワメジャー	Wishing Well	Mountain Flower
Daiwa Major		
栗 2001	*ノーザンテースト	Northern Dancer
スカーレットブーケ	Northern Taste	Lady Victoria
Scarlet Bouquet		
栗 1988	*スカーレットインク	Crimson Satan
	Scarlet Ink	Consentida
	マインシャフト	A.P.Indy
*カジノドライブ	Mineshaft	Prospectors Delite
Casino Drive		
栗 2005	ベターザンオナー	Deputy Minister
レッドアトウ	Better Than Honour	Blush With Pride
Red Atout		
栗 2014	*ロックオブジブラルタル	*ティンヒル
	Rock of Gibraltar	Offshore Boom
*ブレندا		
Blenda		Sadler's Wells
鹿 2006	*フェアリーバラード	Fairy Ballade
		Angelic Song

Halo:S3×M5 Northern Dancer:S4×M5



管理予定調教師

栗田徹調教師(美浦)

◆1978年3月16日生 ◆2011年開業(13年目) ◆JRA通算239勝 ◆JRA重賞8勝 ※成績は2023年4月16日現在

【主な管理馬】

- タイトルホルダー:天皇賞・春(G1)、菊花賞(G1) ●アルクトス:マイルCS南部杯(G1) ●シャインガーネット:ファルコンS(G3)
- シェアスマイル:エーデルワイス賞(G3) ●ヴァッシュモーン:ジュニアC(L) ●アライバル:スプリングS(G2)2着
- ホウオウカトリース:フェアリーS(G3)2着 ●ククナ:アルテミスS(G3)2着 ●デンバーテソーロ:エーデルワイス賞(G3)2着
- ブランクチェック:レパードS(G3)3着



ファミリー(母系)

母の父 *カジノドライブは米国产、中央・北米4勝、ピーター パン S-G2、アレキサンドライト S、フェブラリー S-G1 2着。主な産駒:カジノフォンテン(川崎記念-JPN1、かしわ記念-JPN1)、メイショウカズサ(浦和記念-JPN2、プロキオン S-G3)、ヴェンジェンス(みやこ S-G3)、ドライブナイト(すばる S-L)。【BMS:主な産駒】トーセンジェイク(高知・黒潮菊花賞)

母 レッドアトウ(14 *カジノドライブ) 5勝、東大路 S(D1800m)、エルム S-G3 4着。産駒 ルージュビレット(21 牝 黒鹿 キズナ)未出走

祖母 *ブレندا(06 *ロックオブジブラルタル)米国产、わが国で1戦、入着。産駒

レッドグラン(牡 *シンボリクリスエス) 3勝
 レッドデオサ(牝 キングカメハメハ) 3勝
 ラブスピール(牝 スピルバーク) 2勝、◎

曾祖母 *フェアリーバラード(99 Sadler's Wells)愛国产、わが国で2戦。産駒

スーパームーン: 5勝、札幌競馬場グランドオープン記念、洞爺湖特別、稲城特別、アメリカ J C C-G2 2着、ディセンバー S-L 2着、アルゼンチン共和国杯-G2 3着、白富士 S-L 3着、アイルランド T-L 3着

グラツィア: 6勝、ラジオ日本賞-OP、KBC杯、津軽海峡特別、相川特別、ブラジル C-OP 2着、マーチ S-G3 4着、みやこ S-G3 5着、南関東・石川◎入着、川崎記念-JPN1 3着、日本テレビ盃-JPN2 3着、白山大賞典-JPN3 3着、障1勝、新潟ジャンプ S 2着

レジュールダムール: 3勝、福島放送賞

*グレイスフルソング: 3勝、二王子特別、二本松特別

四代母 アンジェリック ソング Angelic Song(88 Halo)不出走。産駒

スライコー ベイ Sligo Bay:愛1勝、北米3勝、ハリウッド ターフ カップ

S-G1、シネマH-G3、ハリウッド ダービー-G1 2着。種牡馬

*レディバラード: 5勝、阿蘇 S-OP、南関東◎2勝、TCK女王盃-JPN3、

クイーン賞-JPN3。ダノンバラード(アメリカ J C C-G2)の母

ウルフトーン Wolfe Tone:愛1勝、英1勝、Aston Park S-L。種牡馬

*ミレニアムウイング: 5勝、みなみ北海道 S-L、青嵐賞、支笏湖特別

イデリク Ydillique:仏入着。シーチェンジ Seachange(コンセイユド

バリ賞-G2)、トリステス Tristesse(Prix Panacee-L)の母

配合診断

伝統ある母系の継承を託された母、配合的にはダート重賞制覇へ虎視眈々

母レッドアトウはダート1800mで5勝。3代母フェアリーバラードはダートグレード競走を2勝したレディバラード(ダノンバラードの母)の半妹で、自身もスーパームーンやグラツィアを産んで繁殖牝馬として成功しました。4代母Angelic SongはGlorious SongやDevil's Bagの全妹にあたる世界的な名血です。母の父カジノドライブは、マル外として日本でデビューしたあと、生まれ故郷のアメリカへ遠征し、米G2ピーターパンSを制覇。「A.P.Indy系×Deputy Minister系」という典型的な北米ダート血統です。父ダイワメジャーは、A.P.Indy系の繁殖牝馬とも、Deputy Minister系の繁殖牝馬とも相性が良く、前者からはリーゼントロックが、後者からはサンライズメジャーやボメグラナイトといったダートのオープン馬が出ています。これらに比肩する活躍が期待できます。

レッドラヴィータの22

全400口 | 1口出資額100,000円(税込) | 総額4,000万円(税込) セレクトセール2022購買馬

生産牧場 ノーザンファーム 育成牧場 ノーザンファーム(予定)



母としてオープン馬を送った信頼感、皐月賞馬輩出の父が弾みをつける

現時点における馬体の特徴と適性

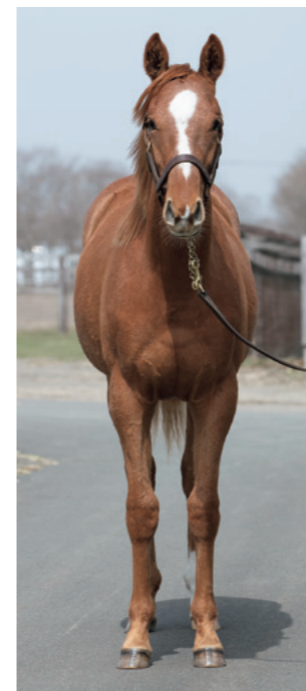
ストレートに伸びる、長い首の持ち主ながら、背丈はやや低めで、全身が筋肉質。加えて、長めの背中からボリューム感のある尻にかけての遊びがないことから、体型的には典型的なスプリンタータイプといえるでしょう。全3勝のうち2勝を芝1800m戦でマークした母、格上挑戦となった芝1800m戦で争われる難波Sを勝ち上がった半兄マテンロウスカイは、中距離適性が高い馬たちだったが、この仔はキングズビショップS、ブリーダーズCスプリントを含む破竹の5連勝を記録し、2016年米最優秀スプリンターにも選ばれた父ドレフオンの影響が、色濃く出ていることは間違いありません。歩かせてみると、トモ脚の送りが力強く、この時期としては、体幹がしっかりしている印象。後肢の繋ぎが短めで、スタートダッシュが効く形状であることも、優秀な短距離走者への成長を予見させる要因です。芝でもオーケーだが、ダートで本来の力を発揮する感触もあり。脚向き、蹄形が良好な前肢、飛節の伸びが良い後肢と脚元が丈夫である点、内臓が強く、食欲も旺盛なことから、仕上がるのに時間はかからないはず。2歳夏のデビュー戦を皮切りに、短めのところで好結果を得ると見えています。

国枝栄調教師コメント

昨夏、セレクトセールの下見をしていた時に目に留まりました。牝馬にしては迫力もあり、動きも機敏で楽しみな馬がいるなどブックを開いたらレッドラヴィータの仔だと認識しました。その上で本馬を管理させて頂くことになったのは特別な縁を感じます。父ドレフオンは初年度から皐月賞馬を出しましたが、ダートの短距離でも数多く勝ち馬を出しています。その多様性と意外性は種牡馬の魅力のひとつ。どんな活躍ができるのか、ヒントは奥村武厩舎の母父スペシャルウィークの牝馬サーマルウインド(現役4勝)。彼女のように芝適性があれば桜花賞路線へ行きましょう。もっとパワフルなら砂の中距離へ。この分野の牝馬はライバルが少なく、その選択肢も悪くはありません。そして何としてもクラブ所属馬で重賞を獲りたいと思います。

テイロブザキヤット	Storm Cat
ジオボンティ	Tale of the Cat
Gio Ponti	Yarn
鹿 2005	チベタスプリングス
	Alydar
	Chipeta Springs
	Salt Spring
*ドレフオン	
Drefong	
鹿 2013	ゴーストザッパー
	Awesome Again
エルティマース	Ghostzapper
Eltimaas	Baby Zip
鹿 2007	ネイジェカム
	Tremolino
	Najecam
	Sue Warner
	*サンデーサイレンス
	Halo
スペシャルウィーク	Sunday Silence
Special Week	Wishing Well
黒鹿 1995	キャンペンガール
	マルゼンスキー
	Campaign Girl
	レディーシラオキ
レッドラヴィータ	
Red la Vita	
栗 2011	*トニービン
	*カンバラ
ディクシージャズ	Tony Bin
Dixie Jazz	Severn Bridge
鹿 1999	*ディクシーブラッシュ
	Dixieland Band
	Dixie Splash
	Ocean Jewel

メス
栗毛
2022.2.14生



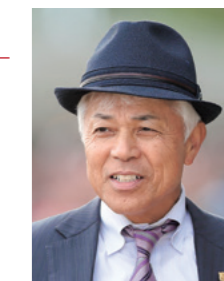
管理予定調教師

国枝栄調教師(美浦)

◆1955年4月14日生 ◆1990年開業(34年目) ◆JRA通算1031勝 ◆JRA重賞62勝 ※成績は2023年4月16日現在

【主な管理馬】

- アーモンドアイ:牝馬三冠、ジャパンC(G1)2回 ●アババネ:牝馬三冠、ヴィクトリアマイル(G1)
- ブラックホーク:安田記念(G1)、スプリンターズS(G1) ●マイネルキッツ:天皇賞・春(G1) ●マツリダゴッホ:有馬記念(G1)
- アカイトリノムスメ:秋華賞(G1) ●ピンクカメオ:NHKマイルC(G1) ●ダノンブラチナ:朝日杯FS(G1)
- サークルオブライフ:阪神JF(G1) ●サトノフラッグ:弥生賞ディーブインパクト記念(G2)



ファミリー(母系)

母の父 **スペシャルウィーク**は門別産、10勝、ジャパンC-G1、ダービー-JPN1。主な産駒:ブエナビスタ(年度代表馬、ジャパンC-G1)、シーザリオ(オークス-JPN1)。【BMS:主な産駒】エビファネイア(ジャパンC-G1)、サートゥルナーリア(皐月賞-G1)、リオンディーズ(朝日杯フューチュリティS-G1)、ディアドラ(ナッソーS-G1)、ジュンライトボルト(チャンピオンズC-G1)

母 **レッドラヴィータ**(11 スペシャルウィーク) 3勝。産駒 ベストシンガー(18牝 鹿 ロードカナロア) 1勝 マテンロウスカイ(19 騾 栗 モーリス) 3勝、難波S、野路菊S-OP 3着、
⑩ デュメイカズマ(20 牡 栗 *ハービンジャー) 1戦、
⑩ キャネル(21 牡 栗 *ブリックスアンドモルタル) 未出走

祖母 **ディクシージャズ**(99 *トニービン) 4戦、入着。産駒 **レッドデイヴィス**(騾 アグネスタキオン) 5勝、鳴尾記念-G3、毎日杯-G3、シンザン記念-G3、大阪ハンブルクC-L、京都記念-G2 4着、マイラーズC-G2 5着

ピッツィカート(騾 ゼンノプロイ) 3勝、萬代橋特別 レッドヴォーグ(牝 *シンポリクリスエス) 4戦、入着。産駒 **ギャレット**(牡 ヴァンキッシュラン) 岩手(公) 2勝、若鮎賞、ジュニアグラ
ンプリ2着、東海(公)入着、新緑賞5着、
⑩ アドマイヤブレミア(牡 *クロフネ) 2勝
ヒカルエリントン(牡 ダイワメジャー) 1勝、佐賀(公)3勝
ディクシーゴールド(牝 ゴールドアリュール) 不出走。産駒
ユイノイチゲキ(牡 *ディスクリートキャット) 1勝、
⑩

曾祖母 ***ディクシーブラッシュ** Dixie Splash(88 Dixieland Band) 米国産、北米6勝、Audubon Oaks-L 2着、オークローン B C H-G3 3着、Pippin S-L 3着。産駒

デルタブルース:最優秀父内国産馬、5勝、菊花賞-JPN1、ステイヤーズ S-JPN2、九十九里特別、ジャパンC-G1 3着、豪1勝、V R CメルボルンC-G1、M R CコーフィールドC-G1 3着
カラオクルス: 2勝、山吹賞、南関東(公) 2勝

四代母 オーシャン ジュエル Ocean Jewel(83 Alleged) 不出走。**スパークリングビーム** Sparkling Beam(クロエ賞-G3)の祖母

配合診断

父の代表産駒は中距離型の母からが定石、舞台を選ばず活躍可能で桜路線も視野

3代母ディクシーブラッシュの産駒にデルタブルース(菊花賞、メルボルンC)が、2代母ディクシージャズの産駒にレッドデイヴィス(鳴尾記念など重賞3勝)がいるという活気あふれる牝系に属しています。母レッドラヴィータは3勝馬で、スペシャルウィークの娘だけに繁殖牝馬として優秀。オープン入りを果たしたマテンロウスカイを産んでいます。Alleged、Dixieland Band、トニービン、スペシャルウィークと、代々スタミナ自慢の種牡馬が配されてきて、そこにStorm Cat系のスピード型種牡馬ドレフオンを交配したのはセオリー通りといえるでしょう。ドレフオンの代表産駒は中距離型の母から出ており、「ドレフオン×スペシャルウィーク」は現オープンのサーマルウインドと同じ。芝・ダート兼用の成長力に富むマイラーで、活躍の場には困らないタイプ。桜花賞向きです。

ファビュラスセンスの22

全400口 | 1口出資額60,000円(税込) | 総額2,400万円(税込)

生産牧場 社台ファーム 育成牧場 社台ファーム(予定)



初年度産駒が好調な父は評価急上昇、桜路線のヒロイン争いに加わる

現時点における馬体の特徴と適性

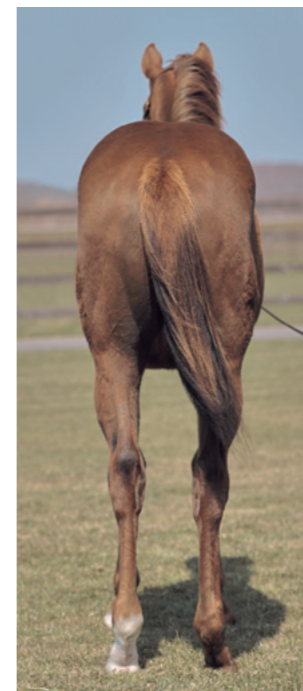
繁殖牝馬として確実に実績を積み重ねてきた母と、現役時代にドバイゴールデンシャヒーン連覇という偉業を成し遂げ、種牝馬となり2022年リーディングフレッシュサイアーの栄誉に浴した父とのマッチングから誕生した、軽やかで、シャープな名牝候補。母系からは、シンガポール航空国際Cで海外G1制覇を達成したシャドウゲイト、高松宮記念2着馬ディヴァインライトも登場しているだけに、ここの一番での勝負強さも、競走馬としての有力な武器となってくるはず。勢いを感じさせる首差し、腰にかけて美しいラインを描く、強靱な背筋が付いた背中、ボリューム感あふれるトモ、肩の造り、肋張りの良さが光る、伸びやかな胴は、ネコ科の生き物を連想させる、しなやかな身のこなしの原動力。また、靱帯、腱に強さを感じる、脚向きの良い前肢、俊敏な運びを可能にする後肢は、歩きに力強さと切れ味をもたらしています。筋肉の運動性に優れているだけに、スピード能力の高さは疑いようがないところ。父は典型的なダート馬ですが、本馬は速い時計が出る芝スプリント～マイル戦が本領発揮の舞台でしょう。成長力に富み、2歳時から古馬となるまで、高いパフォーマンスを維持できそうな点も、大きな魅力です。

尾関知人調教師コメント

半兄ファビュラスロードがゲート試験を合格したばかり(4月28日現在)で、ポテンシャルを感じています。本馬も半兄と同様にスピードがありそうな馬体の印象で、期待できる器だと思っています。父はマインドユアビスケットに替わりますが産駒も好調で、芝、ダート問わずマイル前後に適性が高そうなので、桜花賞の路線に乗れるように頑張りたいと思います。厩舎のモットーは「ノーホースノーライフ」、馬本位での調整を心がけ、スタッフ全員で隅々まで目が行き届くように管理しています。そして無事に、最高のパフォーマンスが発揮できるよう促したいと考えています。レッドファルクスでG1を勝たせて頂いた経験は色々な意味で厩舎の財産になりました。本馬でもまた素晴らしい成果が出せるよう、しっかりと育てていきたいと思っています。

	シルヴァーデビュティ	Deputy Minister
ポツセ	Silver Deputy	Silver Valley
Posse		
鹿 2000	ラスカ	Rahy
*マインドユアビスケット	Raska	Borishka
Mind Your Biscuits		
栗 2013	トケット	Awesome Again
ジャズメイン	Tocctet	Cozzene's Angel
Jazzmane		
栗 2006	オールジャズ	Stop the Music
	Alljazz	Bounteous
メス		
栗毛		
2022.4.20生		
	シルヴァーホーク	Roberto
*グラスワンダー	Silver Hawk	Gris Vitesse
Grass Wonder		
栗 1995	アメリカローラ	Danzig
ファビュラスセンス	Ameriflora	Graceful Touch
Fabulous Sense		
栗 2006	*サンデーサイレンス	Halo
ファビラスター	Sunday Silence	Wishing Well
Fabulous Turn		
黒鹿 1994	カッティングエッジ	*ファバージ
	Cutting Edge	メルドサポート

Deputy Minister:S4×S5 Roberto:M4×S5 Hail to Reason:S5×M5×M5



管理予定調教師

尾関知人調教師(美浦)

◆1971年12月17日生 ◆2009年開業(15年目) ◆JRA通算333勝 ◆JRA重賞14勝 ※成績は2023年4月16日現在

【主な管理馬】

- レッドファルクス:スプリングターズS(G1)2回 ●グローリーヴェイズ:香港ヴァーズ(香G1)2回 ●サクラゴスベル:京王杯SC(G2)
- ココロノアイ:チューリップ賞(G3) ●サクラプレジール:フラワーC(G3) ●モンスター:新潟2歳S(G3)
- スルーセブンシーズ:中山牝馬S(G3) ●ショウナンマクマ:ディセンパース(L) ●ステラウインド:万葉S、七夕賞(G3)2着
- チャーリーブレイヴ:ヒヤシンス



ファミリー(母系)

母の父 *グラスワンダーは米国产、最優秀2歳牡馬、有馬記念-JPN1 2回、宝塚記念-JPN1。主な産駒:スクリーンヒーロー(ジャパンC-G1)、アーネストリー(宝塚記念-G1)。【BMS:主な産駒】メイショウマンボ(オークス-G1、エリザベス女王杯-G1、秋華賞-G1)、ダイアナヘイロー(阪神C-G2)、ヤマカツエース(金鯱賞-G2 2回)、マイネルフロスト(毎日杯-G3、ダービー-G1 3着)

母 ファビュラスセンス(06 *グラスワンダー) 1勝。産駒
 デルマサダヤッコ(13 牝 栗 *タイキシャトル)東海公6勝
 ムスメジントーヨー(14 牝 鹿 *タートルボウル)東海公1勝、南関東公1勝
 ファビュラスギフト(16 牝 鹿 エイシンフラッシュ)3勝
 シゲルオテンバ(18 牝 鹿 ロードカナロア)1勝、
 ブルトンクール(19 牝 栗 エピファネア)2勝、遊楽部特別(芝1800m)、
 フェアリーS-G3 5着、
 エンファサイズ(20 牝 鹿 リアルスティール)1勝、
 ファビュラスロード(21 牝 鹿 ロードカナロア)未出走

祖母 ファビラスター(94 *サンデーサイレンス)1勝、北海道◎1勝。産駒
シャドウゲイト(牡 *ホワイトマズル)6勝、中山金杯-G3、中京記念-G3、
 同2着、香取特別、グリーンチャンネルC、大森浜特別、大阪杯-G2
 2着、アメリカJ C C-G2 2着、金鯱賞-G2 2着、プリンシパルS-L
 2着、中山記念-G2 4着、七夕賞-G3 4着、新潟大賞典-G3 5着、福島
 記念-JPN3 5着、南関東◎入着、川崎記念-JPN1 3着、かしわ記念
 -JPN1 5着、シンガポール1勝、シンガポール航空国際C-G1、愛1
 勝。種牡馬

サトノタイガー(牡 キングカメハメハ)5勝、秋風S、スピカS、テレビ山梨
 杯、水仙賞、カペラS-G3 2着、NAR最優秀短距離馬、南関東公
 3勝、アフター5スター賞、川崎マイルズ、インタラクショNC、さきた
 ま杯-JPN2 4着、岩手公入着、JBCスプリント-JPN1 2着
 ネローリ(牝 *ラムタラ)南関東公5勝。産駒
 シークロム(牡 ローレルゲレイロ)岩手公8勝、青藍賞、南関東◎1
 勝、南関東公7勝、北海道公1勝、東海公1勝

曾祖母 **カッティングエッジ**(86 *ファバージ)6勝、クイーンC-JPN3、3歳牝
 馬S(東-JPN3、イコビコ(神戸新聞杯-JPN2)の曾祖母

配合診断

初年度産駒が好調の父に合致する母系、芝適性が高そうでマイルを主戦場に躍進

デビューを果たした兄弟7頭のうち、ブルトンクール(フェアリーS5着)、ファビュラスギフト(3勝クラス)を含めて4頭が勝ち上がっています。母ファビュラスセンスはシャドウゲイト(重賞3勝)、サトノタイガー(JBCスプリント2着)を兄弟に持ち、3代母カッティングエッジはクイーンC(G3)の勝ち馬。活あふれるファミリーです。母方にサンデーサイレンスとDanzigを併せ持つマインドユアビスケット産駒は、ショーモン(デイリー杯2歳S3着、アーリントンC3着)、クイーンオブソウル(アネモネS3着)などの活躍馬がおり、連対率、1走あたりの賞金額とも、同産駒全体のそれを大きく上回ります。初年度産駒のみの集計となりますが、現時点ではニックスといつていいでしょう。このパターンは芝向きになる傾向があり、距離はマイル前後がベストでしょう。

アルモニカの22

全400口 | 1口出資額40,000円(税込) | 総額1,600万円(税込)

生産牧場 白老ファーム 育成牧場 ノーザンファーム(予定)



新馬で圧勝した母のポテンシャルに注目、新興の父の代表産駒を狙う

現時点における馬体の特徴と適性

デビュー3戦目の3歳500万下春菜賞を勝ち上がり、続くG2フィリーズレビューでは勝ち馬と0.2秒差の接戦を演じた母の初仔。父に、米G1アーカンソーダービー、G2サンヴィセンテSなど重賞タイトル3つを含む4戦4勝の成績を残した「未完の大器」で、2024年から初年度産駒がデビューしてくるナダルを迎えたことで、瑞々しいフレッシュさを感じさせる、次代のニューヒロイン候補が登場しました。短く力強い首、厚み、深みがあり、胸筋もよく発達した胸前、丸みを帯び、ボリューム感にも富んだトモ、肋張りの良さが際立つ胴は、体幹の強さを活かしたパワフルな身のこなしを生み出す、強力な原動力となっています。また、脚向きが綺麗な前肢、伸びやかで、力感あふれる飛節が象徴する脚元の丈夫さは、タフにレースキャリアを重ねていった母譲りのもの。背腰の強さを備えていることもあり、疲れを溜めることなく、極めて順調に育成過程におけるステップを踏んでいけると見えています。2歳夏には、しっかりと準備が整った状態で、デビュー戦に臨めるはず。スピードとパワーが高いレベルで融合した一線級マイラーとして、芝、ダートを問わない息の長い活躍を展開してくれることでしょう。

黒岩陽一調教師コメント

母はディーブインパクト産駒の牝馬らしいコンパクトな馬体で、新馬勝ちしたようにスピードがあり相当な能力を秘めていたと思います。初仔ですが馬体のサイズ感は気にならず、柔軟性がありフットワークの素軽さは母譲りのスピードを備えているのではないのでしょうか。父はいかにも米国馬らしいパワフルさを伝えてくれそうな血統。マイル位の距離は問題ないと思いますので、芝、ダートの適性を鑑みながら桜花賞を目標に成長を見守ります。他の厩舎に比べると出走回数は多くありませんが、その分ひとつひとつ丁寧に馬をつくっています。そしてフレッシュな状態でレースに送り出すことを意識しています。現役馬ではルージュエヴァイユがオープン馬になり重賞タイトルを目指しているため、本馬もそれに続けるように頑張っていきます。

	アーチ	Kris S.
ブレ임	Arch	Aurora
Blame		
鹿 2006	ライアブル	Seeking the Gold
*ナダル	Liabile	Bound
Nadal		
鹿 2017	ブルビット	A.P.Indy
アセンディングエンジェル	Pulpit	Preach
Ascending Angel		
粟 2011	ソーラーコロニー	Pleasant Colony
	Solar Colony	Meteor Stage
メス		
鹿毛		
2022.1.31生		
	キングカメハメハ	Kingmambo
ロードカナロア	King Kamehameha	*マンファス
Lord Kanaloa		
鹿 2008	レディブロッサム	Storm Cat
アルモニカ	Lady Blossom	*サラトガデュー
Armonica		
黒鹿 2015	ディーブインパクト	*サンデーサイレンス
アフリカンピアノ	Deep Impact	*ウインドインハーヘア
African Piano		
黒鹿 2010	*マンデラ	Acatenango
	Mandela	Mandellicht

Mr. Prospector:55×55×M5



管理予定調教師

黒岩陽一調教師(美浦)

◆1980年12月22日生 ◆2012年開業(12年目) ◆JRA通算158勝 ◆JRA重賞4勝 ※成績は2023年4月16日現在

【主な管理馬】

- ブレイクアップ:アルゼンチン共和国杯(G2) ●ミューゼイリアン:毎日杯(G3) ●リッカルド:エルムS(G3) ●パッシングスルー:紫苑S(G3)
- ベリエール:ヒヤシンスS(L)、全日本2歳優駿(JPN1)3着 ●リフレイム:パラダイスS(L)、コールドムーンS
- ジャズエチュード:ルミエールオータムダッシュ(L) ●ラブリユア:アイズ:クローバー賞、阪神JF(G1)2着
- シーズンズギフト:ニュージーランドT(G2)2着 ●ドゴール:サウジアラビアRC(G3)2着



ファミリー(母系)

母の父 **ロードカナロア**は新ひだか産、年度代表馬、中央・香港13勝、香港スプリント-G1(2回)。主な産駒:アーモンドアイ(ジャパンC-G1 2回、牝馬三冠)、サートゥルナーリア(皐月賞-G1、ホープフルS-G1)、パンサラッサ(サウジC-G1)、ダノンスマッシュ(香港スプリント-G1)、ステルヴィオ(マイルチャンピオンシップ-G1)。【BMS:主な産駒】ドットクルー(毎日杯-G3 3着)

母 **アルモニカ**(15 ロードカナロア) 2勝、春菜賞(芝1400m)。本馬が初仔

祖母 **アフリカンピアノ**(10 ディープインパクト)不出走。産駒

グランドピアノ Grand Piano(騎 ロードカナロア)豪 5勝、A T CカーバインクラブS-G3 4着

ブラックアイヴォリー Black Ivory(牝 Redoute's Choice)豪 2勝

カリンバ(牝 ルーラーシップ) 2勝。産駒

エナジーチャイム(牝 エピファネイア) 1勝、^⑨

曾祖母 ***マンデラ** Mandela(00 Acatenango) 独産、独 2勝、Diana-Trial/Las Vegas-Slenderella-Rennen-L、独オークス-G1 3着、仏入着、ポモーズ賞-G2 3着、北米 1勝、サンタバーバラH-G2 3着、サンタアナH-G2 4着。産駒

ワールドプレミア: 4勝、菊花賞-G1、天皇賞春-G1、つばき賞、若葉S-L 2着、有馬記念-G1 3着、同 5着、日経賞-G2 3着、神戸新聞杯-G2 3着、京都 2歳S-G3 3着。種牡馬

ワールドエース: 4勝、マイラーズC-G2、きさらぎ賞-G3、若葉S-L、皐月賞-G1 2着、キャピタルS-L 2着、若駒S-OP 2着、ダービー-G1 4着、チャレンジC-G3 4着、安田記念-G1 5着、香港入着、香港マイル-G1 4着。種牡馬

ヴェルトライゼンデ: 4勝、日経新春杯-G2、鳴尾記念-G3、萩S-L、ホープフルS-G1 2着、アメリカJ C-G2 2着、神戸新聞杯-G2 2着、スプリングS-G2 2着、ダービー-G1 3着、ジャパンC-G1 3着、^⑩

四代母 **マンデリヒト** Mandellicht(94 Be My Guest) 独 1勝、Idee-Festa-Rennen-L 3着、Dusseldorfer Stutenpreis-L 3着。産駒

マンデューロ Manduro: 独 10勝、プリンスオブウェールズS-G1、ジャックルマロワ賞-G1、イスパーン賞-G1、フォワ賞-G2、アルクール賞-G2、アールオブセフトンS-G3、ヴィンターフェヴォリテン賞-G3、ドイツ統一賞-G3、Grosser Bavaria Preis-L。種牡馬

マンデューロ Manduro: 独 10勝、プリンスオブウェールズS-G1、ジャックルマロワ賞-G1、イスパーン賞-G1、フォワ賞-G2、アルクール賞-G2、アールオブセフトンS-G3、ヴィンターフェヴォリテン賞-G3、ドイツ統一賞-G3、Grosser Bavaria Preis-L。種牡馬

マンデューロ Manduro: 独 10勝、プリンスオブウェールズS-G1、ジャックルマロワ賞-G1、イスパーン賞-G1、フォワ賞-G2、アルクール賞-G2、アールオブセフトンS-G3、ヴィンターフェヴォリテン賞-G3、ドイツ統一賞-G3、Grosser Bavaria Preis-L。種牡馬

マンデューロ Manduro: 独 10勝、プリンスオブウェールズS-G1、ジャックルマロワ賞-G1、イスパーン賞-G1、フォワ賞-G2、アルクール賞-G2、アールオブセフトンS-G3、ヴィンターフェヴォリテン賞-G3、ドイツ統一賞-G3、Grosser Bavaria Preis-L。種牡馬

マンデューロ Manduro: 独 10勝、プリンスオブウェールズS-G1、ジャックルマロワ賞-G1、イスパーン賞-G1、フォワ賞-G2、アルクール賞-G2、アールオブセフトンS-G3、ヴィンターフェヴォリテン賞-G3、ドイツ統一賞-G3、Grosser Bavaria Preis-L。種牡馬

配合診断

桜花ロードを突っ走る可能性に満ちた配合、父と母の秘めた潜在能力に広がる夢舞台

2代母アフリカンピアノは、ワールドプレミア(天皇賞・春、菊花賞)、ワールドエース(マイラーズC、きさらぎ賞)の全きょうだいで、半弟にヴェルトライゼンデ(日経新春杯、鳴尾記念)がいる良血。繁殖牝馬として非凡な才能を示し、わが国で産んだ2頭はいずれも2勝を挙げました(その後オーストラリアへ輸出)。母アルモニカはそのうちの1頭で、新馬戦と春菜賞を勝ち、G2のフィリーズレビューは6着。馬体が小柄だったので、繁殖牝馬としては産駒のサイズを補う必要があるため、初年度の交配相手は大柄なナダルが選ばれたのでしょう。アーカンソーダービー(米G1・ダ9F)を含めて4戦全勝の成績を残した大物です。2代父Blameは仏オークス馬Sengaなどを出しており、息子のナダルも配合次第では芝向きの仔を出せるはず。芝・ダート兼用の中距離タイプ。

レッドアナラの22

全400口 | 1口出資額60,000円(税込) | 総額2,400万円(税込)

生産牧場 坂東牧場 育成牧場 坂東牧場(予定)



砂の韃天として母は奮闘、マイル王の父と夢の続きを描く

現時点における馬体の特徴と適性

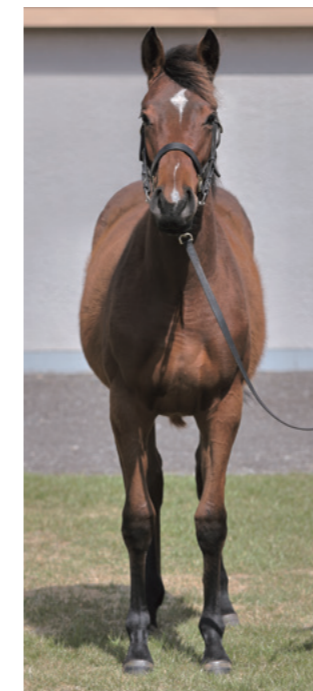
2勝クラス郡山特別、3勝クラス外房Sを連勝するなど、ダート短距離戦線で4勝をマーク、G3カペラSでも健闘したクラブ所属の母が送り込んできた初仔。父に、朝日杯FS、NHKマイルC、香港マイルと日香でマイルG1を計3勝した、2024年から初年度産駒がデビューしてくる新進気鋭アドマイヤマーズを迎え、力強さ、切れ味の双方を兼備する、質の高いスピードが武器となる期待馬が誕生しました。短めの首、胸筋の発達した広い胸前、肉付きの良い短めの背中、容積の大きなトモ、深みのある胴を見ると、ゴリゴリのパワー型という印象も受けますが、全身を覆う柔軟性に富んだ筋肉が、エネルギーロスのない、決め手にも優れた走りを可能とするはず。脚向きに問題のない前肢、飛節の伸びが良好な後肢と、脚元が丈夫なことに加え、重心の低さ、バランスの良さからも、怪我の心配なく、順調にトレーニングを進めていけるタイプ。仕上がりは早く、2歳夏には十分に準備を整えた状態で、デビュー戦を迎えると見えています。父、母の長所を上手に受け継いでいることもあり、芝、ダートを問わず、安定した走りを披露してくれそう。マイル適性の高さも、競走馬としての大成を後押ししてくれるはず。です。

加藤征弘調教師コメント

母レッドアナラは管理馬でダートのスプリント戦で開花、オープン馬になってくれました。母は真面目で頑張り過ぎるタイプでしたので、産駒には良い意味で遊びがあるといいと思います。父アドマイヤマーズは産駒の評判も上々で、本馬は祖父ダイワメジャーのゴツゴツした感じも見せず、とてもバランスが整っています。トモなどを見ると母譲りのパワーも備えていそうで頼もしくなります。父と母のいい面が出ている印象で、成長過程や調教の動きの中で適性を考えていきましょう。芝が問題なければ、マイル前後の距離はこなすはずなので、桜花賞路線の夢も広がります。目標はレッドアナラでは成し得なかった重賞制覇しかありません。会員の皆さんと一緒に感動の瞬間に立ち会えるよう、しっかりと育てていきます。

	*サンデーサイレンス	Halo
	Sunday Silence	Wishing Well
ダイワメジャー		
Daiwa Major		
栗 2001	スカーレットブーケ	*ノーザンテースト
アドマイヤマーズ	Scarlet Bouquet	*スカーレットインク
Admire Mars		
栗 2016	メディチアン	Machiavellian
*ヴィアメディチ	Medicean	Mystic Goddess
Via Medici		
栗 2007	ヴィアミラノ	Singspiel
レッドアナラ	Via Milano	Salvinaxia
Red Anela		
鹿 2015	ウオンビーロング	Stravinsky
Won't Be Long		
鹿 2007	タイフウジョー	*サンデーサイレンス
Taifu Jo O		ラッキーゲスト

サンデーサイレンス:S3×M4 Northern Dancer:S5×M5 Mr. Prospector:S5×M5 Blushing Groom:M5×M5



管理予定調教師

加藤征弘調教師(美浦)

◆1965年9月14日生 ◆2002年開業(22年目) ◆JRA通算630勝 ◆JRA重賞13勝 ※成績は2023年4月16日現在

【主な管理馬】

- シャドウゲイト:シンガポール航空国際C(星G1) ●ノンコノユメ:フェブラリーS(G1) ●グレンツェント:東海S(G2)
- フィフスベトル:京成杯AH(G3) ●ピットファイター:武蔵野S(G3) ●グラティアス:京成杯(G3)
- トーセンブライト:兵庫ゴールドT(G3)2回 ●パワーストラグル:白山大賞典(G3) ●デュードヴァン:青竜S、ユニコーンS(G3)2着
- カタマチボタン:桜花賞(G1)3着



ファミリー(母系)

母の父 *カジノドライブは米国籍、中央・北米4勝、ピーター パンS-G2、アレキサンドライトS、フェブラリーS-G12着。主な産駒:カジノフォンテン(川崎記念-JPN1、かしわ記念-JPN1)、メイショウカズサ(浦和記念-JPN2、プロキオンS-G3)、ヴェンジェンス(みやこS-G3)、ドライブナイト(すばるS-L)。【BMS:主な産駒】トーセンジェイク(高知・黒潮菊花賞)

母 レッドアナラ(15 *カジノドライブ)4勝、外房S(D1200m)、郡山特別(D1150m)、カペラS-G34着。本馬が初仔

祖母 ウオンビーロング(07 *ストラヴィンスキー)3勝。産駒 レッドラパルマ(牡 イスラポニータ)3勝、立志賞、サツキマス(牝 *ノヴェリスト)2勝

アルテンベルク(牡 レッドスパーダ)北海道公8勝

曾祖母 タイフウジョー(94 *サンデーサイレンス)4勝、鎌ヶ谷特別、赤松賞、菜の花S-OP3着。産駒

エイシнтаイガー:5勝、淀短距離S-L、葵S-L、京洛S-OP、黒松賞、C B C賞-G32着、ききょうS-OP2着、橘S-OP2着、京王杯2歳S-JPN23着、マーガレットS-L3着、新潟2歳S-JPN34着、アイビスサマーダッシュ-G35着、南関東・石川・岩手公入着、習志野きらっとスプリント4着、オータムスプリントC4着、OROカップ5着

ゼンノモナルカ:3勝、東海公1勝、高知公9勝

メルシーヨーク:3勝

レッドジョーカー:3勝

四代母 ラッキーゲスト(87 *ラッキーソブリン)不出走。産駒

カシマサキモリ:3勝、野地特別、山桜賞、芙蓉S-OP3着

五代母 ハッピートウメイ(80 アローエクスプレス)2勝。産駒

ヘイセイエルザ:東海公8勝、東海クイーンC2着、東海ダービー3着、中央3勝、阿武隈S、内外タイムス杯、瀬波特別、北関東公1勝

ユーワハッピー:4勝、八海山特別、障3勝

トムファイター:南関東公5勝、大井記念2着、金盃3着

六代母 ハッピーセダン(72 *セダン)入着。産駒

マヤリファーズ:3勝

七代母 ウェルトーン(59 *ライジングフレーム)4勝。産駒

シュンサクオーザ:8勝、鳥丸特別、オパール特別、京都記念2着

配合診断

大物誕生に好ましい強力なクロスの実践、パワフルな砂の女王候補として邁進

エイシнтаイガー(CBC賞2着)の半妹にあたる2代母ウオンビーロングは、Blushing GroomとNijinskyのニックスを持ち、母レッドアナラはBlushing Groomを4×4で強化しました。本馬はアドマイヤマーズ(香港マイルなどマイルG1を3勝)を父に持ちます。その父ダイワメジャーはBlushing Groomと強力なニックスの関係にあり、この組み合わせからセリフォス、コパノリチャード、メジャーエンブレムなど多くの大物が出ています。ダイワメジャーの息子アドマイヤマーズもこのニックスが受け継がれる可能性があるため、Blushing Groom 4×4の母は好ましい配合相手といえるでしょう。母の父がパワー型のカジノドライブなので、母はカペラS4着などダートで活躍。おそらく本馬もダート適性の高い競走馬となるでしょう。距離は万能で、先行して粘り強いタイプとなりそうです。

マレーナの22

全400口 | 1口出資額75,000円(税込) | 総額3,000万円(税込)

生産牧場 信岡牧場 育成牧場 坂東牧場(予定)



半兄レッドゲイルは重賞制覇も間近、ドバイWC連覇の父が新風を送る

現時点における馬体の特徴と適性

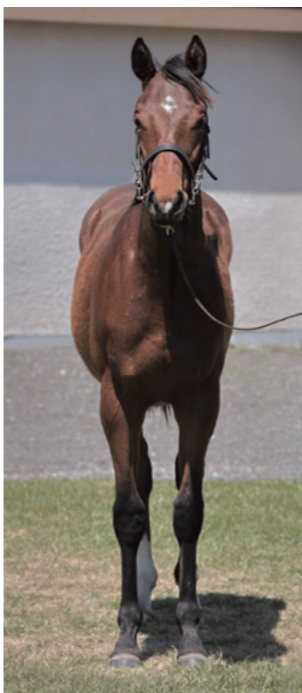
競走馬時代はダート1200~1600m戦で計3勝をマーク。繁殖牝馬となり、クラブ所属の現役オープン馬レッドゲイルを送り出し、評価を高めている母が、2019年に史上初めてドバイワールドC連覇を達成した父を迎えて登場してきた、ダート重賞戦線の勇者たり得る資質の持ち主。力強さに充ちたスラッとした首差し、背筋の強化が著しい短めの背中、筋肉の鎧をまとったかのような胸前、形状が良く、筋力の強さが光るトモ、腹構えがしっかりとした胴は、パワフルな身のこなしの源となっていますが、決して硬いということはなく、伸びやかさ、しなやかさも有している点が、強力なセールスポイントとなっています。脚向き、蹄形ともに綺麗な前肢、飛節の伸びが良い後肢と、脚元が丈夫なことに加え、前向きな気性からも、至極順当に育成過程を歩んでいけるはず。2歳夏には、万全の準備を整えてデビュー戦を迎えると見えています。半兄レッドゲイルは、ダート短距離戦の適性が高いタイプですが、抜群の中距離適性を誇る父の影響もあり、本馬はマイル戦以上の距離で、真の実力を発揮しそう。肉体的、精神的な頑健さも備えているだけに、タフにレースキャリアを重ねながら、大成への道を歩んでいきます。

手塚貴久調教師コメント

マレーナは手塚厩舎で管理させて頂き、ダートで3勝してくれました。母となってもレッドゲイル、レッドレナートを見る限り仔出しの良さが伝わってきます。これまでの血統的な資質から、やはりダート戦を中心に活躍する姿が想像できます。ただ馬体を見ると、父がサンダースノーに替わったことで距離が伸びても大丈夫そうな雰囲気があります。硬さがなく、しなやかな動きをしていて、半兄たちとはタイプが異なるかもしれません。幸いにもこのところG1を含め大きいところを獲らせてもらっています。半兄のゲイルにも、まだまだ可能性はありますし、ぜひ東京サラブレッドクラブで重賞を勝ちたいと思っています。手の内に入っている血統ですから、本馬の適性を見極めて特性をしっかりと活かしたいと思っています。

ヘルメット	エクシードアンドエクセル	*デインヒル
Helmet	Exceed And Excel	Patrona
栗 2008	アクセサリーズ	Singspiel
*サンダースノー	Accessories	Anna Matrushka
Thunder Snow		
鹿 2014	ドバイデスティネーション	Kingmambo
イースタンジョイ	Dubai Destination	Mysterial
Eastern Joy		
鹿 2006	レッドスリッパーズ	Nureyev
	Red Slippers	Morning Devotion
ダイワメジャー	*サンデーサイレンス	Halo
Daiwa Major	Sunday Silence	Wishing Well
栗 2001	スカーレットブーケ	*ノーザンテスト
マレーナ	Scarlet Bouquet	*スカーレットインク
Malena		
黒鹿 2011	*フレンチデピュティ	Deputy Minister
ウイストラム	French Deputy	Mitterand
Ouistreham		
鹿 2002	*リュドゥパーム	Iccapade
	Rue de Palm	Am Reasonable

Northern Dancer:S5×M5



管理予定調教師

手塚貴久調教師(美浦)

◆1964年9月20日生 ◆1999年開業(25年目) ◆JRA通算624勝 ◆JRA重賞36勝 ※成績は2023年4月16日現在

【主な管理馬】

- フィエールマン:天皇賞・春(G1)2回、菊花賞(G1)
- ソールオリエンズ:皐月賞(G1)
- ユーバーレーベン:オークス(G1)
- アユサン:桜花賞(G1)
- ウインマリリン:香港ヴァーズ(G1)
- シュネルマイスター:NHKマイルC(G1)
- アジアエクスプレス:朝日杯FS(G1)
- アルフレード:朝日杯FS(G1)
- アイムユアーズ:フィリーズレビュー(G2)
- ハートレー:ホープフルS(G2)



ファミリー(母系)

母の父 **ダイワメジャー**は千歳産、最優秀短距離馬(2回)、9勝、皐月賞-JPN1、天皇賞(秋)-JPN1。2歳チャンピオンサイアー。主な産駒:レースミノル(桜花賞-G1)、アドマイヤマーズ(香港マイル-G1)。【B.M.S:主な産駒】ショウナンナデシコ(かしわ記念-JPN1)、ナムユール(チューリップ賞-G2)、グランブリッジ(エンプレス杯-JPN2)、ラヴェル(アルテミスS-G3)

母 **マレーナ**(11ダイワメジャー)3勝。産駒 シビックムレット(18牡鹿*カジノドライブ)南関東(G)1勝、[Ⓞ] レッドゲイル(19牡栗*ヘニーヒューズ)4勝、秋嶺S(D1300m)、[Ⓞ] フクノワカバ(20牝黒鹿*ドレフォン)入着、[Ⓞ] レッドレナート(21牡芦レッドファルクス)未出走

祖母 **ウイストラム**(02*フレンチデピュティ)3勝、西湖特別。産駒 **アウトライアーズ**(牡ウイクトワールピサ)4勝、関門橋S、松島特別、ひいらぎ賞、スプリングS-G2 2着、小倉記念-G3 3着、小倉大賞典-G3 5着、七夕賞-G3 5着
ロレーヌクロス(牡マンハッタンカフェ)2勝
ドゥリトル(牡トーセンホマレボシ)2勝、[Ⓞ] ヴァルドワーズ(牝ダノンシャンティ)1勝

曾祖母 ***リュドゥパーム** Rue de Palm(87 Iccapade)米国産、北米2勝、デルマー デビュータントS-G2、デルマー フェューチュリティ-G1 2着。産駒 ***パームシャドウ**:3勝、マーガレットS-OP、山藤賞、いちょうS-OP 3着 サウンドバイト:1勝。産駒 **ダイワミストレス**:1勝、フェアリーS-G3 3着 **コマビショウ**:4勝、平城京S、くすのぎ賞、鳳雛S-L 3着、伏竜S-OP 3着、アンタレスS-G3 5着、[Ⓞ]

四代母 **アムリーズナブル** Am Reasonable(72 Turn to Reason)北米9勝。産駒 **アム ケイパブル** Am Capable:北米12勝、アフエクシヨニトリ-H-G3、ディスタフH-G3、Interborough H-L、Berlo H、Correction H。**イロコイパーク** Iroquois Park(De Anza S-L)の母、**メイブリースボーイ** Maybry's Boy(スペクタキュラーピッドS-G3)の祖母 **アム センセシヨナル** Am Sensational:北米入着。**アールトン** Erlton(ヴイクトリアS-CAN2)の母

配合診断

パワー型で仕上がりの早さは母系の自慢、世界で名を馳せた父がさらに個性を進化

ダート短距離路線でオープン入りを果たしたレッドゲイル(父ヘニーヒューズ)の半弟。同馬はオープン昇格後も掲示板に載り続けており、いずれ重賞でも勝ち負けに持ち込むことが予測される素質馬です。母マレーナはダート3勝馬で、アウトライアーズ(スプリングS2着)の半姉。3代母リュドゥパームは、アメリカで2歳時にデルマーデビュータントS(G2・ダ8F)を勝ちました。パワー型で仕上がりが早い、という特長は代々受け継がれ、このファミリーのスタンダードな個性となっています。父サンダースノーはドバイワールドC(首G1・ダ2000m)を2連覇したほか、欧州の芝G1を2勝するという芝・ダート兼用の種牡馬。本馬はそのセカンドクロープで、母の血統的特長を加味すると、おそらくダート寄りの適性を示すでしょう。マイル前後で強さを発揮するはずですよ。

タイムハンドラーの22

全400口 | 1口出資額55,000円(税込) | 総額2,200万円(税込)

生産牧場 白老ファーム 育成牧場 追分ファーム リリーバレー(予定)



G1馬タイムフライヤーを彷彿させる配合、砂でも芝でも頂点が見えてくる

現時点における馬体の特徴と適性

パワフルな末脚を駆使し、2歳G1ホープフルSを制したほか、古馬となり、ダート重賞エルムSにも勝った強豪タイムフライヤーの1歳下の半妹で、伯父にジャパンCダート、JBCクラシック2回、帝王賞、川崎記念とG1タイトルを5つ獲得した、砂の超大物タイムパラドックスを持つ母が、2023年に初年度産駒がデビューしてくる新進気鋭種牡馬スワーヴリチャードを父に迎えて誕生した、第2仔となる牝駒。綺麗に伸びている、直線的な首差し、ラインの美しさが光る、短めの背中、厚み、深みに富んだ、伸びやかな胴が形成する馬体のバランスの良さは、まさに特筆もので、十分な容積を誇るトモ、広さが特徴となる胸前も、一見の価値があるパーツとなっています。脚向き、蹄形が良好な前肢、飛節の伸びも十分な後肢と、脚元が丈夫な上に、精神的にも極めて安定していることから、至極順当に育成過程を進んでいくはずですが、運動強度を上げながら、どんどん変わっていきそうなタイプだけに、デビュー戦は2歳秋を迎えてからの方が、より実力を発揮できると見えています。力強く、持久力にも優れたスピードが武器。芝、ダートを問わず、中距離戦線の一線級として、タフな活躍を展開してくれることでしょう。

斎藤誠調教師コメント

母タイムハンドラーは未勝利馬ですが、ブラックタイプにはタイムフライヤーやタイムパラドックスの名がある母系の出身。父スワーヴリチャードは産駒の評価が馬産地でもうなぎ上り、なかなか興味深い配合の本馬を管理させて頂き光栄です。身のこなしもスムーズで、伸びのある馬体の雰囲気からは距離の融通も利きそうです。焦らずとも順調に成長すれば、2歳戦から勝利に結びつけられるのではないのでしょうか。厩舎では在厩している全頭を全スタッフで情報を共有し、マンネリ化しないようにしています。そして開業以来、定年退職した方を除けば、同じスタッフで構成していますので厩舎のチームワークには自信があります。本馬もスタッフ全員で、良い部分をより多く引き出していきますので、斎藤誠厩舎を応援して頂ければと思います。

ハーツクライ	*サンデーサイレンス	Halo
Heart's Cry	Sunday Silence	Wishing Well
鹿 2001	アイリッシュダンス	*トニービン
スワーヴリチャード	Irish Dance	*ビューバーダンス
Suave Richard		
栗 2014	アンブライドルズソング	Unbridled
*ピラミマ	Unbridled's Song	Trolley Song
Pirramimma		
黒鹿 2005	*キャリアコレクション	General Meeting
	Career Collection	River of Stars
メス		
鹿毛		
2022.1.27生		
タイムハンドラー	ディーブインパクト	*サンデーサイレンス
Time Handler	Deep Impact	*ウインドインハーヘア
鹿 2016	Deep Brillante	
	*ラヴアンドバブルズ	Loup Sauvage
	Love And Bubbles	*バブルドリーム
	*ブライアンズタイム	Roberto
タイムトラベリング	Brian's Time	Kelley's Day
Time Traveling		
鹿 2004	*ジョリーザザ	Alzao
	Jolie Zaza	Bold Lady

サンデーサイレンス:S3×M4 Alzao:M4×M5 Hail to Reason:S5×M5 Lyphard:S5×M5 Riverman:S5×M5



管理予定調教師

斎藤誠調教師(美浦)

◆1971年4月7日生 ◆2006年開業(18年目) ◆JRA通算453勝 ◆JRA重賞10勝 ※成績は2023年4月16日現在

【主な管理馬】

- スーヴェレコルト:オークス(G1) ●ゴスホークケン:朝日杯FS(G1) ●シャドウディーヴァ:府中牝馬S(G2)
- エスメラルディーナ:関東オークス(JPN2) ●サンツェッペリン:京成杯(G3)、皐月賞(G1)2着
- マドラスチェック:TCK女王盃(JPN3)、JBCレディスクラシック(JPN1)2着2回 ●フルデブスリーダー:エルムS(G3)
- トーキングドラム:阪急杯(G3) ●フラアンジェリコ:京成杯AH(G3) ●クリスマス:函館2歳S(G3)



ファミリー(母系)

母の父 **ディーブプリランテ**は新冠産、3勝、ダービー-G1、東京スポーツ杯2歳S-G3。主な産駒:モズベッコ(日経新春杯-G2)、セダプリランテ(中山金杯-G3、ラジオN I K K E I賞-G3)、ラプタス(兵庫ゴールドT-JPN3、サマーチャンピオン-JPN3)、ミッキープリランテ(ニューイヤース-L)、ナムラドノヴァン(阪神大賞典-G2 3着)、グレイスアン(フェアリース-G3 3着)

母 **タイムハンドラー**(16 ディーブプリランテ)入着。本馬は第2仔

祖母 **タイムトラベリング**(04 *ブライアンズタイム)1勝。産駒

タイムフライヤー(牡 ハーツクライ)5勝、ホープフルS-G1、エルムS-G3、萩S-L、マリーンS-OP、武蔵野S-G3 2着、同5着、京都2歳S-G3 2着、根岸S-G3 3着、フェブラリース-G1 5着(2回)、中山金杯-G3 5着、南関東(入着)、マイルグランプリ3着、大井記念4着、◎

タイムオブフライト(牡 ディープインパクト)3勝、江坂特別、◎
 ボールドアテンプト(牝 ゴールドアリュール)3勝
 マンハッタンロック(牡 マンハッタンカフェ)3勝
 タイムアラウド(牡 ダイワメジャー)1勝、岩手(公)3勝、高知(公)1勝
 オールザタイム(牝 ハーツクライ)1勝、◎

曾祖母 ***ジョリーザザ** Jolie Zaza(91 Alzao)愛国産、仏4勝、Prix Occitanie-L。産駒

タイムパラドックス:中央・北海道・石川・南関東・東海◎16勝、ジャパンCダート-JPN1、同4着、JBCクラシック-JPN1(2回)、同3着、帝王賞-JPN1、同4着(2回)、川崎記念-JPN1、同3着、ブリーダーズゴールドC-JPN2、同2着、アンタレスS-JPN3、同5着、平安S-JPN3、白山大賞典-JPN3、トパーズS-L、北山S、矢作川特別、香嵐溪特別、かしわ記念-JPN1 2着、東海S-JPN2 2着、同3着、ダイオライト記念-JPN2 2着、同4着、仁川S-L 2着、サウジアラビアロイヤルC-L 2着、東京大賞典-JPN1 3着、同4着、エルムS-JPN3 3着、ギャラクシーS-L 3着、フェブラリース-JPN1 4着、岩手◎入着、マイルチャンピオンシップ南部杯-JPN1 3着、同5着。種牡馬

ユーロウインド:4勝、平尾台特別

四代母 **ボールド レイディ** Bold Lady(74 *ボールドラッド)仏3勝、Prix de la Seine-L 2着。**サクラローレル**(有馬記念-JPN1)の祖母

配合診断

祖父と祖母の相性に倣う配合のロマン、砂実績も十分ながら芝で瞬発力を発揮

タイムフライヤー(ホープフルS、エルムS)やタイムオブフライト(現3勝クラス)の姪。2代母タイムトラベリングはダート王タイムパラドックスの全妹です。4代母Bold Ladyの子孫には年度代表馬サクラローレルなどがいますが、この牝系に属するハーツクライ産駒は、これまでJRAで5頭が出走し、前出タイムフライヤー、その全妹オールザタイム(現1戦1勝)、カポーティスター(日経新春杯)、その全妹レッドエレノア(2勝)と、4頭が勝ち馬になっています。父スワーヴリチャードはハーツクライの代表産駒でジャパンC(G1)と大阪杯(G1)の勝ち馬。タイムハンドラーの配合相手に選ばれたのは、この相性の良さが評価された部分もあるかもしれませんが、本馬は芝中距離で斬れ味を発揮するタイプでしょう。

ダンスグルーヴィの22

全400口 | 1口出資額45,000円(税込) | 総額1,800万円(税込)

生産牧場 社台ファーム 育成牧場 社台ファーム(予定)



栄光を積み上げてきた名牝達の伝説、まずは芝のマイルで成果を出す

現時点における馬体の特徴と適性

3歳時の2004年桜花賞、5歳を迎えた2006年ヴィクトリアマイルと芝マイル戦G1を2勝した名牝ダンスインザムードの孫娘にあたる母が送り出す、身のこなしの躍動感が大きな魅力となる、高い資質を予感させるスターホース候補。1990年代前半にオークス馬ダンスパートナー、菊花賞馬ダンスインザダークが登場した超名門ファミリーにとっても、“2020年代における一族の誉”たり得る、過去と現代を繋ぐ役割を果たす希望の星といえるでしょう。首、キ甲から連なる美しいラインが特徴的で、背筋も十分に付いた背中、肩の出が良好な、胸筋が発達した胸前、形状良く、力強さに富んだトモ、深みがあり、肋張りも素晴らしい胴、可動域の大きい飛節は、柔軟性と力強さのバランスが程よく取れている、レベル高い歩様の原動力。母の初仔でありながら、奥深さを感じる、雄大な馬格の持ち主である点も、大物誕生への期待感を高める、強力な要因となっています。前向きかつ、素直な気性から、順調に育成過程を歩んでいけるタイプ。2歳夏、もしくは初秋の時期にデビュー戦を迎えると見っていますが、芝中距離戦線における大成を意識しながら、出走レースを選択していく形となるはずで

嘉藤貴行調教師コメント

22年3月に開業し、様々なオーナーやスタッフにも助けられ、昨年は16勝という結果を取めました。悔しい部分もありましたが、まずまずのスタートを切れた実感もあります。調教での心がけは、レースに向かうまでのメンタルを最も大事にし、馬の体調や気持ちを見極め、フレッシュな状態でレースに臨めるように工夫しています。開業して日が浅い厩舎に、社台ファームの栄光の結晶のような血統馬を管理させて頂けるとは、とてもありがたいお話。本馬は脚捌きも良く、気性も落ち着きがあり、初仔ですが骨格もしっかりしている印象。芝のマイル前後でスピードが活かせる舞台が合うイメージですが、馬体にもう少し伸びが出てくれば、距離の融通も利きそうです。牧場と連携して最善を尽くし、1つでも多く勝てるように頑張ります。

	*サンデーサイレンス	Halo
フジキセキ	Sunday Silence	Wishing Well
Fuji Kiseki		
青鹿 1992	*ミルレーサー	Le Fabuleux
イスラボニータ	Millracer	Marston's Mill
Isla Bonita		
黒鹿 2011	コジーン	Caro
*イスラコジーン	Cozzene	Ride the Trails
Isla Cozzene		
鹿 2002	イスラムヘレス	Crafty Prospector
	Isla Mujeres	Lido Isle
	キングカメハメハ	Kingmambo
ルラーシップ	King Kamehameha	*マンファス
Rulership		
鹿 2007	エアグルーヴ	*トニービン
ダンスグルーヴィ	Air Groove	ダイナカール
Dance Groovy		
鹿 2017	*ハービンジャー	Dansili
フローレスダンサー	Harbinger	Penang Pearl
Flawless Dancer		
鹿 2012	ダンスインザムード	*サンデーサイレンス
	Dance in the Mood	*ダンシングキイ

サンデーサイレンス:S3×M4 Mr. Prospector:S5×M5



管理予定調教師

嘉藤貴行調教師(美浦)

◆1981年11月5日生 ◆2022年開業(2年目) ◆JRA通算21勝 ※成績は2023年4月16日現在

【主な管理馬】

- バグダダス:新潟2歳S(G3)4着、朝日杯FS(G1)5着 ●カンティエユ:南総S、新津特別 ●パウオレ:鹿島特別
- セックレダスト:2勝クラス、飛騨S3着 ●ブルームスベリー:2勝クラス、初音S4着 ●ラプリークイーン:2勝クラス
- コスモラジョ:1勝クラス、利根川特別2着 ●シュロス:1勝クラス ●トーホウボルト:1勝クラス ●フォレスト:石狩特別3着



ファミリー(母系)

母の父 ルラーシップは安平産、日・香港8勝、香港クイーン エリザベス二世C-G1。主な産駒:キセキ(菊花賞-G1)、メールドグラス(MR CコーフィールドC-G1)、ドルチェモア(朝日杯フューチュリティS-G1)。【BMS:主な産駒】オーパルフェ(デリー杯2歳S-G2)、ホウオウビスケッツ(スプリングS-G2 2着)、キョウエイブリッサ(朝日杯フューチュリティS-G1 4着)

母 ダンスグルーヴィ(17 ルラーシップ)入着。本馬が初仔
祖母 フローレスダンサー(12 *ハービンジャー)1勝、京都2歳S-G3 4着、アルテミスS-G3 4着。産駒

バジオウ(牡 ルラーシップ)3勝、プリンシパルS-L、府中S、小倉大賞典-G3 3着、◎

曾祖母 ダンスインザムード(01 *サンデーサイレンス)最優秀3歳牝馬、最優秀古牝馬、5勝、桜花賞-JPN1、ヴィクトリアマイル-JPN1、フラワーC-JPN3、若竹賞、天皇賞(秋)-JPN1 2着、同3着、マイルチャンピオンシップ-G1 2着(2回)、同4着、毎日王冠-G2 2着、マイルズC-G2 2着、オークス-JPN1 4着、秋華賞-JPN1 4着、安田記念-G1 5着、北米1勝、キャッシュコール招待S-G3、アメリカン オークス-G1 2着。産駒

ダンスファンタジア:3勝、フェアリーS-G3、赤松賞、ポートアイランドS-L 3着。産駒

ダンファスト:5勝、福島民友C-L、同3着、北総S、天の川賞、青竜S-OP 2着、◎

ヒップホップソウル:1勝、フラワーC-G3 2着、◎

カイザーバル:5勝、渡月橋S、天神橋特別、久多特別、君子蘭賞、秋華賞-G1 3着、ローズS-G2 3着

シャドウダンサー:4勝、湾岸S、鳴滝特別、京都新聞杯-G2 4着

ダンスデライト:4勝、オリオンS、能勢特別、阪神大賞典-G2 5着

四代母 *ダンシングキイ Dancing Key(83 Nijinsky)米国産、不出走。産駒

ダンスインザダーク:最優秀3歳牡馬、5勝、菊花賞-JPN1。種牡馬

ダンスパートナー:最優秀3歳古牝馬、4勝、オークス-JPN1、エリザベス女王杯-JPN1。フェデラリスト(中山記念-G2)の母

エアダブリン:5勝、ステイヤーズS-JPN3、ダイヤモンドS-JPN3。種牡馬

ダンシングサンデー Dancing Sunday:仏入着。レッドガラン(中山金杯-G3、新潟大賞典-G3)の祖母

配合診断

オーソドックスでバランスが整った配合、大舞台を賑わせてきた母系の最新形態

母ダンスグルーヴィはバジオウ(小倉大賞典3着)の全姉。3代母ダンスインザムードはダンスインザダークやダンスパートナーの全妹で桜花賞馬。ここからダンスファンタジア(フェアリーS)、カイザーバル(秋華賞3着)、ダンファスト(現オープン)などが出ています。父イスラボニータはフジキセキ産駒の皐月賞馬で、古馬になってからはマイル路線で大活躍しました。種牡馬としてはブルバレイやコスタボニータのようなマイラー、ヤマニンサルバムのような芝中距離型、バトルクライのようなダート巧者と、バラエティに富んだ産駒を送り出しており、当クラブではレッドラパルマがダート路線でオープンクラス入り目前です。本馬は母の重厚さに父のマイラー型のスピードを配したオーソドックスな好形で、芝1600~2000mで安定した息の長い活躍が見込めます。

レッドパラスの22

全400口 | 1口出資額60,000円(税込) | 総額2,400万円(税込)

生産牧場 ノーザンファーム 育成牧場 ノーザンファーム(予定)



砂王を送り出してきた母系の真骨頂、父が一族に新たな栄光を刻み込む

現時点における馬体の特徴と適性

フェブラリーS、JBCクラシック3回などダートG1戦9勝のヴァーミアンを筆頭に、サカラート、キングスエンブレム、ソリタリーキングといったダート重賞馬が居並ぶファミリーの血を受けた母と、チャンピオンズCなどを制した砂の大物で、供用初年度から200頭を優に超える繁殖牝馬と交配される超人気サイアーとなった父とのマッチングから登場した、ダート戦線を席卷する可能性を秘めた素質馬。キ甲から直線的に伸びた、流れの良い首差し、胸筋が著しく発達した胸前、堅牢さを誇る肩の造り、形状良く、ボリューム満点のトモは、逞しさや重厚感を象徴しているパーツ。一方、躍動感に溢れた背腰、伸びやかで肋張りも良い胴は、柔軟性に富んだ筋肉が生み出す、しなやかな身のこなしを強力にサポートする役割を担っています。蹄形、脚向きの良さが光る、パーフェクトに近い造形を保有する前肢、可動域の大きい飛節が特徴となる後肢と、脚元がしっかりとしている点も、育成過程における順調なステップアップを予見させるものといえるでしょう。仕上がりは早く、2歳夏にはデビュー戦を迎えられるはず。力強さと切れ味が共存するスピードが最大限活きるダートマイル戦が、本領を発揮する舞台です。

田中博康調教師コメント

母レッドパラスに関しては、断然ダートで輝きを放つ血統であることは間違いありません。ただ本馬に関しては馬体にも伸びがあり、動きが素軽く、しなやかさを見せています。今後、乗り進めて行き、芝に対応できるなら試してもいいかもしれません。祖父シンボリクリスエスの面影を追いかけたくなります。ただダートの鬼の可能性も十分ですから、新たに整備される3歳の砂路線、或いはケンタッキーダービーへと夢を広げてもいいでしょう。今季、ようやくG3、G1と重賞に手が届きました。厩舎では馬のしつづけをしっかりと行い、規律のある調教ができるように心がけてきましたが、近年、色々な場面で結果に結びつき、少しずつ調教師としても手応えを感じています。本馬に於いても牧場と連携し、勝利という解答を出していきたいと思っています。

ルヴァンスレーヴ	クリスエス	Roberto
Le Vent Se Leve	*シンボリクリスエス	Kris S.
鹿 2015	Symboli Kris S	Sharp Queen
マエストラーレ	黒鹿 1999	ティーケイ
Maestrale		Tee Kay
鹿 2006		Tri Argo
ネオユニヴァース		*サンデーサイレンス
Neo Universe		*ポインテッドパス
オータムブリーズ		*ティンバーカントリー
Autumn Breeze		セブテンバーソング
*フレンチデピュティ		Deputy Minister
French Deputy		Mitterrand
*ブルーアヴェニュー		Classic Go Go
Blue Avenue		Eliza Blue
キングカメハメハ		Kingmambo
King Kamehameha		*マンファス
スカーレットレディ		*サンデーサイレンス
Scarlet Lady		スカーレットローズ

サンデーサイレンス:S4×M4



管理予定調教師

田中博康調教師(美浦)

◆1985年12月5日生 ◆2018年開業(6年目) ◆JRA通算126勝 ◆JRA重賞2勝 ※成績は2023年4月16日現在

【主な管理馬】

- レモンポップ:フェブラリーS(G1)
- バジオウ:プリンシパルS(L)
- コスモカレンドゥラ:ケフェウスS
- ベジャール:毎日杯(G3)2着
- ローシャムパーク:セントライト記念(G2)3着
- ボレンティア:フェアリーS(G3)3着
- セイルオンセイラー:鳳雛S(L)3着
- ウィルソンテソーロ:招福S
- ニュートンテソーロ:銀蹄S
- モンブランテソーロ:五稜郭S



ファミリー(母系)

母の父 *クロフネは米国籍、最優秀ダートホース、6勝、ジャパンCダート-JPN1。主な産駒:ソダシ(桜花賞-G1)。【BMS:主な産駒】クロノジェネシス(有馬記念-G1、宝塚記念-G1 2回、秋華賞-G1)、ノームコア(香港C-G1、ヴィクトリアマイル-G1)、ヴェリアズール(ジャパンC-G1)、レイパパレ(大阪杯-G1)、スタニングローズ(秋華賞-G1)、ノーヴァレンダ(全日本2歳優駿-JPN1)

母 レッドパラス(16 *クロフネ) 1勝。本馬が初仔
祖母 レッドソンプレロ(12 キングカメハメハ) 不出走。産駒
 レッドソルダード(騎 黒鹿 *マジェスティックウォリアー) 3勝、灘S、成田特別、兵庫◎1勝、南関東(G)1勝、◎
 レッドブロンクス(牡 黒鹿 エピファネイア) 2勝、◎
 コーバスクリスティ(牡 栗 エピファネイア) 2勝、◎
 スカーレットピース(牝 栗 *アジアエクスプレス) 北海道(G)1勝、南関東(G)1勝、◎

曾祖母 スカーレットレディ(95 *サンデーサイレンス) 1勝。産駒
ヴァーミアン:最優秀ダートホース、ダートグレード競走最優秀馬、中央・南関東・東海・兵庫◎15勝、ジャパンCダート-G1、同3着、フェブラリーS-G1、JBCクラシック-JPN1(3回)、帝王賞-JPN1、東京大賞典-JPN1、同2着(2回)、川崎記念-JPN1(2回)、ダイオライト記念-JPN2、浦和記念-JPN2、名古屋グランプリ-JPN2、ラジオたんぱ杯2歳S-JPN3、エニフS-OP、平安S-JPN3 2着。種牡馬
ソリタリーキング:中央・南関東・岩手◎9勝、東海S-G2、日本テレビ盃-JPN2、マーキュリーC-JPN3、ブリリアントS-L、赤富士S
サカラート:中央・北海道・南関東・岩手◎9勝、東海S-JPN2、日本テレビ盃-JPN2、ブリーダーズゴールドC-JPN2、同2着、マーキュリーC-JPN3、灘S-OP、名古屋城S、かしわ記念-JPN1 3着
キングスエンブレム:6勝、シリウスS-G3、同2着、ベテルギウスS-OP、すみれS-OP、オークランドRC T、上賀茂S、みやこS-G3 2着
 スカーレットベル:5勝、大津特別、八坂特別。産駒
ダノンリパティ:3勝、六甲S-L、BSN賞-L。種牡馬
 スカーレットリング:入着。ハートオブグレイス Heart of Grace(S A J CロードリームズS-G3 3着)の母
 カーミン:3勝、燧ヶ岳特別

配合診断

父が名を上げた大舞台へ向かう自信、砂で輝く強靱な牝系を後継できる母

母レッドパラスは芝1200mで1勝。2代母レッドソンプレロの仔は出走4頭がすべて勝ち馬となりました。3代母スカーレットレディはダイワメジャーと同血(父が同じで母同士が全姉妹)で、ヴァーミアン、ソリタリーキング、サカラート、キングスエンブレムと4頭のダート重賞勝ち馬を産んだ名繁殖牝馬でもあります。「母の父クロフネ」は過去5年間に平地G1を8勝しており、きわめて優秀な成績。レッドパラスはその優れた血統背景からも、繁殖牝馬としての期待が高まります。そこにルヴァンスレーヴが配された本馬は、まさにダートに狙いを定めた配合といえるでしょう。ルヴァンスレーヴの従兄弟であるチュウワウィザード(最優秀ダートホース)とは、近い世代にオータムブリーズ、キングカメハメハ、サンデーサイレンスが共通します。ダート中距離で期待できるでしょう。

レッドオリヴィアの22

全400口 | 1口出資額50,000円(税込) | 総額2,000万円(税込)

生産牧場 ノーザンファーム 育成牧場 ノーザンファーム(予定)



改めてSSクロス破壊力を実感、重賞に挑んだ母の悲願達成を願う

現時点における馬体の特徴と適性

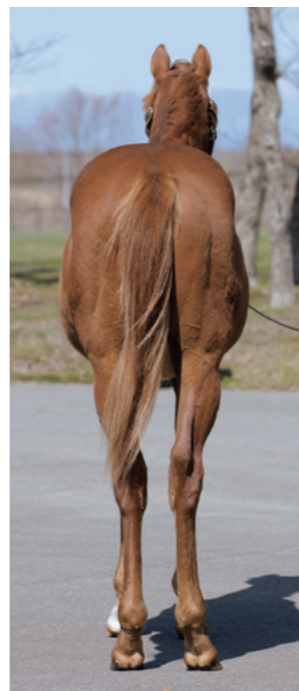
当クラブ所属馬として走り計4勝をマーク、ローズS、マーメイドSと重賞でも健闘した母が、日本と豪州で芝G1を制した父との配合で送り込んできた、スターホースへと成長する資質を有した期待馬。背中から滑らかに伸びている首、ラインが綺麗で、背肉もしっかりと載っている背中、母父に入るジャングルポケットを想起させる、柔軟性に富んだ、しなやかな身のこなしの原動力となっています。一方、厚み、深みがあり、胸筋もよく発達した胸前、形状が良く、容積も大きいトモ、伸びがあり、ボリューム感も十分な胴は、父リアルインパクト譲りの重厚な筋肉を象徴するパーツといえるでしょう。本馬の叔父で、若葉S、アンドロメダSとオープンレースを2勝したレッドソロモンは、典型的な中距離型グラスホース。また、近親馬であるグリッターウイングやトーセンアレスは、ダート重賞の好走馬と、様々なタイプが存在しているファミリー。本馬も幅広いジャンルで躍進する可能性を秘めています。現時点での身体付き、勝ち気な気性からは、父リアルインパクトと同じく、芝マイル戦線が、もっとも適性が活かせる舞台と見えています。仕上がりは早く、2歳夏から実戦経験を積んでいけそうです。

宮田敬介調教師コメント

母レッドオリヴィアは4勝を挙げ重賞にも挑戦。相当な能力を秘めた存在だったと思いますが、産駒はやや小ぶりのタイプが災いしているのか、ブレイクしきれないようです。恐らくサイズ感の願望も含めて、本馬は雄大な馬格を誇ったリアルインパクトを父に迎えたのでしょう。その成果を感じる馬体はしっかりと中身が詰まっている印象で、しぶといマイラーだった父譲りの方向性が予見され、前進気勢にあふれたスピードタイプに成長してくれると思います。3歳春、父の代表産駒ラウダシオンのようにNHKマイルカップ制覇を目標にしていきたいと思います。昨年は優秀厩舎賞(関東)2位の表彰を受け、厩舎も少しずつ軌道に乗ってきた実感もあります。まだまだ少ない経験値ですが、本馬の個性をしっかりと引き出したいと思っています。

ディープインパクト	*サンデーサイレンス	Halo
Deep Impact	Sunday Silence	Wishing Well
鹿 2002	*ウインドインハーヘア	Alzao
リアルインパクト	Wind In Her Hair	Burghclere
Real Impact		
鹿 2008	メドウレイク	Hold Your Peace
*トキオリアリティー	Meadowlake	Suspicious Native
Tokio Reality		
栗 1994	ワットアリアリティー	In Reality
	What a Reality	What Will Be
レッドオリヴィア		
Red Olivia		
鹿 2011	*サンデーサイレンス	Halo
アドマイヤリッチ	Sunday Silence	Wishing Well
Admire Rich		
黒鹿 1998	*レース	Gulch
	Lace	*キーフライヤー

サンデーサイレンス:S3×M3



管理予定調教師

宮田敬介調教師(美浦)

◆1980年10月8日生 ◆2020年開業(4年目) ◆JRA通算67勝 ◆JRA重賞2勝 ※成績は2023年4月16日現在

【主な管理馬】

- ダンシングプリンス:JBCスプリント(JPN1)
- インダストリア:ダービー脚CT(G3)
- フォラブリュエー:紅梅S(L)
- グレートマジシャン:毎日杯(G3)2着
- サトノウィザード:富士S(G2)2着
- ドゥラドレー:毎日杯(G3)3着、菊花賞(G1)4着
- エビファニー:ノベンバーS
- ノワールドゥージュ:バケ岳特別
- スペシャルドラマ:秩父特別
- デイスモーメント:舞浜特別



ファミリー(母系)

母の父 **ジャングルポケット**は早来産、年度代表馬、5勝、ジャパンC-G1、ダービー-JPN1。主な産駒:トールポピー(オークス-JPN1)。【BMS:主な産駒】ミッキースワロー(日経賞-G2)、ソルヴェイグ(フリーズレビュー-G2)、サクセスエナジー(さきたま杯-JPN2)、ロードマイウェイ(チャレンジC-G3)、フルデブスリーダー(エルムS-G3)、コルテジア(きさらぎ賞-G3)

母 **レッドオリヴィア**(11 ジャングルポケット) 4勝、三面川特別(芝1800m)。産駒 オーロロツソ(19 牡 栗 オルフエーヴル)入着、東海公2勝、⑩ ルージュミシェル(20 牝 黒鹿 リオンディーズ)入着、⑩

祖母 **アドマイヤリッチ**(98 *サンデーサイレンス) 6勝、雅S、フィリピンT。産駒

レッドソロモン(牡 メイショウサムソン) 5勝、アンドロメダS-L、若葉S-L、五稜郭S、下鴨S
 レッドラシーマ(牡 *クロフネ) 1勝
 キーフォース(牡 *ファルブラヴ)中央・岩手⑩入着、岩手公5勝
 レティセラ(牝 キングカメハメハ)入着、南関東公2勝
 レッドエーデル(牝 ルーラーシップ)入着、兵庫公2勝

曾祖母 *レース Lace(92 Gulch)米国産、北米1勝。産駒

トーセンアレス: 5勝、伏竜S-OP、金蹄S、利根川特別、プリアントS-L 3着、南関東⑩入着、ジャパンダートダービー-JPN1 5着、障1勝、南関東公4勝、スパーキングサマーC、埼玉新聞栄冠賞、オーバルスプリント-L 2着、報知グランプリC 2着、浦和記念-JPN2 3着

レースウイング: 5勝、羊蹄山特別、層雲峡特別。産駒

グリッターウイング: 4勝、下総S、若狭湾特別、レバードS-L 2着、霜月S-L 2着、障1勝、小倉サマージャンプ3着
 ポイマンドレース: 4勝、平尾台特別、蹴上特別
 コバルトウイング: 1勝、南関東公6勝、京浜盃2着、東海公1勝、東海菊花賞、⑩

アドマイヤシャトル: 5勝、平城京S、端午S-OP 2着、高知公10勝

アドマイヤレース: 5勝、シドニーT、東山特別

四代母 ***キーフライヤー** Key Flyer(86 Nijinsky)米国産、北米3勝、Palisades S-L。**ススカマンボ**(天皇賞・春-JPN1)の祖母

配合診断

勝利を繋げてきた母系に的確な配合、父が輝いた府中の栄光に並ぶ躍進を期待

母レッドオリヴィアはジャングルポケット産駒らしく芝中距離でしぶといレースを続け、計4勝を挙げました。4代母キーフライヤーは名繁殖牝馬ダンシングキイ(ダンスパートナー、ダンスインザダーク、ダンスインザムードの母)の全妹で、一族に天皇賞馬ススカマンボ、ダート重賞を2勝したクイーンマンボなどが出ています。父リアルインパクトは3歳時に安田記念(G1)を制し、7歳時のオーストラリア遠征でジョージライダーS(G1・芝1500m)を制覇しました。ディープインパクト系には珍しいタフなマイラー型種牡馬で、ダートも得意としています。産駒のラウダシオン(NHKマイルC、京王杯SC)、モズメイメイ(チューリップ賞)が重賞を勝ちました。本馬は「父マイラー、母中距離馬」という無理のない配合で、1800mもこなす実用的なマイラーでしょう。

レッドアクトレスの22

全400口 | 1口出資額35,000円(税込) | 総額1,400万円(税込)

生産牧場 坂本智広牧場 育成牧場 木村牧場(予定)



南半球でも父の産駒が大活躍、母の半兄に重賞馬2頭の実績が頼もしい

現時点における馬体の特徴と適性

仏G3アランベール賞を制し、仏1000ギニーで2着したトゥービーの娘で、半兄にG2京都新聞杯勝ちのサトノラーゼン、G3チャレンジCを勝利したサトノクロニクルがいる、華麗なる血脈を誇る母が送り込んできた、初仔となる牡駒。6歳時にG1安田記念を制した父は、持続力に富んだ、パワフルな末脚を武器とする名マイラーでしたが、敏捷性や器用さには、やや欠けるところがありました。母系の長所が色濃く伝わっている本馬は、父とは対照的なタイプとなり、体の隅々まで神経が行き届いているような、キビキビとして小回りも効く、活気あふれる身のこなしを披露しています。伸びやかで柔軟性に富んだ首、やはり筋肉の柔らかさが光る胸前、強靱な背腰、形状が良く、パワフルなトモ、伸びがあり、深みもある胴は、必見の価値を持つ洗練されたパーツ。脚向き、蹄形が綺麗な前肢、飛節の伸びが素晴らしい後肢と脚元が丈夫な上に、気性も落ち着いていることから、育成過程においても、極めて順調にステップを踏んでいけると見えています。デビュー時期は、2歳夏から初秋にかけてとなりそうですが、マイル戦線のビッグタイトル獲得という大目標に向け、文句なしの好スタートを切ることでしょう。

林徹調教師コメント

母レッドアクトレスは未勝利に終わりましたが、重賞馬のサトノラーゼンやサトノクロニクルの半妹ですから、繁殖牝馬としては期待が持てると思います。初仔で少し小ぶりな感じはしますが、全体のバランスは良くコンパクトにまとまった印象、動きからは力強さも伝わってきました。父サトノアラジンは初年度産駒から芝とダートでオープン馬を出すなど、ポテンシャルの高さを感じます。現役時は雄大な馬格を誇っていましたから、本馬の成長にも手助けしてくれるはず。馬は手間をかければかけるだけ、助けてくれる存在だということを厩舎の信条にしています。1頭毎、性格や身体の違いなどを見極めて、出走する限りは勝てる状態で挑みたいと思います。本馬もしっかりと手間をかけ、会員の皆様に勝利を届けられるように頑張ります。

ディープインパクト	*サンデーサイレンス	Halo
Deep Impact	Sunday Silence	Wishing Well
鹿 2002	*ウインドインハーヘア	Alzao
サトノアラジン	Wind In Her Hair	Burghclere
Satono Aladdin		
鹿 2011	ストームキャット	Storm Bird
*マジックストーム	Storm Cat	Terlingua
Magic Storm		
黒鹿 1999	フォピーダンサー	Fappiano
	Foppy Dancer	Water Dance
	*グラスワンダー	Silver Hawk
スクリーンヒーロー	Grass Wonder	Ameriflora
Screen Hero		
栗 2004	ランニングヒロイン	*サンデーサイレンス
レッドアクトレス	Running Heroine	ダイナアクトレス
Red Actress		
栗 2016	インティカーブ	Red Ransom
*トゥービー	Intikhab	Crafty Example
Toupie		
栗 2002	タービテュード	Caerleon
	Turpitude	Canaletto

サンデーサイレンス:S3×M4 Nijinsky:S5×M5 Roberto:M5×M5



管理予定調教師

林徹調教師(美浦)

◆1979年4月4日生 ◆2018年開業(6年目) ◆JRA通算94勝 ◆JRA重賞5勝 ※成績は2023年4月16日現在

【主な管理馬】

- ソングライン:安田記念(G1) ●クレッシェンドラヴ:七夕賞(G3)、福島記念(G3) ●アナザーリリック:福島牝馬S(G3)、アネモネS(L)
- ロバートソクキー:日本海S、オールカマー(G2)2着 ●バトルボーン:ウェルカムS ●ラズベリームース:函館特別、アネモネS(L)2着
- ウイリン:紅梅S(L)3着 ●クイーンオブソウル:アネモネS(L)3着 ●マイウエイアムール:富嶽賞
- ヒイナツキ:西郷特別



ファミリー(母系)

母の父 スクリーンヒーローは千歳産、最優秀牡馬、5勝、ジャパンC-G1、アルゼンチン共和国杯-JPN2。主な産駒:モーリス(天皇賞・秋-G1、香港C-G1)、ゴールドアクター(有馬記念-G1)、ウインマリリン(香港ヴァーズ-G1)、ジェネラーレウーノ(セントライト記念-G2)、アートハウス(ローズS-G2)、クールキャット(フローラS-G2)、ボルドグフージュ(有馬記念-G12着)

母 レッドアクトレス(16 スクリーンヒーロー)入着。本馬が初仔
 祖母 *トゥービー Toupie(02 Intikhab)英国産、仏3勝、アランベール賞-G3、仏1000ギニー-G12着、サンドリンガム賞-G22着、Criterium du Bequet-L2着、Prix Imprudence-L2着、アスタルテ賞-G14着、伊・北米入着、Great Lady M. S3着、オメノーニ賞-G34着。産駒

サトノラーゼン Satono Rasen(驕 ディープインパクト)3勝、京都新聞杯-G2、はなみずき賞、ダービー-G12着、米子S-L2着、リゲルS-L2着、小倉日経オープン-L3着、菊花賞-G15着、豪入着、A T C サマーC-G32着、Gosford RC Gosford Gold Cup-L2着

サトノクロニクル(牡 ハーツクライ)3勝、チャレンジC-G3、白百合S-OP、阪神大賞典-G22着、京都新聞杯-G22着、小倉記念-G32着、セントライト記念-G23着、福島民報杯-L3着、巴賞-OP3着

クール デュード Cool Dude(牡 Lemon Drop Kid)仏2勝、Prix de Pontarme-L2着、Prix de Suresnes-L3着

マイハートビート(牡 ゼンノロブロイ)3勝、高雄特別、若駒S-L2着、ダンストゥービー Dance Toupie(牝 Dansili)仏1戦。産駒

デイヴ Dave(牡 Wootton Bassett)仏2勝、ダフニス賞-G32着、Prix de Pontarme-L2着、Prix de Suresnes-L3着

コマンダー Commander(驕 War Command)仏2勝、北米3勝、Siren Lure S2着、デイトナS-G33着

クイックステップ Quickstep(牝 Wootton Bassett)仏2勝、アンブルダグズ賞-G34着

ドゥーベ(牡 ダイワメジャー)2勝、[Ⓜ]
 *トゥールモンド(驕 Muhtathir)1勝、障2勝

トラストエムシー(牡 ブラックタイド)1勝、[Ⓜ]
 ポワティエ(牝 Le Havre)3戦。産駒

ソレントフレイバー(牡 キタサンブラック)1勝、[Ⓜ]

配合診断

名繁殖牝馬の祖母を後継できる母の資質、父の産駒の傾向を打破し芝での活躍を予感

母レッドアクトレスは、サトノラーゼン(京都新聞杯、日本ダービー2着)、サトノクロニクル(チャレンジC)、マイハートビート(ラジオNIKKEI賞4着)の半妹にあたる良血。2代母トゥービーは仏1000ギニー(G1・芝1600m)2着馬で、良質な芝適性を伝えています。父サトノアラジンは現役時代に安田記念(G1)など3つの重賞を制覇し、種牡馬としてはまだ重賞勝ち馬を出していないものの、シャトル種牡馬となって渡った南半球のニュージーランドで、Pennyweka(ニュージーランドオークス、オーストラリアンオークス)、Tokyo Tycoon(システムS)と2頭のG1馬を含めて4頭の重賞勝ち馬を出しています。同産駒は、牡馬はダート、牝馬は芝に向くという傾向が見られますが、本馬は母が芝血統でサンデーサイレンス3×4。芝でも問題なく走れそうです。

ライラヌールの22

全400口 | 1口出資額70,000円(税込) | 総額2,800万円(税込)

生産牧場 社台ファーム 育成牧場 社台ファーム(予定)



強靱なアメリカンドリームを集結、あらゆる可能性が次代を切り拓く

現時点における馬体の特徴と適性

1番人気に推されたケンタッキーダービーを快勝したのを皮切りに、ブリークネスSを7馬身差、ベルモントSを5馬身半差で圧勝し、1978年のアフアード以来37年振りとなる米三冠馬に輝いた父の種を宿して輸入された母が、日本で出産した第2仔。すでに父は2頭のダートG1ホースを出すなど日本競馬との相性は抜群、母も米G2デムワーゼルスで3着した実績馬であり、本馬の血統背景は極めて魅力的なものといえるでしょう。胸筋が発達した、深みと厚みがある胸前、形状が良く、巨大な容積を誇るトモは、まさに父の産駒ならではのもの。加えて、父譲りの心肺機能の高さも備えていそうで、タフにレースを使える点も、競走馬としての強力な武器となってくるはず。パワーに優れ、ダート一辺倒というイメージもありますが、ラインも綺麗な短めの背中、伸びやかな胴、やはり伸びが良い飛節から、芝も十分にこなせるタイプと見えています。4月生まれということもあり、馬体に実を入れることを強く意識しながら、じっくりと育成過程のステップを踏んでいきたいところ。万全の態勢で臨むデビュー戦を皮切りに、芝、ダートを問わない一流マイラーへの道を突き進んでいきます。

高柳瑞樹調教師コメント

雄大な馬体でバランスも良く、アメリカンフェロー産駒らしい力強さを存分に感じる素晴らしい馬、垢抜けた格好いい牝馬という印象です。姉(ジャミラヌール・父Uncle Mo)もやらせてもらっていますが、姉は2歳になりここへきて良くなりました。本馬はそれよりも成長が早そうなので、来年の今頃はデビューの青写真が描けるのではないのでしょうか。血統からだとはダート適性は高そうですが、前脚の伸びやかさを見ると芝でも活躍を期待したくなるイメージです。厩舎としては故障をさせず、その馬のポテンシャルをできるだけ引き出すということを目指しています。昨年、ようやく大きいところを勝たせてもらいましたが、それに甘んじず今後も、大きい舞台を意識してやっていきたいと思っています。

アメリカンフェロー	エンバイアメーカー	Unbridled
American Pharoah	パイオニアオブサナイル	Empire Maker
鹿 2012	Pioneer of the Nile	Toussaud
栗 2006	黒鹿 2006	スターオブゴシェン
		Lord At War
		Star of Goshen
		Castle Eight
		Storm Cat
		Yankee Gentleman
		Key Phrase
		Ediptical
		Zetta Jet
		Quiet American
		Really Blue
		*デビア
		Bolt From the Blue
		A.P.Indy
		Preach
		Harlan
		Inspid

Storm Cat:S4×M5 Fappiano:S5×M5



管理予定調教師

高柳瑞樹調教師(美浦)

◆1975年8月1日生 ◆2011年開業(13年目) ◆JRA通算208勝 ◆JRA重賞5勝 ※成績は2023年4月16日現在

【主な管理馬】

- スターズオンアース:桜花賞(G1)、オークス(G1)
- タマノブリュネット:レディスプレリユード(JPN2)
- トウシンマカオ:京阪杯(G3)
- リバーラ:ファンタジーS(G3)
- ホウオウイクセル:フラワーC(G3)
- ヴァータリアレグリア:マリンC(JPN3)
- アイスジャイアント:JBC2歳優駿(JPN3)
- ゴールドスミス:オクトーバーS(L)
- ケープコード:すずらん賞、クリスマスローズS
- パラスアテナ:紫苑S(G3)2着



ファミリー(母系)

母の父 **ミッドナイト ルート** Midnight Luteは米国産、米牡馬チャンピオンズプリントナー、北米6勝、BCスプリント-G1(2回)、フォアゴース-G1。主な産駒:*ミッドナイトビズー(コティリオンS-G1)、スムーズ ライク ストレイト(シューメイカーマイルS-G1)。【BMS:主な産駒】ミッドナイト メモリーズ(ゼニヤックスS-G2)、ミッドナイト ストロール(デラウェア オークス-G3)

母 ***ライラヌール** Layla Noor(15 Midnight Lute)米国産、北米2勝、デムワーゼルス-G2 3着、Christiana S 3着、ジェサミンS-G3 4着、ロバートG、ディック メモリアルS-G3 4着。産駒

*ジャミラヌール(21牝 黒鹿 Uncle Mo)未出走

祖母 **セナダ** Senada(07 Pulpit)北米2勝、Dowager S-L、Waya S-L 2着、ピウッチS-G3 3着、グレンズ フォールズS-G3 3着、Topicount S 3着。産駒

プラメン Plamen(駟 Curlin)北米6勝

ザムバク Zambak(牝 Kitten's Joy)北米1勝

曾祖母 **オースリー** Owsley(98 Harlan)北米8勝、ギャラクシーS-G2、ニューヨークH-G2、同4着、モデスティH-G3、グレンズ フォールズH-G3、シープスヘッド ベイH-G2 2着、同4着、レイク ジョージS-G3 2着、Sands Point S-L 2着、ボウゲイH-G3 4着。産駒

アーサーズ テイル Arthur's Tale:北米2勝、ウッド メモリアルS-G1 2着、ブルックリンH-G2 3着、Vanlandingham S-L 3着、ペンシルヴェニアダービー-G2 4着、ディスクヴァリーH-G3 4着

ウォー フート War Hoot:北米4勝、PTHA President's Cup S-L 3着、ニックボッカーS-G3 4着

リメンバー ゼン Remember Then:北米3勝、パッカー アップS-G3 4着。産駒

ボーン ダッパー Born Dapper:北米2勝、Selima S

チャペル Chapel:北米4戦。産駒

ギンガム Gingham:北米3勝、Angels Flight S-L、ラス ヴィルヘネスS-G2 2着、ランチョ ベルナルドH-G3 3着

ブラックアダー Blackadder:北米2勝、El Camino Real Derby-L
四代母 インシビッド Inspid(89 Sham)北米入着。**シュロフミッツ** Schlofmitz(Curtis Sampson Oaks-L)の曾祖母

配合診断

国内のダート戦線で結果を出している好配合、強靱な父の後押しでタイトル奪取を実現

母ライラヌールはデムワーゼルス(米G2・ダ9F)3着。3代母OwsleyはニューヨークH(米G2・芝10F)を勝っています。母の父Midnight LuteはBCスプリント(米G1・ダ6F)を連覇した北米短距離王。そこにカフェファラオやダノンファラオを出しているAmerican Pharoahが配されて、Storm Cat 4×5、Fappiano 5×5など緩やかな父母相似配合となりました。American Pharoah産駒で母方にDeputy Minister系のデビアが入り、Fappianoをクロスする配合は、ビホルダーマイルS(米G1・ダ8F)を勝ったAs Time Goes Byと同じ。母方にDeputy MinisterとMr.Pro prospectorを併せ持つパターンは、ダノンファラオ、ラヤス、コンクパールなど、出走6頭がすべて勝ち馬となっています。ダート1800mをスピードとパワーで圧倒するシーンが目につかびます。

レッドオルガの22

全400口 | 1口出資額125,000円(税込) | 総額5,000万円(税込)

生産牧場 ノーザンファーム 育成牧場 ノーザンファーム(予定)



一族の悲願はG1戴冠の瞬間、桜の舞台で輝く才媛が舞う

現時点における馬体の特徴と適性

湘南S、紅葉Sと芝1600m戦で争われる準OP特別を勝ち、東京新聞杯2着、富士S3着と重賞でも好勝負を演じた母が、現2歳の全兄レッドレクスに続き、父ロードカナロアとの配合で送り込む第2仔。小柄な牝駒ということもあり、現時点の印象としては決して目立つタイプではないが、胸の深さ、形状が良好なトモ、腹部の容量の大きさ、肋張りの良さを持ち、いい具合に輪郭がまとまりつつあります。母もデビュー時が420キロ台、その後、徐々に馬体に実が入り、重賞好走時には450キロ台まで膨らみ、ラストランとなるG1マイルCSに駒を進めたが、この仔も同じような成長過程を描いていくと見えます。ロードカナロア産駒に多く見られる、飛節の折りの深さもなく、後肢が真っ直ぐで綺麗な点、加えて、繋ぎに柔軟性があり、前肢の出が良いことから、怪我なく、順調に育成過程を歩んでいけるはず。実戦にあってからも、タフにレースを重ねられるタイプに成長することでしょう。軽いが故に、仕上がりに手こずらず、デビュー時期は2歳夏から初秋が濃厚。血統的な裏付け、さらには柔軟性にも優れていることから、スピードの活きる芝マイル戦線が、息長く躍動する舞台です。

藤原英昭調教師コメント

初仔は現2歳の全兄レッドレクス。それに続く2番仔で、ちょっと小さめのサイズ感ですが、全体のバランスも良く、シルエツトもきれいで品があります。トモの肉づきだったり、馬体の張りだったり、これからフレームがどのように成長していくのか楽しみにしています。母レッドオルガも管理しましたが、母も成長力があつたので心配はしていません。母としても間違いなく成功し得る血統だと思っていますし、その期待に応えてくれる素質は十分に感じ取っています。ロードカナロア産駒らしいスピードを武器に、まずは母が果たせなかった重賞制覇といきましょう。そして厩舎としても牝馬の3歳G1は獲りたいタイトルなので狙っていきます。牧場と連携し、厩舎スタッフも本馬の個性を把握することに努めていきたいと思ひます。

ロードカナロア	キングマンボ	Mr.Prospector
Lord Kanaloo	キングカメハメハ	Miesque
鹿 2008	King Kamehameha	*ラストタイクーン
レディブラッサム	鹿 2001	*マンファス
Lady Blossom		Manfath
鹿 1996		Pilot Bird
エリモピクシー		Storm Bird
Erimo Pixy		Storm Cat
鹿 1998		Terlingua
レッドオルガ		Cormorant
Red Olga		Saratoga Dew
鹿 2014		Super Luna
エリモピクシー		Halo
Erimo Pixy		Sunday Silence
鹿 1998		Wishing Well
レッドオルガ		Alzao
Red Olga		Burghdere
鹿 2014		Lyphard
エリモピクシー		Navajo Princess
Erimo Pixy		*テスコボーイ
鹿 1998		*デブグリーンフ

Lyphard:M4×M5 Northern Dancer:S5×M5



管理予定調教師

藤原英昭調教師(栗東)

◆1965年6月29日生 ◆2001年開業(23年目) ◆JRA通算834勝 ◆JRA重賞61勝 ※成績は2023年4月16日現在

【主な管理馬】

- シャフリヤール:日本ダービー(G1)、ドバイシーマクラシック(G1)
- エイシンフラッシュ:日本ダービー(G1)、天皇賞・秋(G1)
- ストレイトガール:ヴィクトリアマイル(G1)2回、スプリンターズS(G1)
- エポカドーロ:皐月賞(G1)、日本ダービー(G1)2着
- トーセンラー:マイルCS(G1)
- ミスターメロディ:高松宮記念(G1)
- サクセスブロッケン:フェブラリーS(G1)、東京大賞典(G1)
- エイジャンウインズ:ヴィクトリアマイル(G1)
- レッドベルジュール:デイリー杯2歳S(G2)
- レッドベルオーブ:デイリー杯2歳S(G2)



ファミリー(母系)

母の父 **ディーブインパクト**は早来産、年度代表馬(2回)、12勝、三冠、ジャパンC-G1。総合・2歳チャンピオンサイアー。主な産駒:コントレイル(三冠、ジャパンC-G1)、ジェンティルドンナ(ジャパンC-G1 2回)。**【BMS:主な産駒】**プロウアウト(ファースト レイディS-G1)、キセキ(菊花賞-G1)、ジェラルディーナ(エリザベス女王杯-G1)、ドルチェモア(朝日杯フューチャリティS-G1)

母 **レッドオルガ**(14 ディーブインパクト) 5勝、紅葉S(芝1600m)、湘南S(芝1600m)、賢鳥特別(芝1600m)、豊川特別(芝1600m)、東京新聞杯-G3 2着、富士S-G3 3着。産駒 レッドレクス(21 牡 鹿 ロードカナロア)未出走

祖母 **エリモピクシー**(98 *ダンスンブレヴ) 7勝、ファイナルS-L、陽春S、フリピンT、知多特別、京都牝馬S-JPN3 3着、愛知杯-JPN3 3着、福島牝馬S-JPN3 3着、ポトアイランドS-L 3着、都大路S-L 3着、エリザベス女王杯-JPN1 4着、府中牝馬S-JPN3 4着。産駒

レッドアリオン(驥 アグネスタキオン) 7勝、マイラーズC-G2、同4着、関屋記念-G3、ニューイヤーS-L、洛陽S-OP、西宮S、フローラルワーク賞、ニュージューランドT-G2 2着、リゲルS-OP 2着、富士S-G3 3着、アーリントンC-G3 3着、NHKマイルC-G1 4着

リディル(牡 アグネスタキオン) 5勝、スワンS-G2、デイリー杯2歳S-JPN2、米子S-L、谷川岳S-L、白富士S-L 2着、洛陽S-OP 2着

クラレント(牡 ダンスンブレヴ) 7勝、デイリー杯2歳S-G2、京成杯オータムH-G3、富士S-G3、エプソムC-G3、東京新聞杯-G3、関屋記念-G3、京王杯スプリングC-G2 2着(2回)、安田記念-G1 3着、NHKマイルC-G1 3着、毎日王冠-G2 3着、阪神C-G2 3着

サトノルパン(牡 ディーブインパクト) 5勝、京阪杯-G3、タンザナイトS-OP、道頓堀S、スワンS-G2 2着、ファルコンS-G3 2着

レッドアヴァンセ(牝 ディーブインパクト) 4勝、エルフィンS-OP、ユートピアS、三面川特別、阪神牝馬S-G2 2着、ヴィクトリアマイル-G1 3着、富士S-G3 3着、秋華賞-G1 5着

レッドヴェイロン(牡 キングカメハメハ) 4勝、紅葉S、鷹巣山特別、キャピタルS-L 2着、NHKマイルC-G1 3着、アーリントンC-G3 3着、◎

曾祖母 **エリモシューテング**(84 *テスコボーイ) 2勝、忘れな草賞-OP。産駒 **エリモシツク**: 4勝、エリザベス女王杯-JPN1、秋華賞-JPN1 2着

配合診断

母として大仕事ができるニックス、非凡なスピードを活かして世代を凌駕

2代母エリモピクシーはエリモシツク(エリザベス女王杯)の全妹で、4頭の重賞勝ち馬を産んだ稀代の名繁殖牝馬です。母レッドオルガはサトノルパン(京阪杯)、レッドアヴァンセ(ヴィクトリアマイル3着)の全妹。現役時代に芝のマイル重賞で2着、3着と好成績を挙げました。「ディーブインパクトとダンスンブレヴ」は有名なニックスで、スマートレイアー、ディーブポンド、カツジなど、このふたつの血を近い世代に併せ持つ活躍馬は少なくありません。母レッドオルガはこのパターンから誕生しているの、繁殖牝馬として大いに期待できるでしょう。「ロードカナロア×ディーブインパクト」は、ファンタジスト(京王杯2歳S、小倉2歳S)、ボンボヤージ(北九州記念)と同じ。父母双方から非凡なスピード因子を受け継いだ本馬は、マイル以下で大仕事が期待できます。

インディゴブルーの22

全400口 | 1口出資額100,000円(税込) | 総額4,000万円(税込)

生産牧場 社台牧場 育成牧場 吉澤ステーブル・BTC(予定)



クラシック仕様の王道配合、自信を持って世代の主角を狙う

現時点における馬体の特徴と適性

G2アメリカJCCを制したアリストテレスの半姉で、皐月賞馬ヴィクトリー、ダービー馬フサイチコンコルド、阪神大賞典など芝中長距離G2を3勝し、有馬記念、天皇賞・春、菊花賞でいずれも2着したリンカーンらを輩出した超名門ファミリーの血を引く母が送り込んできた、第2仔となる牡駒。父に2021年年度代表馬エフフォーリア、三冠牝馬デアリングタクトと大物産駒を出すことで定評がある名血種牝馬エピファネアを得たことも功を奏し、バランスの良さと柔軟性に優れた、気品と優雅さを漂わせる好馬体の持ち主となりました。程好い厚みと深みを有する胸前、十分に発達した背筋が光る背中、容積が大きい、形状の綺麗なトモ、肋張りの良さが際立つ胴は、伸びやかな身のこなしと、完歩の大きい歩きを生み出す強力なエンジン。脚向きが良く、関節もしなやかな前肢、造作、伸びともに良好な飛節がセールスポイントとなる後肢と、脚元が丈夫なことから、極めて順調に、育成過程における課題をクリアしていくと見えています。仕上がりは早く、2歳夏には万全の状態デビュー戦を迎えられるはず。3歳春の大一一番を視野に、出世街道を勢いよく駆け上がっていくことでしょう。

藤原英昭調教師コメント

大物感がある。第一印象でそう思わせてくれる馬はそれほどいません。身のこなしが機敏で、伸びやかな歩きは踏み込みもしっかりしています。上質なエピファネア産駒らしい馬体です。ブラックタイプを見ると、第二のアリストテレスを狙った意味合いが伝わります。この馬で成し遂げたいことはわかっているので、血統の良さを信じて育てたいと思います。成長次第ですが、早めに使い出さず1勝、そこから狙ったレースに照準を定め、完璧なローテーションでクラシックに向かいたいです。ダービーを意識するのは当然、2回勝ちましたが、特別な想いは今も変わりません。海外挑戦をするにも、ダービーを勝たなければ、それ以上の発展は望めないでしょう。本馬がどこまで理想に近づけるのか、出来ることのすべてを尽くしていきます。

クリスエス	Roberto
シンボリクリスエス	Kris S. Sharp Queen
Symboli Kris S	
黒鹿 1999	ティーケイ Gold Meridian
エピファネア	Tee Kay Tri Argo
Epiphaneia	
鹿 2010	スペシャルウィーク *サンデーサイレンス
シーザリオ	Special Week キャンベンガール
Cesario	
青 2002	*キロフプリエール Sadler's Wells
	Kirov Premiere Querida
牡	
黒鹿毛	
2022.4.9生	
キングカメハメハ	Kingmambo
ロードカナロア	King Kamehameha *マンファス
Lord Kanaloa	
鹿 2008	レディブラッサム Storm Cat
インディゴブルー	Lady Blossom *サラトガデュー
Indigo Blue	
黒鹿 2016	ディーブインパクト *サンデーサイレンス
ブルーダイヤモンド	Deep Impact *ウインドインハーヘア
Blue Diamond	
黒鹿 2011	グレースアドマイヤ *トニービン
	Grace Admire *バレークイン

サンデーサイレンス:S4×M4 Sadler's Wells:S4×M5



管理予定調教師

藤原英昭調教師(栗東)

◆1965年6月29日生 ◆2001年開業(23年目) ◆JRA通算834勝 ◆JRA重賞61勝 ※成績は2023年4月16日現在

【主な管理馬】

- シャフリヤール:日本ダービー(G1)、ドバイシーマクラシック(G1) ●エイシンフラッシュ:日本ダービー(G1)、天皇賞・秋(G1)
- ストレイトガール:ヴィクトリアマイル(G1)2回、スプリンターズS(G1) ●エボカドー:皐月賞(G1)、日本ダービー(G1)2着
- トーセンラー:マイルCS(G1) ●ミスターメロディ:高松宮記念(G1) ●サクセスブロッケン:フェブラリーS(G1)、東京大賞典(G1)
- エイジャンウインズ:ヴィクトリアマイル(G1) ●レッドベルジュール:デイリー杯2歳S(G2) ●レッドベルオーブ:デイリー杯2歳S(G2)



ファミリー(母系)

母の父 **ロードカナロア**は新ひだか産、年度代表馬、中央・香港13勝、香港スプリント-G1(2回)。主な産駒:アーモンドアイ(ジャパンC-G1 2回、牝馬三冠)、サートゥルナーリア(皐月賞-G1、ホープフルS-G1)、パンサラッサ(サウジC-G1)、ダノンスマッシュ(香港スプリント-G1)、ステルヴィオ(マイルチャンピオンシップ-G1)。【BMS:主な産駒】ドットクルー(毎日杯-G3 3着)

母 **インディゴブルー**(16 ロードカナロア) 5戦、入着。産駒 レッドアズール(21 牡 黒鹿 *ハービンジャー) 未出走

祖母 **ブルーダイヤモンド**(11 ディーブインパクト) 6戦。産駒

アリストテレス(牡 エピファネア) 4勝、アメリカJCC-G2、小牧特別、出雲崎特別、菊花賞-G1 2着、京都大賞典-G2 2着、すみれS-L 2着、若駒S-L 2着、天皇賞春-G1 4着、◎

カタリーナ(牝 ドゥラメンテ) 1勝

ソクラテス(牡 ドゥラメンテ) 1勝、◎

クレオメデス(牡 モーリス) 1勝、◎

曾祖母 **グレースアドマイヤ**(94 *トニービン) 5勝、東大路S、馬籠特別、TVQ杯、御在所特別、府中牝馬S-JPN3 2着、4歳牝馬特別(東)~JPN2 3着、きさらぎ賞-JPN3 4着、4歳牝馬特別(西)~JPN2 5着。産駒

ヴィクトリー: 3勝、皐月賞-JPN1、若葉S-L、ラジオNIKKEI杯2歳S-JPN3 2着、京都記念-G2 3着。種牡馬

リンカーン: 6勝、阪神大賞典-G2、京都大賞典-G2、日経賞-JPN2、すみれS-OP、若駒S-OP、菊花賞-JPN1 2着、天皇賞春-JPN1 2着、有馬記念-JPN1 2着、同3着、宝塚記念-G1 3着。種牡馬

グローリアステイズ: 1勝、フローラS-JPN2 2着、ローズS-JPN2 2着、忘れな草賞-OP 3着。産駒

ジェラシー: 2勝、スイートピーS-L、オークス-G1 4着

ロベルタ: 3勝、高山特別。産駒

フランツ: 4勝、むらさき賞、春日特別、アンドロメダS-L 2着

プリンセスグレース: 3勝、北野特別、富里特別

タクティクス: 2勝、咲花特別

スカレット: 不出走。産駒

アドミラブル: 3勝、青葉賞-G2、ダービー-G1 3着。種牡馬

エスポワール: 4勝、修学院S、ターコイズS-G3 2着

配合診断

同牝系から桜花賞2着のコナコースト、父との配合で複数の成功例も頼もしい

ヴィクトリー、リンカーン、アドミラブルと同じくグレースアドマイヤを経てバレークインにさかのぼる牝系。現3歳ではコナコーストが桜花賞で2着と健闘しました。30年間以上にわたり絶えず一線級の活躍馬を出しているファミリーです。母インディゴブルーの半弟には、アメリカJCCを勝ち菊花賞で2着となったアリストテレスがいます。同馬の父エピファネアは本馬の父でもあるので、両者は3/4同血の関係です。母方にディーブインパクトが入り、なおかつSadler's Wellsのクロスを持つ配合は、オーソクレス(菊花賞2着)やムジカ(ローズS 2着)と同じで、エピファネア産駒でも成功しています。全体的に重厚な中長距離血脈が強いので、母の父にロードカナロアの軽いスピードが入るのもバランス的に良好。底力と成長力に富み、しなやかかつ重厚な芝中距離馬です。

ダーヌビウスの22

全400口 | 1口出資額125,000円(税込) | 総額5,000万円(税込)

生産牧場 三嶋牧場 育成牧場 三嶋牧場・BTC(予定)



最強牝馬を生んだ超良血母系、堂々と3歳春の頂上決戦へ

現時点における馬体の特徴と適性

関屋記念、京都牝馬SとG3重賞を2勝し、ヴィクトリアマイル2着、マイルCS3着と、G1でも好勝負を展開した、芝マイル戦線の強豪ドナウブルーの娘である母が、種牡馬としての確固たる地位を築き上げた父との配合から誕生させた牡駒。初仔ながら、骨格の良さと重厚感を備えた、逞しい馬体の持ち主となりました。胸筋がよく発達した胸前、丸みと幅を保持した、ボリューム感満点のトモ、伸びが良く、腹構えがしっかりとしている胴、飛節の可動域が広い後肢といったパーツは、惚れ惚れとする、パワフルな身のこなしの原動力。加えて、高く柔軟性に優れた首、背筋がしっかりと載り、上手に使えている背中から、高い芝適性を所有しているタイプと見ています。気性が良く、人間の指示には素直に従ってくれるだけに、順調に育成過程を歩んでいけるはず。一族からは、3歳三冠牝馬で、古馬となってからもジャパンC、有馬記念、ドバイシーマクラシックとビッグタイトルを積み重ねていった歴史的な名牝ジェンティルドンナが登場しているだけに、本馬にも、豊かな成長力を存分に発揮した、一線級における息の長い活躍を望みたいところです。

友道康夫調教師コメント

均整がとれた好馬体。歩きはゆったりとしながらも素軽く、首を上手に使って歩く姿に好印象を持ちました。骨格がしっかりとっていてトモの容量も十分、ひとこと言うとな「逞しい」です。キリっとした目つきは競走馬向きで、近親ジェンティルドンナの勝負根性を受け継いでいるようなら最高です。エピファネシア産駒で胴が長めに映ることからも、中距離路線を歩んでいくことになりそうです。厩舎の方針として、全スタッフが全頭を見て触ってというスタイルを実践。馬の癖や仕草をチェックし、日々心身の変化や異常を見逃さないようにしています。本馬の目標はダービー。これまで3回、勝たせてもらいましたがダービーだけは別格。何度でも勝ちたい舞台ですが、4回目の勝利が東京サラブレッドクラブの馬であるよう頑張っていきます。

クリスエス	Roberto	
*シンボリクリスエス	Kris S.	Sharp Queen
Symboli Kris S		
黒鹿 1999	ティーケイ	Gold Meridian
エピファネシア	Tee Kay	Tri Argo
Epiphaneia		
鹿 2010	スペシャルウィーク	*サンデーサイレンス
シーザリオ	Special Week	キャンペンガール
Cesario		
青 2002	*キロフプレミア	Sadler's Wells
	Kirov Premiere	Querida
牡		
黒鹿毛		
2022.3.5生		
キングマンボ	Mr.Prospector	
キングカメハメハ	Kingmambo	Miesque
King Kamehameha		
鹿 2001	*マンファス	*ラストタイクーン
ダーヌビウス	Manfath	Pilot Bird
Danubius		
鹿 2017	ディーブインパクト	*サンデーサイレンス
ドナウブルー	Deep Impact	*ウインドインハーヘア
Donau Blue		
鹿 2008	*ドナブリニ	Bertolini
	Donna Blini	Cal Norma's Lady

サンデーサイレンス:S4×M4



管理予定調教師

友道康夫調教師(栗東)

◆1963年8月11日生 ◆2002年開業(22年目) ◆JRA通算676勝 ◆JRA重賞58勝 ※成績は2023年4月16日現在

【主な管理馬】

- ドウデュース:日本ダービー(G1)、朝日杯FS(G1) ●ワールドプレミア:天皇賞・春(G1)、菊花賞(G1)
- ヴィブロス:ドバイターフ(G1)、秋華賞(G1) ●アドマイヤマーズ:香港マイル(G1)、NHKマイルC(G1)
- ヴァルシーナ:ヴィクトリアマイル(G1)2回 ●シュヴァルグラン:ジャパンC(G1) ●マカヒキ:日本ダービー(G1)
- ワグネリアン:日本ダービー(G1) ●アンライバルド:皐月賞(G1) ●アドマイヤジュビタ:天皇賞・春(G1)



ファミリー(母系)

母の父 **キングカメハメハ**は早来産、最優秀3歳牡馬、7勝、ダービー-JPN1。総合・2歳チャンピオンサイアー。B M Sチャンピオン。主な産駒:ドラムメンテ(ダービー-G1)。【B M S:主な産駒】ワグネリアン(ダービー-G1)、ウシュバテソ(ドバイワールドC-G1)、ジオグリフ(皐月賞-G1)、プラストワンピース(有馬記念-G1)、デアリングタクト(牝馬三冠)、ソダシ(桜花賞-G1)

母 **ダーヌビウス**(17 キングカメハメハ) 2戦。本馬が初仔
祖母 **ドナウブルー**(08 ディーブインパクト) 5勝、関屋記念-G3、同4着、京都牝馬S-G3、同2着、白菊賞、ヴィクトリアマイル-G1 2着、同5着、府中牝馬S-G2 2着、同3着、マイルチャンピオンシップ-G1 3着、同5着、フィリーズレビュー-G2 4着、中京記念-G3 4着、ローズS-G2 5着、シンザン記念-G3 5着。産駒

ドナウデルタ(牝 ロードカナロア) 6勝、信越S-L、ポートアイランドS-L、石清水S、醍醐特別、阪神牝馬S-G2 3着、チューリップ賞-G2 4着、デイリー杯2歳S-G2 5着
イシュトヴァーン(牝 ルーラーシップ) 4勝、羅生門S、妙見山特別、コーラルS-L 2着
ドナウエレン(牝 モーリス) 2勝、しゃくなげ賞、[Ⓞ]
ドナウパール(牝 エピファネシア) 1勝、[Ⓞ]

曾祖母 ***ドナブリニ** Donna Blini(03 Bertolini) 英国産、英4勝、チェヴァリーパークS-G1、チェリーヒントンS-G2、サマーS-G3 2着、Hilary Needler Trophy-L 2着。産駒

ジェンティルドンナ:年度代表馬(2回)、最優秀3歳牝馬、最優秀古牝馬(2回)、9勝、ジャパンC-G1(2回)、同4着、有馬記念-G1、オークス-G1、桜花賞-G1、秋華賞-G1、ローズS-G2、シンザン記念-G3、天皇賞(秋)-G1 2着(2回)、宝塚記念-G1 3着、チューリップ賞-G3 4着、UAE 1勝、ドバイシーマクラシック-G1、同2着。産駒
ジェラルディーナ:最優秀古牝馬、6勝、エリザベス女王杯-G1、オールカマー-G2、鳴尾記念-G3 2着、有馬記念-G1 3着、小倉記念-G3 3着、京都記念-G2 4着、チャレンジC-G3 4着、[Ⓞ]
モアナアナラ: 3勝、都井岬特別

ドナトラエンテ: 4勝、初富士S、調布特別、福島牝馬S-G3 2着
スレイマン: 4勝、三河S、天白川特別、仁川S-L 3着、[Ⓞ]

配合診断

母としての成功が約束されている血、近親のG1馬に匹敵する大物輩出へ

母ダーヌビウスはドナウデルタ(阪神牝馬S3着)の4分の3妹。2代母ドナウブルー(関屋記念、京都牝馬S)は、年度代表馬で顕彰馬にも選出された女傑ジェンティルドンナ(ジャパンC2回、ドバイシーマクラシック、有馬記念、牝馬三冠)の全姉にあたり、近親にはジェラルディーナ(エリザベス女王杯)、ロジャーバローズ(日本ダービー)など大物が並んでいます。「エピファネシア×キングカメハメハ」は成功確率の高い組み合わせ。牝馬三冠馬デアリングタクトやイズジョーノキセキ(府中牝馬S)などコンスタントに活躍馬が誕生しています。サンデーサイレンスのクロスや、母方にDanzigを持つパターンも、父の配合パターンのなかで上手くいっており、配合的には何の問題もありません。このファミリーのストロングポイントである長打力を期待できるタイプでしょう。

リュズキナの22

全400口 | 1口出資額120,000円(税込) | 総額4,800万円(税込)

生産牧場 ノーザンファーム 育成牧場 ノーザンファーム(予定)



重賞を制した半兄を超える資質、クラシックの王道を迷わず突き進む

現時点における馬体の特徴と適性

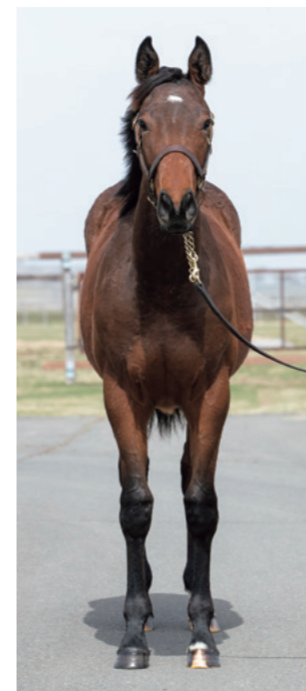
息の長い末脚を駆使して3歳5月にG2京都新聞杯を制したほか、秋にはG2神戸新聞杯で2着した、本馬の4歳上の半兄レッドジェネシスは、父がディーブインパクトながら、母父に入る北米首位種牡馬ストームキャットの血が色濃く出ていました。そのため、身のこなしには少し硬いところがあったが、この仔はしなやかで、外見的にも、あまり似ていないタイプ。現時点では、胸部の厚み、胸前の深さに比べ、尻の面積が小振りなこと、また、背中が短めで、遊びが少ないことから、前輪駆動の動きになりそうだが、今後成長するにつれトモが大きくなってくれば、バランスの取れた、良い走行フォームをマスター出来ると見えています。しっかりとしていて、特に注文するところがない前肢、飛節の伸びが良く、変なクセもない後肢と、四肢が健康なことも、大きなアドバンテージ。性格も穏やかで、腹回りに無駄肉が付いていないことから、順調に育成過程を歩み、2歳夏には十分に仕上がった状態で、デビュー戦に臨めるはず。基本的には、芝マイル戦向きと考えるが、首差しの力強さ、肋張りの良い胴から、案外ダート戦でもいけるかも。独特の大物感を漂わす、とても楽しみな若駒です。

池江泰寿調教師コメント

欠点のない好馬体の持ち主。このままの健康体で成長すれば、厳しい調教にも耐えてくれるでしょう。それならば早い時期から使い出せるかもしれません。活躍の舞台は芝のマイルから中距離。半兄レッドジェネシスがダービーに出走していますから、クラシックも目指したいし、それ以上の結果を追い求めたいです。そのためにも、牧場の皆さんと膝をつき合わせて、調教の強度をどうするか、次走はどのレースで帰厩をいつにするかなど、細かい打ち合わせをしています。牧場でも厩舎でも自分の目で確認することだけは欠かしていません。色々なレースを勝ちましたが、凱旋門賞は2着2回と悔しい思いをしています。何としてでも勝ちたい気持ちがあります。本馬にもその可能性があると感じて取り組んでいきたいと思います。

	クリスエス	Roberto
*シンボリクリスエス	Kris S.	Sharp Queen
Symboli Kris S		
黒鹿 1999	ティーケイ	Gold Meridian
エピファネイア	Tee Kay	Tri Argo
Epiphaneia		
鹿 2010	スペシャルウィーク	*サンデーサイレンス
シーザリオ	Special Week	キャンペンガール
Cesario		
青 2002	*キロフプリミエール	Sadler's Wells
	Kirov Premiere	Querida
牡		
鹿毛		
2022.2.9生		
	ストームバード	Northern Dancer
ストームキャット	Storm Bird	South Ocean
Storm Cat		
黒鹿 1983	ターリングア	Secretariat
*リュズキナ	Terlingua	Crimson Saint
Ryzhkina		
栗 2008	サドラズウェルズ	Northern Dancer
	Sadler's Wells	Fairy Bridge
ラッキー		
Lucky		
鹿 2001	ズマルード	Habitat
	Zummerudd	Ampulla

Sadler's Wells:M3×S4 Northern Dancer:M4×M4×S5 Habitat:M4×S5



管理予定調教師

池江泰寿調教師(栗東)

◆1969年1月13日生 ◆2004年開業(20年目) ◆JRA通算814勝 ◆JRA重賞90勝 ※成績は2023年4月16日現在

【主な管理馬】

- オルフェヴール:クラシック三冠、有馬記念(G1) ●ドリームジャーニー:有馬記念(G1)、宝塚記念(G1)
- サトノダイヤモンド:有馬記念(G1)、菊花賞(G1) ●ラプリーデ:天皇賞・秋(G1)、宝塚記念(G1)
- ミッキークイーン:オークス(G1)、秋華賞(G1) ●アルアイン:皐月賞(G1)、大阪杯(G1) ●トウセンジョーダン:天皇賞・秋(G1)
- ベルシアンナイト:マイルCS(G1) ●サトノアラジン:安田記念(G1) ●ジャンダルム:スプリンターズS(G1)



ファミリー(母系)

母の父 ストーム キャット Storm Catは米国産、北米4勝、ヤング アメリカ S-G1。北米総合・2歳チャンピオンサイアー。北米BMSチャンピオン。主な産駒:ジャイアンツ コーズウェイ(愛チャンピオンS-G1)。【BMS:主な産駒】キズナ(ダービー-G1)、ロードカナロア(香港スプリント-G1 2回)、ラヴズオンリーユ(オークス-G1)、ダンノンキングリー(安田記念-G1)

母 *リュズキナ Ryzhkina(08 Storm Cat)愛国産、不出走。産駒 ラヴロフスキー Lavrovsky(15 騎 Zoustar)豪2勝 **レッドジェネシス**(18 牡 鹿 ディーブインパクト)3勝、京都新聞杯-G2(芝2200m)、ゆきやなぎ賞(芝2400m)、神戸新聞杯-G2 2着、ルージュクオーレ(20 牝 黒鹿 ドゥラメンテ)未出走 ルージュエルテ(21 牝 黒鹿 ハーツクライ)未出走

祖母 **ラッキー** Lucky(01 Sadler's Wells)愛2勝、アサシ S-G3、愛1000ギニートライアル S-G3 4着。産駒 オレワ Orewa(騎 Helmet)英3勝、愛1勝

曾祖母 ズマルード Zummerudd(81 Habitat)英2戦。産駒 ***キングオブキングス** King of Kings:愛4勝、愛ナショナル S-G1、レイルウェイ S-G3、Tyros S-L、英1勝、英2000ギニー-G1。種牡馬

ジェネラル モナッシュ General Monash:英1勝、ノーフォーク S-G3 3着、仏4勝、ロベール ノバラン賞-G2。種牡馬

アメシスト Amethyst:愛2勝、Leopardstown 1000 Guineas Trial S-L、愛1000ギニー-G1 2着、Debutante S-L 2着。産駒

シェイドウン Shadn:英2勝、Rose Bowl S-L、ミル リーフ S-G2 3着、仏1勝、クリテリウムドメゾンラフィット-G2

フラジェット Furajet:英2勝、クイーン メアリー S-G3 3着。産駒

チャイナ ヴィジット China Visit:仏2勝、ロンボワン賞-G2、フォレ賞-G1 2着、UAE 2勝。種牡馬

グユーム Ghuyoom:不出走。産駒

クラッシー リレイション Classy Relation:不出走。**ゴールデン ビヴォ**

タル Golden Pivotal (Premio Alberto Giubilo-L)の母

グッドラック チャーム Good Luck Charm:不出走。産駒

ロー ジンベロ Lo Zimbello:不出走。**レア ダイヤモンド** Rare Diamond (BRC Juanmo S-L)の母

配合診断

大胆な配合構成だからこそその期待感、半兄を超える芝の中距離で本領発揮

レッドジェネシス(京都新聞杯)の半弟。母は不出走馬ですが、2代母LuckyはアサシS(愛G3・芝7ハロン)の勝ち馬で、3代母Zummeruddは本邦輸入種牡馬スティールハート(マイル王ニホンピロウイナーの父)の4分の3同血。2代母Luckyは「Sadler's Wells×Habitat」の組み合わせで、これは父の2代母キロフプリミエールと同じ。つまり本馬は「キロフプリミエール×Lucky 3×2」という大胆な配合構成となっています。キロフプリミエールもLuckyもSadler's Wellsの娘ですが、この2頭は決して重たい血ではないので、このクロスによって鈍重さが生じる懸念はないでしょう。母方にStorm Catを持つ父の産駒は、2歳女王サークルオブライフを筆頭に、1走あたりの賞金額、連対率、勝ち上がり率、2勝以上率とも、父の全体成績を上回ります。芝向きの中距離タイプ。

ボインビューティーの22

全400口 | 1口出資額125,000円(税込) | 総額5,000万円(税込)

生産牧場 ノーザンファーム 育成牧場 ノーザンファーム(予定)



北米の頂点を知る優れた母系、まずは日本で女王の座に就く

現時点における馬体の特徴と適性

3歳夏から本格化、初G1制覇となったトラヴァーズSで2着馬に13馬身半差を付ける衝撃のレコード勝ちを飾ったのを皮切りに、ブリーダーズクラシック、ペガサスワールドC、ドバイワールドCとビッグレースをぶっこ抜いたアロゲイトは、大スターが相次いで登場した近年の米競馬界でも、飛び切りの名馬だったと評価して構わないでしょう。母は、そのアロゲイトの3歳下の半妹となる超名血馬。競走に出走せず繁殖入りしたが、消耗せずに母となれたことは、今後に向けての好材料とも見えます。この仔に関しては、胸前、腕にかけての筋肉量は、今後の発達待ちといった段階だが、柔軟性に優れた短めの背中、伸びの良い胴、傾斜角度の良さが目立つ肩など、馬体のバランス自体は極めて良好。歩きや身のこなしを見ても、柔らか味と推進力があり、かなりの身体能力の持ち主であることがうかがえます。落ち着いた気性で脚元も丈夫なだけに、スムーズに育成過程を進んでいくはず。大人びた精神面に、身体面の成長が追い付いていけば、素質開花も近付くことでしょう。仕上がりは早く、2歳夏のデビューも十分可能だが、偉大な伯父を見習い、じっくりと成長を見守りたいとも考えています。

友道康夫調教師コメント

半姉を管理させてもらっていますが、父がイントゥミスターからエピファネシアに替わり筋肉量が豊富で迫力のある馬体が目につきます。半姉よりも胴が長めで身体づくりがゆったりしていることから、距離の融通が利きそうです。柔らかみがあり、芝の長いところが向いているイメージが沸き、うちの厩舎にぴったりではないでしょうか。順調に成長して欲しいと思います。多くの方が友道厩舎は長い距離がいいというイメージを持たれているようですが、これまでと変わらないメニューで調整し、マイルやダートで活躍している馬もいます。基本的にはあらゆるカテゴリーで勝てる馬をつくりあげたいと思っています。そして海外にも積極的に挑戦したいと考えています。本馬でまずは厩舎悲願の桜花賞、オークスを狙っていきましょう。

クリスエス	Roberto	
*シンボリクリスエス	Kris S.	Sharp Queen
Symboli Kris S		
黒鹿 1999	ティーケイ	Gold Meridian
エピファネシア	Tee Kay	Tri Argo
Epiphaneia		
鹿 2010	スペシャルウィーク	*サンデーサイレンス
シーザリオ	Special Week	キャンペンガール
Cesario		
青 2002	*キロフプリミエール	Sadler's Wells
	Kirov Premiere	Querida
メス		
鹿毛		
2022.2.26生		
ジャイアンツコースウェイ	Storm Cat	Storm Bird
Giant's Causeway		Terlingua
栗 1997	マリアーズストーム	Rahy
*ボインビューティー	Mariah's Storm	*イメンス
Boyne Beauty		
栗 2016	ディストレイドヒューマー	*フォーティナイナー
バブラー	Distorted Humor	Danzig's Beauty
Bubblers		
黒鹿 2006	グリーシェル	Deputy Minister
	Grechelle	Meadow Star

Roberto:S4×M5 Northern Dancer:S5×M5



管理予定調教師

友道康夫調教師(栗東)

◆1963年8月11日生 ◆2002年開業(22年目) ◆JRA通算676勝 ◆JRA重賞58勝 ※成績は2023年4月16日現在

【主な管理馬】

- ドウデュース:日本ダービー(G1)、朝日杯FS(G1) ●ワールドプレミア:天皇賞・春(G1)、菊花賞(G1)
- ヴィブロス:ドバイターフ(G1)、秋華賞(G1) ●アドマイヤマーズ:香港マイル(G1)、NHKマイルC(G1)
- ヴァルシーナ:ヴィクトリアマイル(G1)2回 ●シュヴァルグラン:ジャパンC(G1) ●マカヒキ:日本ダービー(G1)
- ワグネリアン:日本ダービー(G1) ●アンライバルド:皐月賞(G1) ●アドマイヤジュビタ:天皇賞・春(G1)



ファミリー(母系)

母の父 **ジャイアンツ コースウェイ** Giant's Causeway は米国産。全欧年度代表馬、愛仏英9勝、エクリプスS-G1。北米2歳チャンピオンサイアー。主な産駒:*ブリックスアンドモルタル(BCターフ-G1)。**【BMS:主な産駒】**ガンランナー(BCクラシック-G1)、ビューティパーラー(仏1000ギニー-G1)、*ホークビル(エクリプスS-G1)、*レモンポップ(フェブラリーS-G1)

母 ***ボインビューティー** Boyne Beauty(16 Giant's Causeway)米国産。不出走。産駒 チェック エンジン ライト Check Engine Light(20牝 Uncle Mo)北米入り着 ルーJUSTAニング(21牝 鹿 Into Mischief)未出走

祖母 **バブラー** Bubblers(06 Distorted Humor)北米6勝、Gallery Furniture Distaff S-L、Marie G. Krantz Memorial H、Sam Houston Distaff S、Irving Distaff S、ウィジャボード ディスタフH-G3 3着。産駒

アロゲイト Arrogate(牡 Unbridled's Song)米3歳牡馬チャンピオン、北米6勝、BCクラシック-G1、ペガサスワールドカップ招待S-G1、トラヴァーズS-G1、パシフィッククラシックS-G1 2着、サンディエゴH-G2 4着、UAE 1勝、ドバイワールドC-G1。種牡馬

オザレ Osare(牝 Medaglia d'Oro)北米2勝、Dueling Grounds Oaks

ダイヤモンドオーレ Diamond Ore(牝 Tapit)北米1勝、Busanda S 3着

曾祖母 **グリーシェル** Grechelle(95 Deputy Minister)北米2勝、ゴールデンロッドS-G3 3着。産駒

アンブライルドフェム Unbridled Femme:北米2勝、Valdale S、Edgewood S-L 2着、Bourbonette Breeders' Cup S-L 3着、リグレットS-G3 4着

四代母 **メドウスター** Meadow Star(88 Meadowlake)米2歳牝馬チャンピオン、北米11勝、BCジュヴェナイルフリーズ-G1、マザーグースS-G1、エイコーンS-G1、フリゼットS-G1、スピナウェイS-G1、メイトロンS-G1、カムリーS-G2、スカイラヴィルS-G2、アストリアBCS-G3、Queen of the Stage S、C C A オークス-G1 2着、スピンスターS-G1 3着。**ベルガランティ** Belle Gallantey(デラウェアH-G1、ベルデイルS-G1)の曾祖母

配合診断

同配合から米G1馬輩出の母に高い資質、芝でもダートでも活躍が望める産駒の誕生

母ボインビューティーは不出走ですが、米最優秀3歳牡馬に輝いたArrogate(BCクラシック、ドバイWCなどG1を4勝)の半妹にあたる良血です。母の父Giant's Causewayは現役時代に欧州で6つの芝G1を制覇。種牡馬としては芝とダートの双方で活躍馬を出しており、本邦輸入種牡馬ブリックスアンドモルタル(米年度代表馬)もその一頭です。「Giant's Causeway×Distorted Humor」という母の組み合わせは、Book Review(米G1ラブレアス)、Carrick(米G1セクレタリアトS)と同じなので上々です。本馬と同じく母方にGiant's Causewayを持つエピファネシア産駒は、出走6頭中3頭が勝ち上がり、ワールドリバイバル(ラジオNIKKEI賞2着)、ランスオブアース(兵庫チャンピオンシップ3着)が重賞で上位争いをしています。芝・ダート兼用の中距離タイプでしょう。

ヴィヴェンシャルの22

全400口 | 1口出資額70,000円(税込) | 総額2,800万円(税込)

生産牧場 社台牧場 育成牧場 辻牧場・BTC(予定)



個性を育む血は南米の至宝、虎視眈々と日本の最高峰へ向かう

現時点における馬体の特徴と適性

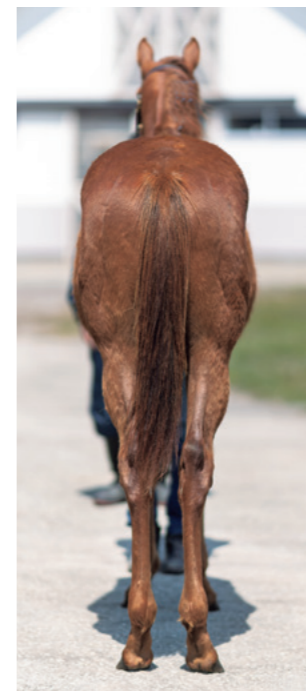
芝2200m戦で争われるG2ファンショー賞を制したほか、G1アルゼンチン銀杯-R.V.マンシリヤ大賞典で2着した、南米の競馬大国アルゼンチンの一流中距離馬だった母が、圧倒的な能力を誇る名血種牡馬ドゥラメンテを父に迎えて誕生した、絶対エースたり得る潜在能力の持ち主。細くて長い首差し、背筋が柔軟に稼働している背中、筋肉が飛節近くまで降りている、特徴的な形状をしたトモにかけての滑らかで美しいラインは、まさに必見に値するものといえるでしょう。また、胸筋が発達していて、肩の出の良さが光る胸前、伸びが良く、馬体全体にバランスをもたらしている胴は、重心の低さを備える、スムーズな身のこなしの原動力となっています。骨格、脚向きの良さと飛節の可動域の広さを保持する、健全さに満ちあふれた脚部、常に落ち着いていて、とても大人びている気性から、育成過程における各課題も、順調にクリアしていけるはず。当然、仕上がりに手間は取らず、2歳夏から初秋にかけての芝中距離戦でデビューを飾ると見えています。スケールの大きなレース振りで、皐月賞、ダービーの二冠を制した父を良き手本とし、クラシックの王道を邁進することを大いに期待しています。

上村洋行調教師コメント

管理させて頂くことが決まった翌日に本馬を見にいきました。遅生まれであることを考えるとサイズは気にならないし、脚元などにも先々大きな問題になるような欠点は見られませんでした。現時点でも動きの素軽さが目立ち、一歩一歩しっかりと踏み込めています。いい意味でまだまだ変わってくる馬、これから右上がりの成長曲線を描いてくれることを期待しています。素晴らしい血統背景、クラシックを目指すほかない配合で楽しみがつきません。厩舎としては開業から数年が経過し、成績も上向いており全体がまとまってきました。オーナーの理解や近郊牧場の支えも含め、全員が同じ方向を意識して仕事が出来ています。もっと勝てるように、重賞タイトルも獲れるように、頑張っていきたいと思えます。

キングマンボ	Kingmambo	Mr.Prospector
キングカメハメハ	King Kamehameha	Miesque
鹿 2001	*マンファス	*ラストタイクーン
ドゥラメンテ	Manfath	Pilot Bird
Duramente		
鹿 2012	*サンデーサイレンス	Halo
アドマイヤグロヴ	Sunday Silence	Wishing Well
Admire Groove		
鹿 2000	エアグロヴ	*トニービン
	Air Groove	ダイナカール
牡		
栗毛		
2022.4.29生		
	シーキングザゴールド	Mr.Prospector
ムタクディム	Seeking the Gold	Con Game
Mutakddim		
栗 1991	オシレイト	Seattle Slew
*ヴィヴェンシャル	Oscillate	Dance Number
Vivencial		
鹿 2011	ルイカトルズ	Sovereign Dancer
ラビーダドルセ	Louis Quatorze	On to Royalty
La Vida Dulce		
鹿 2002	ラコスタアスル	*サザンヘイロー
	La Costa Azul	Riviere

Mr.Prospector:54×M4 Halo:54×M5 Northern Dancer:M5×M5



管理予定調教師

上村洋行調教師(栗東)

◆1973年10月23日生 ◆2019年開業(5年目) ◆JRA通算101勝 ◆JRA重賞1勝 ※成績は2023年4月16日現在

【主な管理馬】

- ベラジオオペラ:スプリングS(G2) ●サヴァ:六甲S(L)、ユニコーンS(G3)2着 ●アイファーイチオー:BSN賞(L)
- アイアンパローズ:阪神大賞典(G2)2着 ●ムーンブロープ:フィリーズレビュー(G2)2着 ●ウィリアムパローズ:マーチS(G3)2着
- トライク:キャピタルS(L)2着 ●レイモンドパローズ:白秋S、アーリントンC(G3)3着 ●ハリパローズ:別府S



ファミリー(母系)

母の父 **ムタクディム** Mutakddim は米国産、英5勝、シュブリームS-G3 2着。亜チャンピオンサイアー。主な産駒:メアリーズ ゴールド(亜オックス-G1)、タントス アニョス(エストレラス クラシック大賞典-G1)。【BMS:主な産駒】エル モイセス(亜ダービー-G1、亜2000ギニー-G1)、スピロリメノ(ペルー オークス-G1)、*ワナダンス(サチュルニノ J.ウズエ大賞典-G1)

母 ***ヴィヴェンシャル** Vivencial(11 Mutakddim) 亜国産、亜4勝、ファンショー賞-G2(芝2200m)、アルゼンチン銀杯-R.V.マンシリヤ大賞典-G1 2着。産駒 ルージュヴィーダ(20牝 黒鹿 キタサンブラック)未出走

祖母 ラビーダドルセ La Vida Dulce(02 Louis Quatorze) 亜2勝。産駒 ビーダドルセ Vida Dulce(牝 Giant's Causeway) 亜入着。産駒 グラン ルイ Grand Louis(牡 A Little Warm) ウルグアイ6勝、Premio Francia

ドルチェ バンビーノ Dolce Bambino(牡 Harlan's Holiday) ペルー11勝
曾祖母 **ラコスタアスル** La Costa Azul(90 *サザンヘイロー) 亜3勝、亜1000ギニー-G1、サラブレッド所有者協会賞-G3、エンリケ アセバル大賞典-G1 2着、アルトゥーロR.ブリュリヒ賞-G2 3着、ラス ヘラス將軍賞-G3 3着、亜オックス-G1 4着、フィルベルト レナ大賞典-G1 4着、カルロストムキンソン賞-G2 4着、アプリア賞-G2 4着。産駒

ラクアジュール Lac Azur: 亜7勝、亜グラン クリテリウム-G1、ブラジル連邦共和国賞-G3、サン マルチン將軍大賞典-G1 2着、オトニョ賞-G2 2着、ミゲル ケイン賞-G2 2着、亜ダービー-G1 3着、亜2000ギニー-G1 3着、亜ジョッキークラブ大賞典-G1 3着。種牡馬

コスタ マルフィル Costa Marfil: 南アフリカ3勝、Renounce S-L、同2着、イビトベ チャレンジ-G2 3着、南アフリカ ポインセティア S-G3 3着、セクウィニ フィリーズ S-G2 4着
プエルト アスル Puerto Azul: 北米1戦。産駒

***ブラヤデシエルタ** Playa Desierta: 亜1勝、ホルヘ アチュチャ大賞典-G1 2着、エリセオ ラミス賞-G2 2着、エストレラス ジュヴェナイル フィリーズ大賞典-G1 3着
ブラージュ Plage: 亜5勝、Premio Intendente Melchor Posse-L 3着、Premio ACCC-L 3着

配合診断

南米を代表する母系を昇華させる配合、亡き父の最後の偉業は芝中距離で躍動

母ヴィヴェンシャルは南米アルゼンチン生まれ。現役時代に芝2200mのG2を勝ったほか、芝2000mのG1で2着となりました。3代母La Costa Azulは亜1000ギニー(G1・ダ1600m)の勝ち馬で、サトノダイヤモンドの2代母Marsellaの全姉にあたる良血です。3代母の父サザンヘイローは父ドゥラメンテと相性抜群。この組み合わせはドゥラエレーデ(ホープフルS)を筆頭に、ジュンブルースカイ(東京スポーツ杯2歳S3着)、レヴェツツァ(毎日杯5着)、ドゥレットツァ(山吹賞)などが出ています。連対率27.1%、1走あたりの賞金額331万円は、ドゥラメンテ産駒全体の20.4%、211万円をはるかに上回ります。ニックスとっていいでしょう。母は芝中距離重賞を勝っているの、父の特長と考え合わせると、本馬も芝中距離で本領を發揮するでしょう。

エスケイプクローズの22

全400口 | 1口出資額180,000円(税込) | 総額7,200万円(税込) セレクトセール2022購買馬

生産牧場 ノーザンファーム 育成牧場 ノーザンファーム(予定)



北米で20勝を挙げた母の輝く軌跡、屈強なヒロインの誕生が見える

現時点における馬体の特徴と適性

20世紀後半の世界馬産界を支配した偉大な種牡馬ノーザンダンサーや、現時点における史上最後の英三冠馬であるニジンスキーの故国であるカナダの古牝馬チャンピオンに選ばれた母は、日本では希少価値がある、个性的かつ魅力的な背景を持つ繁殖牝馬であることは確かでしょう。母の2番仔となる、この牝駒は、本当に惚れ惚れとするような、力強い首差しから背腰にかけてのラインを有しています。また、トモ全体の面積は広い、背丈も高い、胴伸びも良い、さらには父ドゥラメンテ譲りの真っ直ぐな飛節と、現状では欠点らしい欠点は、何ひとつ見当たりません。歩きもダイナミックかつ伸びやかで、パネの良さ、パワフルさ、素軽さのすべてを備えている印象。この手のタイプは、極めて順調に育成過程を進んでいくケースが多く、この仔もしっかりとした準備を整えて、2歳夏にはデビュー戦を迎えると思われています。完成度が高いゆえに、伸びしろに疑問を持つ向きもあるだろうが、古馬になって充実した母の血から、心配は杞憂に終わるはず。レベルの高さ、器の大きさを存分に活かせれば、3歳クラシック戦線はもとより、その後の重賞戦線でも、相当な高みまで駆け上がっていきそうです。

中内田充正調教師コメント

全体のバランスが良く、身体のラインもきれいで、ドゥラメンテ産駒の牝馬らしくスラっとした体型に好感が持てます。歩きもスムーズで軽い動きをみせていて、芝のスピード競馬で素質が生きるタイプではないでしょうか。血統的に距離はマイル前後とみっていますが、そうなる目指すところはまず桜花賞、そこを視野に入りたいと思います。北海道の牧場には可能な限り足を運んでいますし、栗東近郊の牧場へ移動すれば週に一度は必ず状態を確認します。現場のスタッフと意見交換し、デビューへの青写真を描いていきましょう。厩舎の考え方は馬優先で、1戦1戦、大事にレースを楽しんでもらいたいと思っています。野望を言わせてもらえば出走全レースで勝ちたいです。その意気込みで本馬にも取り組んでいきますので応援してください。

ドゥラメンテ	キングマンボ	Mr. Prospector
Duramente	Kingmambo	Miesque
鹿 2012	King Kamehameha	*ラストタイクーン
鹿 2001	*マンファス	Manfath
		Pilot Bird
	*サンデーサイレンス	Halo
アドマイヤグロヴ	Sunday Silence	Wishing Well
Admire Groove		*トニービン
鹿 2000	エアグルーヴ	Air Groove
		ダイナカール
	アンブライドルソング	Unbridled
ゴーストコマンド	Unbridled's Song	Trolley Song
Going Commando		Copelan
鹿 2000	リーガルミスコウブラン	Regal Miss Copelan
		Regal Pennant
*エスケイプクローズ	サーキュレイティング	Bold Ruckus
Escape Clause	Circulating	Periphery
鹿 2014	デインジャーベイ	Aferd
Danger Pay	アナザーバック	Anotherbuck
黒鹿 2002		Choo Choo



管理予定調教師

中内田充正調教師(栗東)

◆1978年12月18日生 ◆2014年開業(10年目) ◆JRA通算358勝 ◆JRA重賞33勝 ※成績は2023年4月16日現在

【主な管理馬】

- リパティアイランド:桜花賞(G1)、阪神JF(G1)
- セリフォス:マイルCS(G1)
- ダノンプレミアム:朝日杯FS(G1)
- グレンディアガーズ:朝日杯FS(G1)
- ダノンファンタジー:阪神JF(G1)
- リアアメリア:ローズS(G2)
- ミッキーチャーム:阪神牝馬S(G2)、秋華賞(G1)2着
- プログノース:金鯱賞(G2)
- アートハウス:ローズS(G2)
- グレイトパール:アンタレスS(G3)



ファミリー(母系)

母の父 **ゴースト コマンド** Going Commando は米産、北米3勝。主な産駒:*エスケイプクローズ(ラ カナダ S-G3, City of Edmonton Distaff H-L, アップル ブラッサムH-G1 2着), シーズリーガル(R. C. Anderson S), デインジャー ルールズ(J. W. Sifton S), ヒドゥン グレイス(CTHS Sales S)。全弟にロックポート ハーパー(北米2歳チャンピオンサイアー)がいる

母 ***エスケイプクローズ** Escape Clause (14 Going Commando) 加国産、加古牝馬チャンピオン、北米20勝、ラ カナダ S-G3 (D8.5F), City of Edmonton Distaff H-L (D8.5F), Harry Henson H (D8F), Kathryn Crosby S (芝8F), アップル ブラッサムH-G1 2着, デラウェアH-G2 2着, Manitoba Derby-L 2着, レッド カーベットH-G3 3着, Lady Jacqueline S 3着, オグデン フィップスS-G1 4着, サンタ モニカS-G2 4着, ロバート J. フランケルS-G3 4着, ロカスト グロヴH-G3 4着。産駒 ショウナンガチ (21 牝 鹿ドゥラメンテ) 未出走

祖母 **デインジャー ベイ** Danger Pay (02 Circulating) 北米6勝, CTHS Sales S, Frank Arnason Sire S 2着, R. C. Anderson S 2着。産駒 **デインジャー ルールズ** Danger Rules (駢 Going Commando) 北米8勝, J. W. Sifton S ウェイジ ウォー Wage War (駢 Battle Cat) 北米2勝 リーズナブル コーズ Reasonable Cause (牝 Going Commando) 北米1勝

曾祖母 **アナザーバック** Anotherbuck (94 Aferd) 北米3勝, R. C. Anderson S 2着, Jack Hardy S 3着。産駒 **バック ア ショット** Buck a Shot:北米7勝, Distaff S 3着

四代母 チュー チュー Choo Choo (74 O'Hara) 北米6勝。産駒 **バックピアット** Buckpiat:北米9勝, ウィニペグ フェューチュリティ-CAN2, Graduation S, Hopkins Raspberry S, Arbor Day S 2着

五代母 キングズ ダーリン King's Darling (62 King of the Tudors) 不出走。産駒 ジャスト ア ダッチェス Just a Dutchess:北米7勝。 **マイアミ スプリング** Miami Springs (Tyros S-L) の母 ワヒニ Wahini:不出走。 **ダーリン ダニカ** Darlin Danika (Mount Vernon H) の祖母

配合診断

数少ない同配合から重賞優勝馬の登場に自信、母の実績からも芝適性に優れた産駒が有力

母エスケイプクローズはカナダで誕生し、北米で20勝。アメリカへ渡ってラカナダS(米G3・ダ8.5F)を勝ったほか、アップルブラッサムH(米G1・ダ8.5F)で2着と健闘し、カナダの古牝馬チャンピオンに選ばれました。母の父Going CommandoはRockport Harbor(リアアントニア、メイデイローズなどの父)の全兄。その父Unbridled's Songは母方に入って優秀な働きをする血で、コントレイル、スワーヴリチャード、ジャックドールのブルードメアサイアーとなっています。母方にUnbridled's Songを持つドゥラメンテ産駒は、少ないサンプルからシングザットソング(フィリーズレビュー)、ディナースタ(現3勝)が出ており、血の相性は上々です。母は芝のステークスを勝ち、芝重賞でも3着という成績があります。芝適性に関しては問題なく、距離は万能でしょう。

プラヤデシエルタの22

全400口 | 1口出資額75,000円(税込) | 総額3,000万円(税込)

生産牧場 坂東牧場 育成牧場 坂東牧場(予定)



半兄弟達の勝ち星が深める自信、世代を先導する機は熟した

現時点における馬体の特徴と適性

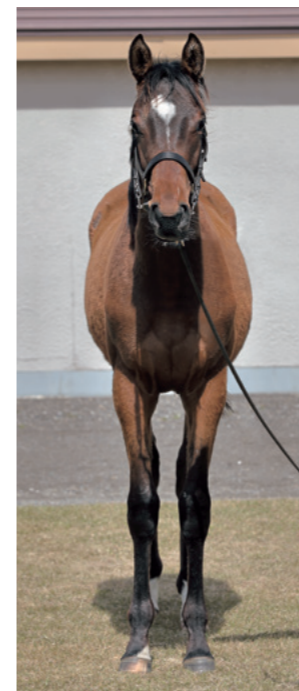
ダート1500m戦で争われるG1ホルヘアチュチャ大賞典で2着したほか、G2エリセオラミレス賞2着、G1エストラスジュヴェナイルフィリーズ大賞典3着など、レベルの高い競馬が展開される南米アルゼンチンで、トップレベルの実績を残した母が送り込んできた、新たな希望に充ちた第4仔となる牡駒。トップサイアーとしての地位を完全に確立した父とのマッチングが効果的だったこともあり、理想的な背腰のラインが光る、垢抜けた好馬体の持ち主となりました。なかでも、伸びが良く、胸部の深みもある胴は、完成度の高さを誇る、精悍な容姿を決定付けるキーポイントといえるでしょう。ほかにも、背線よりなだらかにせり上がっている、ラインの綺麗な長めの首、形状の良いトモ、脚向き、蹄形が良好な前肢、伸びやかな飛節を持つ後肢は、見栄えの良さをさらに高める役割を果たしています。クラブ所属馬である半兄レッドロウ、レッドファーロは、3歳夏以降に勝ち星を積み重ねていきましたが、本馬は成長力と同時に、2歳秋からトップギアに入る、仕上りの早さも備えていそう。胴長、脚長の体型からも、芝、ダートを問わず、中距離戦が高い素質を十分に発揮する舞台となるはずです。

斉藤崇史調教師コメント

血統のイメージだと、もっとがっしりとしたパワータイプかと思いましたが、脚と首が長めでスッキリとした馬体はいい意味で予想を裏切られました。キズナ産駒は大きくなるイメージがあり、成長過程の中で適性を探っていきます。今の馬体の雰囲気なら芝、母系を見るとダートも走れそう、いずれにしても素質の高さは感じています。半兄のレッドファーロ、レッドブラストは師匠の松永幹夫厩舎ですから、色々話を聞いて本馬に活かしていきます。調教助手時代に携わったレッドデザイナーとの海外遠征は、今に至るまで本当に貴重な財産。調教師になってからもその経験値は大いに役立っています。いつか東京サラブレッドクラブの馬で海外挑戦したい、恩返しがしたいと思っています。本馬にもそんな熱意を持って取り組んでいくつもりです。

	*サンデーサイレンス	Halo
ディーブインパクト	Sunday Silence	Wishing Well
Deep Impact		
鹿 2002	*ウインドインハーヘア	Alzao
キズナ	Wind In Her Hair	Burghclere
Kizuna		
青鹿 2010	ストームキャット	Storm Bird
*キャットクイル	Storm Cat	Terlingua
Catequil		
鹿 1990	パシフィックプリンセス	Damascus
	Pacific Princess	Fiji
牡		
鹿毛		
2022.2.21生		
	ルアー	Danzig
オーペン	Lure	Endear
Orpen		
鹿 1996	ボニータフランシータ	Devil's Bag
*プラヤデシエルタ	Bonita Francita	Raise the Standard
Playa Desierta		
鹿 2011	ペルトランド	Skywalker
プエルトアスル	Bertrando	Gentle Hands
Puerto Azul		
鹿 2005	ラコスタアスル	*サザンヘイロー
	La Costa Azul	Riviere

Halo:S4×M5×M5 Northern Dancer:S5×M5



管理予定調教師

斉藤崇史調教師(栗東)

◆1982年8月29日生 ◆2016年開業(8年目) ◆JRA通算196勝 ◆JRA重賞16勝 ※成績は2023年4月16日現在

【主な管理馬】

- クロノジェネシス:有馬記念(G1)、宝塚記念(G1)2回 ●ジェラルディーナ:エリザベス女王杯(G1) ●ラウダシオン:NHKマイルC(G1)
- キラアピリティ:ホープフルS(G1) ●ノーヴァレンダ:全日本2歳優駿(JPN1) ●サマーセント:マーメイドS(G3)
- ラーゴム:きさらぎ賞(G3) ●ヒンドゥタイムズ:小倉大賞典(G3) ●ララクリスティーズ:京都牝馬S(G3)
- バーデンヴァイラー:マーキュリーC(JPN3)



ファミリー(母系)

母の父 **オーペン** Orpen は米国産、英仏2勝、モルニ賞-G1。亜チャンピオンサイアー。主な産駒:トレストラ(仏1000ギニー-G1)、ドン バリエンテ(亜2000ギニー-G1)。【BMS:主な産駒】ジオフラ(ファルマスS-G1)、ロベルト ブルース(アーリントン ミリオン-G1、エル エンサーヨ-G1)、イルウィン(亜ダービー-G1)、サトノダイヤモンド(菊花賞-G1、有馬記念-G1)

母 ***プラヤデシエルタ** Playa Desierta (11 Orpen) 亜国産、亜1勝、ホルヘアチュチャ大賞典-G1 2着、エリセオラミレス賞-G2 2着、エストラスジュヴェナイル フィリーズ大賞典-G1 3着。産駒 レッドロウ(18 牡 青鹿 ディーブインパクト) 2勝、⑩ レッドファーロ(19 牡 鹿 ハーツクライ) 3勝、⑩ レッドブラスト(20 牡 鹿 エピファネア) 1戦、⑩

祖母 **プエルトアスル** Puerto Azul(05 Bertrando) 北米1戦。産駒 **プラージェ** Plage(牝 Jump Start) 亜5勝、Premio Intendente Melchor Posse-L 3着、Premio ACCC-L 3着

曾祖母 **ラコスタアスル** La Costa Azul(90 *サザンヘイロー) 亜3勝、亜1000ギニー-G1、サラブレッド所有者協会賞-G3、エンリケ アセバル大賞典-G1 2着、アルトゥーロR、プリエリヒ賞-G2 3着、ラス ヘラス將軍賞-G3 3着、亜オークス-G1 4着、フィルベルト レナ大賞典-G1 4着、カルロストムキンソ賞-G2 4着、アプリア賞-G2 4着。産駒

ラクアジュール Lac Azur: 亜7勝、亜グラン クリテリウム-G1、ブラジル連邦共和国賞-G3、サン マルチン將軍大賞典-G1 2着、オトニョ賞-G2 2着、ミゲル ケイン賞-G2 2着、亜ダービー-G1 3着、亜2000ギニー-G1 3着、亜ジョッキークラブ大賞典-G1 3着。種牡馬

コスタマルフィル Costa Marfil: 南アフリカ3勝、Renounce S-L、同2着、イビトンベ チャレンジ-G2 3着、南アフリカ ポインセティア S-G3 3着、セクウィニ フィリーズ S-G2 4着

ラビータドゥルセ La Vida Dulce: 亜2勝。***ヴィヴェンシャル** Vivencial (ファン ショー賞-G2)の母

コスタドラダ Costa Dorada: 亜2勝。**ブライアン グラー** Briyan Dollar (ピラティニンガ賞-G3 2着)の祖母

四代母 **リヴィエール** Riviere(78 Logical) 亜5勝。**リッツ** Ritz(コンスタンテR、トゥルトゥリエーリョ賞-G3、サランディ賞-G3)の母

配合診断

サトノダイヤモンドで証明された配合適性、父キズナとの組み合わせでも3勝馬誕生

レッドファーロ(現3勝クラス)やレッドロウ(現2勝クラス)の半弟。母プラヤデシエルタはアルゼンチンのホルヘアチュチャ大賞典(G1・ダ1500m)2着の活躍馬で、サトノダイヤモンドなどを産んだマルペンサとは3/4同血の関係となり、繁殖牝馬として有能なところを見せているのも納得です。この牝系とディーブインパクト系との配合的相性はサトノダイヤモンドやサトノジェネシスですすでに証明されています。また、本馬と同じ「キズナ×Orpen」の組み合わせからはボルザコフスキー(現3勝クラス)が出ています。成功確率の高い配合パターンといえるでしょう。母の父OrpenはDanzig系のマイラーで、本馬のクロスがHalo4×5・5ですから、軽快で機動力に富み、レッドランメルト(ディーブインパクト×Orpen)のように俊敏自在な好位差しができるイメージです。

インランジェリーの22

全400口 | 1口出資額75,000円(税込) | 総額3,000万円(税込)

生産牧場 社台ファーム 育成牧場 社台ファーム(予定)



最強の母系にして母は米G1馬の貫禄、父の名声を高める存在になる

現時点における馬体の特徴と適性

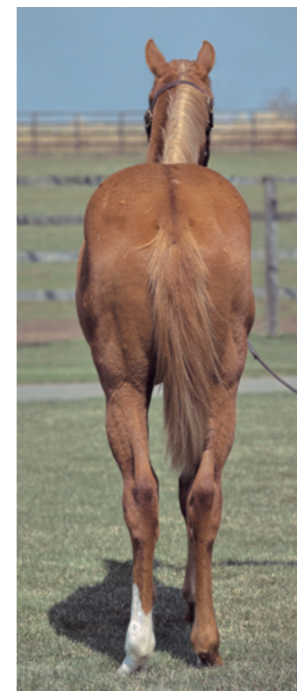
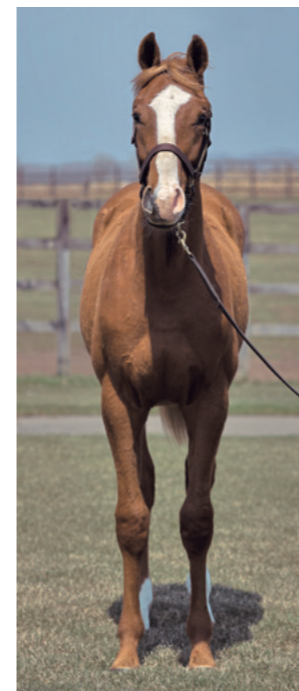
3歳秋にキーンランド競馬場のAW9ハロンコースを舞台とした米G1スピンスターSを制したほか、ダート9ハロン戦のG2ブラックアイトスーザンSなど重賞を計3勝、加えて、米3歳牝馬戦線の大一番であるG1CCAオークスでも3着した、トップクラスの中距離馬である母と、現役時代は皐月賞、ホープフルSと芝2000m戦で争われるG1を2勝、種牡馬となり、2024年から初年度産駒がデビューしてくる父との魅力的なマッチングから登場した、期待感あふれる名血馬。背腰の使い方が巧みで、鋭い切れ味を予見させる、柔軟性に優れた身のこなしが強調すべきストロングポイントとなっていますが、形状が素晴らしく、容積が大きいトモ、伸びやかで、肋張りの良さも際立つ胴が原動力となるスムーズで力強い歩きも、必見に値するものといえるでしょう。脚元に大きな問題はなく、健全さを保証する骨格の良さを保持していることから、至極順当に育成過程におけるステップを踏んでいけるタイプ。仕上がりは早く、2歳夏のデビュー戦から好スタートを切れるはず。血統的には中距離型ですが、気性が強く、スピード能力の高さを保持している点から、マイル戦線での大成も十分にあると見ています。

四位洋文調教師コメント

超一流の母系を持つ募集馬で身が引き締まる思いです。母の仔はまだ、あまり結果が出ていませんが、これまでの仔と異なる父系のサートウルナーリアとの配合で新たな面が出るのではないのでしょうか。バランスよくスッキリ見せる馬体は、いかにも芝の中距離で良さそうな印象を受けます。クラシックの路線に乗せられるよう頑張りたいです。調教師になり常に考えていることは、藤澤和雄厩舎で研修時に何度も教えて頂いた「馬はすぐには良くならない」という言葉。人間の都合で気が逸ったりしてしまいそうになりますが、そこを我慢して地道に日々を積み重ねていくことが大事だと思っています。騎手時代にお世話になったクラブの馬を預かることは光栄、まずは一つ勝つことで恩返しできればと思っています。

キングカメハメハ	Kingmambo
ロードカナロア	King Kamehameha *マンファス
Lord Kanaloa	
鹿 2008	レディブラッサム Storm Cat
サートウルナーリア	Lady Blossom *サラガデュー
Saturnalia	
黒鹿 2016	スペシャルウィーク *サンデーサイレンス
シーザリオ	Special Week キャンベンガール
Cesario	
青 2002	*キロフプリミエール Sadler's Wells
	Kirov Premiere Querida
牡	
栗毛	
2022.4.5生	
	アンブライドルド Fappiano
*エンパイアメーカー	Unbridled Gana Facil
Empire Maker	
黒鹿 2000	トゥーソード El Gran Senor
*インランジェリー	Toussaud Image of Reality
In Lingerie	
鹿 2009	ストームキャット Storm Bird
キャットチャット	Storm Cat Terlingua
Cat Chat	
鹿 1998	フオンチャッター Phone Trick
	Phone Chatter Passing My Way

Storm Cat:M3×S4 Mr. Prospector:S5×M5 Northern Dancer:S5×M5×M5



管理予定調教師

四位洋文調教師(栗東)

◆1972年11月30日生 ◆2021年開業(3年目) ◆JRA通算39勝 ※成績は2023年4月16日現在

【主な管理馬】

- ハギノアレグリアス:名古屋大賞典(JPN3)
- モンテディオ:2勝クラス、神戸新聞杯(G2)3着
- エンドウノハナ:淡路特別
- エーティメジャー:仲春特別
- ウォームライト:2勝クラス、安芸S2着
- ロードアラビアン:2勝クラス、姫路S3着
- タイミングナウ:2勝クラス
- トゥードジボン:1勝クラス
- ソッコータルマカ:1勝クラス
- ピンクマクフィー:1勝クラス



ファミリー(母系)

母の父 *エンパイアメーカー Empire Makerは米国産、北米4勝、ベルモントS-G1。北米チャンピオンサイアー。主な産駒:ロイヤル デルタ(B Cレディーズクラシック-G1 2回)。**【BMS:主な産駒】**マンダローン(ケンタッキーダービー-G1)、ロック ユア ワールド(サンタアニタダービー-G1)、シルヴァー ステイト(メトロポリタンH-G1)、*エアアルマス(東海S-G2)

母 *インランジェリー In Lingerie(09 *エンパイアメーカー)米国産、北米4勝、スピンスターS-G1(AW9F)、ブラックアイト スーザンS-G2(D9F)、バーボネット オークス-G3(AW8F)、アラバマS-G1 2着、CCAオークス-G1 3着。産駒インラグジュアリー(14牝 黒鹿 Frankel)不出走。産駒

モズメイメイ(牝リアルインパクト)3勝、チューリップ賞-G2(芝1600m)、こぶし賞(芝1600m)、◎

タイセイメガロス(17牝 鹿 ダイワメジャー)2勝、恵山特別(芝1800m)、東海公2勝、ウインター争覇5着、◎サトルレイズ(21牝 黒鹿 リーチザクラウン)未出走

祖母 **キャット チャット** Cat Chat(98 Storm Cat)北米3勝、ナッソー カウンティS-G2。産駒

*レッドファンタジア(牝 Unbridled's Song)入着。産駒

レッドベルオーブ(牡 ディープインパクト)3勝、デリー杯2歳S-G2、小倉日経オープン-OP、朝日杯フューチャリティS-G1 3着、◎

レッドベルジュール(牡 ディープインパクト)2勝、デリー杯2歳S-G2。種牡馬

レッドベルアーム(牡 ハーツクライ)1勝、シンザン記念-G3 3着、東京スポーツ杯2歳S-G2 5着、◎

レッドベルローズ(牝 ディープインパクト)3勝、ミモザ賞、フェアリーS-G3 3着

レッドベルディエス(牝 ディープインパクト)4勝、飛鳥S、鷹巣山特別、織姫賞、紫苑S-G3 4着、クイーンC-G3 5着

セクメト Sekmet(牝 *エンパイアメーカー)北米入着。産駒

マジョレル Majorelle(牝 Mizzen Mast)不出走。**サーヴェイルランス** Surveillance(騾 Constitution:Duncan F. Kenner S-L)の母

配合診断

レース戦績も繁殖牝馬の実績も輝く牝系、2歳戦の頂点が視野に入る楽しい配合

母インランジェリーはスピンスターS(米G1・AW9F)を制した一流馬。初仔のインラグジュアリーはモズメイメイ(チューリップ賞)を産んでいます。3代母Phone ChatterはBCジュヴェナイルフィリーズ(米G1・ダ8.5F)を勝って米2歳牝馬チャンピオンとなった名牝で、ここからレッドベルジュールやレッドベルオーブなどの重賞勝ち馬が出ています。北米のスピード血統の影響で早期から開花する牝系です。父サートウルナーリアはエピファネイアやリオンディーズの弟。種牡馬としてのポテンシャルが高く評価され、人気を博しています。母との配合は、Storm Cat 4×3に加え、トライマイベスト=El Gran Senorの全きょうだいクロスが生じます。早期から芝のマイル前後でスピードを発揮し、2000mまでは守備範囲。クラシックロードで活躍してくれることでしょう。

ジョリージョコンドの22

全400口 | 1口出資額60,000円(税込) | 総額2,400万円(税込)

生産牧場 坂東牧場 育成牧場 坂東牧場(予定)



母は種牡馬サトノクラウンの全姉、高い潜在能力が桜を咲かせる

現時点における馬体の特徴と適性

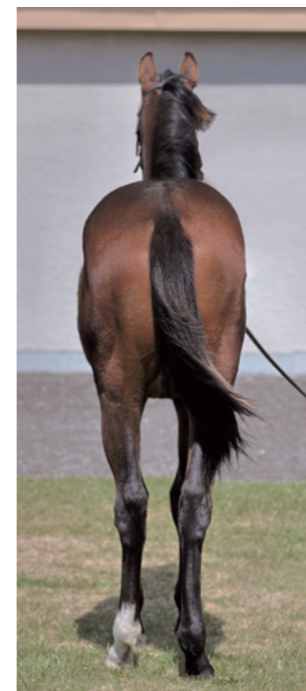
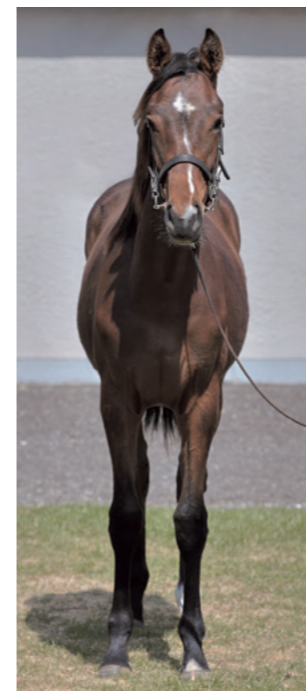
現役時代は、母国アイルランドのG3重賞で3着した経験を持ち、繁殖牝馬としても、3勝クラス多摩川Sに勝ち、G3札幌2歳Sで2着したファストアプローチ、いずれもJRAで勝ち鞍をあげたシークレットアイズ、メリディアンローク、ルージュアリュールを送り出す、堅実な活躍を示している母が、2024年新種牡馬となる父との配合から登場させた、伸びやかな好馬体を誇るスター候補生。肩の傾斜角度が理想的な、胸筋がよく発達した、深みのある胸前、腰にかけてのラインが美しく、背筋が十分に稼働している背中、形状が素晴らしく、容積も大きなトモ、可動域が広い飛節は、非凡さを感じさせる身のこなしを可能とする、重要な役割を果たしています。脚向きが綺麗で、気性面も安定しているだけに、育成過程においても、順調にステップを踏んでいけるタイプ。豊かな成長力を活かすためにも、じっくりと素質を磨き上げてから、2歳秋に競走生活をスタートさせる方が、将来の大成に繋がるイメージも抱いています。一族からは、香港ヴァーズ、宝塚記念とG1を2勝したサトノクラウンが出ていますが、本馬もターゲットとなるのは、中距離戦で争われる、芝の大レースとなります。

松永幹夫調教師コメント

極端に大きくも小さくもなく、いいバランスの馬体。ゆったり大きく歩けていて、目つきや顔つきも良く、左後一白も気に入りました。半姉ルージュアリュールは新馬勝ちの後、結果を残せなかったのが、本馬で巻き返したい気持ちは強いです。目指すは桜花賞、そしてその先の舞台。成長力もありながら早期から動ける血統なので、来春には早く使い出せる状態へ進化して欲しいと思います。厩舎の方針は、担当を決めずスタッフ全員でそれぞれの馬を見るスタイル。多くの目で様々な視点から馬と向き合うことで、より細やかなことにも気づけるし、良さを引き出せると考えています。ここ数年は出走回数を増やすことも意識していて、それが会員の皆様の楽しみになり、利益の還元にもつながるので、本馬にも頑張ってもらえるよう努めます。

キングカメハメハ	Kingmambo
ロードカナロア	King Kamehameha
Lord Kanaloa	*マンファス
鹿 2008	レディブラッサム
サートウルナーリア	Storm Cat
	Lady Blossom
	*サラトガデビュー
Saturnalia	
黒鹿 2016	スペシャルウィーク
	*サンデーサイレンス
シーザリオ	Special Week
Cesario	キャンペンガール
青 2002	*キロフプリミエール
	Sadler's Wells
	Kirov Premiere
	Querida
	*ラストタイクーン
	*トライマイベスト
マルジュ	Last Tycoon
Marju	Mill Princess
黒鹿 1988	*アーティマス
*ジョリージョコンド	Flame of Tara
	Welsh Flame
Jolie Jioconde	
鹿 2008	ロツシーニ
	Miswaki
*ジョコンダII	Rossini
Jioconda	Touch of Greatness
鹿 2003	ラジョコンド
	Vettori
	La Joconde
	Lust

ラストタイクーン:M3×S5 Mr. Prospector:S5×M5 Northern Dancer:S5×M5



管理予定調教師

松永幹夫調教師(栗東)

◆1967年4月10日生 ◆2007年開業(17年目) ◆JRA通算462勝 ◆JRA重賞22勝 ※成績は2023年4月16日現在

【主な管理馬】

- レッドディザイア:秋華賞(G1)、マクトゥームCR3(首G2)
- ラッキーライラック:エリザベス女王杯(G1)2回、大阪杯(G1)
- アウオーデー:JBCクラシック(JPN1)、チャンピオンズC(G1)2着
- レッドキングダム:中山大障害(J-G1)
- ラニ:UAEダービー(首G2)、ベルモントS(米G1)3着
- モントライゼ:京王杯2歳S(G2)
- リオンリオン:青葉賞(G2)
- アムールプリエ:エンプレス杯(JPN2)2回
- ヴァンセンヌ:東京新聞杯(G3)、安田記念(G1)2着
- ギルデッドミラー:武蔵野S(G3)、NHKマイルC(G1)3着



ファミリー(母系)

母の父 **マルジュ** Marju は愛国産、英3勝、セントジェイムズパレスS-G1。主な産駒:シル シラ(仏オークス-G1)、サトノクラウン(宝塚記念-G1)。【BMS:主な産駒】キャンフォード クリフス(愛2000ギニー-G1、サセックスS-G1)、リプチェスター(ジャックル マロワ賞-G1)、マルセル(レーシングポストトロフィー-G1)、マーシャ(ナンソーブS-G1)、マルセリーナ(桜花賞-G1)

母 ***ジョリージョコンド** Jolie Jioconde(08 Marju)愛国産、愛1勝、タイロスS-G3 3着。産駒 **ファストアプローチ**(15 騙栗 Dawn Approach) 3勝、多摩川S(芝1600m)、札幌2歳S-G3 2着、芙蓉S-L 2着、シンザン記念-G3 4着 **シークレットアイズ**(16 牝 黒鹿 ディープインパクト) 2勝、駒ヶ岳特別(芝2600m) **メリディアンローク**(17 牝 黒鹿 ディープインパクト) 2勝、**ルージュアリュール**(18 牝 鹿 ディープインパクト) 1勝 **レッドヴァジュラ**(20 牝 黒鹿 ロードカナロア) 1勝、**レッドフェルマータ**(21 牝 鹿 ドラメンテ) 未出走

祖母 ***ジョコンダII** Jioconda(03 Rossini)愛国産、愛2勝、Silken Glider S-L、キラヴァーランS-G3 3着。産駒 **サトノクラウン**(牝 Marju) 6勝、宝塚記念-G1、京都記念-G2(2回)、弥生賞-G2、東京スポーツ杯2歳S-G3、天皇賞秋-G1 2着、ダービー-G1 3着、香港1勝、香港ヴァーズ-G1。種牡馬 ***ライトニングパール** Lightening Pearl(牝 Marju)愛2勝、ラウンドタワーS-G3、デビュータントS-G2 3着、英1勝、チェヴァリーパークS-G1。産駒 **ライトニングクイック** Lightening Quick(牝 Frankel)愛2勝、アサシS-G3、ブラウンスタウンS-G3 4着 **マテンロウディーバ**(牝 ディープインパクト) 2勝、紅梅S-L 3着 **ダナンティンパニー**(牝 ディープインパクト) 兵庫公3勝、中央2勝、山陽特別、**ボンデザール**(牝 ハーツクライ) 5勝、札幌日経オープン-L、丹頂S-OP、北海H、ステイヤーズS-G2 3着、ダイヤモンドS-G3 3着 **フリオアレグロ**(牝 ディープインパクト) 3勝、潮来特別、青葉賞-G2 3着、共同通信杯-G3 3着、

配合診断

優秀な母系を継承し産駒が勝利を重ねる母、スピードが活かせるクロスで兄姉を超越

日本でデビューを果たした5頭の兄姉は、ファストアプローチ(札幌2歳S2着)をはじめ全頭勝ち上がっています。母ジョリージョコンドは、サトノクラウン(宝塚記念、香港ヴァーズ)やライトニングパール(英G1チェヴァリーパークS)の全姉で、現役時代にタイロスS(愛G3・芝7F)で3着となりました。母の父Marjuはラストタイクーン(キングカメハメハの母の父)産駒で、ヨーロッパ繋養の種牡馬ながら軽い芝にも適性がありました。本馬の父系はキングカメハメハにさかのぼるので、ラストタイクーン5×3というスピード型のクロスが生じます。母方にMarjuを持つロードカナロア産駒は出走6頭中3頭が勝ち上がり、シュタールヴァイント(京都2歳S4着)が出ています。父サートウルナーリアはロードカナロアの息子なので悪くないでしょう。芝向きの中距離タイプ。

ラストグルーヴの22

全400口 | 1口出資額150,000円(税込) | 総額6,000万円(税込)

生産牧場 ノーザンファーム 育成牧場 ノーザンファーム(予定)



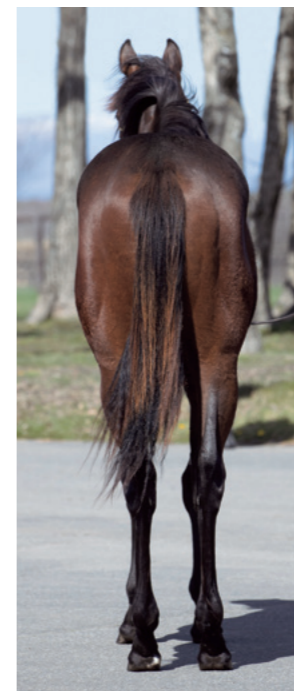
偉大な祖母に捧げる栄光の継承、やがて世代最強牝馬の称号を得る

現時点における馬体の特徴と適性

芝中距離戦線において、一線級牡馬陣と互角以上の戦いを繰り広げた先駆者でもある、1990年代を代表する名牝エアグルーヴの娘ということもあり、母のことは当歳時から注目していました。繁殖牝馬となり、青葉賞など重賞で3度2着したランフォザローゼス、フラワーC2着のレッドルレーヴなど、これまでに出した産駒たちの大部分は、決して格好の良い馬体ではなかったが、ソコソコの結果を残しているだけに、血統と馬体がしっかりとかがみ合えば、さらなる好結果を収めるはずと見ています。オープンクラスまで上がってきた半兄レッドモンレーヴは、母の産駒としては初めて上級の馬体となったが、父がレイデオロに替わったこの仔は、柔軟性とボリュームを兼備した、さらにワンランク上の馬体の持ち主と評価可能でしょう。背中、尻をはじめ、馬体全体にメリハリが利き、四肢には変なクセもないだけに、現在の形状をベースに、このまま順調に成長してくれば、何の問題もなし。体幹の強さ、気持ちの強さもあり、飛び切りの優等生として、育成時代を過ごしていくことでしょう。2歳夏、もしくは秋初頭のデビュー戦を皮切りに、クラシックへと向かう芝王道路線を邁進します。

レイデオロ	キングマンボ	Mr.Prospector
Rey de Oro	Kingmambo	Miesque
鹿 2014	King Kamehameha	*ラストタイクーン
ラドラーダ	*マンファス	Manfath
La Dorada		Pilot Bird
青鹿 2006	*シンボリクリスエス	Kris S.
	Symboli Kris S	Tee Kay
	*レディブロード	Seeking the Gold
	Lady Blond	*ウインドインハーヘア
ラストグルーヴ	*サンデーサイレンス	Halo
Last Groove	Sunday Silence	Wishing Well
鹿 2010	Deep Impact	
	*ウインドインハーヘア	Alzao
	Wind In Her Hair	Burghclere
	*トニービン	*カンバラ
	Air Groove	Tony Bin
	ダイナカール	*ノーサンテースト
	Dyna Carle	シャダイフェザー

ウインドインハーヘア:M3×S4 Mr.Prospector:S4×S5



管理予定調教師

◆本募集馬は新規開業調教師への預託を予定しております。
詳細は改めてホームページ等にてお知らせいたします。

ファミリー(母系)

母の父 **ディーブインバクト**は早来産、年度代表馬(2回)、12勝、三冠、ジャパンC-G1。総合・2歳チャンピオンサイアー。主な産駒:コントレイル(三冠、ジャパンC-G1)、ジェンティルドンナ(ジャパンC-G1 2回)。【BMS:主な産駒】プロウアウト(ファーストレイディS-G1)、キセキ(菊花賞-G1)、ジェラルディーナ(エリザベス女王杯-G1)、ドルチェモア(朝日杯フューチャリティS-G1)

母 **ラストグルーヴ**(10 ディーブインバクト) 1勝。産駒
リジュール(15 牡 鹿 キングカメハメハ) 1勝、兵庫② 1勝
ランフォザローゼス(16 騾 鹿 キングカメハメハ) 1勝、青葉賞-G2 2着、
ダイヤモンドS-G3 2着、京成杯-G3 2着、毎日王冠-G2 5着
レッドルレーヴ(17 牝 鹿 キングカメハメハ) 1勝、フラワーC-G3 2着
カランドゥーラ(18 牡 鹿 モーリス) 3勝、村上特別(芝1800m)、コスモス賞-OP 2着、
レッドモンレーヴ(19 牡 鹿 ロードカナロア) 4勝、節分S(芝1600m)、レジエントレーナーC(芝1600m)、
レドアトレヴ(21 牡 鹿 ロードカナロア) 未出走

祖母 **エアグルーヴ**(93 *トニービン) 年度代表馬、最優秀古牝馬、9勝、天皇賞(秋)-JPN1、オークス-JPN1、札幌記念-JPN2(2回)、大阪杯-JPN2、マーメイドS-JPN3、チューリップ賞-JPN3、いちようS-OP、ジャパンC-G1 2着(2回)、阪神3歳牝馬S-JPN1 2着、有馬記念-JPN1 3着。産駒
ルーラーシップ(牡 キングカメハメハ) 7勝、アメリカJ C C-G2、日経新春杯-G2、金鯱賞-G2、鳴尾記念-G3、プリンシパルS-L、アルメリア賞、香港1勝、香港クイーン エリザベス二世C-G1。種牡馬
アドマイヤグルーヴ(牝 *サンデーサイレンス) 最優秀古牝馬、8勝、エリザベス女王杯-JPN1(2回)、阪神牝馬S-JPN2、ローズS-JPN2。**ドゥラメンテ**(牡 キングカメハメハ:最優秀3歳牡馬、ダービー-G1、皐月賞-G1)の母、**デシエルト**(牡 *ドレフォン:若葉S-L)の祖母
フォゲッタブル(牡 ダンスインザダーク) 4勝、ステイヤーズS-G2
グルヴェイグ(牝 ディーブインバクト) 5勝、マーメイドS-G3。**アンドヴァラナウト**(牝 キングカメハメハ:ローズS-G2)の母
ソニックグルーヴ(牝 *フレンチデピュティ) 不出走。**ジュンライトボルト**(牡 キングカメハメハ:チャンピオンズC-G1、シリウスS-G3)、**グルヴィット**(牡 ロードカナロア:中京記念-G3)の祖母

配合診断

キングカメハメハ系との配合に高い信頼感、名牝のクロスが上乘せる底力と成長力

ランフォザローゼス(青葉賞2着)、レッドルレーヴ(フラワーC2着)の3/4妹。母ラストグルーヴはグルヴェイグ(マーメイドS)の全妹、アドマイヤグルーヴ(エリザベス女王杯2回)やルーラーシップ(クイーンエリザベス二世Cなど重賞5勝)の半妹にあたり、その母は年度代表馬に輝いた女優エアグルーヴという超良血。このファミリーとキングカメハメハの相性の良さは定評があり、種牡馬として大成功した二冠馬ドゥラメンテもこのパターンです。本馬はキングカメハメハ系のダービー馬レイデオロを父に持ち、母ラストグルーヴはアドマイヤグルーヴ(ドゥラメンテの母)と3/4同血。したがって、本馬とドゥラメンテは血統構成の多くが共通しており、さらにウインドインハーヘア4×3という名牝のクロスも光ります。底力あふれる万能タイプで、古馬になっての成長力も期待できます。

レッドオーラムの22

全400口 | 1口出資額50,000円(税込) | 総額2,000万円(税込)

生産牧場 社台ファーム 育成牧場 社台ファーム(予定)



新興の父を得て母の能力に再注目、満開の桜の下で微笑む夢をみる

現時点における馬体の特徴と適性

クラブ所属馬として走り、芝1600~1800m戦で計3勝をマークした母が、ペガサスワールドCターフ、ターフクラシックS、マンハッタンS、アーリントンミリオン、ブリーダーズCターフと芝G1を5連勝し、2019年米年度代表馬にも選出された父を得て誕生した、能力の高さを予見させる好素材。高く、直線的な首、深みがあり、胸筋も発達している胸前、短めで、腰にかけてのラインが美しい背中、形状が良く、容積も十分なトモは、馬体が醸し出す、程好い重厚感の根源となっています。また、全体的に均整が取れていること、申し分のない丸みと張りを保持している点も、見る者すべてに好印象を与える、重要なポイントといえるでしょう。筋腱が太く、脚向き、蹄形も良好な前肢、飛節の造りが綺麗な後肢と、脚元の頑健さも、強力なセールスポイント。骨格、肉付きも良いだけに、極めて順調に育成過程を歩んでいくはず。仕上がりは早く、万全の態勢で2歳夏のデビュー戦を迎えられそう。一瞬の切れ味よりも、いい脚を長く使えることが武器となるタイプで、落ち着いた気性からも、中距離戦線が本領発揮の舞台と見えています。パワーもあり、芝、ダートの双方で、レベル高い活躍を展開することでしょう。

橋口慎介調教師コメント

引退した橋口弘次郎元調教師(実父)から開業時に引き継いだレッドオーラムは、行きつづりが良く気が強い牝馬でした。表情を見る限り面影があるように思います。気性が勝っていたのでマイルから1800mに良績が集中しましたが、体型的にはマイラータイプではなかったはず。ブリックスアンドモルタルもBCターフを制したように距離の融通が利きそうなので、本馬には距離をこなしてもらい、芝での活躍を期待します。近親にオープン馬ピークトラム、未完の大器レッドブレインズがいて、どちらも父の管理馬。この牝系には浅からぬ縁を感じます。厩舎での共通認識は馬に余計なストレスをかけないこと、その心がけはスタッフにも徹底させています。母馬の性格は熟知していますので、本馬の長所を开花させられるように頑張ります。

ストームキャット	Storm Bird
ジャイアントコースウェイ	Storm Cat
Giant's Causeway	Terlingua
栗 1997	マリアーズストーム
	Rahy
*ブリックスアンドモルタル	Mariah's Storm
	*イメンス
Bricks and Mortar	
黒鹿 2014	オーシャンクレスト
	Storm Bird
ピヨンドザウェイヴズ	Ocean Crest
Beyond the Waves	S.S.Aroma
黒鹿 1997	エクセレント
	Exceller
	Excedent
	Broadway Lullaby
メス	
鹿毛	
2022.3.1生	
	*サンデーサイレンス
	Halo
ダイワメジャー	Sunday Silence
Daiwa Major	Wishing Well
栗 2001	スカーレットブーケ
	*ノーザンテースト
レッドオーラム	Scarlet Bouquet
	*スカーレットインク
Red Aurum	
鹿 2011	ミスタープロスペクター
	Raise a Native
*タッチフォーゴールド	Mr.Prospector
	Gold Digger
Touch for Gold	
黒鹿 1997	ダイジン
	Deputy Minister
	Daijin
	Passing Mood

Storm Bird:S4×S4 Northern Dancer:S5×S5×M5



管理予定調教師

橋口慎介調教師(栗東)

◆1975年3月31日生 ◆2016年開業(8年目) ◆JRA通算157勝 ◆JRA重賞1勝 ※成績は2023年4月16日現在

【主な管理馬】

- グレイスフルリブ:JBCスプリント(JPN1)
- レースプランシュ:レディスプレリユード(JPN2)
- セイウンハーデス:プリンシパルS(L)
- クラレント:京王杯SC(G2)2着
- アルバート:ステイヤーズS(G2)2着
- エールヴォア:アラワーC(G3)2着
- ピークトラム:谷川岳S、中京記念(G3)2着
- ミッキーラブソング:安土城S、タンザナイトS
- ダノメジャー:都大路S、小倉日経オープン
- ショーモン:デイリー杯2歳S(G2)3着



ファミリー(母系)

母の父 **ダイワメジャー**は千歳産、最優秀短距離馬(2回)、9勝、皐月賞-JPN1、天皇賞(秋)-JPN1。2歳チャンピオンサイアー。主な産駒:レースミノル(桜花賞-G1)、アドマイヤマーズ(香港マイル-G1)。【BMS:主な産駒】ショウナンナデシコ(かしわ記念-JPN1)、ナムユール(チューリップ賞-G2)、グランブリッジ(エンプレス杯-JPN2)、ラヴェル(アルテミスS-G3)

母 **レッドオーラム**(11ダイワメジャー)3勝。産駒ハイコースト(19牡鹿*ハービンジャー)1勝、タイセイマキシム(20牡鹿ルーラーシップ)入着、◎

祖母 *タッチフォーゴールド Touch for Gold(97 Mr. Prospector)米国産、英1勝。産駒

タッチミーノット(牡 ダンスインザダーク)兵庫公4勝、中央5勝、中山金杯-G3、アメリストS、南武特別、北洋特別、七夕賞-G3 2着、新潟記念-G3 2着、同4着、メロポリタンS-L 2着、毎日王冠-G2 3着、中山記念-G2 4着、日経賞-G2 4着、目黒記念-G2 5着

タッチザピーク(牝 スペシャルウィーク)3勝、紅梅S-OP、潮騒特別。産駒

ピークトラム(牡 *チチカステナゴ)6勝、谷川岳S-L、武庫川S、心齋橋S、国立特別、中京記念-G3 2着、デイリー杯2歳S-G2 3着、新潟2歳S-G3 3着、きさらぎ賞-G3 4着、高知公8勝 **ベストタッチダウン**(牡 *タートルボウル)5勝、太秦S-OP、北山S **タッチザターゲット**(牡 *クロフネ)2勝、ユニコーンS-G3 5着 **セネットィ**(牡 *ワークフォース)4勝

ゴールデンブライズ(牝 *ホワイトマズル)北海道公2勝、中央2勝。産駒

ブラビオ(牡 ルーラーシップ)2勝、◎

レッドブレインズ(牡 アグネスタキオン)1勝

曾祖母 **ダイジン** Daijin(92 Deputy Minister)北米4勝、シリーンS-CAN1、スターシュートS-CAN2、テストS-G1 3着、ダッチェスS-CAN3 4着。産駒

セレネイディング Serenading:加古牝馬チャンピオン、北米6勝、フォー

ルズシティH-G2、ダブルドッグデアS-G3 2着、Maple Leaf S-L **ハンドペインティド** Handpainted:北米5勝、Ontario Debutante S-L

ペインティング Painting(オンタリオファッションS-G3)の母

スピード サクシーズ Speed Succeeds:不出走。**プリリアント スピード** Brilliant Speed(ブルーグラスS-G1)の母

配合診断

次代を担うであろう父の評価を上げる配合、母系の実績からも芝中距離で真価を發揮

母レッドオーラムは3勝。2代母タッチフォーゴールドからはタッチミーノット(中山金杯)、ピークトラム(中京記念2着)、タッチザピーク(紅梅S)といった活躍馬が出ています。3代母Daijinは名種牝馬Touch Goldの全姉。父ブリックスアンドモルタルは北米年度代表馬で、BCターフ(米G1・芝12F)など北米の主要な芝レースを総なめにしました。Storm Cat系ですが、母方がスタミナに富んだ中距離向きの血で構成されているので、マイラーのダイワメジャー肌との配合は基本的に合うでしょう。ちなみに、「母の父ダイワメジャー」の活躍馬の父をみると、オルフェーヴル、シニスターミニスター、ハービンジャー、キタサンブラック、エピファネイアといった中距離型の種牝馬が圧倒的多数。種牝馬ブリックスアンドモルタルも中距離型なので期待できるでしょう。

レッドコルティスの22

全400口 | 1口出資額40,000円(税込) | 総額1,600万円(税込)

生産牧場 富田牧場 育成牧場 富田ステーブル・BTC(予定)



オークスに出走した母の資質、晴舞台での躍進を再ブレイクの父に託す

現時点における馬体の特徴と適性

1番人気に推された、京都芝2000mコースを舞台とする新馬戦で勝利を収め、3歳牝馬の晴れ舞台オークス出走も果たしたクラブ所属の母が、名種牡馬の地位を確立した父との配合から登場させた、躍動感溢れる逸材候補。体型は母によく似ていますが、ラインが綺麗で、背筋も強化されている背中、可動域が大きい、力強さに充ちた飛節は、母を凌駕する、圧倒的なストロングポイントといえるでしょう。長く、水平に力強く伸びている首、形状が良く、ボリュームも申し分のないトモ、伸びやかで、肋張りの良さも際立つ胴も、リズム感に優れた、ダイナミックな歩きを、しっかりとサポートしている重要なパーツ。また、生まれてからここまで、一度も健康を損なったことがない頑健さ、脚向き、蹄形ともに良好な前肢から、極めて順調に育成過程を歩んでいけると見えています。ファミリーから全欧3歳牡馬チャンピオンのコマンドーインチーフ、全欧2、3歳王者に選出されたウォーニングが出ている、血統面の奥深さも大きな魅力。持ち前の高いレベルで融合するスピードとパワーを存分に活かし、芝、ダートを問わない、マイル～中距離戦線における大願成就を、是非成し遂げて欲しいところです。

斉藤崇史調教師コメント

まとまって重々しさがなく、バランスの良いハービンジャー産駒。特に近年、好走している牝馬の産駒のイメージが沸き、スピードがありそうです。現在の印象なら、芝中距離での活躍が有力ですが、動き次第では早期デビューから桜花賞の路線も考えていきましょう。調教師の指針として、研修でお世話になり影響を受けた藤澤和雄元調教師の「1勝より一生」という言葉を忘れないようにしています。無理はさせず、目先にとらわれず、それぞれの馬に何が一番合っているのかを常に考えています。結果が急がれる時代ですが、馬に見合った完成するまでの時間があり、成長を妨げないよう手をかけていきます。ですから本馬にもしっかりと向き合い、様々な可能性を見定め、最高のパフォーマンスをお見せできるよう育てていこうと思います。

	* デインヒル	Danzig
ダンシリ	Danehill	Razyana
Dansili		
黒鹿 1996	ハシリ	Kahyasi
* ハービンジャー	Hasili	Kerali
Harbinger		
鹿 2006	ベーリング	Arctic Tern
ペナンパール	Bering	Beaune
Penang Pearl		
鹿 1996	グアバ	Shareef Dancer
	Guapa	Sauceboat
	* サンデーサイレンス	Halo
ハーツクライ	Sunday Silence	Wishing Well
Heart's Cry		
鹿 2001	アイリッシュダンス	* トニービン
レッドコルティス	Irish Dance	* ビューバダンス
Red Cordis		
黒鹿 2014	スマートストライク	Mr.Prospector
	* ストライキングヴェイル	Smart Strike
Striking Veil		Classy'n Smart
鹿 2008	ヤシュマク	Danzig
	Yashmak	Slightly Dangerous

Danzig:S4×M4 Northern Dancer:S5×S5×M5 Lyphard:S5×M5



管理予定調教師

斉藤崇史調教師(栗東)

◆1982年8月29日生 ◆2016年開業(8年目) ◆JRA通算196勝 ◆JRA重賞16勝 ※成績は2023年4月16日現在

【主な管理馬】

- クロノジェネシス:有馬記念(G1)、宝塚記念(G1)2回 ●ジェラルディーナ:エリザベス女王杯(G1) ●ラウダシオン:NHKマイルC(G1)
- キラアピリティ:ホープフルS(G1) ●ノーヴァレング:全日本2歳優駿(JPN1) ●サマーセント:マーメイドS(G3)
- ラーゴム:きさらぎ賞(G3) ●ヒンドゥタイムズ:小倉大賞典(G3) ●ララクリスティース:京都牝馬S(G3)
- バーデンヴァイラー:マーキュリーC(JPN3)



ファミリー(母系)

母の父 ハーツクライは千歳産、最優秀古牡馬、中央・UAE 5勝、ドバイシーマクラシック-G1。主な産駒:リスグラシュー(有馬記念-G1)【BMS:主な産駒】エプフォーリア(皐月賞-G1, 有馬記念-G1)、タガロア(MRCブルーダイヤモンドS-G1)、ケイデンスコール(マイラーズC-G2)、インダストリア(ダービー卿チャレンジT-G3)、トロワゼトワル(京成杯オータムH-G3 2回)

母 レッドコルティス(14 ハーツクライ) 1勝、フローラS-G2 5着。産駒ルーゼクライト(21牝 黒鹿ドゥラメンテ)未出走

祖母 *ストライキングヴェイル Striking Veil(08 Smart Strike)米国産、英2戦。産駒

サンライズエース(牡ドゥラメンテ) 2勝、⑨
ヴレ(牡 ハーツクライ) 1勝、石川公5勝

レイドバック(牡 ハーツクライ)北海道公1勝、石川公1勝

曾祖母 ヤシュマク Yashmak(94 Danzig)英3勝、リプルスデイルS-G2, Fillies Trial S-L, 英オークス-G1 4着、仏愛入着、愛オークス-G1 2着、マルセルブサック賞-G1 2着、北米1勝、フラワーボウル招待H-G1。産駒

フルマスト Full Mast:仏3勝、ジャンリュックラガルデール賞-G1, ラロシェット賞-G3, ボールドムサック賞-G3 2着、北米1勝、Lure S 3着、ウッドバインマイル-G1 4着、ニアークティックS-G2 4着。種牡馬

サウンドオブネイチャー Sound of Nature:英3勝、豪4勝、SAJC Colin S. Hayes Memorial Cup-L, MVR Cパティナックファームクリスタルマイル-G2 2着、VRC Johnnie Walker S-L 3着

四代母 スライトリー デインジャラス Slightly Dangerous(79 Roberto)英2勝、フレッドダーリンS-G3, 英オークス-G1 2着。産駒

***コマンドーインチーフ** Commander in Chief:全欧3歳牡馬チャンピオン、英4勝、英ダービー-G1, 愛1勝、愛ダービー-G1。種牡馬

***ウォーニング** Warning:全欧2・3歳チャンピオン、英8勝、クイーンエリザベス二世S-G1, サセックスS-G1, クイーンアンS-G2, リッチモンドS-G2, シャンペンS-G2。種牡馬

ダシヤンター Dushyantor:英4勝、グレイトヴォルティジュールS-G2, ジェフリーフリアS-G2, 英ダービー-G1 2着、英セントレジャー-G1 2着、北米1勝、ゴールドンゲイトH-G3。チリチャンピオンサイアー

ジャイブ Jibe:英2勝、Newbury Fillies Trial S-L

配合診断

G1牝馬に似た配合のアウトラインを実現、スピードも備えつつ芝の中距離で真価

「ハービンジャー×ハーツクライ」という組み合わせなので、カレンルシェルブル(福島民報杯)と同じ。父は現役時代にイギリスの芝12F路線で活躍した晩成タイプだったので、産駒にはゆるさが見られ、馬体全体のサイズに比較すると個々のパーツがやや大きめに出てきます。仕上がりの早さをうながし、馬体をシャープに出してスピード化を図るには、母方にスピード型のアメリカ血統を入れることが重要で、本馬のように母の父がスタミナ型のハーツクライであればなおさらです。2代母ストライキングヴェイルは、近い世代にMr.ProspectorとDanzigを併せ持ち、本馬はDanzig 4×4。これらは配合全体をピリッと締める効果があるので好ましく、配合のアウトラインはモズカッチャン(エリザベス女王杯)に似ています。芝向きの中距離タイプで成長力があります。

ガールズバンドの22

全400口 | 1口出資額70,000円(税込) | 総額2,800万円(税込)

生産牧場 社台ファーム 育成牧場 社台ファーム(予定)



成功体験が蓄積された血の融合、祖母は独の重賞馬で底力を伝える

現時点における馬体の特徴と適性

2022年最優秀2歳牡馬のタイトルを得たドルチェモアを出したことで、種牡馬として新たなステージに突入した感もある父の産駒には、持久力に優れた、力強いスピードを武器とするタイプが多いのですが、秀でた柔軟性を保有する本馬は、ゴール前の決め手に優れた、切れ味鋭い芝中距離型へと成長することが予想されます。母系は、2代母に独1000ギニーを制したエレクトラレーンがいる、一本筋の通った一族。母父に世界的名種牡馬ディーブインパクトを得たことも、競走馬としての大成を後押しする、血統的な要因となってきました。しなやかさを感じさせる首差し、深みのある、胸筋が発達した胸前、形状の綺麗なトモ、傾斜角度が理想的な肩、伸びやかさを保持している胴は、バランスの良い好馬体を形成するための重要なパーツ。また、非凡な伸びが特徴となる飛節は、推進力の大きい歩きを生み出す、強力なエンジンとなっています。柔軟性に優れた筋肉と靭帯、気性面における集中力の高さから、育成過程においても、順調なステップアップを果たしているタイプ。2歳夏から秋初頭に予定されるデビュー戦をスタート地点に、クラシックへと繋がる王道を邁進していくことでしょう。

大久保龍志調教師コメント

父ルーラーシップの産駒は中長距離のイメージが強かったのですが、本馬と同じ母父ディーブインパクトの配合でドルチェモア(朝日杯FS)が出るなど、以前よりバラエティに富んできた印象に変わりました。本馬は伸びのある馬体で、歩きを見ても柔軟性があり、長くいい脚が使えるイメージ。どちらかといえば中距離タイプになりそうですが、スピードも見劣らない素質を感じます。厩舎で大事にしていることは馬のコンディション。休養明けでも連戦でも、心身共に良い状態でレースに使うことを念頭に置き、1つ1つのレースで無駄なく勝利できるよう心がけています。本馬に対しても調教が進む中で適性を考慮し、ベストな選択をしていきたいと思います。まずは3歳クラシックを目標にしたいと思います。

ルーラーシップ	キングマンボ	Mr.Prospector
Rulership	Kingmambo	Miesque
鹿 2001	*マンファス	*ラストタイクーン
エアグルーヴ	Manfath	Pilot Bird
Air Groove	*トニービン	*カンバラ
鹿 1993	Tony Bin	Severn Bridge
ダイナカール	*ノーサンテースト	
Dyna Carle	シャダイフェザー	
ディーブインパクト	*サンデーサイレンス	Halo
Deep Impact	Sunday Silence	Wishing Well
鹿 2002	*ウインドインハーヘア	Alzao
Wind In Her Hair	Burghclere	
ドバウィ	Dubai Millennium	
*エレクトラレーン	Dubawi	Zomaradah
Electrelane	Imperial Ballet	
栗 2009	Imperialistic	Shefoog

牡
鹿毛
2022.3.12生



管理予定調教師

大久保龍志調教師(栗東)

◆1966年1月6日生 ◆2003年開業(21年目) ◆JRA通算563勝 ◆JRA重賞23勝 ※成績は2023年4月16日現在

【主な管理馬】

- チュウウウィザード:チャンピオンズC(G1)、ドバイWC(G1)2着 ●アササキキングス:菊花賞(G1)
- ダノンシャーク:マイルCS(G1) ●マンオブパーサー:ダービーグランプリ(JPN1) ●ディーブボン:阪神大賞典(G2)2回
- スマートレイアー:阪神牝馬S(G2)2回 ●ヒラボクロイヤル:青葉賞(G2) ●ショックアクション:新潟2歳S(G3)
- サンデーウィザード:新潟大賞典(G3) ●ウインプリメーラ:京都金杯(G3)



ファミリー(母系)

母の父 **ディーブインパクト**は早来産、年度代表馬(2回)、12勝、三冠、ジャパンC-G1。総合・2歳チャンピオンサイアー。主な産駒:コントレイル(三冠、ジャパンC-G1)、ジェンティルドンナ(ジャパンC-G1 2回)【BMS:主な産駒】プロウアウト(ファーストレイディS-G1)、キセキ(菊花賞-G1)、ジェラルディーナ(エリザベス女王杯-G1)、ドルチェモア(朝日杯フューチュリティS-G1)

母 **ガールズバンド**(15 ディーブインパクト) 1勝。産駒
ベレッタ(21 牡 鹿 レイデオロ)未出走

祖母 ***エレクトラレーン** Electrelane (09 Dubawi) 英国産、英 1 勝、Michael Seely Memorial S-L 2 着、フレッド ダーリン S-G3 3 着、独 1 勝、独 1000ギニー-G2。産駒
エレクトロニカ(牝 ディーブインパクト) 4 勝、名古屋日刊スポーツ杯、桑折特別
ディーイストワール(牡 ディーブインパクト) 1 勝
リズレーン(牝 ハーツクライ) 東海② 1 勝、③
シャントワール(牝 キズナ) 東海② 2 勝、③

曾祖母 **インベリアスティック** Imperialistic (01 Imperial Ballet) 英 5 勝、Pip-along S-L 3 着。産駒

インベリアスティック ディーヴァ Imperialistic Diva: 英 1 勝、Empress S-L 3 着、プリンセス マーガレット S-G3 4 着、北米 2 勝、ハロルド C.ラムザー シニア H-G3 4 着、ビヴァリー ヒルズ H-G3 4 着。産駒

クイーン オブ バミュータ Queen of Bermuda: 英 3 勝、ファースト オブ クライド S-G3、仏 1 勝、Prix de la Vallee d'Auge-L、グリテリウムドメゾンラフィット-G2 2 着、アランペール賞-G3 2 着、北米入着、Honey Bee S 2 着、Mamzelle Overnight S 3 着

クレイジーランド Crazyland: 英 1 勝、ディック プール フィリーズ S-G3 3 着、Marygate S-L 3 着

クワイ スパークー Quite Sparky: 英 2 勝

トート オランジュ Tete Orange: 英 1 勝

四代母 **シェフグ** Shefoog (92 Kefah) 英 2 勝。産駒

マカシブ Makasseb: 仏 1 勝、英 2 勝

五代母 **マサラ** Masarah (85 Formidable) 英 2 勝。産駒
マーヘブ Murheb: 英 1 勝、UAE 4 勝、National Day Cup

配合診断

距離の壁なく2歳戦から結果を出す配合、クラシックディスタンスで底力を発揮

「ルーラーシップ×ディーブインパクト」の組み合わせは成功しており、キセキ(菊花賞)、ドルチェモア(朝日杯フューチュリティS)、ワンドフルタウン(青葉賞、京都2歳S)、エヒト(七夕賞)などコンスタントに活躍馬を出しています。連対率、1走あたりの賞金額とも、ルーラーシップ産駒全体のそれを大きく上回っており、同産駒の最も成功している配合パターンです。この配合は2歳戦に強く、適性が芝向きに傾き、2000m以上の成績がとくに優秀、という特長があります。おそらく本馬もそうしたタイプになるでしょう。「ルーラー×ディーブ」で、母方の奥にSadler's Wellsを持つパターンは、エヒト(七夕賞)、キングズレイン(ホープフルS3着)と同じ。コーナー4つの芝中距離戦が得意なタイプとなるでしょう。欧州血統が豊富なので洋芝を得意とし、底力があります。

カーサデルシエロの22

全400口 | 1口出資額45,000円(税込) | 総額1,800万円(税込)

生産牧場 下河辺牧場 育成牧場 下河辺牧場(予定)



父は次世代の首位を狙う新星、牝系の品格が女王を誕生させる

現時点における馬体の特徴と適性

現役時代はG3ファンタジーSに勝ち、桜花賞で2着した名牝ロンドンブリッジから連なる、名門母系の出身者。祖母にオークスををはじめ、重賞を計4勝したダイワエルシエロ、一族に種牡馬としてブレイク中のグレーターロンドン、菊花賞馬キセキが出ている活力あふれるファミリーと、2024年から初年度産駒がデビューしてくる、米G1ウイナーでもある父とのフレッシュな組み合わせは、未知の魅力に満ち溢れたものといえるでしょう。しなやかさがポイントとなる首差し、胸部が前方に張り出して見える、胸筋が著しく発達した胸前、形状良く、ボリューム感に優れたトモ、伸びやかで深みを感じる胴といったパーツを備える、ラインも綺麗な馬体は、バランスの良さが際立っている点が、最大のセールスポイント。飛節の伸びが良く、背中、腰も上手に使えることから、芝のスピード競馬に対する適応力も、間違いなく高いタイプといえるでしょう。ダート9ハロン戦で争われる米G1アーカンソーダービーを好タイムで制した父の影響もあり、パワーを要する馬場にも対応可能な幅の広さも、競走馬としての武器。3歳春の大舞台を含む芝マイル戦線での大成を狙い、2歳秋のデビュー戦に備えています。

辻野泰之調教師コメント

母の初仔ですが、その割にサイズは小さくありません。脚つきも悪くないし、牧場スタッフから「母系の良さがしっかり出ている」と聞きました。ダイワエルシエロの血を引く貴重な本馬、角居元調教師から引き継いだキセキも近親で、思い入れも期待もあります。母父の影響からかトモがしっかりしている印象で、芝のマイルから中距離で活躍できるイメージが沸き、名牝系の能力を引き出せば大舞台も視野に入るはず。厩舎スタッフには「明るく、楽しく、前向きに仕事をして欲しい」と言っていて、スタッフが笑顔で取り組めば競走馬のストレスも自ずと軽減されるでしょう。厩舎のタイプとしては、なるべくキツチリ仕上げでレースに出走させたい方。ですから結果(勝率・連対率・3着内率)にもこだわっていきたくと思っています。

	アーチ	Kris S.
ブレ임	Arch	Aurora
Blame		
鹿 2006	ライアブル	Seeking the Gold
*ナダル	Liabile	Bound
Nadal		
鹿 2017	ブルビット	A.P.Indy
アセンディングエンジェル	Pulpit	Preach
Ascending Angel		
栗 2011	ソーラーコロニー	Pleasant Colony
	Solar Colony	Meteor Stage
メス		
鹿毛		
2022.1.23生		
	キングカメハメハ	Kingmambo
ロードカナロア	King Kamehameha	*マンファス
Lord Kanaloa		
鹿 2008	レディブラッサム	Storm Cat
カーサデルシエロ	Lady Blossom	*サラトガデュー
Casa del Cielo		
黒鹿 2015	*サンデーサイレンス	Halo
ダイワエルシエロ	Sunday Silence	Wishing Well
Daiwa el Cielo		
鹿 2001	ロンドンブリッジ	*ドクターデヴィアス
	London Bridge	*オールフォーロンドン

Danzig:SS×MS Mr. Prospector:SS×SS×MS



管理予定調教師

辻野泰之調教師(栗東)

◆1981年8月29日生 ◆2021年開業(3年目) ◆JRA通算57勝 ◆JRA重賞4勝 ※成績は2023年4月16日現在

【主な管理馬】

- ロウタスランド:関屋記念(G3)、京都牝馬S(G3) ●カラテ:新潟記念(G3) ●ミクソロジー:ダイヤモンドS(G3)
- キセキ:京都大賞典(G2)3着 ●ワイドファラオ:さきたま杯(JPN2)3着 ●ポッドボレット:すみれS(L)
- サヴォワールエメ:オパールS(L) ●グローブシアター:三木ホースランドパークジャンプS
- トップオブメジャー:下関S ●サターン:難波S



ファミリー(母系)

母の父 **ロードカナロア**は新ひだか産、年度代表馬、中央・香港13勝、香港スプリント-G1(2回)。主な産駒:アーモンドアイ(ジャパンC-G1 2回、牝馬三冠)、サートゥルナーリア(皐月賞-G1、ホープフルS-G1)、パンサラッサ(サウジC-G1)、ダノンスマッシュ(香港スプリント-G1)、ステルヴィオ(マイルチャンピオンシップ-G1)。【BMS:主な産駒】ドットクルー(毎日杯-G3 3着)

母 **カーサデルシエロ**(15 ロードカナロア) 2勝。本馬が初仔
祖母 **ダイワエルシエロ**(01 *サンデーサイレンス) 5勝、オークス-JPN1、京阪杯-JPN3、マーメイドS-JPN3、クイーンC-JPN3、紅梅S-OP 2着、阪神牝馬S-JPN2 3着。産駒

ハルワタート(牝 ロードカナロア) 2勝
ロンズデールベルト(牡 ロードカナロア) 兵庫公3勝、[Ⓢ]

曾祖母 **ロンドンブリッジ**(95 *ドクターデヴィアス) 3勝、ファンタジーS-JPN3、桜花賞-JPN1 2着、4歳牝馬特別西-JPN2 4着。産駒

グレーターロンドン: 7勝、中京記念-G3、東風S-L、節分S、毎日王冠-G2 3着、ディセンバーS-L 3着、安田記念-G1 4着、京王杯スプリングC-G2 4着、ダービー卿チャレンジT-G3 5着。種牡馬

ビッグプラネット: 3勝、京都金杯-JPN3、アーリントンC-JPN3

ダイワディライト: 7勝、NST賞-L、室町S-OP、初日の出S、南総特別、青梅特別、カペラS-G3 2着、千葉S-OP 2着(2回)、BSN賞-OP 2着、北海道[Ⓢ]入着、北海道スプリントC-JPN3 4着

ダイワスピリット: 2勝、大倉山特別。産駒

タイセイディバイン: 1勝、アーリントンC-G3 2着、ファルコンS-G3 2着、朱鷺S-L 3着、ユニコーンS-G3 5着、[Ⓢ]

ビッグカボネ: 5勝、名古屋城S、大須特別、戎橋特別、如意ヶ嶽特別

ブリッジオーバー: 岩手公3勝、中央2勝、飛翼特別

ブリッツフィナーレ: 不出走。産駒

キセキ: 4勝、菊花賞-G1、信濃川特別、ジャパンC-G1 2着、宝塚記念-G1 2着(2回)、大阪杯-G1 2着、京都大賞典-G2 2着、同3着、神戸新聞杯-G2 2着、天皇賞(秋)-G1 3着、毎日王冠-G2 3着、毎日杯-G3 3着、仏入着、フォワ賞-G2 3着。種牡馬

ビッグリボン: 4勝、サンタクロースS、渥美特別、栄特別、忘れな草賞-L 3着、関門橋S-OP 3着、[Ⓢ]

配合診断

日本の大舞台を席卷してきた母系、注目の父との配合に高まる成功の予感

オールフォーロンドンの牝系はスピードとパワーを脈々と伝えていきます。3代母ロンドンブリッジ(ファンタジーS、桜花賞2着)、2代母ダイワエルシエロ(オークス)はG1で活躍し、母カーサデルシエロは芝2勝。キセキ(菊花賞)、グレーターロンドン(中京記念)など近親には多くの活躍馬がひしめいています。父ナダルはデビューから4連勝で米G1を制覇し、ケンタッキーダービーでは前売り1番人気に推されたものの、骨折のため無敗のまま種牡馬入り。名血Blameの息子で、種牡馬としても注目です。かなりの大型馬なので、カーサデルシエロのような繊細なロードカナロア牝馬との配合は合うでしょう。キングカメハメハ系の繁殖牝馬との配合では、Liabile≒Kingmamboのニアリークロスが生じるのも魅力。芝・ダート兼用の1800m型で、3歳春は桜花賞が目標です。

アッフェルマーレの22

全400口 | 1口出資額60,000円(税込) | 総額2,400万円(税込)

生産牧場 下河辺牧場 育成牧場 下河辺牧場(予定)



マイル席捲を目論む新種牡馬、圧倒する速さと強さの継承へ

現時点における馬体の特徴と適性

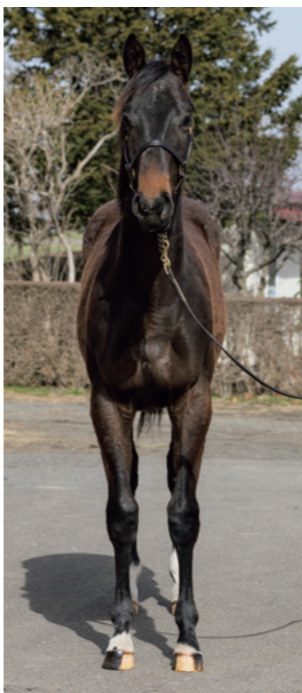
半兄にG2セントウルS、G3オーシャンS、G3CBC賞と重賞を3勝するなど、芝短距離戦線のトップホースとして躍動したダッシュャーゴゴ、NST賞、室町Sを含む計6勝をマークしたダッシュャーワンを持つ母と、デビュー戦から無傷の5連勝でG1愛2000ギニーを制した父とのマッチングから誕生した、逞しい馬体を誇る素質馬。本馬が属する父の初年度産駒は、数そのものが少ないだけに、希少価値の高さも魅力の一つといえるでしょう。キ甲から直線的に抜けた、見事なまでのラインを描いている首差し、躍動感にあふれた、背筋もしっかりと付いた背中、深く、胸筋豊富な胸前、形状が良く、ボリューム感も満点なトモ、伸びやかで、厚み、深みも十分な胴は、パワフルなスピードを生み出す原動力ですが、生来持っている重心の低さも、スプリンター、マイラーとしての大成を予見させる要因となっています。脚向きが良く、捌きもスムーズな前肢、飛節の伸びが良好な後肢と、脚元がスッキリとしているだけに、順調に育成過程におけるステップを踏んでいくはず。仕上がりの早さと成長力を兼備したタイプであり、2歳時からの息長い活躍を展開してくれることでしょう。

杉山晴紀調教師コメント

馬体に窮屈なところがなく、距離の融通が利くイメージ。まだトモの発達は見込めそうですが、歩きを見ても後肢は力強く、弾みもあってバネがありそうです。シスキ産駒ということでサンプルもなく、こういった条件で活躍できるのか、未知の魅力があり非常に楽しみにしています。厩舎に入ってきて調教を進める中で、どの路線を歩むのか見極めたいと考えています。厩舎では各馬の成長度合を鑑みて、現状にマッチした調教を課しています。心身の成長を促しながら接し、慌てず騒がずじっくりやっていくことが素質を開花させる秘訣だと信じてやっています。杉山晴紀厩舎でダメなら、あきらめがつくともらえるような厩舎力を身につけたいと思っています。本馬に対しても厩舎全体で向き合い、結果が出せるよう努力していきます。

アンブライドルズソング	Unbridled
ファーストディフェンス	Unbridled's Song Trolley Song
First Defence	
鹿 2004	オネストレイディ Seattle Slew
* シスキ	Honest Lady Toussaud
Siskin	
鹿 2017	オアシスドリーム Green Desert
バードフラウン	Oasis Dream Hope
Bird Flown	
鹿 2011	シルヴァースター Zafonic
	Silver Star Monroe
牡 黒鹿毛 2022.2.15生	
	*サンデーサイレンス Halo
ハーツクライ	Sunday Silence Wishing Well
Heart's Cry	
鹿 2001	アイリッシュダンス *トニービン
アッフェルマーレ	Irish Dance *ビューバーダンス
Affermare	
鹿 2016	ミスワキ Mr.Pro prospector
*ネガノ	Miswaki Hopespringseternal
Negano	
栗 1996	マダムトレジャラー Key to the Mint
	Madame Treasurer Halo Dancer

Halo:M4×M5



管理予定調教師

杉山晴紀調教師(栗東)

◆1981年12月24日生 ◆2016年開業(8年目) ◆JRA通算209勝 ◆JRA重賞14勝 ※成績は2023年4月16日現在

【主な管理馬】

- デアリングタクト:牝馬三冠 ●ケイティブレイブ:JBCクラシック(JPN1) ●ジャスティンパレス:阪神大賞典(G2)
- ガイアフォース:セントライト記念(G2) ●ウインテンダネス:目黒記念(G2) ●ミスニューヨーク:ターコイズS(G3)2回
- アリーヴォ:小倉大賞典(G3)、大阪杯(G1)3着 ●ベレヌス:中京記念(G3) ●ロードマイウェイ:チャレンジC(G3)
- アールスター:小倉記念(G3)



ファミリー(母系)

母の父 **ハーツクライ**は千歳産、最優秀古牡馬、中央・UAE 5勝、ドバイシーマクラシック-G1。主な産駒:リスグラシュー(有馬記念-G1)【BMS:主な産駒】エプフォーリア(皐月賞-G1、有馬記念-G1)、タガロア(MRCブルーダイヤモンドS-G1)、ケイデンスコール(マイラーズC-G2)、インダストリア(ダービー卿チャレンジT-G3)、トロワゼトワル(京成杯オータムH-G3 2回)

母 **アッフェルマーレ**(16 ハーツクライ)入着。本馬が初仔
 祖母 *ネガノ Negano(96 Miswaki)加国産、北米1勝。産駒
ダッシュャーゴゴ(牡 サクラバクシンオー)5勝、セントウルS-G2、同3着、CBC賞-G3、同2着、同3着、オーシャンS-G3、同2着、ききょうS-OP、シルクロードS-G3 2着、キーンランドC-G3 2着、小倉2歳S-JPN3 2着、スプリンターズS-G1 4着、高松宮記念-G1 4着、同5着、京王杯2歳S-JPN2 4着、ファルコンS-G3 4着、南関東Ⓜ入着、JBCスプリント-JPN1 3着
ダッシュャーワン(牡 *フレンチデピュティ)6勝、NST賞-L、同2着、室町S-OP、なにかわS、オルフェーヴルC-L 2着、千葉S-OP 2着、天王山S-OP 3着
 ビッグシャーク(牡 Salt Lake)5勝、高知公5勝
 サンライズネガノ(牡 *クロフネ)4勝
 ホワトヴェール(牝 *クロフネ)3勝。産駒
チェスナットコート(牡 ハーツクライ)4勝、早春S、許波多特別、甲武特別、日経賞-G2 2着、天皇賞(春)-G1 5着、南関東公1勝、京成盃ランドマイラーズ 3着、Ⓜ
 マヤノメント(牝 *フレンチデピュティ)北海道公3勝。産駒
クリンファンキー(牝 *タイキシャトル)5勝、UHB賞-OP、UHB杯、郡山特別、医王寺特別
 モンターニュドール(牝 *ヘネシー)不出走。産駒
 タイガーインディ(牡 *シニスターミニスター)4勝、下総S、Ⓜ
 ペイシャネガノ(牝 *サウスヴィグラス)3勝、シャングリラ賞
 マザーズデイ(牝 サクラバクシンオー)岩手・兵庫公入着。産駒
 ハイエンド(牡 ブラックタイド)4勝、甲南S、北國新聞杯、Ⓜ
 タビルージュ(牝 *ワイルドドラッシュ)2勝。産駒
 ショウナンカイドウ(牡 ゴールドアリュール)3勝、頌春賞

配合診断

無限の可能性を秘めた父の産駒に希少価値、母の配合に融通性が高くG1馬とも類似

シスキはこの世代が初年度産駒。種付け中の事故により初年度の血統登録頭数はわずか7頭。本馬はその貴重な1頭です。現役時代は欧州スプリントとマイルのG1で勝利。まとまりのいい馬体と、非主流ながら魅力的な血を多数抱えた血統構成は魅力的です。母アッフェルマーレの兄弟には短距離重賞を3勝したダッシュャーゴゴをはじめ constants に活躍馬が出ており、Halo 3×4という素軽いクロスは非サンデー系種牡馬に対して効果的。ネガノ牝系=スピード型、というイメージがありますが、母は日経賞2着馬チェスナットコートの3/4同血。距離の融通性はありそうです。2代父First Defenceと、母の父ハーツクライの血統を組み合わせると、スワーヴリチャード(ジャパンC、大阪杯)の血統構成によく似ているので悪くありません。芝のマイル〜中距離で本領を發揮するでしょう。

フィルバートの22

全400口 | 1口出資額50,000円(税込) | 総額2,000万円(税込)

生産牧場 谷川牧場 育成牧場 谷川牧場・BTC(予定)



父の代表産駒を狙う魅惑のインブリード、王道の路線から世界が視野に入る

現時点における馬体の特徴と適性

G1トリプルベンドHを勝ったセントラルインテリジェンス、G2スーパーダービーの勝ち馬ファンタスティキャットなど、北米の重賞好走馬を多数輩出している母系の継承者で、英、愛両ダービーを制し、米に遠征しブリーダーズCターフ連覇を達成した超一流馬ハイシャパラルの娘でもある母が、確信を持って送り込んできた第4仔となる牡駒。父に、2022年からデビューしている初年度産駒の成績も堅調なりアルスティールを迎えた本馬は、ともにクラブ所属馬として走っている半兄レッドベスタ、全姉ルージュワトルとは一味違う、好馬体の持ち主となりました。高く、柔軟性と力強さを兼ね備えた首、程好いサイズ感となっている胸前、ライン、フレームに見どころがある背腰、引き締まった胴、肩の傾斜角度が理想的で、出がスムーズな前肢、可動域の大きい飛節を保持する後肢といったパーツを上手に稼働させる歩きは、とても滑らかで、推進力に富んでいます。常に前向きで、活気ある気性も競走馬としての強力な武器。順調に育成が進み、2歳夏には、十分に仕上がった状態でデビュー戦を迎えると見えています。ターゲットは、芝中距離の王道路線。豊かな成長力も活かし、確実な上昇曲線を描いていきます。

清水久詞調教師コメント

バランスが良く、やわらかい歩様。サイズ感も小さかったり大きかったりと極端ではなく、ちょうど良さそうに映ります。気性も素直でひたむき、手はかからなさそうです。まだリアルスティール産駒の現役は2世代で未知な部分もありますが、本馬はやわらかい動きをするので、軽い芝が合いそうなイメージ。距離もこなせそうなので大きいレースを目指せる器だと感じています。厩舎の特徴としては出走回数が多いと思いますが、オーナーの理解やトレセンに匹敵する施設の近隣牧場のバックアップもあり、所属馬の活躍できる機会をより多く確保したいと考えています。そのためにも馬にあった調整方法を見だし、ベストコンディションで出走させ、故障なく、良い結果を出すことを意識して調教に取り組んでいます。

	*サンデーサイレンス	Halo
デーブインパクト	Sunday Silence	Wishing Well
Deep Impact		
鹿 2002	*ウインドインハーヘア	Alzao
リアルスティール	Wind In Her Hair	Burghclere
Real Steel		
鹿 2012	ストームキャット	Storm Bird
*ラヴズオンリーミー	Storm Cat	Terlingua
Loves Only Me		
鹿 2006	モネヴァッシア	Mr.Prospector
	Monevassia	Miesque
	サドラズウェルズ	Northern Dancer
ハイシャパラル	Sadler's Wells	Fairy Bridge
High Chaparral		
鹿 1999	カンラ	Darshaan
*フィルバート	Kasora	Kozana
Filbert		
鹿 2013	ストームキャット	Storm Bird
*ディエンティ	Storm Cat	Terlingua
Dainty		
栗 2007	ロッタダンシング	Alydar
	Lotta Dancing	Lotka

Storm Cat: S3×M3 Northern Dancer: M4×S5×M5 Raise a Native: S5×M5



管理予定調教師

清水久詞調教師(栗東)

◆1972年7月4日生 ◆2009年開業(15年目) ◆JRA通算373勝 ◆JRA重賞23勝 ※成績は2023年4月16日現在

【主な管理馬】

- キタサンブラック:有馬記念(G1)、ジャパンC(G1) ●メールドグラス:コーフィールドC(G1) ●トウケイヘイロー:札幌記念(G2)
- ジョーストリクトリ:ニュージランドT(G2) ●クールホタルビ:ファンクジーS(G3) ●カシアス:函館2歳S(G3)
- ホッコーメヴィウス:京都ジャンプS(J・G3) ●コナコースト:桜花賞(G1)2着 ●ビッパライプリー:春雷S(L)、京阪杯(G3)2着
- シュヴァリエローズ:萩S(L)、若葉S(L)2着



ファミリー(母系)

母の父 ハイシャパラル High Chaparralは愛国産、米芝馬チャンピオン(2回)、愛英・北米10勝、英ダービー-G1。主な産駒:ソー ユー シング(エクリプスS-G1)。【BMS:主な産駒】ドバイマイル(クリテリウムド サンクルー-G1)、ザワウ シグナル(モルニ賞-G1)、*アレイヴィングビューティ(ファースト レイディS-G1)、カリフォルニア スパングル(香港マイル-G1)

母 *フィルバート(13 High Chaparral)豪州産、わが国で1戦。産駒ルージュワトル(20牝 鹿リアルスティール)1戦、◎

祖母 *ディエンティ Dainty(07 Storm Cat)米国産、愛2勝。産駒ロッタシュガー Lotta Sugar(牝 Fastnet Rock)豪2勝、チャペット Chappette(牝 High Chaparral)豪1勝、ルージュカルミア(牝 ディーブインパクト)1勝、◎、レッドラトゥール(騾 ディーブインパクト)入着、南関東公2勝

曾祖母 **ロッタ ダンシング** Lotta Dancing(91 Alydar)北米7勝、アフエクシオニトリーH-G3、レイディーズH-G2 2着、ボウモントS-G2 2着、トップ フラットH-G1 3着、シクステイ セイルズH-G3 3着。産駒**ファンタスティキャット** Fantasticat:北米3勝、スーパー ダービー-G2、Round Table S-L 2着、Prelude S 2着。種牡馬シュートフォーザスターズ Shootforthestars:不出走。産駒**セントラルインテリジェンス** Centralintelligence:北米4勝、トリプルベンドH-G1、ロサンジェルスH-G3 2着(2回)

ナサ Nasa:北米4勝、Pennsylvania Nursery S、ジェロームS-G3 2着

ドリームス アントールド Dreams Untold:北米6勝、Blitzen S、Washington Crossing S 2着

アンティムド パッション Untamed Passion:北米1勝。産駒**ケイジ ファイター** Cage Fighter:北米6勝、President's Cup S-L、ディキシールS-G2 2着、ニッカボッカーS-G3 2着。種牡馬**アズ シーン オン ティーヴィー** As Seen On Tv:北米2勝、Juvenile Sprint S、ファウンテン オブ ユースS-G2 3着

ジャイアント プリンセス Giant's Princess:不出走。産駒**ブリュネット プリンセス** Brunette Princess:北米2勝、Any Limit S、Glitter Woman S 3着

配合診断

配合を後押しする勝ち上がり実績に安心感、重厚さとスピードを兼ね備え王道路線へ

3代母Lotta DancingはアフエクシオニトリーH(米G3・ダ8.5F)の勝ち馬で、産駒にスーパーダービー(米G2・ダ9F)を勝ったFantasticatがいます。2代母ディエンティはFantasticatの全妹にあたる良血。父リアルスティールはラヴズオンリーユー(BCフリー&メアターフなどG1を4勝)の全兄で、現役時代にドバイターフ(首G1・芝1800m)を勝ちました。種牡馬としても初年度からオールパルフェ(デイリー杯2歳S)を出しています。母の父High ChaparralはSadler's Wells産駒の英ダービー馬。「リアルスティール×Sadler's Wells系」の配合はNureyev×Sadler's Wellsの3/4同血クロスが生じ、現在、出走4頭中2頭が勝ち上がっています。High Chaparralの肌は重厚ですが、Storm Cat 3×3のクロスからスピードを補えば、芝中距離で活躍できるでしょう。

レッドディオースの22

全400口 | 1口出資額60,000円(税込) | 総額2,400万円(税込)

生産牧場 坂東牧場 育成牧場 坂東牧場(予定)



実戦で成果を挙げてきた母系、約束された堅実を大きく超える

現時点における馬体の特徴と適性

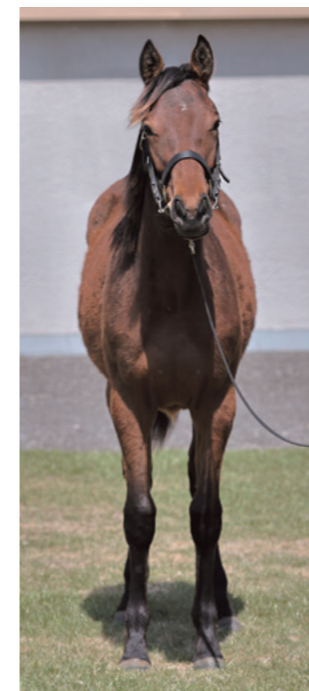
3歳6月から11月にかけて、ダート1800m戦でおこなわれた未勝利戦、500万下戦、1000万下戦を勝ち上がってきた母が、世界の強豪が集う芝1800m戦G1ドバイターフを制したリアルスティールを再び父に迎えて誕生した、第2仔となる牝駒。現時点では、成長の余地が大きいコンパクトな馬体ですが、筋肉や靭帯の柔軟性には目を見張るものがあり、とてもスムーズで伸びやかな歩きを披露しています。ラインが綺麗な背腰、肩の傾斜角度が理想的で、胸筋が十分に発達している胸前、胸部が深く、腹構えもしっかりした胴、形状が良好なトモといったパーツの優秀さはもとより、薄く、艶のある皮膚感の素晴らしさは、本馬が醸し出す上品さの決定打といえるでしょう。出がスムーズな前肢、可動域の大きな飛節が光る後肢と脚元も丈夫で、順調に育成過程におけるステップを踏んでいくと見えています。基本的には、馬体の成長を促しながら、徐々に運動強度を上げていく形にはなるでしょうが、仕上がりが自体は早そう。2歳夏から秋初頭には、しっかりと準備を整えて、デビュー戦に臨めるはず。母系は、芝、ダートの双方で活躍馬を輩出していますが、本馬は芝マイル〜中距離の一線級を駆け抜けていく器を有しています。

武幸四郎調教師コメント

初見の印象はカチツとした形のいい馬。上半身と下半身、脚元のバランスが良く、しっかりしていると感じました。母系からはダート傾向ですが、父がリアルスティールで、この馬体の特徴で成長すれば、芝に対応できるスピードも備えているはず。そうなれば桜花賞への期待値も高まります。調教師としてのベースは研修でお世話になった藤澤和雄元調教師。その教えは大きく、そこに長年ジョッキーでやってきた自分なりの経験をミックスしています。特に厩舎にいる間は心身ともに健康に過ごさせてあげるということを大事にしています。いい馬を育てるのは毎日の積み重ね、手を抜かずやるべきことをやり、大きいところを目指せる馬が出た時にあたふたしないよう準備しています。本馬でその機会をつかむためにも頑張っていきます。

	*サンデーサイレンス	Halo
デーブインパクト	Sunday Silence	Wishing Well
Deep Impact		
鹿 2002	*ウインドインハーヘア	Alzao
リアルスティール	Wind In Her Hair	Burghclere
Real Steel		
鹿 2012	ストームキャット	Storm Bird
*ラヴズオンリーミー	Storm Cat	Terlingua
Loves Only Me		
鹿 2006	モネヴァッシア	Mr.Prospector
レッドディオース	Monevassia	Miesque
Red Dios		
鹿 2013	*ロックオブジブラルタル	*ティンヒル
*ブレンダ	Rock of Gibraltar	Offshore Boom
Blenda		
鹿 2006	*フェアリーバラード	Sadler's Wells
レッドディオース	Fairy Ballade	Angelic Song

Halo:S4×M5 Mr. Prospector:S4×M4 Miesque:S4×M4 Northern Dancer:S5×M5



管理予定調教師

武幸四郎調教師(栗東)

◆1978年11月3日生 ◆2018年開業(6年目) ◆JRA通算132勝 ◆JRA重賞3勝 ※成績は2023年4月16日現在

【主な管理馬】

- ウォーターナビレラ:ファンタジーS(G3)、桜花賞(G1)2着 ●セキフウ:兵庫ジュニアG(JPN2)、サウジダービー(沙G3)2着
- ライトクオントム:シンザン記念(G3) ●ハッピーアワー:ファルコンS(G3) ●ドープネききょう、中山記念(G2)3着
- ワールドウインズ:関門橋S ●ゴールドチャリス:中京2歳S ●エブリワンブラック:ダイオライト記念(JPN2)2着
- タッチウッド:共同通信杯(G3)2着 ●ミヤジタイガ:イルミネーションジャンプS



ファミリー(母系)

母の父 キングカメハメハは早来産、最優秀3歳牡馬、7勝、ダービー-JPN1。総合・2歳チャンピオンサイアー。BMSチャンピオン。主な産駒:ドラムメンテ(ダービー-G1)。【BMS:主な産駒】ワグネリアン(ダービー-G1)、ウシュバテソール(ドバイワールドC-G1)、ジオグリフ(皐月賞-G1)、プラストワンピース(有馬記念-G1)、デアリングタクト(牝馬三冠)、ソダシ(桜花賞-G1)

母 レッドディオース(13 キングカメハメハ)3勝。産駒
 レッドリベルタ(21 牡 鹿 リアルスティール)未出走
祖母 *ブレンダ(06 *ロックオブジブラルタル)米国籍、わが国で1戦、入着。産駒
 レッドアトウ(牝 *カジドライヴ)5勝、東大路S、エルムS-G3 4着
 レッドルグラン(牡 *シンボリクリスエス)3勝
 ラブスピール(牝 スピルバーク)2勝、◎
曾祖母 *フェアリーバラード(99 Sadler's Wells)愛国籍、わが国で2戦。産駒
スーパームーン:5勝、札幌競馬場グランドオープン記念、洞爺湖特別、稲城特別、アメリカJCC-G2 2着、ディセンバーS-L 2着、アルゼンチン共和国杯-G2 3着、同5着、白富士S-L 3着、アイルランドT-L 3着
グラツィア:6勝、ラジオ日本賞-OP、KBC杯、津軽海峡特別、相川特別、ブラジルC-OP 2着、マーチS-G3 4着、みやこS-G3 5着、南関東・石川◎入着、川崎記念-JPN1 3着、日本テレビ盃-JPN2 3着、白山大賞典-JPN3 3着、障1勝、新潟ジャンプS 2着
 レジュールダムール:3勝、福島放送賞
 *グレイスフルソング:3勝、二王子特別、二本松特別
四代母 アンジェリックソング Angelic Song(88 Halo)不出走。産駒
スライコー ベイ Sligo Bay:愛1勝、北米3勝、ハリウッドターフカップS-G1、シネマH-G3、ハリウッドダービー-G1 2着。種牡馬
***レディバラード**:5勝、阿蘇S-OP、南関東◎2勝、TCK女王盃-JPN3、クイーン賞-JPN3。**ダノンバラード**(アメリカJCC-G2)の母
ウルフトーン Wolfe Tone:愛1勝、英1勝、Aston Park S-L。種牡馬
***ミレニアムウイング**:5勝、みなみ北海道S-L、青嵐賞、支笏湖特別イデリク Ydillique:仏入着。**シーチェンジ** Seachange(コンセイユドパリ賞-G2)、**トリステス** Tristesse(Prix Panacee-L)の母

配合診断

父の初年度産駒の成功例に倣う完全配合、大舞台で全兄との出世くらべを実現

4代母Angelic Songは、Glorious Song(Rahy、Singpielの母)、Devil's Bag(タイキシャトルの父)、Saint Ballado(米リーディングサイアー)といった名馬と全きょうだいの関係にある超良血馬。ファミリーは大きく発展しています。これらの血を母方に持つリアルスティール産駒は、トーホウガレオン(シンザン記念3着、アーリントンC4着)、マテンロウガイ(現4戦2勝)などが出て成功しており、連対率、1走あたりの賞金額とも、リアルスティール産駒全体を上回ります。本馬はMonevassia=Kingmambo 3×3という全兄妹クロスを持ちますが、父の代表産駒オールパルフェ(デイリー杯2歳S)もこのクロスを持っています。母レッドディオースはダート1800mで3勝。父の産駒はダートも問題なくこなすので、芝・ダート兼用の中距離タイプとなりそうです。

レッドジェノヴァの22

全400口 | 1口出資額50,000円(税込) | 総額2,000万円(税込)

生産牧場 社台ファーム 育成牧場 社台ファーム(予定)



重賞制覇以上の評価を得た母の初仔、オークスを夢に輝く蹄跡を刻め

現時点における馬体の特徴と適性

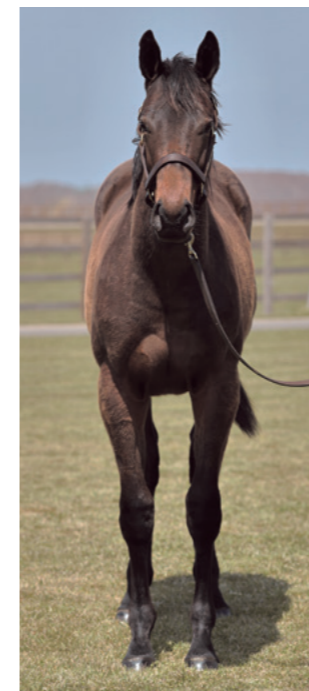
計5勝をマークし、G2京都大賞典で2着、G1エリザベス女王杯で4着と、芝中長距離重賞戦線のビッグレースでも能力の高さを証明した、クラブ所属馬だった母の初仔。父に、その京都大賞典で白熱の追い比べを演じたサトノダイヤモンドを迎えたことも、競馬ファンを納得させる、血統面における強力なセールスポイントといえるでしょう。細身に映るものの体高があり、胴伸びも素晴らしい大柄な馬体は、父譲りの柔軟性に富んでいます。また、傾斜角度が理想的で、前肢の出も良い肩、背腰の力強さ、形状が良く、ボリューム感満点のトモ、伸びがある飛節は、推進力に優れた、スムーズな歩きの原動力となっています。3歳秋以降に本格化し、菊花賞、有馬記念、天皇賞・春を制した、歴史に残る名ステイヤー、マンハッタンカフェを登場させた一族の出身者である本馬も、2歳夏からガンガン行くタイプでないことは確か。じっくりと育成過程を歩み、馬体にしっかりとした芯を通してからデビューする形が、高い資質を全開にすることへ繋がっていくと見ています。当然、ターゲットとするのは、芝中距離戦線の最高峰を競う一戦。実戦を重ねながら、徐々に進化を遂げ、大目標達成のための地力を蓄えていきます。

池江泰寿調教師コメント

脚長で首差しもきれいな。スラっとした体型でバランスはいいですし、まだ成長途上ながらも、体重は牝馬として標準以上で幅もあります。とてもいい雰囲気を持っています。父、母の血を受け継いでいけば、芝の中長距離向き。桜花賞よりはオークス、古馬になって完成されるイメージでしょうか。母はあと一歩タイトルに届かなかったので、本馬には何とか重賞を獲らせてあげたいと思います。池江厩舎では馬体のチェックなど、その馬の担当だけではなく、1頭に対して4人体制でみています。細部にわたり気づくことで故障やアクシデントの防止にもなると考えています。本馬はサトノダイヤモンドの3世代目。自分の子ども、いや孫みたいな感じですから、管理できることは嬉しく、彼の代表産駒は自分の手でつくり上げたいと思っています。

	*サンデーサイレンス	Halo
デーブインパクト	Sunday Silence	Wishing Well
Deep Impact		
鹿 2002	*ウインドインハーヘア	Alzao
サトノダイヤモンド	Wind In Her Hair	Burghclere
Satono Diamond		
鹿 2013	オーベン	Lure
*マルペンサ	Orpen	Bonita Francita
Malpensa		
鹿 2006	マルセラ	*サザンハイロー
	Marsella	Riviere
	クリスエス	Roberto
*シンボリクリスエス	Kris S.	Sharp Queen
Symboli Kris S		
黒鹿 1999	ティーケイ	Gold Meridian
レッドジェノヴァ	Tee Kay	Tri Argo
Red Genova		
青鹿 2014	*ホワイトマズル	*ダンシングブレーヴ
コロンバスサークル	White Muzzle	Fair of the Furze
Columbus Circle		
黒鹿 2006	マンハッタンフィズ	*サンデーサイレンス
	Manhattan Fizz	*サトルチェンジ

サンデーサイレンス:S3×M4 Halo:S4×S5×M5 Hail to Reason:S5×M5 Lyphard:S5×M5



管理予定調教師

池江泰寿調教師(栗東)

◆1969年1月13日生 ◆2004年開業(20年目) ◆JRA通算814勝 ◆JRA重賞90勝 ※成績は2023年4月16日現在

【主な管理馬】

- オルフェヴール:クラシック三冠、有馬記念(G1) ●ドリームジャーニー:有馬記念(G1)、宝塚記念(G1)
- サトノダイヤモンド:有馬記念(G1)、菊花賞(G1) ●ラプリーデ:天皇賞・秋(G1)、宝塚記念(G1)
- ミッキークイーン:オークス(G1)、秋華賞(G1) ●アルアイン:皐月賞(G1)、大阪杯(G1) ●トーセンジョーダン:天皇賞・秋(G1)
- ベルシアンナイト:マイルCS(G1) ●サトノアラジン:安田記念(G1) ●ジャンダルム:スプリンターズS(G1)



ファミリー(母系)

母の父 *シンボリクリスエスは米国産、年度代表馬(2回)、8勝、有馬記念-JPN1(2回)。主な産駒:エピファネイア(ジャパンC-G1)。**【BMS:主な産駒】**レイデオロ(ダービー-G1、天皇賞・秋-G1)、ソングライン(安田記念-G1)、アカイト(エリザベス女王杯-G1)、アルクトス(マイルチャンピオンシップ南部杯-JPN1 2回)、オーソリティ(アルゼンチン共和国杯-G2 2回)

母 レッドジェノヴァ(14 *シンボリクリスエス) 5勝、ワールドオールスタージョッキーズ第2戦(芝2000m)、北海道150年記念(芝2600m)、磐梯山特別(芝2600m)、京都大賞典-G2 2着、エリザベス女王杯-G1 4着。本馬が初仔

祖母 コロンバスサークル(06 *ホワイトマズル) 5勝、レインボーS、早春S、みなみ北海道S-L 2着、五稜郭S-OP 3着、オールカマー-G2 4着、中山牝馬S-G3 4着、府中牝馬S-G2 5着、函館記念-G3 5着。産駒コロンバスデイ(牝 *ノヴェリスト) 2勝

曾祖母 マンハッタンフィズ(01 *サンデーサイレンス) 1勝。産駒**クレスコグラント**: 3勝、京都新聞杯-G2、ムーニーバレーR C賞、大阪ハンブルクC-L 3着、ダービー-G1 5着、金鯱賞-G2 5着。種牡馬**ダービーフィズ**: 5勝、函館記念-G3、府中S、箱根特別、若竹賞、セントライト記念-G2 2着、札幌記念-G2 3着、ディセンバーS-L 3着

アプリコットフィズ: 4勝、クイーンC-G3、クイーンS-G3、キャピタルS-L、京成杯オータムH-G3 2着、富士S-G3 2着、フェアリーS-G3 2着、秋華賞-G1 3着、ラピスラズリス-OP 3着、桜花賞-G1 5着。産駒**バラックバリンカ**: 4勝、御堂筋S、江坂特別、甲武特別

インベリアルフィズ: 2勝、臥牛山特別

シャンボールフィズ: 2勝。産駒**オレンジフィズ**: 1勝、スイートピーS-L 3着、◎

四代母 *サトルチェンジ Subtle Change(88 Law Society) 愛国産、英1勝、Oaks Trial S-L 3着、愛2勝、Giolla Mear Race-L。産駒

マンハッタンカフェ: 最優秀古牡馬、6勝、菊花賞-JPN1、有馬記念-JPN1、天皇賞春-JPN1、阿寒湖特別。チャンピオンサイアー

***エアスマップ**: 7勝、オールカマー-JPN2、エイプリルS-OP、アメジストS、エプソムC-JPN3 2着、新潟記念-JPN3 2着。種牡馬

エアシャキータ: 4戦。**エアウルフ**(ポラリスS-L)の母

配合診断

活躍馬が連なる超ハイレベルの牝系、桜より樫で密度の濃い戦いを具現化

3代母マンハッタンフィズはマンハッタンカフェの全妹にあたる良血。2代母コロンバスサークルは重賞の掲示板に再三載った活躍馬で、その姉弟にはアプリコットフィズ(クイーンS、クイーンC)、クレスコグラント(京都新聞杯)、ダービーフィズ(函館記念)がいます。母レッドジェノヴァはエリザベス女王杯(G1)4着、京都大賞典(G2)2着。途切れることなく活躍馬が連なる牝系はハイレベルです。父サトノダイヤモンド(有馬記念、菊花賞)は中長距離タイプのデーブインパクト産駒で、種牡馬としては現3歳の初年度産駒からシンリョクカ(阪神ジュベナイルフィリーズ2着)を出しています。デーブインパクトとその後継種牡馬はダンシングブレーヴとニックスの関係にあります。本馬はこのパターン。芝2000~2400mがベストで底力があります。

レッドアウローラの22

全400口 | 1口出資額45,000円(税込) | 総額1,800万円(税込)

生産牧場 オカモトファーム 育成牧場 ファンタストクラブ(予定)



母は良血ディーブ産駒の素質を保持、父との配合で可能性が無限に広がる

現時点における馬体の特徴と適性

クラブ所属馬としてデビューし、芝2000m戦で二つの勝ち鞍をマークした母が、1年目は2着馬に6馬身弱の差を付けるレコード勝ち、2年目は壮絶な追い比べをハナ差勝ちと、オールマイティな強さを示してドバイワールドC連覇を達成した父と配合されて誕生した初仔は、見る者に昂揚感を与える、活力に充ちた名牝候補となりました。長く、しなやかな首、胸筋の発達が著しく、大きく前にせり出している胸前、腰にかけてのラインが綺麗な背中、程好い丸みを帯びたトモ、肩の傾斜角度が理想的で、前肢の出の良さが光る、伸びやかな胴といったパーツを上手に連動させる身のこなしは、柔軟性と躍動感を兼ね備えた、必見に値するものといえるでしょう。脚向き、蹄形に問題のない前肢、飛節の可動域もマックスな後肢と、脚元もしっかりとしているだけに、育成過程における課題も、難なくクリアしていくはず。仕上がりは早く、2歳夏には、良い状態を作り上げてデビュー戦を迎えられると見ています。高速馬場にも、力を要すコンディションにも適応できるタイプであり、距離の融通も利きそう。芝、ダート、距離の長短、さらには国内外を問わずに万能性を発揮する、スーパーヒロイン誕生を期待したいところです。

寺島良調教師コメント

1歳春という時期の牝馬ながら、骨格がしっかりと立派なサイズ感があります。歩きを見ても重々しさがなく、踏み込みにも力強さがあり、現状は及第点ではないでしょうか。脚元にも不安はなく、鍛えがいがありそうなタイプです。芝、ダートと適性は決めつけずに調教を行いながら、どの路線を歩んでいくのか判断しましょう。父はドバイワールドカップを連覇した馬。その意味ではダートでの活躍も期待できそうで、整備された地方競馬3歳路線も視野に入りたいと考えています。厩舎としての目標は毎年30勝以上を掲げています。そして目標とするレースに送り出すノウハウも出来つつあり、スタッフや近隣の牧場にも厩舎の意図が伝わっています。その厩舎力を活かし、本馬の勝利に繋がりたいと思っています。

ヘルメット	エクシードアンドエクセル	*ディンヒル
Helmet	Exceed And Excel	Patrona
栗 2008	アクセサリーズ	Singspiel
*サンダースノー	Accessories	Anna Matrushka
Thunder Snow		
鹿 2014	ドバイステイネーション	Kingmambo
イースタンジョイ	Dubai Destination	Mysterial
Eastern Joy		
鹿 2006	レッドスリッパーズ	Nureyev
	Red Slippers	Morning Devotion
	*サンデーサイレンス	Halo
ディーブインバクト	Sunday Silence	Wishing Well
Deep Impact		
鹿 2002	*ウインドインハーヘア	Alzao
レッドアウローラ	Wind In Her Hair	Burghclere
Red Aurora		
鹿 2016	キングマンボ	Mr.Prospector
	Kingmambo	Miesque
レジュールダムール		
Les Jours d'Amour		
鹿 2007	*フェアリーバラード	Sadler's Wells
	Fairy Ballade	Angelic Song

Kingmambo:M3×S4 Nureyev:S4×M5 Halo:M4×M5 Northern Dancer:S5×M5



管理予定調教師

寺島良調教師(栗東)

◆1981年6月27日生 ◆2016年開業(8年目) ◆JRA通算180勝 ◆JRA重賞3勝 ※成績は2023年4月16日現在

【主な管理馬】

- ディバインフォース:ステイヤーズS(G2) ●キングズガード:プロキオンS(G3)、マイルCS南部杯(JPN1)3着
- スプリングボックス:小倉サマージャンプ(J-G3) ●テルベリオン:仁川S(L)、マーキュリーC(JPN3)3着
- ヤクシマ:クロッカスS(L) ●ミスマンマミーア:大阪・ハンブルクC、日経新春杯(G2)2着 ●シングルアップ:フェニックス賞
- ヘリオス:マイルCS南部杯(JPN1)2着 ●ヘラルドパローズ:茨木S、仁川S(L)2着 ●キングズソード:伊丹S、アンタレスS(G3)3着



ファミリー(母系)

母の父 **ディーブインバクト**は早来産、年度代表馬(2回)、12勝、三冠、ジャパンC-G1。総合・2歳チャンピオンサイアー。主な産駒:コントレイル(三冠、ジャパンC-G1)、ジェンティルドンナ(ジャパンC-G1 2回)。**【BMS:主な産駒】**プロウアウト(ファーストレイディS-G1)、キセキ(菊花賞-G1)、ジェラルディーナ(エリザベス女王杯-G1)、ドルチェモア(朝日杯フューチャリティS-G1)

母 レッドアウローラ(16 ディーブインバクト) 2勝。本馬が初仔
祖母 レジュールダムール(07 Kingmambo) 3勝、福島放送賞。産駒
レッドヴィクター(驥 ディーブインバクト) 岩手公2勝、中央入着
曾祖母 *フェアリーバラード(99 Sadler's Wells) 愛国産、わが国で2戦。産駒
スーパームーン: 5勝、札幌競馬場グランドオープン記念、洞爺湖特別、
稲城特別、アメリカJ C C-G2 2着、ディセンバーS-L 2着、アルゼンチン共和国杯-G2 3着、同5着、白富士S-L 3着、アイルランドT-L 3着

グラツィア: 6勝、ラジオ日本賞-OP、KBC杯、津軽海峡特別、相川特別、
ブラジルC-OP 2着、マーチS-G3 4着、みやこS-G3 5着、南関東・石川◎入着、川崎記念-JPN1 3着、日本テレビ盃-JPN2 3着、白山大賞典-JPN3 3着、障1勝、新潟ジャンプS 2着
*グレイスフルソング: 3勝、二王子特別、二本松特別
*ブレンダ: 1戦、入着。産駒

レッドアウ: 5勝、東大路S、エルムS-G3 4着
レドジェリック ソング Angelic Song(88 Halo) 不出走。産駒

四代母 **スライゴー ベイ** Sligo Bay: 愛1勝、北米3勝、ハリウッドターフカップS-G1、シネマH-G3、ハリウッドダービー-G1 2着、オークトゥリーダービー-G2 2着、仏入着、クリテリウムドサンクルー-G1 3着。種牡馬

***レディバラード**: 5勝、阿蘇S-OP、南関東◎2勝、TCK女王盃-JPN3、クイーン賞-JPN3。**ダノンバラード**(アメリカJ C C-G2)の母

ウルフトーン Wolfe Tone: 愛1勝、英1勝、Aston Park S-L。種牡馬
***ミレニアムウイング**: 5勝、みなみ北海道S-L、青嵐賞、支笏湖特別
イディルク Ydillique: 仏入着。**シーチェインジ** Seachange(コンセイユドバリ賞-G2)、**トリステス** Tristesse(Prix Panacee-L)の母
*ディボースステスティモニー Divorce Testimony: 北米1戦。**フサイチセブン**(ダイオライト記念-JPN2)の母

配合診断

魅力的な攻めのクロスが想像を超え、芝とダートの二刀流で勝利を量産

母レッドアウローラは芝2000mで2勝。2代母レジュールダムールはNureyev×Sadler's Wells 3×2という3/4同血クロスを持ち、スーパームーン(アメリカJCC2着)やグラツィア(川崎記念3着)の半姉です。ダノンバラードやエアアルマスも同じ一族で、4代母Angelic Songは名牝Glorious Songの全妹。世界的な名門ファミリーです。父サンダースノーはNureyev×Sadler's Wells 5×3・5を持ち、Nureyev的な力強いストライドで芝・ダート双方で大レースを勝ちました。本馬はなかなか攻めた配合で、Kingmambo 4×3に加えてSingspiel×フェアリーバラード4×3、Nureyev×Sadler's Wells 4・6・6×4・5と、魅力的な3/4同血クロスを重ねました。牝馬らしからぬ力強さが感じられる血統で、父のように芝とダートの二刀流で活躍することでしょう。

レッドシャーロットの22

全400口 | 1口出資額50,000円(税込) | 総額2,000万円(税込)

生産牧場 吉田ファーム 育成牧場 ヤシ・レーシングランチ(予定)



父はハーツクライ最有力後継馬、この国の成功を記した母系に託す

現時点における馬体の特徴と適性

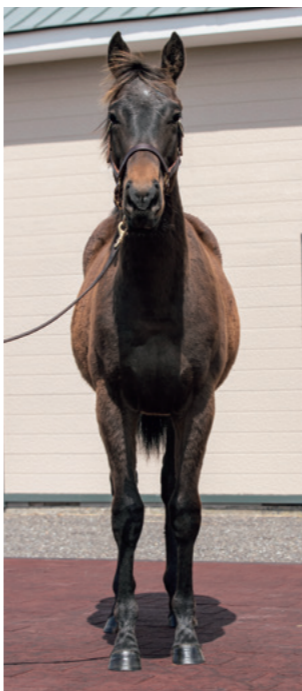
クラブ所属馬として走り、2、4歳時に勝ち鞍をマークしたほか、全26走中14戦で掲示板を確保する安定感の高さを示した母が、大阪杯、ジャパンCと芝中長距離G1レースを二つ制した父とのマッチングで送り込んできた初仔は、洗練された柔軟性と力強い荒々しさを兼備する、魅力的な佇まいを持つ若駒となりました。胸筋が著しく発達した胸前、背筋が十分に付いている背中、ボリューム満点のトモはパワフルさ、厚み、深み、伸びやかさに富んだ胴は柔らかさを象徴するパーツですが、全体的なバランスは、父似、母似というのではなく、本馬の個性を表現したものといえるでしょう。脚元に大きな問題はなく、育成過程もスムーズに運んでいけそうですが、じっくりと成長を促しながら、2歳秋にデビューを迎える形が理想的だと考えています。ファミリーからは、芝2200m戦のエリザベス女王杯に勝ち、ダート2000m戦で争われる世界的ビッグレース、ドバイワールドCで2着に健闘したトゥザヴィクトリーも登場していますが、本馬も、芝、ダートの双方で、高いレベルの走りが展開できるタイプ。距離適性に関しては未知な部分も大きいですが、現時点での体型からは、マイル戦が真価発揮の舞台と見ています。

庄野靖志調教師コメント

産まれて10日ほど、初めて見た時は初仔でコンパクトに映りましたが、今年に入り一気に成長を遂げ、腹回りもしっかりし全体的な筋肉量も増え、理想的な体つきに変わってきました。父も、母も自厩舎から巣立った種牡馬と繁殖牝馬で、とても強い思い入れがあり、こういう機会に恵まれたことは本当に調教師冥利に尽きます。前脚の捌きは父に似ているし、後ろ脚の回転の良さは母の良さを受け継いでいるようです。活躍した両親の長所が発揮できれば、3歳クラシック路線に乗っても何ら不思議はありません。厩舎運営の指針として、先入観を持たず馬の成長を見届け、競馬に使いながら適性を見極め、その馬の良さを引き出すことを意識しています。本馬の本質をより早く見いだし活躍させたいと思います。

ハーツクライ	*サンデーサイレンス	Halo
Heart's Cry	Sunday Silence	Wishing Well
鹿 2001	アイリッシュダンス	*トニービン
スワーヴリチャード	Irish Dance	*ビューバーダンス
Suave Richard		
栗 2014	アンブライドルズング	Unbridled
*ピラミマ	Unbridled's Song	Trolley Song
Pirramimma		
黒鹿 2005	*キャリアコレクション	General Meeting
	Career Collection	River of Stars
レッドシャーロット		
Red Charlotte		
鹿 2015	*クロフネ	*フレンチデビューティ
シルバーフォックス	Kurofune	*ブルーアヴェニュー
Silver Fox		
芦 2008	ビーポジティブ	*サンデーサイレンス
	Be Positive	*フェアリードール

サンデーサイレンス:S3×M4



管理予定調教師

庄野靖志調教師(栗東)

◆1970年3月2日生 ◆2007年開業(17年目) ◆JRA通算287勝 ◆JRA重賞14勝 ※成績は2023年4月16日現在

【主な管理馬】

- スワーヴリチャード:ジャパンC(G1)、大阪杯(G1)
- ニシケンモノノフ:JBCスプリント(JPN1)
- サマーウインド:JBCスプリント(JPN1)
- ホクトスルタン:目黒記念(G2)
- リッジマン:ステイヤーズS(G2)
- ブルヴィル:ファイブズレビュー(G2)
- クロスクリーガー:兵庫チャンピオンS(JPN2)、レパードS(G3)
- レッドアンジェラ:北九州記念(G3)、CBC賞(G3)
- ダイシンオレンジ:平安S(G3)、アンタレスS(G3)
- ワイドパッパ:武蔵野S(G3)



ファミリー(母系)

母の父 **ロードカナロア**は新ひだか産、年度代表馬、中央・香港13勝、香港スプリント-G1(2回)。主な産駒:アーモンドアイ(ジャパンC-G1 2回、牝馬三冠)、サートゥルナーリア(皐月賞-G1、ホープフルS-G1)、パンサラッサ(サウジC-G1)、ダノンスマッシュ(香港スプリント-G1)、ステルヴィオ(マイルチャンピオンシップ-G1)。【BMS:主な産駒】ドットクルー(毎日杯-G3 3着)

母 レッドシャーロット(15 ロードカナロア) 2勝。本馬が初仔
 祖母 シルバーフォックス(08 *クロフネ) 1勝。産駒
 シビックドライブ(牡 *カジノドライブ) 北海道公3勝、サンライズC、サッポロクラシックC 3着
 レッドシルヴァーナ(牝 ロードカナロア) 3勝
 ルージュルミナス(牝 ロードカナロア) 1勝、
 パンツァネッラ(牝 ルーラーシップ) 東海公2勝、中央入着。産駒
 ルージュリナージュ(牝 スピルバーグ) 3勝、

曾祖母 **ビーポジティブ**(99 *サンデーサイレンス) 2勝、南関東①1勝、クイーン賞-JPN3、エンプレス杯-JPN2 2着、TCK女王盃-JPN3 2着。産駒
トリップ: 4勝、京都2歳S-L、リゲルS-OP、大原S、弥生賞-G2 2着、南関東①入着、ジャパンダートダービー-JPN1 2着
 ラルブデュエズ:兵庫公3勝、中央1勝、呼子特別

四代母 *フェアリードール Fairy Doll(91 Nureyev) 米国産、英1戦。産駒
トゥザヴィクトリー:最優秀古牝馬、6勝、エリザベス女王杯-JPN1、阪神牝馬特別-JPN2、府中牝馬S-JPN3、クイーンS-JPN3、オークス-JPN1 2着。**トゥザグローリー**(日経新春杯-G2、日経賞-G2)、**トゥザワールド**(弥生賞-G2)、**トーセンビクトリー**(中山牝馬S-G3)の母、**リオンリオン**(青葉賞-G2)、**メドウラーク**(七夕賞-G3)の祖母
サイレントティール:中央・佐賀②7勝、武蔵野S-G3。種牡馬
 ベネシアドール:不出走。**デニムアンドルビー**(フローラS-G2、ローズS-G2)、**公ラゴブルー**(マリンC-JPN3)の母
 フェアリーダンス:4戦、入着。**フェアリーボルカ**(中山牝馬S-G3)の母
 ビスクドール:入着。**オウケンビリーヴ**(クラスターC-JPN3)、**アイズドール**(エニフS-L)の母、**プロフェット**(京成杯-G3)、**クラージュゲリエ**(京都2歳S-G3)、**アイスジャイアント**(JBC2歳優駿-JPN3)の祖母

配合診断

栄光を今もなお伝える牝系を後継、相互補完できる父の特性とも好相性

フェアリードールにさかのぼるファミリーは、芝・ダート兼用でしぶとさと成長力に特長があります。3代母ビーポジティブ(クイーン賞)は名牝トゥザヴィクトリー(エリザベス女王杯など重賞4勝)の全妹で、2代母シルバーフォックスはトリップ(ジャパンダートダービー2着、弥生賞2着)の全姉。母レッドシャーロットは芝とダートで1勝ずつを挙げました。代を経ても途切れることなく重賞勝ち馬が出ているように、いまだに旺盛な活力を誇る名門ファミリーです。父スワーヴリチャード(ジャパンC、大阪杯)は、ハーツクライ産駒らしい緩みや重厚さがある中距離馬でした。締まりが強く、ダートや短距離で活躍したレッドシャーロットとの配合は相互補完的で、方向として正しいといえるでしょう。中距離タイプに出てもマイラータイプに出ても楽しみな配合には違いありません。

シェアザストーリーの22

全400口 | 1口出資額45,000円(税込) | 総額1,800万円(税込)

生産牧場 隆栄牧場 育成牧場 ノーザンファーム(予定)



半姉の栄光を超える意気込み十分、父の遺伝能力を強烈に発揮する

現時点における馬体の特徴と適性

船橋競馬場の1800mコースを舞台とする交流ダート重賞クイーン賞制覇を含め、牝馬ダート戦線のトップクラスとして活躍した、当クラブ所属馬レッドクラウディアを筆頭に、数多くの勝ち上がり産駒を送り出し、繁殖牝馬としての実績を積み重ねている母が、2023年から初年度産駒がデビューしてくる、新進気鋭種牡馬スワーヴリチャードを父に迎えて登場してきた、豊富な成長力も大きな武器となり得る、ダート戦線の大器候補。短く、力強い首、肩の傾斜角度が良く、深みもある、胸筋が発達した胸前、短めで、背筋の付き方も良好な背中、程好いサイズ感を持ったトモ、深みと伸びやかさがあり、肋張りの良さも光っている胴といったパーツは、パワフルなスピードを生み出す、強力なエンジンとなるはず。現時点では、胸部、肩周辺の筋肉が充実している前駆との比較で、「後駆の発育はこれから」という印象も強いだけに、育成過程の早期において、詰め込み過ぎる必要はないと考えています。後駆の成長を促し、馬体のバランスが取れてからペースアップを図り、2歳秋のデビュー戦に備える。本格化するのは3歳後半以降かもしれませんが、ビッグタイトル獲得も夢ではない、素晴らしい資質を備えています。

石坂公一調教師コメント

半姉レッドクラウディアは石坂正元調教師(実父)が管理。半兄シェアザモーメントを父から引き継ぎ、本馬の姪にあたるルージュシェノンを管理しているので浅からぬ経験値があります。2頭の傾向からは、あまり焦らず成長を促しつつ、資質を伸ばした方が良い牝系かもしれません。本馬は遅生まれで少し小柄に見えますが、馬体のバランスは良さそうです。父の産駒は骨太でガッシリした仔が多い印象があり、本馬も成長とともに大きくなっていくと思われます。開業5年目、当初から集団調教を徹底し人馬の安全を重視。スタッフ全員が協力して仕事に取り組むスタイルが確立でき、成績も上がっています。やるからには目標はリーディングトレーナー、そのためにも所縁ある血統の本馬を勝利に導けるよう頑張ります。

	*サンデーサイレンス	Halo
ハーツクライ	Sunday Silence	Wishing Well
Heart's Cry		
鹿 2001	アイリッシュダンス	*トニービン
スワーヴリチャード	Irish Dance	*ビューバーダンス
Suave Richard		
栗 2014	アンブライドルズング	Unbridled
*ピラミマ	Unbridled's Song	Trolley Song
Pirramimma		
黒鹿 2005	*キャリアコレクション	General Meeting
	Career Collection	River of Stars
	*ダンシングブレーヴ	Lyphard
*コマンダーインチーフ	Dancing Brave	Navajo Princess
Commander in Chief		
鹿 1990	スライトリーデインジャラス	Roberto
シェアザストーリー	Slightly Dangerous	Where You Lead
Share the Story		
鹿 2002	*ディアブロ	Devil's Bag
	Diablo	Avilion
*ディアブロストーリー		
Diablo's Story		
栗 1994	*アピーリングストーリー	Valid Appeal
	Appealing Story	Charming Story

Halo:S4×M5 Lyphard:M4×S5 Hail to Reason:S5×M5×M5



管理予定調教師

石坂公一調教師(栗東)

◆1982年12月13日生 ◆2019年開業(5年目) ◆JRA通算76勝 ◆JRA重賞1勝 ※成績は2023年4月16日現在

【主な管理馬】

- テオレーマ:JBCレディスクラシック(JPN1) ●イズジョーノキセキ:府中牝馬S(G2) ●バンクオブクラウド:マーキュリーC(G3)2着
- トーホウガレオン:シンザン記念(G3)3着 ●ガゼボ:2020ファイナルS、洛陽S(L)2着 ●ラルナプリラーレ:ユートピアS、バラダイス(L)2着
- ワールドパローズ:長篠S、京王杯SC(G2)4着 ●シャーレイボビー:武庫川S、紫苑S(G3)4着 ●ジュディック:西脇S
- サンライズカラマ:アクアラインS



ファミリー(母系)

母の父 *コマンダーインチーフ Commander in Chief は英国産、全欧3歳牡馬チャンピオン、英愛5勝、英ダービー-G1、愛ダービー-G1。主な産駒:レギュラーメンバー。(J B Cクラシック-JPN1)。【B M S:主な産駒】トルアマポーラ(エリザベス女王杯-G1)、ミツバ(川崎記念-JPN1)、コスモオオゾラ(弥生賞-G2)、エキマエ(兵庫チャンピオンシップ-JPN2)、レッドクラウディア(クイーン賞-JPN3)

母 シェアザストーリー(02 *コマンダーインチーフ) 1勝。産駒
リリカルストーリー(08 牝 鹿 *ワイルドラッシュ)北海道公1勝
レッドクラウディア(09 牝 栗 アグネスタキオン) 3勝、昇竜S-OP(D 1400m)、縦の木賞(D 1700m)、南関東②1勝、クイーン賞-JPN3(D 1800m)、マリンC-JPN3 2着、レディスプレリュード-JPN2 3着、T C K女王盃-JPN3 3着、スパーキングレディーC-JPN3 3着、同4着、南関東公1勝、しらさぎ賞(D 1400m)、東京シンデレラマイル 2着、同3着、T C K女王盃-JPN3 5着。産駒
レッドロムルス(牡 キングカメハメハ) 1勝、東海②1勝、^⑧ルージュシェノン(牝 *アジアエクスプレス) 1勝、^⑧ルージュイストリア(牝 *ドレフォン) 1勝、^⑧レッドロンメル(11 牡 栗 スペシャルウィーク) 2勝
シェアザモーメント(14 牡 鹿 ステイゴールド) 1勝、兵庫公1勝、岩手公3勝、^⑧ルコンブルー(17 牝 黒鹿 キズナ) 3勝
コントゥール(18 牝 黒鹿 ハーツクライ) 1勝
シェアザグローリー(20 牡 黒鹿 エピファネア) 入着、^⑧エビックストーリー(21 牝 鹿 キタサンブラック) 未出走
祖母 ***ディアブロストーリー** Diablo's Story(94 *ディアブロ)米国産、北米3勝、ナタルマS-CAN1、マザリンB C S-CAN1 2着。産駒
オープンストーリー Open Story(牝 Open Forum)北米1勝、Three Chimneys Juvenile S-L。**ダンシン アット ミッドナイト** Dancin At Midnight(牝 Bandbox:Third Chance S)の曾祖母
デュアルストーリー(牝 *エンドスウィープ) 4勝、ジャンプリーS、初春賞、呉竹賞、マリーゴールド賞-OP 3着、ダリア賞-OP 3着。**デュアリスト**(牡 ミッキーアイル:兵庫ジュニアグランプリ-JPN2)、**デュアルスウォード**(牡 デュランダル:オーバルスプリット-L 3着)の母

配合診断

母系のパワーを最大限に引き出せる予感、効果的なニックスでダートの大物誕生

レッドクラウディア(クイーン賞)の半妹。母シェアザストーリーはダートで1勝を挙げました。3代母アピーリングストーリーの一族は、カラフルデイズ(関東オークス)やデュアリスト(兵庫ジュニアグランプリ)など、多くのダート巧者を送り出しています。母の父コマンダーインチーフは英・愛ダービーを連勝した名馬ですが、産駒は芝・ダート半々ぐらゐの割合で走りました。母方の血はなかなかパワフルです。父スワーヴリチャードはジャパンC(G1)と大阪杯(G1)の勝ち馬ですが、その半兄バンドワゴン(きさらぎ賞2着)の仔にダート1900mの未勝利戦を大差勝ちしたバンドマスターがいます。スワーヴリチャードは芝向きの種牡馬ですが、配合次第でダート向きの仔を出せるタイプ。おそらく本馬はダート向きでしょう。UnbridledとIn Realityのニックスが光ります。

ランドスケープの22

全400口 | 1口出資額80,000円(税込) | 総額3,200万円(税込) セレクトセール2022購買馬

生産牧場 社台ファーム 育成牧場 社台ファーム(予定)



名牝ダイナアクトレスに払う敬意、良血の品格が重賞で活かされる

現時点における馬体の特徴と適性

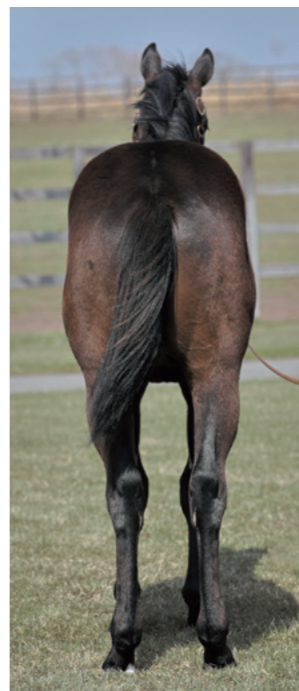
公営船橋で特別レースに勝った母は、470~490キロ台でレースに出ていた、力強いスピードを武器とした牝馬。その初仔であり、古馬となってからは、やはり480キロ台で競馬をしていたイスラボニータが父に入るこの仔も、背丈は決して高くないが、全身が筋肉で覆われている、逞しい馬体の持ち主となりました。短めな首差しは、あり過ぎるほどのボリューム感。また、腰から臀端にかけてのサイズが大きく、腹構えもしっかりとしていることから、底知れぬパワーを秘めているのは、間違いないでしょう。後肢は骨量が豊富で、スタートダッシュが利く造りであり、スプリンター戦線のど真ん中を突き進む活躍が期待できそうです。前肢の繋ぎが、全体のバランス以上に長くしなやかなため、芝適性の高さも感じるが、馬体全体を見ると、砂のパワーも十分に持っている身体付き。脚元に問題はなく、気性も素直なだけに、現在の状態が維持できれば、仕上がりの早いはずで、2歳夏には十分に仕上がった状態でデビュー戦を迎えることでしょう。抜群の安定感を誇るようなタイプではないかもしれませんが、距離、馬場コンディションが向き、ゾーンに入ったときの走りは、高いレベルでも十二分に通用すると見えています。

須貝尚介調教師コメント

欠点がなく、まとまった感じの馬体で、水準以上のスピードもパワーも秘めている印象を受けました。ゆったりと歩けていて柔らかみのある歩様は好感が持て、距離もマイル位から延ばしていけるのではないのでしょうか。ジャスタウェイには思い入れがありますから、血統的に母父に入ってどういう馬を出していくのか注目しています。持ち前の底力を伝えてくれると期待が高まります。厩舎として意識している点は3つ。馬に対する「愛情」、仕事として食べさせてもらっているという「感謝」、そしていい馬を育てていく上での「責任」、これらを念頭に置いています。その中でブレないチームワークを活かし、それぞれの馬の能力値の上限を出せるように創意工夫しています。本馬も資質の最大値を求めて育てていきます。

イスラボニータ	フジキセキ	*サンデーサイレンス	Halo
Isla Bonita	Fuji Kiseki	Sunday Silence	Wishing Well
黒鹿 2011	青鹿 1992	*ミルレーサー	Le Fabuleux
		Millracer	Marston's Mill
		コジーン	Caro
	*イスラコジーン	Cozzene	Ride the Trails
Isla Cozzene	鹿 2002	イスラムヘレス	Crafty Prospector
		Isla Mujeres	Lido Isle
		ハーツクライ	*サンデーサイレンス
	ジャスタウェイ	Heart's Cry	アイリッシュダンス
	Just a Way		
	鹿 2009	シビル	Wild Again
ランドスケープ		Sibyl	*シャロン
Landscape			
黒鹿 2016		*クロフネ	*フレンチデユティ
	ベストロケーション	Kurofune	*フルーアヴェニュー
	Best Location		
	芦 2005	ダイナアクトレス	*ノーザンテスト
		Dyna Actress	モデルサポート

サンデーサイレンス:S3×M4



管理予定調教師

須貝尚介調教師(栗東)

◆1966年6月3日生 ◆2009年開業(15年目) ◆JRA通算500勝 ◆JRA重賞49勝 ※成績は2023年4月16日現在

【主な管理馬】

- ゴールドシップ:有馬記念(G1)、菊花賞(G1)
- ジャスタウェイ:ドバイDF(首G1)、天皇賞・秋(G1)
- ソダシ:桜花賞(G1)、ヴィクトリアマイル(G1)
- レッドリヴェール:阪神JF(G1)
- ロープティサー:ジュ阪神JF(G1)
- アドマイヤード:ヴィクトリアマイル(G1)
- ドルチェモア:朝日杯FS(G1)
- ショウナンナデシコ:かしわ記念(JPN1)
- ステラヴェローチェ:神戸新聞杯(G2)
- アスカクリチャン:アルゼンチン共和国杯(G2)



ファミリー(母系)

母の父 ジャスタウェイは浦河産、最優秀古牡馬、中央・UAE 6勝、天皇賞(秋)-G1、ドバイデューティフリー-G1。主な産駒:ダノンザキッド(ホープフルS-G1)、テオレマ(JBCレディスクラシック-JPN1)、ガストリック(東京スポーツ杯2歳S-G2)、エアポス(フィリーズレビュー-G2)、ヴェルテックス(名古屋グランプリ-JPN2)、マスターフェンサー(名古屋グランプリ-JPN2)

母 ランドスケープ(16 ジャスタウェイ)入着、南関東公2勝。本馬が初仔
祖母 ベストロケーション(05 *クロフネ)5勝、市川S、須賀川特別、米山特別、京都牝馬S-G3 2着、ラピスラズリS-OP 2着、キーンランドC-G3 3着。産駒

ベストアクター(騙 ディープインパクト)6勝、阪急杯-G3、雲雀S、神奈川新聞杯、五泉特別、新発田城特別
グレンフィナン(騙 ヴィクトワールピサ)1勝、[Ⓜ]
リラックス(牡 イスラボニータ)1勝、[Ⓜ]

曾祖母 ダイナアクトレス(83 *ノーザンテスト)最優秀古牝馬(2回)、7勝、毎日王冠-JPN2、京王杯スプリングC-JPN2、同2着、スプリンターズS-JPN2、京王杯オータムH-JPN3、函館3歳S-JPN3、安田記念-JPN1 2着、ジャパンC-JPN1 3着、オークス-JPN1 3着。産駒

ステージチャンプ:4勝、日経賞-JPN2、同2着、ステイヤーズS-JPN3、青葉賞-OP、菊花賞-JPN1 2着、天皇賞(春)-JPN1 2着

プライムステージ:3勝、札幌3歳S-JPN3、フェアリーS-JPN3、ローズS-JPN2 2着、クイーンC-JPN3 2着、桜花賞-JPN1 3着。産駒

アブソリュート:7勝、富士S-G3、東京新聞杯-G3、クリスマスC
アクトナチュラリー:3勝、国東特別、ぶっぼうそう特別

ランニングヒロイン:2戦。産駒
スクリーンヒーロー:最優秀古牡馬、5勝、ジャパンC-G1、アルゼンチン共和国杯-JPN2、天皇賞(秋)-G1 2着。種牡馬

カクテルラウンジ:南関東公2勝、岩手公1勝、オパールC。(公)グラヴィオーラ(エーデルワイス賞-JPN3 2着)の母

トリアンサンプル:2戦。産駒

マルカラスカル:3勝、加古川特別、最優秀障害馬、障7勝、中山大障害、同3着、中山グランドジャンプ

ソウルフルヴォイス:4勝、エーデルワイスS、福島牝馬S-G3 3着

配合診断

曾祖母の遺伝子が導いてくれる大舞台、迎えた父とのクロスがより良い適性を示唆

3代母ダイナアクトレスはG1こそ勝てなかったものの、80年代を代表する強豪牝馬の一頭で、毎日王冠(G2)を含めて重賞5勝。ジャパンC(G1)で3着に食い込み、京王杯オータムHでは芝1600mで1分32秒2のJRAレコードを樹立しました。スクリーンヒーロー(モーリスの父)の2代母となって血の優秀さを証明しています。母ランドスケープはスクリーンヒーローと同じダイナアクトレスの孫で、ベストアクター(阪急杯)の半妹。父イスラボニータはプルパレイ(ファルコンS)、オメガリッチマン(京成杯2着)、コスタボニータ(阪神牝馬S3着)、バトルクライ(根岸S3着)を出しています。母はダートに適性が高かったため、本馬のサンデーサイレンス3×4は、適性を芝向きに戻す意味で好ましいでしょう。芝・ダート兼用の中距離タイプで成長力があります。

ナイトオブイングランドの22

全400口 | 1口出資額45,000円(税込) | 総額1,800万円(税込)

生産牧場 社台ファーム 育成牧場 社台ファーム(予定)



独の栄華を繋ぐ牝系が日本で開花、桜咲く道を会心の笑顔で駆ける

現時点における馬体の特徴と適性

デュッセルドルフ競馬場の芝2200mコースを舞台とするG1独オークスで2着した母が送り出す初仔。独オークスは、サリオス、サラキアの母サロミナ、シュネルマイスターの母セリエンホルデといった、繁殖牝馬として日本に導入され、成功を取めた歴代勝ち馬もいるだけに、そこで勝ち負けした母にも、大きな期待が懸けられます。父に、種牡馬としての実績を積み上げている気鋭イスラボニータを得た本馬は、父譲りの優れた柔軟性がセールスポイント。長く、穏やかなラインを描く首、肩の傾斜角度が良く、胸筋も十分に付いている胸前、短めの背中と伸びやかな胴は、バランスに優れた好馬体の源となる、重要なパーツといえるでしょう。また、脚向きの綺麗な前肢、伸びの良い飛節を持つ後肢と、脚元が丈夫な点も、育成過程におけるスムーズなステップアップを保証するポイントと見ています。骨格が良く、気性も素直なことから、仕上がるのに時間を要するタイプではありませんが、柔軟性と表裏一体の関係ともなる緩さを解消し、体幹にしっかりと芯を通すためにも、デビューを焦りたくはないところ。しっかりと準備を整えた後に始動し、芝、ダートを問わずに、マイル戦線における躍進を目指していきます。

田中克典調教師コメント

全体のスタイルとバランスがとても良く、また顔つきがいいのは牝馬として惹かれるポイントです。現時点でも十分な馬格を誇り、誰もが好馬体という印象を持つのではないのでしょうか。父イスラボニータのいいスピードと母系の底力が上手くはまれば、楽しみな馬になりそうです。今後の動きを見ながら適性を探り、勝利を目指していきます。藤澤和雄元調教師のもとで研修していたときに言われた「いい馬を育てられる調教師になりなさい」という言葉を常に頭に置くようにしています。「いい馬」というのは色々な意味があると思うので、そこに向けて模索し鍛錬を続けていきます。本馬も会員の皆様に「いい馬」だと思っていただけるよう、そして大きな舞台に挑めるよう取り組んでいきます。

	*サンデーサイレンス	Halo
フジキセキ	Sunday Silence	Wishing Well
Fuji Kiseki		
青鹿 1992	*ミルレーサー	Le Fabuleux
イスラボニータ	Millracer	Marston's Mill
Isla Bonita		
黒鹿 2011	コジーン	Caro
*イスラコジーン	Cozzene	Ride the Trails
Isla Cozzene		
鹿 2002	イスラムヘレス	Crafty Prospector
	Isla Mujeres	Lido Isle
	ダッシングブレイド	Elegant Air
ロードオブイングランド	Dashing Blade	Sharp Castan
Lord of England		
栗 2003	ロヴェリア	Los Santos
*ナイトオブイングランド	Loveria	Liranga
Night of England		
黒鹿 2015	レインボウウエスト	Blushing Groom
ニナズレインボウ	Rainbow Quest	I Will Follow
Ninas Rainbow		
鹿 2008	ネクストジーナ	*ベルジノ
	Next Gina	Night Petticoat

メス
黒鹿毛
2022.3.7生



管理予定調教師

田中克典調教師(栗東)

◆1987年8月12日生 ◆2021年開業(3年目) ◆JRA通算51勝 ※成績は2023年4月16日現在

【主な管理馬】

- ロッシュローブ:門司S、大沼S(L)2着 ●ピンハイ:西宮S、チューリップ賞(G2)2着 ●ラヴィータエベラ:豊前S
- エンベザー:中京日経賞、ニュージラントT(G)4着 ●リカンパブル:館山特別、京都新聞杯(G2)4着
- クロニクル:甲南S2着、茨木S2着 ●ニューフロンティア:初春S2着 ●プライムライン:天満橋S2着
- キングスタイル:御在所特別、三方ヶ原S3着 ●ソニックベガ:太宰府特別



ファミリー(母系)

母の父 **ロード オブ イングランド** Lord of England は独産、伊独4勝、ダルマイヤー大賞典-G1。主な産駒:イスファハーン(独ダービー-G1)、パルマス(独オークス-G1)。【BMS:主な産駒】クリスタル クリフス(ナッソー-S-G2)、シーベイ(ウィンターファヴァリテン賞-G3)、レイディキラー(ジルベルネ プフェールト-G3)、パディシャフ(ラフォルス賞-G3 2着)

母 ***ナイトオブイングランド** Night of England (15 Lord of England) 英国産、独1勝、独オークス-G1 2着、メール ミュルヘンストロフィー-G3 2着。本馬が初仔

祖母 **ニナズ レインボウ** Ninas Rainbow (08 Rainbow Quest) 独1勝。産駒 レストレイド Lestrade(騙 Lawman) 英1勝、伊3勝 ノルマンディー Normandie(牝 Redoute's Choice) 仏1勝

曾祖母 **ネクストジーナ** Next Gina (00 *ベルジノ) 独3勝、独オークス-G1、ユングハイムリヒ ガベルシュタブラー賞-G3 2着、Kolner Frühjahrs-Stuten-Preis-L 3着、独ダービー-G1 4着、ダルマイヤー大賞典-G1 4着。産駒

ニナ セレブル Nina Celebre: 独4勝、Preis der Peter Deilmann Reederei-L、Grosser Canon-Preis-L、伊入着、Premio Terme di Merano-L 2着。産駒

パキスタン スター Pakistan Star: 香港チャンピオンステイヤー、香港5勝、香港クイーン エリザベス二世C-G1、同2着、香港チャンピオンズ&チャターC-G1、Hong Kong Derby 2着、Hong Kong Classic Cup 2着、香港チェアマンズトロフィー-G2 3着

ニナズ テレス Ninas Terz: 独1勝、Henkel Stutenpreis-L 2着、Grosser Preis der Landschaftlichen Brandkasse Hannover-L 3着

ニナズ ロブ Nina's Lob: 独1勝、Dortmunder Stutenpreis-L 3着、ヴァルトブファトロフィー-G3 4着

ネットワーキング Networking: 不出走。産駒

インヴィンシブルティアーズ Invisibile Tears: 豪1勝、BRCスピリット オブ ブーム クラシック-G2 2着

四代母 **ナイト ペティコート** Night Petticoat (93 Petoski) 独3勝、独オークス-G2。**ネクスト デザート** Next Desert (独ダービー-G1)の母

配合診断

世界で通用するドイツ名門母系の強靭さ、堅実な産駒を送る父にとって待望の配合

Nereide(10戦全勝の女傑)、Neckar(西独チャンピオンサイアー6回)、Nebos(西独チャンピオンサイアー)など、そうそうたる名馬を輩出してきたドイツの名門牝系に属し、3代母Next Ginaは独オークス馬、母ナイトオブイングランドは同2着。近親のPakistan Starは恐るべき末脚で香港のG1を2勝と、その活力を保っています。父イスラボニータは皐月賞馬で、フジキセキ産駒の唯一のクラシックウィナーでもあります。種牡馬としてはプルパレイ(ファルコンS)、オメガリッチマン(京成杯2着)、コスタボニータ(阪神牝馬S3着)、ハトルクライ(根岸S3着)など constants に活躍馬を出しており、芝・ダートを問わずマイル戦の成績が優秀です。本馬の母は厚重なドイツ血統を抱えたスタミナタイプなので、おそらく2000mあたりまでは守備範囲でしょう。

シーサイドホームの22

全400口 | 1口出資額45,000円(税込) | 総額1,800万円(税込)

生産牧場 辻牧場 育成牧場 辻牧場・BTC(予定)



北米の神髄が凝縮したパワフル牝系、父の代表産駒として輝きたい

現時点における馬体の特徴と適性

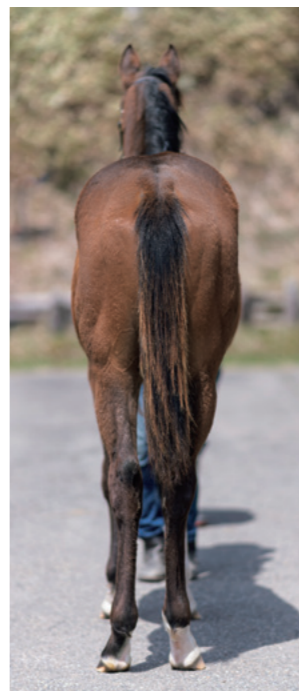
G1ヴァニティH、G1アップルブラッサムHなど計22勝をマークし、米古牝馬チャンピオンにも選出されたトラックロバリーから連なる名門ファミリーの継承者で、伯父にプリーダーズCクラシック、スワップスSを制したキャットシーフを持つ母が、ディーブインパクト直仔の才能あふれる皐月賞馬ディーマジェスティを父に迎えて誕生した、好馬体と競走馬らしい気持ちの強さを併せ持つ素質馬。直線的で、綺麗な首差し、幅の広さが目立つ胸前、ラインが素晴らしい背腰、形状が良く、容積も大きいトモ、深みがあり、ボリューム感も申し分のない胴、可動域が大きい飛節は、鋭い切れ味を感じさせる身のこなしを生み出す、強力なエンジンとなっています。脚元の丈夫さと前向きな気性から、育成過程における課題も、順調にクリアしていきけるはず。仕上がりは早く、2歳夏には万全の準備を整えてデビュー戦を迎えると見えています。血統的にはマイル～中距離戦に向いている印象もありますが、気持ちが勝ったタイプでもあり、芝スプリント～マイル戦線が豊かな才能を発揮する舞台でしょう。ただし、成長力にも富んでいるだけに、3歳秋以降に、違った一面を大きく伸ばしてきそうな予感も抱いています。

安田翔伍調教師コメント

上品な女の子です。歩きは真っすぐで癖がなく、人と馬の歩くリズムがしっかり噛み合い、立ち姿もきれい。華奢という印象はなく、バランスも良く、今後の成長が楽しみです。血統面では種牡馬の傾向はあまり意識せず、母系の血統背景を重視しつつ、あとは自分自身で跨って馬の感性を確認し、本馬に合った育て方をしていきます。調教師としての心がけは、頭打ちにさせないこと。勝つことは大事ですが、目先の勝利にこだわって将来性を削ることがないように、馬の成長や感性の変化を見ながら、少しでもストレスをなくし、リズムを崩さず、競馬を嫌にさせないように努めています。そして常に意味あるレース選択を思考しています。本馬にも目標を定め、長きにわたりしっかりと活躍できるよう向き合っていきたいと思っています。

ディープインパクト	*サンデーサイレンス	Halo
Deep Impact	Sunday Silence	Wishing Well
鹿 2002	*ウインドインハーヘア	Alzao
ディーマジェスティ	Wind In Her Hair	Burghclere
Dee Majesty		
鹿 2013	*ブライアンズタイム	Roberto
エルメスティアラ	Brian's Time	Kelley's Day
Hermes Tiara		
鹿 1998	*シンコウエルメス	Sadler's Wells
	Shinko Hermes	Doff the Derby
	ストームバード	Northern Dancer
ストームキャット	Storm Bird	South Ocean
Storm Cat		
黒鹿 1983	ターリングア	Secretariat
*シーサイドホーム	Terlingua	Crimson Saint
Seaside Home		
黒鹿 2006	グラインドストーン	Unbridled
	Grindstone	Buzz My Bell
サンドダラー		
Sand Dollar		
鹿 1998	トレインロバリー	Alydar
	Train Robbery	Track Robbery

Northern Dancer:M4×S5 Hail to Reason:S5×S5



管理予定調教師

安田翔伍調教師(栗東)

◆1982年7月8日生 ◆2018年開業(6年目) ◆JRA通算113勝 ◆JRA重賞6勝 ※成績は2023年4月16日現在

【主な管理馬】

- オメガパフューム:東京大賞典(G1)4回、帝王賞(JPN1)
- キングオブコース:AJCC(G2)、日黒記念(G2)
- ワンダーリーデル:武蔵野S(G3)
- サンライズウルス:ベテルギウスS(L)
- カレンルシェルブル:福島民報杯(L)
- オメガレインボー:ポラリスS、エルムS(G3)2着
- ジャスティンカフエ:湘南S、毎日王冠(G2)2着
- クラヴェル:マーメイドS(G3)2着、エリザベス女王杯(G1)3着
- オメガリッチマン:京成杯(G3)2着
- エンズミアズム:フラワーC(G3)2着



ファミリー(母系)

母の父 **ストーム キャット** Storm Catは米国産、北米4勝、ヤング アメリカS-G1。北米総合・2歳チャンピオンサイアー。北米BMSチャンピオン。主な産駒:ジャイアンツ コーズウェイ(愛チャンピオンS-G1)。【BMS:主な産駒】キズナ(ダービー-G1)、ロードカナロア(香港スプリント-G1 2回)、ラヴズオンリーユー(オークス-G1)、ダンキンクグリー(安田記念-G1)

母 *シーサイドホーム Seaside Home(06 Storm Cat)米国産、北米1勝。産駒 レッドアヴニール(18牡鹿 ディープインパクト)北海道公1勝、岩手公1勝

祖母 サンド ダラー Sand Dollar(98 Grindstone)北米入着。産駒 **ロシアン グリーク** Russian Greek(牡 Giant's Causeway)北米12勝、California Derby-L, Gold Rush S-L, Carl Hanford Memorial S3着

オージャン カレント Ocean Current(牝 Storm Cat)北米4勝, Mademoiselle S2着

曾祖母 **トレイン ロバリー** Train Robbery(87 Alydar)北米8勝, ハニービーS-G3, モンマス パーク B C H-G3, Remington Park Oaks-L, Rolling Meadows S, ジョン A. モーリスH-G1 2着, ゴー フォー ワンド H-G1 2着, デラウェアH-G2 2着, モリー ピッチャーH-G2 2着, アーリントン オークス-G3 2着, ランパートH-G2 3着, ロング ルックH-G2 3着。産駒

キャット シーフ Cat Thief:北米4勝, B C クラシック-G1, スワップスS-G1, プリーダーズ フェューチュリティ-G2, ホイトニーH-G1 2着, ハスキル招待H-G1 2着, ブルー グラスS-G1 2着, ファウンテン オブ ユースS-G1 2着, サン フェルナンド B C S-G2 2着, サン アントニオH-G2 2着, ケンタッキー ダービー-G1 3着, B C ジュヴェナイル-G1 3着, フロリダ ダービー-G1 3着。種牡馬

キャッチャー Catcher:北米2勝, Bassinet S-L 2着, Cincinnati Trophy S2着。**コブルストーン ロード** Cobblestone Road(Busher S-L 3着)の母, **ライドミットゥサムーン** Ridemetothemoon(Landaluce S-L 3着)の祖母

四代母 **トラック ロバリー** Track Robbery(76 No Robbery)米古牝馬チャンピオン, 北米22勝, ヴァニティH-G1, アップル ブラッサムH-G1

配合診断

父の代表産駒が視野に入る理想的な配合、曾祖母から系譜のパワーに破壊力も十分

2代母Sand DollarはCat Thief(BCクラシック)の半妹。Cat Thiefの父Storm Catは、本馬の母シーサイドホームの父でもあるので、Cat Thiefとシーサイドホームは3/4同血です。父ディーマジェスティはディーブインパクト産駒。「ディーブインパクト×Storm Cat」の組み合わせは大レース勝ち馬を量産しました。そして、自身にStorm Catを含まないディーブ系種牡馬は、Storm Catを持つ繁殖牝馬との配合で成功しています。たとえばリアルインパクトはラウダシオンとモズメイメイを、ディーブプリランテはラプタスとモズベッコを、ミッキーアイルはナムラクレアを出しました。ディーマジェスティ産駒も、JRA重賞で唯一入着を果たしたドットクルー(毎日杯3着)は、母方にStorm Catを持ちます。当面の目標はドットクルー超え。すなわち父の代表産駒の座を獲得することです。

エリーシエズワールドの22

全400口 | 1口出資額190,000円(税込) | 総額7,600万円(税込) セレクトセール2022購買馬

生産牧場 ノーザンファーム 育成牧場 ノーザンファーム(予定)



世界の頂点が視野に入る夢配合、ダービーへ続く蹄跡を輝かせる

現時点における馬体の特徴と適性

アイルランドに生まれ、フランスでデビューした母は、アメリカに渡り花開き、スワニーリヴァーS、マッチメイカーS、サンタアナS、ヴァイオレットSと芝中距離重賞を4勝する、大きな活躍を展開しました。その母と、ディーブインパクト産駒の英クラシック馬サクソンウォリアーが配合された本馬が、日本競馬でどんな走りを見せるのか。個人的にも、興味津々な若駒です。胸前の深さは、この時期としては、まさに特筆モノ。肩の筋肉量が豊富で、しかも窮屈がない点も、可動域が極めてデカイことの証明です。現時点で、やや不満があるとすれば、歩かせると後肢に硬さが見られる点だが、これはトモに力が付いてくれば、調教過程のなかで、自然に解消されてくると見えています。1歳馬とは思えぬくらい堂々としていて、穏やかな性格も、競走馬としての大切な要素となってくるはず。ここに、実戦にいったからの闘争心が加わってくれば、気性面は、ほぼパーフェクトといえるでしょう。父サクソンウォリアーは、英2000ギニー、2歳時のレーシングポストTと、マイルG1を2勝したが、この仔は平均ペースで流れる芝中長距離戦で、持ち味が活きるタイプ。健康体で、早い時期のデビューが可能です。

中内田充正調教師コメント

血統に見合った体型に恵まれていて、この時期でも筋肉の発達が素晴らしく、後軀もしっかりしている印象です。動きもしなやかでトモの力強さは頼もしく感じます。スピードの持続力がこの馬の特徴になってくるのではないのでしょうか。適性は2000m前後の芝になりそうなイメージ。当然ですが、3歳のクラシックを意識して育てていきたいと考えています。厩舎の運営方針は、どの馬も分け隔てなく接し、しつけやマナーを大切に教えています。そして競馬へ行っても能力が発揮できるように心がけています。そのうえで各馬の特徴に合わせた調教メニューを組み、その馬が大成し活躍できるよう取り組んでいます。国内で勝ちたいレースはダービー。本馬の素質をしっかりと見極めて、その舞台に送り出せるようにしたいと思います。

	*サンデーサイレンス	Halo
ディーブインパクト	Sunday Silence	Wishing Well
Deep Impact		
鹿 2002	*ウインドインハーヘア	Alzao
サクソンウォリアー	Wind In Her Hair	Burghclere
Saxon Warrior		
鹿 2015	ガリレオ	Sadler's Wells
*メイビー	Galileo	Urban Sea
Maybe		
鹿 2009	スモラ	*デインヒル
	Sumora	Rain Flower
	*デインヒル	Danzig
シャンゼリゼ	Danehill	Razyana
Champs Elysees		
鹿 2003	ハシリ	Kahyasi
*エリーシエズワールド	Hasili	Kerali
Elysea's World		
鹿 2013	シングスピール	In The Wings
アイディアワールド	Singspiel	Glorious Song
Ideal World		
黒鹿 2006	*リブユアドリームス	Mt.Livermore
	Live Your Dreams	Night and Dreams

デインヒル:M3×S4 Halo:S4×M5 Sadler's Wells:S4×M5 Northern Dancer:S5×M5



管理予定調教師

中内田充正調教師(栗東)

◆1978年12月18日生 ◆2014年開業(10年目) ◆JRA通算358勝 ◆JRA重賞33勝 ※成績は2023年4月16日現在

【主な管理馬】

- リパティアイランド:桜花賞(G1)、阪神JF(G1) ●セリフォス:マイルCS(G1) ●ダノンプレミアム:朝日杯FS(G1)
- グレナディアガーズ:朝日杯FS(G1) ●ダノンファンタジー:阪神JF(G1) ●リアアメリア:ローズS(G2)
- ミッキーチャーム:阪神牝馬S(G2)、秋華賞(G1)2着 ●プログノーシス:金鯱賞(G2) ●アートハウス:ローズS(G2)
- グレイトパール:アンタレスS(G3)



ファミリー(母系)

母の父 シャンゼリゼ Champs Elysees は英国産、加年度代表馬、仏・北米6勝、カナディアン国際S-G1。主な産駒:ピルズドン ブルック(英1000ギニー-G1)、ウェイトゥパリス(サンクルー大賞典-G1)、トリップトゥパリス(ゴールドC-G1)。【BMS:主な産駒】メギャラン(ソヴリンS-G3)、リマーキー(フレッドダールンS-G3)、アガヴェ(ベネロープ賞-G3)、レクセランス(すみれS-L)

母 *エリーシエズワールド Elysea's World (13 Champs Elysees) 愛国産、仏1勝、北米6勝、スワニーリヴァーS-G3(芝9F)、同2着、マッチメイカーS-G3(芝9F)、サンタアナS-G3(芝10F)、ヴァイオレットS-G3(芝9F)、カナディアンS-G22着、レイクジョージS-G22着、ヒルズボローS-G22着、ドウェイジャーS-G32着、ロバートJ.フランケルS-G32着、ロデオドライブS-G13着、アシーニアS-G33着、ギャロレットS-G33着、同4着、イートンタウンS-G33着、ゲイムリーS-G14着、レイクブラシッドS-G24着。産駒

*ワールドシリーズ(21牡鹿No Nay Never)未出走

祖母 アイディアワールド Ideal World(06 Singpiel)不出走。産駒
アイディアールホース Ideal Horse(牡Champs Elysees)仏6勝
アイディアールステップ Ideal Step(牝Footstepsinthesand)仏5勝
アイディアールキング Ideal King(駢Sidestep)仏4勝
アイカー Icar(駢Halling)仏2勝、チェコ1勝

曾祖母 *リブユアドリームス Live Your Dreams(98 Mt. Livermore)米国産、北米3勝、Sandy Blue S、ハニムーンBC招待H-G22着、Matiara S-L2着。産駒
ライヴドリームス:1勝

四代母 ナイトアンドドリームズ Night and Dreams(91 Fappiano)北米3勝。産駒

ディープスリープ Deep Sleep:仏3勝、セーネワーズ賞-G3、Prix Servanne-L2着、Prix Hampton-L2着。種牡馬

ダンシングスターライト Dancing Starlight:仏2勝。産駒

スターライトレイディ Starlight Lady:豪9勝、Kalgoorlie-Boulder RC Kalgoorlie Gold Cup-L2着

ノエティック Noetic:豪1勝、VRC Flemington Festival of Racing S-L3着

配合診断

日本向きの軽さを披露できる配合イメージ、クラシックの舞台に相応しい一流の素材

父Saxon Warriorはディーブインパクトの海外における代表産駒の一端で、英2000ギニー(G1・芝8F)とレーシングポストロフイー(英G1・芝8F)を制覇。種牡馬としても初年度産駒の現3歳から、Victoria Road(BCジュヴェナイルターフ、コンデ賞)、Lumiere Rock(スタッフオーズタウンスタッドS)、Moon Ray(ミエスク賞)と3頭の重賞勝ち馬を出しています。日本でも2頭が勝ち上がりました。母エリーシエズワールドは現役時代に北米で芝9~10ハロンのG3を4勝。時計の速い芝で好結果を残したのは強調材料です。本馬はデインヒル4×3ですが、日本で勝ち上がった2頭は、いずれもその父Danzigのクロスを持っているので、配合パターンとしては悪くありません。Halo 4×5も素軽さの担保となります。日本向きの軽さを秘めた芝向きの中距離タイプ。

アスタウンドメントの22

全400口 | 1口出資額120,000円(税込) | 総額4,800万円(税込)

生産牧場 辻牧場 育成牧場 辻牧場・BTC(予定)



米G1を2勝の父は産駒も大ブレイク、クラブ所縁の母系が再び躍る

現時点における馬体の特徴と適性

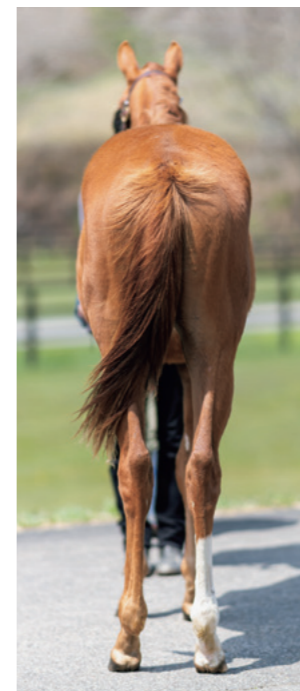
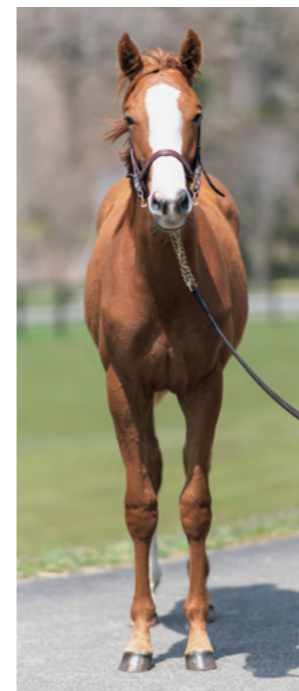
4、5歳だった2021、22年に、米ガルフストリームパーク競馬場で開催されるペガサスワールドCターフ連覇を達成したほか、G1ターフクラシックSにも勝っている、超一流芝中距離馬カーネルリアムの半姉である母が送り出してきた、名血馬らしい品格を備えた牝駒。父にカーネルリアムと同じ、芦毛の一流種牡馬リアムズマップを得たことも、本馬が誇る高い潜在能力を十分に引き出すことに繋がるのではと考えています。現時点では、体高の割に薄手の印象もありますが、柔軟性に富んだ首差し、小気味良さも感じさせる、胸筋、背筋の発達具合、トモツ張り、胴伸びの素晴らしさ、可動域が大きく、パワフルな飛節など、必見の価値があるパーツも多い、体幹の強さを感じさせる好馬体となっています。脚向き、蹄形に何ら問題を感じない前肢、加えて気性も前向きなことから、育成過程においては、意欲的に課題に取り組んでいけるはず。仕上がりは早く、2歳夏、もしくは秋初頭に、マイル前後の距離でデビューするイメージを抱いています。血統面からも距離延長には十分対応でき、将来的にはマイル〜2000m戦が活躍の舞台に。脚抜きの良いダートはもちろん、芝でも高いレベルの走りが可能と見えています。

矢作芳人調教師コメント

ブラックタイプを見た時はゴツゴツしていて筋肉質なイメージを抱いていましたが、実際はスラッとしていてバランスの整った馬でした。血統的にはダートかもしれませんが、芝も使ってみたくなるタイプの馬で、様々な可能性を秘めた本馬を管理できることに喜びを感じています。もちろん、まだまだ成長は必要で、体はひと変わりしてくる馬だと思っています。厩舎運営で意識しているのは、より多く勝ちたい(稼ぎたい)ということ。それが関係者みんなの利益につながりますから。そのためには厩舎内の情報共有はもちろん、近隣牧場の存在も重要で、しっかりコンタクトをとり、コミュニケーションを図っています。本馬においても幾多の活躍の場所を貪欲に求め、スタッフが丸となって数多くの勝利を目指していきます。

アンブライドルド	Fappiano	
アンブライドルズソング	Unbridled	Gana Facil
Unbridled's Song		
芦 1993	トロリーソング	Caro
リアムズマップ	Trolley Song	Lucky Spell
Liam's Map		
芦 2011	トリッピ	*エンドスウィープ
ミスマシースー	Trippi	Jealous Appeal
Miss Macy Sue		
黒鹿 2003	ヤダヤダ	Great Above
	Yada Yada	Stem
メス		
栗毛		
2022.2.23生		
エルブラド	Sadler's Wells	
キトゥンズジョイ	El Prado	Lady Capulet
Kitten's Joy		
栗 2001	キトゥンズファースト	Lear Fan
*アスタウンドメント	Kitten's First	That's My Hon
Astoundment		
鹿 2016	バーナーディニ	A.P.Jndy
アメイズメント	Bernardini	Cara Rafaela
Amazement		
鹿 2011	ワンダーアゲイン	Silver Hawk
	Wonder Again	Ameriflora

Roberto:M5×M5



管理予定調教師

矢作芳人調教師(栗東)

◆1961年3月20日生 ◆2005年開業(19年目) ◆JRA通算804勝 ◆JRA重賞57勝 ※成績は2023年4月16日現在

【主な管理馬】

- コントレイル:クラシック三冠、ジャパンC(G1) ●リスグラシュー:有馬記念(G1)、コックスプレート(豪G1)
- ラヴズオンリーユー:BCフリー&メアターフ(米G1)、香港C(香G1) ●パンサラッサ:サウジC(沙G1)、ドバイターフ(首G1)
- マルシュロレーヌ:BCディスタフ(米G1) ●ディーブプリランテ:日本ダービー(G1) ●グランプリボス:NHKマイルC(G1)、朝日杯FS(G1)
- モズアスコット:安田記念(G1)、フェブラリーS(G1) ●リアルスティール:ドバイターフ(首G1) ●タイセイレジェント:JBCスプリント(JPN1)



ファミリー(母系)

母の父 **キトゥンズ ジョイ** Kitten's Joy は米国産、米芝馬チャンピオン、北米9勝、セクレタリアトS-G1、ターフクラシック招待S-G1。北米総合・2歳チャンピオンサイアー。主な産駒:カメコ(英2000ギニー-G1)、*ジャンダルム(スプリンターズS-G1)。【BMS:主な産駒】チャンネル キャット(マンノウォーS-G1)、ファイアアトウィル(BCジュヴェナイルターフ-G1)

母 *アスタウンドメント Astoundment(16 Kitten's Joy) 米国産、北米入着。本馬が初仔

祖母 アメイズメント Amazement(11 Bernardini) 不出走。産駒 **カーネル リアム** Colonel Liam(牡 Liam's Map) 北米7勝、ペガサスワールドカップターフ招待S-G1(2回)、オールドフォレストターフクラシックS-G1、ムニスメモリアルクラシックS-G2、Tropical Park Derby-L。種牡馬

マーヴェラス キトゥン Mahvelous Kitten(牝 Kitten's Joy) 北米3勝
グランドサー Grand Sir(牡 Tapiture) 北米1勝

曾祖母 **ワンダーアゲイン** Wonder Again(99 Silver Hawk) 北米7勝、ダイアナH-G1、ガーデンシティBC H-G1、ニューヨークH-G2、同2着、レイクブラシッドH-G2、ノーブルダムゼルH-G3、フラワーボウル招待S-G1 2着、ボウゲイH-G3 2着、BCフリー&メアターフ-G1 3着、同4着、ジャストアゲームBC H-G2 3着、同-G3 3着、ピヴァリーディーS-G1 4着、ギャラクシーS-G2 4着。産駒

***レッドレイヴン**:6勝、巴賞-L、同2着、ディセンバーS-L、福島民報杯-L、美浦S、百日草特別、東京スポーツ杯2歳S-G3 2着、新潟大賞典-G3 3着、福島テレビオープン-L 3着、アメリカJC C-G2 4着、中山記念-G2 5着、函館記念-G3 5着

ストライキングワンダー Striking Wonder:北米1勝。産駒
スティーヴズフリー Steve's Philly:北米1勝。産駒

ヨーコース Yo Cuz:北米3勝、New York Stallion Series S、Maddie May S、East View S

四代母 アメリフローラ Ameriflora(89 Danzig) 不出走。産駒

***グラスワンダー**:最優秀2歳牡馬、9勝、有馬記念-JPN1(2回)、宝塚記念-JPN1、朝日杯3歳S-JPN1、毎日王冠-JPN2、京王杯スプリングC-JPN2、京成杯3歳S-JPN2、安田記念-JPN1 2着。種牡馬

配合診断

様々な思惑が交錯する血統構成を含む父、マニア垂涎の配合に漂う大仕事のムード

父Liam's Mapは現役時代、BCダートマイル(米G1・ダ8F)とウッドワードS(米G1・ダ9F)を制覇。種牡馬としては芝G1を3勝したColonel Liam(ペガサスワールドCターフ2回、ターフクラシックS)を筆頭にWicked Whisper(フリゼットS)、Basin(ホープフルS)を出しています。その2代母Yada Yadaは女傑Ta Wee(Dr.Fagerの半妹で米最優秀スプリンター2回)を2×3で持ち、母Miss Macy Sueはそれと血統に近いIn Realityを入れるという特殊な血統構成。Liam's Mapの半弟Not This Timeも種牡馬として非凡な成績を収めています。本馬はColonel Liamの3/4同血(父が同じで母同士が親仔)。母方に入るQuiet Americanは、父に施された特殊な血統構成を継承するという狙いすました配合。母の父が芝向きのKitten's Joyであっても、おそらくはダート向きでしょう。